

杉並区高齢者実態調査報告書

令和5年3月

杉 並 区

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査の種類	3
3. 調査方法と回収状況	4
4. 地域区分	5
5. 調査結果を見る上での注意事項	6
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果	7
1. 対象者の属性	9
(1) 介護保険認定の状況及び性別	9
(2) 調査票の記入者	9
(3) 性別	10
(4) 年齢	10
2. 家族や生活の状況について	11
(1) 家族構成	11
(2) 介護・介助の必要性	12
(3) 介護・介助が必要になった原因	13
(4) 主な介護者	14
(5) 経済的にみた暮らしの状況	15
(6) 昨年1年間の世帯収入	16
(7) 居住形態	17
(8) 希望(理想)の居住形態	18
(9) 家賃・介護費用の負担可能額	19
3. からだを動かすことについて	20
(1) からだを動かすこと	20
(2) 外出を控える	23
(3) 外出を控えている理由	24
(4) 外出する際の移動手段	25
4. 食べることについて	26
(1) 身長・体重について(BMI)	26
(2) 半年前と比較した固いものの食べにくさ	27
(3) お茶や汁物等でむせることがあるか	28
(4) 口の渇きについて	29
(5) 毎日の歯磨き	30

(6)	歯の数と入れ歯の利用状況	31
(7)	噛み合わせについて	32
(8)	毎日入れ歯の手入れをしているかについて	33
(9)	6か月間で体重の減少があったかについて	34
(10)	どなたかと食事をする機会	35
5.	毎日の生活について	36
(1)	毎日の生活	36
(2)	趣味の有無	41
(3)	生きがいの有無	42
6.	地域での活動について	43
(1)	会・グループ等の参加頻度	43
(2)	地域づくりを進める活動への参加意向	44
7.	たすけあいについて	45
(1)	心配事や愚痴について	45
(2)	数日間寝込んだときの看病や世話について	46
(3)	相談相手や家族、友人・知人について	47
(4)	日中、ひとりになることの有無	49
8.	健康について	50
(1)	現在の健康状態	50
(2)	幸福度	52
(3)	この1か月間の気持ち	54
(4)	飲酒状況	56
(5)	喫煙状況	56
(6)	現在治療中または後遺症のある病気	57
(7)	主治医について	58
(8)	認知症がある人の有無と相談窓口の把握	59
(9)	通院、訪問診療（往診含む）の状況	61
(10)	訪問診療の認知	61
9.	携帯電話・スマートフォンの利用状況について	62
(1)	携帯電話・スマートフォンの利用状況	62
(2)	使用している機能	63
10.	コロナ禍での生活の変化について	64
11.	仕事について	65
(1)	就労の有無	65
(2)	勤務形態	66
(3)	仕事をしている理由	67
(4)	働きたい日数	68
12.	長寿応援ポイント事業について	69

(1) 長寿応援ポイント事業の認知度	69
(2) 長寿応援ポイント事業登録団体による活動への参加状況	71
(3) 参加する主な目的	72
(4) 参加したことがない理由	73
1 3. 高齢者在宅サービス等について	74
(1) ここ半年間の高齢者在宅サービスの利用	74
(2) 介護予防のために最も必要だと思う福祉用具等の給付や助成サービス	75
1 4. 介護保険サービスの利用や制度について	76
(1) 現在の認定状況	76
(2) 介護保険サービスの利用状況	77
(3) 介護保険サービスを利用していない理由	78
(4) 介護保険サービスと介護保険料のあり方	79
(5) 高齢者のために充実させたいと思う施策	80
(6) (介助・介護者が) 介護のことで困ったときの相談相手	81
1 5. 社会的孤立の状況について	82
1 6. 経年比較	83
(1) 昨年1年間の世帯収入	83
(2) 居住形態	84
(3) 外出の頻度	85
(4) 生きがいの有無	86
(5) 主観的な健康感について	87
(6) 長寿応援ポイント事業の認知度	88
1 7. 自由意見	89

第3章 要介護認定者に関する実態調査結果 93

1. 対象者の属性	95
(1) 介護保険認定の状況及び性別	95
(2) 調査票の記入者	95
(3) 居住先	96
(4) 性別	96
(5) 年齢	96
(6) 家族構成	97
(7) 要介護度	98
(8) 認知症	99
(9) 相談先	102
(10) 通院、訪問診療（往診含む）の状況	103
(11) 訪問診療の認知	103

2. サービスの利用状況について	104
(1) 介護保険サービスの利用状況	104
(2) 介護保険サービスを利用していない理由	105
(3) 高齢者在宅サービスの利用状況	106
3. 住まいについて	108
(1) 居住形態	108
(2) 居住先の介護を受けながらの生活に対する適正の有無	109
(3) 適していると思わない理由	110
4. 施設の入所について	111
(1) 特別養護老人ホームなどへの入所（居）希望	111
(2) 入所したい理由	112
5. 介護保険制度について	113
(1) 介護保険サービスの満足度	113
(2) 介護保険料の負担感	113
(3) 介護サービスと介護保険料に対する考え	114
(4) 介護サービス利用費用のお知らせの内容確認状況	114
(5) 区が注力していくべきと思うもの	115
(6) コロナ禍以前との生活の変化	116
6. 主な介護者について	117
(1) 主な介護者の性別	117
(2) 主な介護者の年齢	118
(3) 対象者との続柄	119
(4) 同居の状況	119
(5) 介護の時間帯	120
(6) 介護をしている年数	120
(7) 介護や家事以外に行っていること	121
(8) 子どもの年齢	122
(9) 介護休暇制度などの利用状況	123
(10) 就労と介護の両立	124
(11) 主な介護者以外の介護者の有無	126
(12) 介護保険サービスによる介護負担の軽減感	127
(13) 主な介護者からみる介護保険サービスの満足度	128
(14) 主な介護者の相談先	129
(15) 主な介護者が必要とするサービス	130
(16) 最近6か月の間の主な介護者と対象者との衝突	131
(17) 在宅介護の継続	132
7. 社会的孤立の状況について	133
8. 経年比較	134

(1) 家族構成	134
(2) 介護保険サービスの利用状況	135
(3) 居住先の介護を受けながらの生活に対する適正の有無	136
(4) 主な介護者の年齢	137
(5) 対象者との続柄	137
(6) 主な介護者以外の介護者の有無	138
(7) 在宅介護の継続	139
9. 自由意見	140

第4章 在宅介護実態調査結果 143

(1) 世帯類型	145
(2) 介護の頻度	145
(3) 主な介護者	146
(4) 主な介護者の性別	146
(5) 介護を理由とした退職状況	147
(6) 施設等への入所・入居の検討状況	148
(7) 主な介護者の勤務形態	149
(8) 介護と就労の両立	151

第5章 特別養護老人ホーム入所希望者実態調査結果 153

1. 対象者の属性	155
(1) 性別	155
(2) 年齢	155
(3) 要介護度	156
(4) 区の第一次評価	156
(5) 入所申込をしてからの期間	157
(6) 居住先	158
(7) 同居形態	159
2. 入所に関わる意識・状態について	160
(1) 入所希望時期	160
(2) 入所費用	162
(3) 入所申込をした理由	163
(4) 入所可能連絡の有無	165
(5) 入所できなかった理由	166
(6) 希望する施設形態	168
(7) 多床室を選んだ理由	170

(8) ユニット型個室を選んだ理由	170
(9) 医療的処置の有無	171
(10) 具体的な医療処置	172
(11) 希望する入所場所	173
(12) 入所判断を行う上で重視してほしい点	174
3. 主な介護者について	175
(1) 主な介護者の性別	175
(2) 主な介護者の年齢	175
(3) 主な介護者の就労状況	176
(4) 働いていない理由	177
(5) 就労と介護の両立	178

第6章 居宅介護支援事業所実態調査結果 179

1. 事業所に関するデータ	181
(1) 介護支援専門員の人数	181
(2) 主任介護支援専門員の人数	181
2. 利用者に関するデータ	182
(1) 利用人数	182
(2) 介護度別の利用者人数	183
(3) 利用している介護保険サービスの種類	184
3. 地域密着型サービスに関するデータ	185
(1) 地域密着型サービスを勧めた経験	185
(2) サービスに繋がった人数と繋がらなかった理由	186
4. 在宅生活に関するデータ	187
(1) 在宅生活を続けていくうえで必要だと思うサービス	187
(2) 在宅生活を続けていくうえで、区内全域で不足していると思うサービス	188
(3) 在宅生活を続けていくうえで、サービス利用範囲内で不足していると思うサービス	189
5. 介護保険サービスに関するデータ	191
(1) 相談や利用希望が多いサービスと充足しているサービス	191
6. 特別養護老人ホームに関するデータ	192
(1) 特別養護老人ホームの入所を勧めたことの有無	192
(2) 特養を勧めた理由	193
7. その他	194
(1) B C P（業務継続計画）の作成状況	194
(2) 作成済みの B C P（業務継続計画）	194

第7章 介護人材実態調査結果（1）施設系・通所系 195

- (1) 該当するサービス種別 197
- (2) 介護職員の人数 198
- (3) 開設時期 201
- (4) 過去1年間の採用者数と離職者数 202
- (5) 採用者・離職者の年代別について 203
- (6) B C P（業務継続計画）の作成状況 204
- (7) 作成済みのB C P（業務継続計画） 205
- (8) 所属介護職員について 206

介護人材実態調査結果（2）訪問系 215

- (1) 該当するサービス種別 217
- (2) 介護職員の人数 217
- (3) 開設時期 219
- (4) 過去1年間の採用者数と離職者数 220
- (5) 採用者・離職者の年代別について 221
- (6) B C P（業務継続計画）の作成状況 222
- (7) 作成済みのB C P（業務継続計画） 222

資料 調査票 223

第 1 章 調査の概要

1. 調査実施の目的

令和5年度策定予定の「(仮称) 杉並区高齢者施策推進計画(杉並区高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画)」及び「杉並区特別養護老人ホーム等整備方針」の基礎資料とすることを目的として、高齢者の方の生活実態と意向を把握する調査を実施しました。

2. 調査の種類

調査名	調査対象
ア. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	①要支援・要介護認定以外の65歳以上の区民から7地域別※に無作為抽出した2,500名 ②要支援1・2の65歳以上の区民から7地域別※に無作為抽出した2,500名 計5,000名
イ. 要介護認定者に関する実態調査	要介護認定を受けている区民から7地域別※に無作為抽出した2,500名
ウ. 在宅介護実態調査	介護保険の認定更新申請及び区分変更申請の区民623名
エ. 特別養護老人ホーム入所希望者実態調査	令和4年6月末時点で特別養護老人ホーム入所申込書を提出している634名
オ. 居宅介護支援事業所実態調査	区内の139事業所
カ. 介護人材実態調査	区内の施設系141事業所 区内の通所系157事業所 区内の訪問系243事業所

※7地域別の区分については、「4. 地域区分」を参照

3. 調査方法と回収状況

調査名	調査対象	調査期間
ア. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	郵送による アンケート調査	令和4年10月14日(金)～ 11月4日(金)
イ. 要介護認定者に関する実態調査	郵送による アンケート調査	令和4年9月16日(金)～ 10月7日(金)
ウ. 在宅介護実態調査	認定調査員による 聞き取り調査	令和4年6月16日(木)～ 9月24日(土)
エ. 特別養護老人ホーム入所希望者実態調査	郵送による アンケート調査	令和4年7月27日(水)～ 8月17日(水)
オ. 居宅介護支援事業所実態調査	郵送による アンケート調査	令和4年9月16日(金)～ 10月7日(金)
カ. 介護人材実態調査	郵送による アンケート調査	令和4年9月16日(金)～ 10月7日(金)

〈回収状況〉

調査名	発送数	有効回答数	有効回答率
ア. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	5,000件	3,354件	67.1%
	(要支援・要介護認定以外)		
	2,500件	1,661件	66.4%
	(要支援1・2)		
	2,500件	1,690件	67.6%
イ. 要介護認定者に関する実態調査	2,500件	1,471件	58.8%
ウ. 在宅介護実態調査	(聞き取り件数) 623件	623件	100.0%
エ. 特別養護老人ホーム入所希望者実態調査	634件	382件	60.3%
オ. 居宅介護支援事業所実態調査	139件	95件	68.3%
カ. 介護人材実態調査	(施設系・通所系)		
	298件	142件	47.7%
	(訪問系)		
	243件	142件	58.4%

4. 地域区分

本調査で用いた地域区分は以下の7区域です。



地域名	地域の説明
井草地域	西武新宿線沿線の上井草駅、井荻駅、下井草駅の3駅を中心とした地域
西荻地域	JR中央線の西荻窪駅を中心とした地域
荻窪地域	JR中央線の荻窪駅を中心とした地域
阿佐谷地域	JR中央線の阿佐ヶ谷駅を中心とした地域
高円寺地域	JR中央線の高円寺駅を中心とした地域
高井戸地域	京王井の頭線の久我山駅、富士見ヶ丘駅、高井戸駅、浜田山駅の4駅を中心とした地域
方南・和泉地域	京王井の頭線の西永福駅、永福町駅の2駅と地下鉄丸ノ内線の方南町駅を中心とした地域

5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しました。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ設問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合があります。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい設問）においては、%の合計が100%を超える場合があります。
- ・クロス集計で示している表、グラフの「n」は無回答を除いているため、全体の「n」と合致しない場合があります。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合があります。

第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

1. 対象者の属性

(1) 介護保険認定の状況及び性別

本調査は、令和4年10月1日現在、杉並区にお住まいの65歳以上の方5,000人（介護保険認定なし2,500人、要支援1・2認定あり2,500人）を対象に行いました。

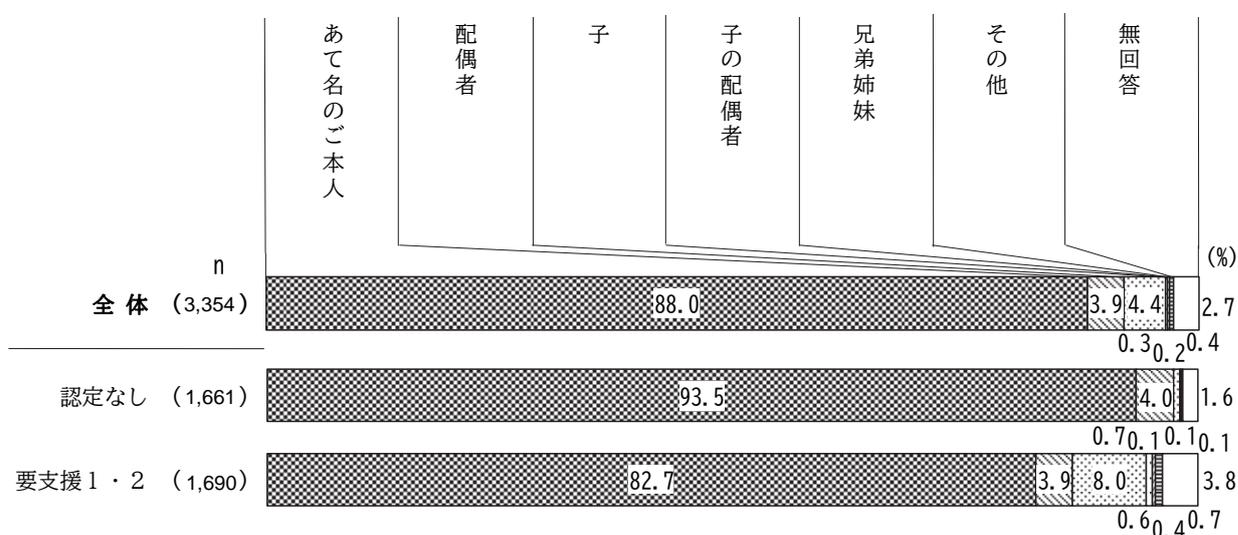
図表1-1 介護保険認定の状況及び性別

			構成			
			男性	女性	どちらとは言えない	性別不明
全体	3,354人	100.0%	1,253人	2,050人	1人	50人
介護保険認定なし	1,661人	49.5%	732人	912人	1人	16人
介護保険要支援1・2認定あり	1,690人	50.4%	518人	1,138人	-	34人
認定の有無不明	3人	0.1%	3人	-	-	-

(2) 調査票の記入者

問1 調査票を記入される方は、どなたですか。封筒のあて名のご本人からみた関係でご回答ください。2人以上で記入される場合は主に記入される方をご記入ください。（○は1つ）

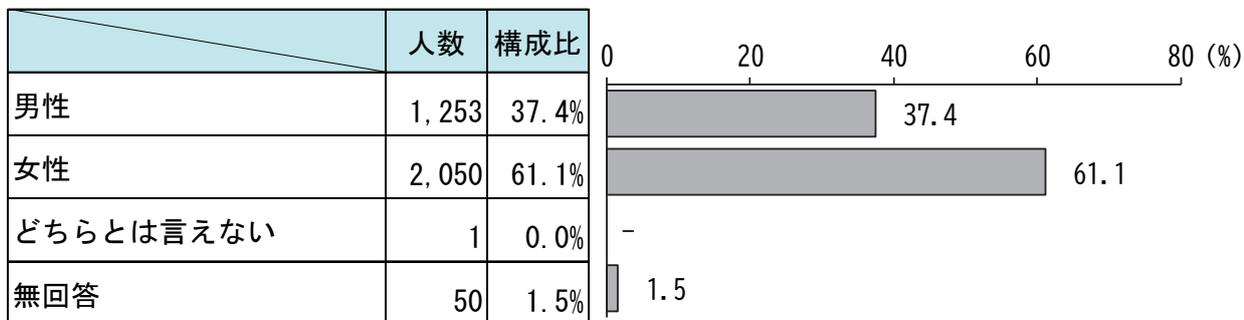
図表1-2 調査票の記入者



(3) 性別

問2 あなた（封筒のあて名ご本人）の性別を教えてください。（○は1つ）

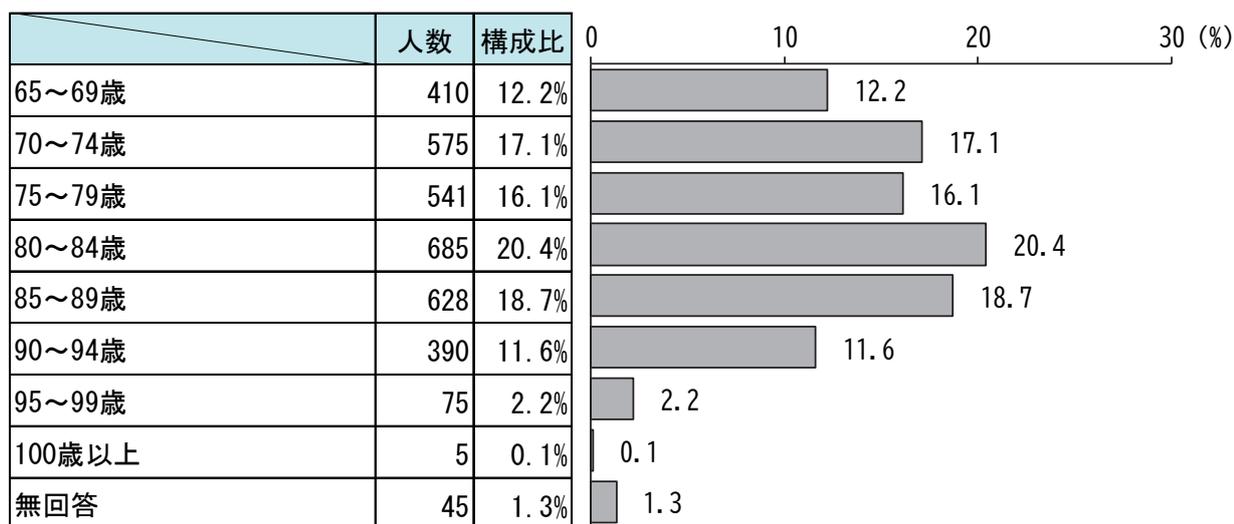
図表1-3 性別



(4) 年齢

問3 あなたの年齢を教えてください。（○は1つ）

図表1-4 年齢



2. 家族や生活の状況について

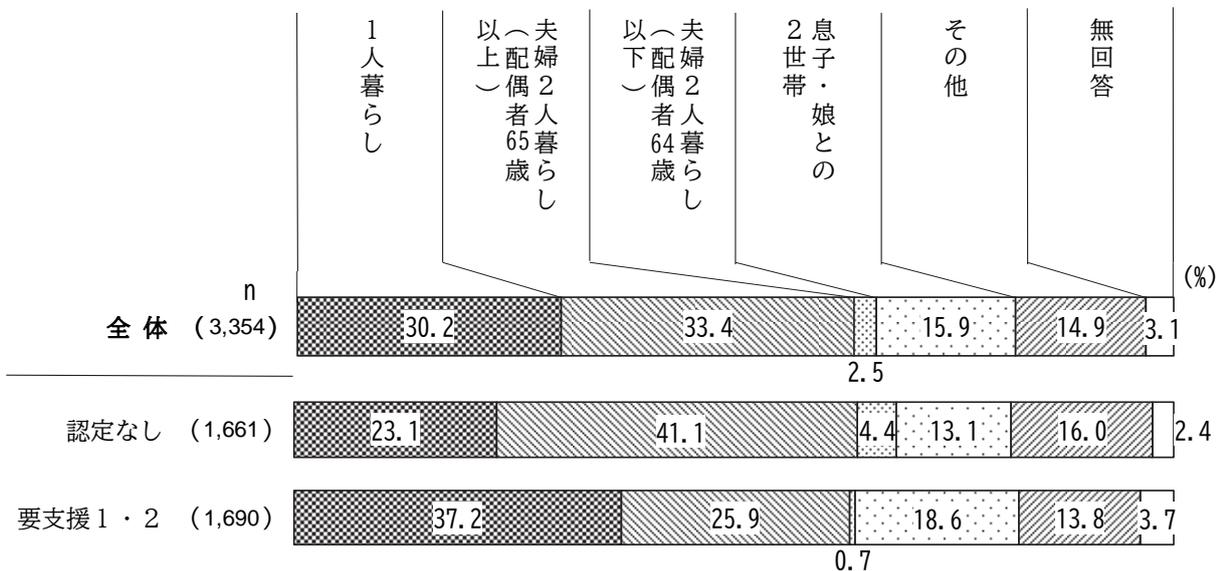
(1) 家族構成

問4 あなたのご家族や生活状況についてお伺いします。

問4 (1) 家族構成を教えてください。(○は1つ)

家族構成としては「夫婦2人暮らし(配偶者は65歳以上)」が33.4%、「1人暮らし」が30.2%、「息子・娘との2世帯」が15.9%などとなっています。(図表2-1)

図表2-1 家族構成

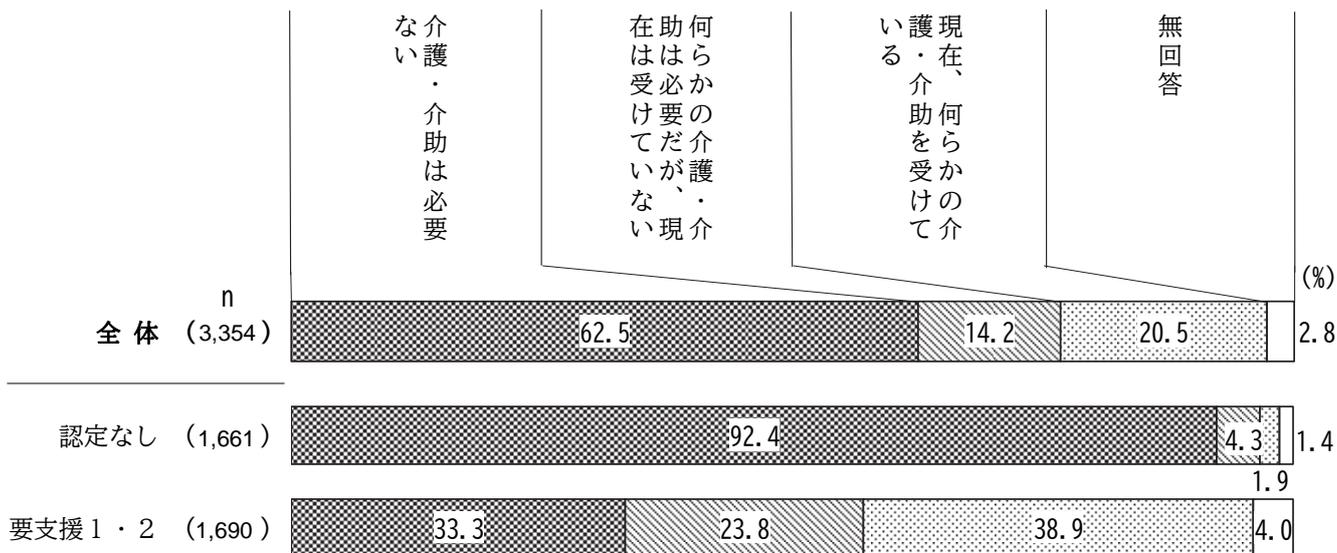


(2) 介護・介助の必要性

問4 (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

介護・介助の必要性としては、全体で「介護・介助は必要ない」が62.5%ですが、“認定なし”では92.4%となっています。(図表2-2)

図表2-2 介護・介助の必要性



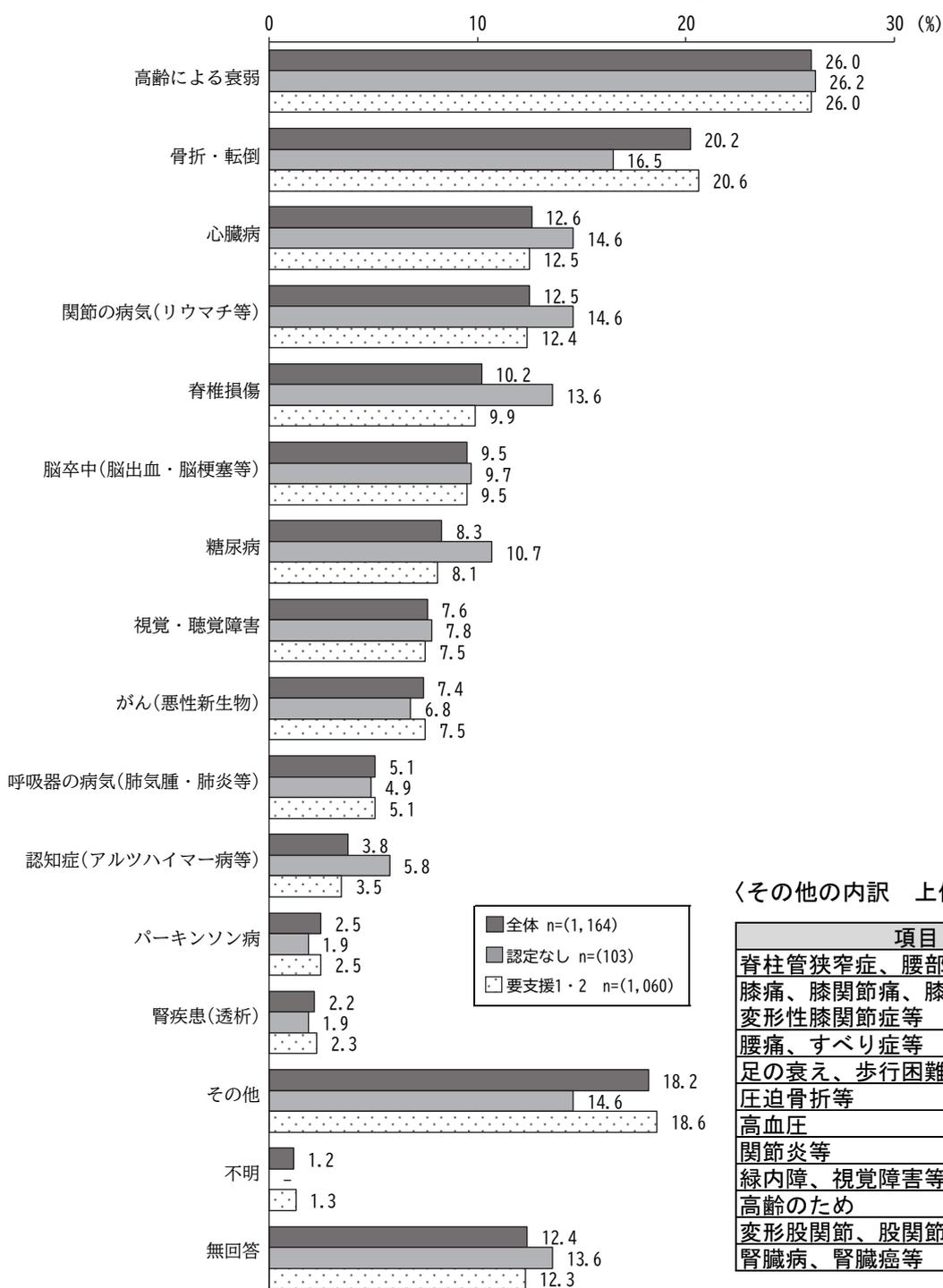
(3) 介護・介助が必要になった原因

【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方にお伺いします。】

問4(2)-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

介護・介助が必要になった主な原因としては「高齢による衰弱」が26.0%で最も多く、以下「骨折・転倒」(20.2%)、「心臓病」(12.6%)、「関節の病気(リウマチ等)」(12.5%)の順となっています。(図表2-3)

図表2-3 介護・介助が必要になった原因



〈その他の内訳 上位11項目(複数回答)〉

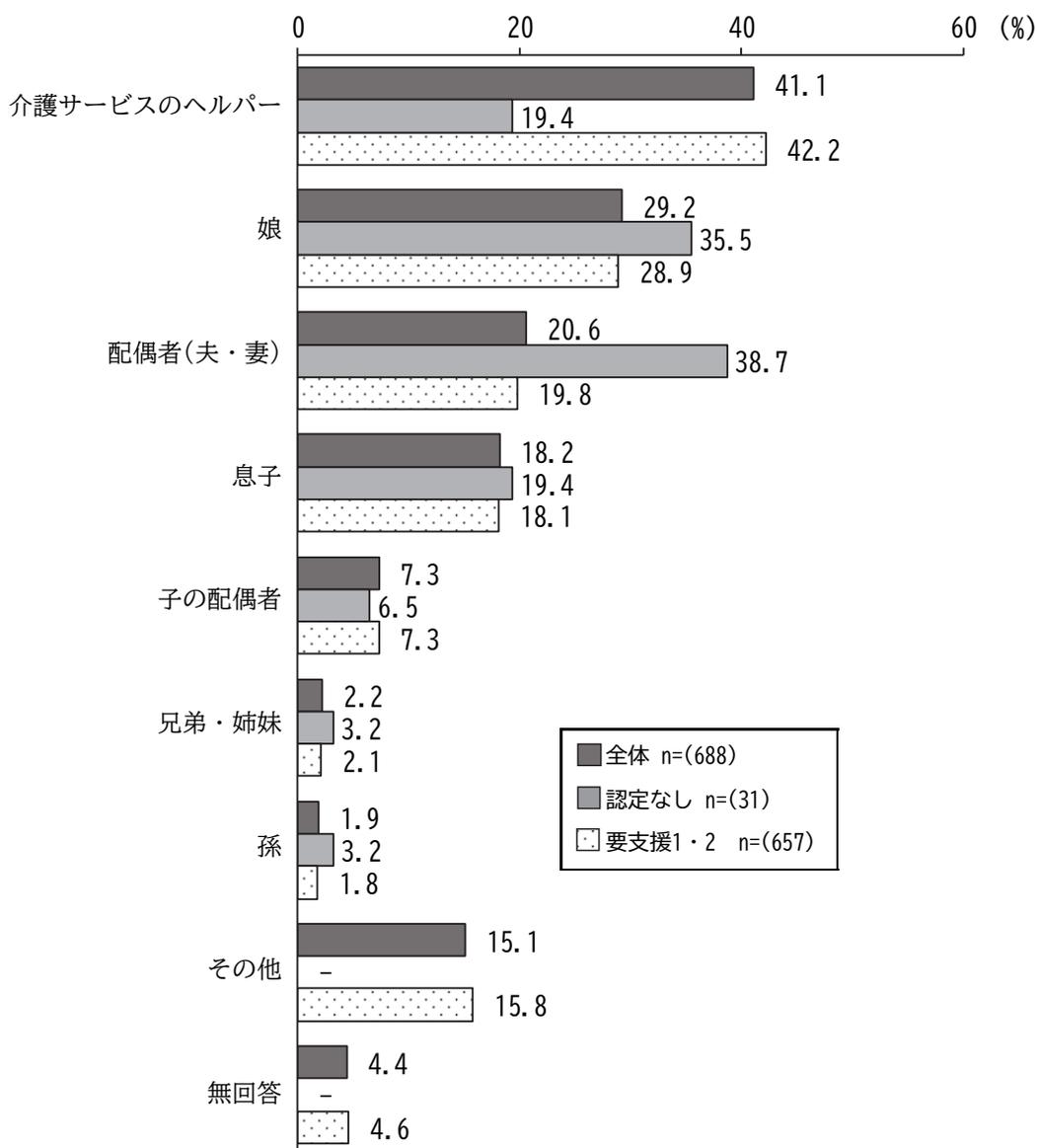
項目	件数
脊柱管狭窄症、腰部脊柱管狭窄症	33
膝痛、膝関節痛、膝関節炎、変形性膝関節症等	28
腰痛、すべり症等	21
足の衰え、歩行困難	16
圧迫骨折等	9
高血圧	6
関節炎等	6
緑内障、視覚障害等	5
高齢のため	5
変形股関節、股関節手術等	5
腎臓病、腎臓癌等	5

(4) 主な介護者

【「3. 現在、何らかの介護・介助を受けている」を選んだ方にお伺いします。】
 問4(2) - 2 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

主な介護者としては「介護サービスのヘルパー」が41.1%で最も多く、以下「娘」(29.2%)、「配偶者(夫・妻)」(20.6%)、「息子」(18.2%)の順となっています。(図表2-4)

図表2-4 主な介護者

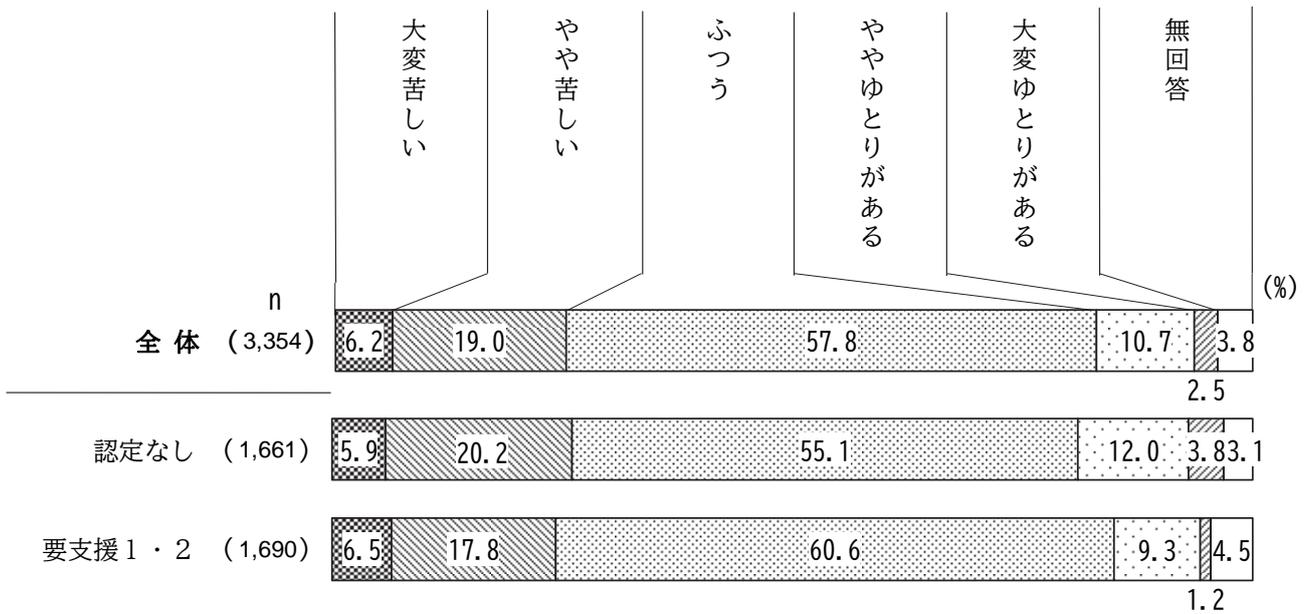


(5) 経済的にみた暮らしの状況

問4 (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ)

経済的にみた暮らしの状況としては「ふつう」(57.8%)が最も多くなっています。(図表2-5)

図表2-5 経済的にみた暮らしの状況

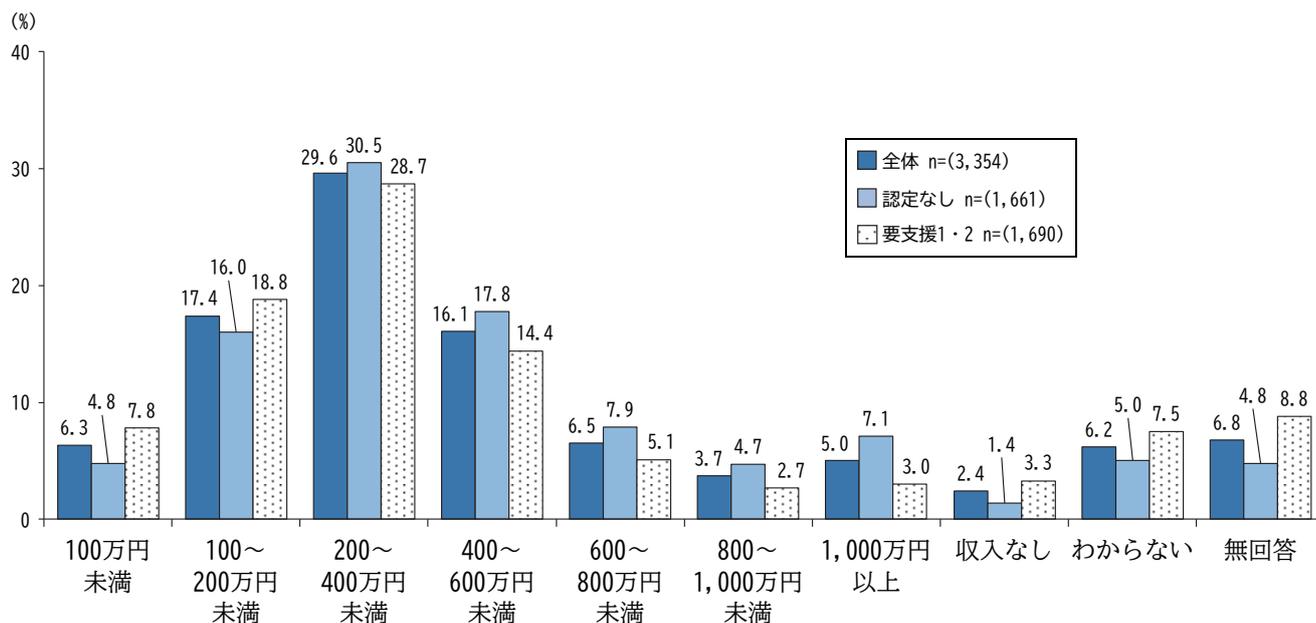


(6) 昨年1年間の世帯収入

問4 (4) 昨年1年間の世帯(同居するご家族すべてを含む)の収入はどのくらいでしたか。
(○は1つ)

昨年1年間の世帯収入としては「200～400万円未満」が29.6%で最も多く、以下「100～200万円未満」(17.4%)、「400～600万円未満」(16.1%)の順となっています。(図表2-6)

図表2-6 去年1年間の世帯収入

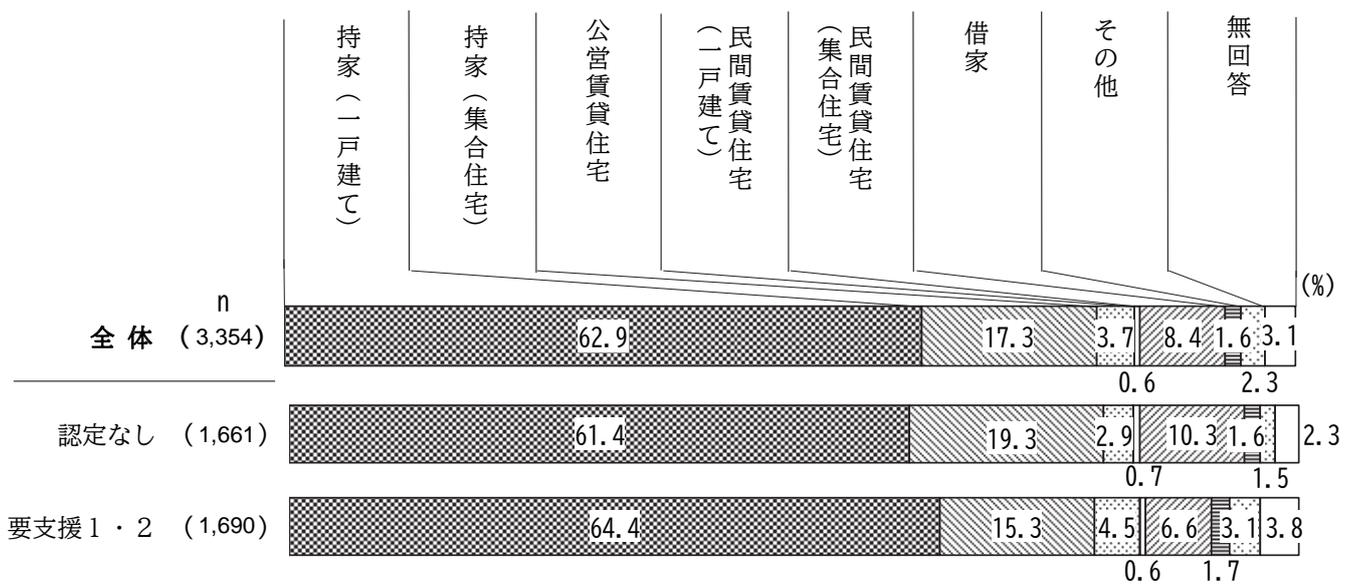


(7) 居住形態

問4 (5) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(〇は1つ)

居住形態としては「持家(一戸建て)」が62.9%を占めており、以下「持家(集合住宅)」が17.3%、「民間賃貸住宅(集合住宅)」が8.4%の順になっています。(図表2-7)

図表2-7 居住形態

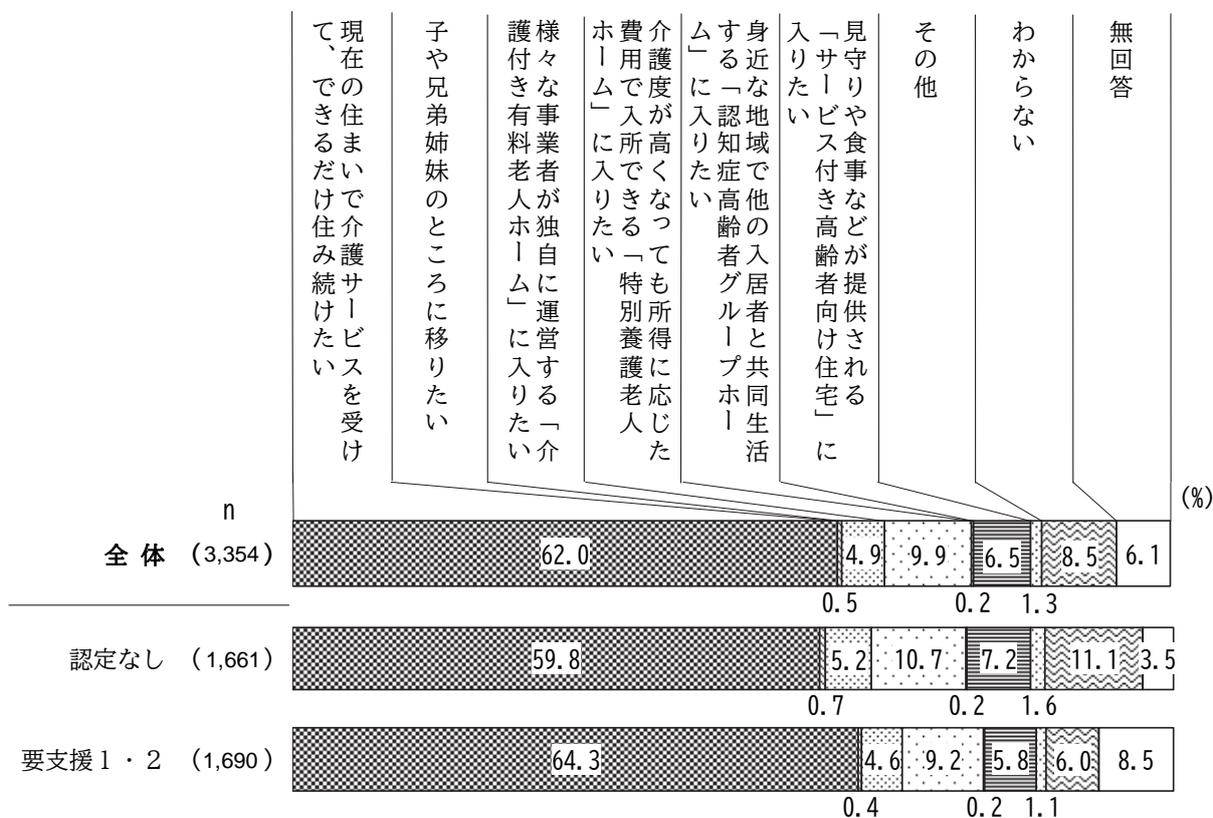


(8) 希望(理想)の居住形態

問4(6) 介護が必要になった場合に希望する(今、介護を受けている方は理想だと思う)居住形態について一番近いものはどれですか。(〇は1つ)

希望の居住形態としては「現在の住まいで介護サービスを受けて、できるだけ住み続けたい」が62.0%を占めており、「介護度が高くなっても所得に応じた費用で入所できる「特別養護老人ホーム」に入りたい」が9.9%、「見守りや食事などが提供される「サービス付き高齢者向け住宅」に入りたい」が6.5%になっています。(図表2-8)

図表2-8 希望(理想)の居住形態



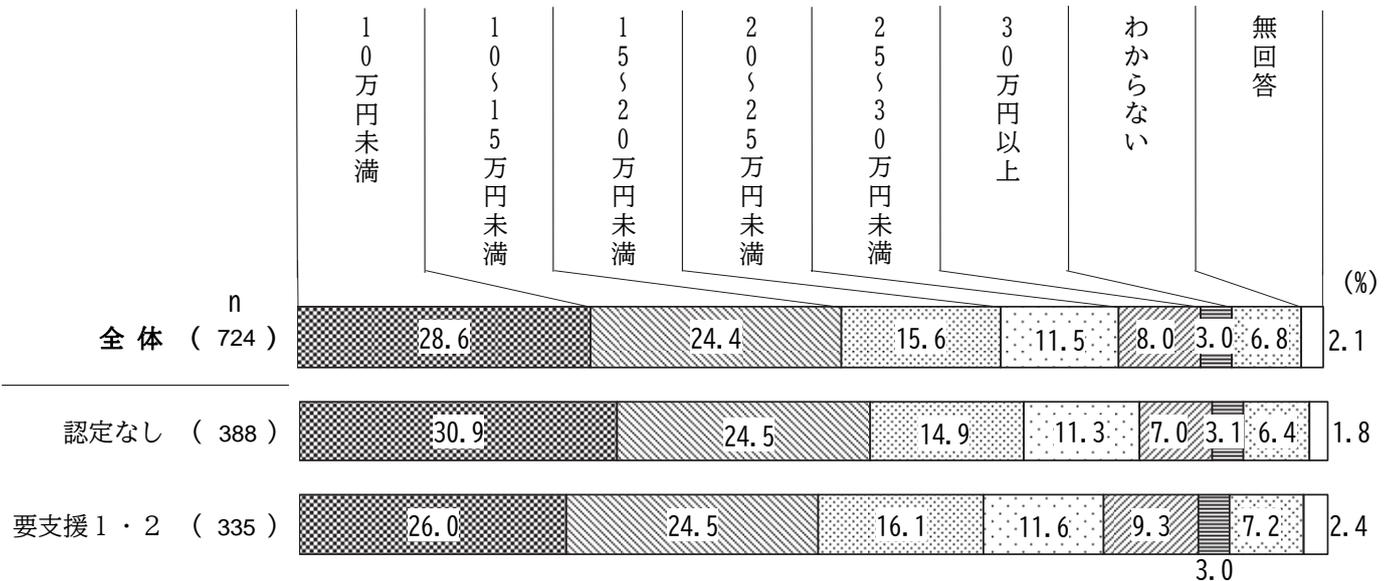
(9) 家賃・介護費用の負担可能額

【(6)で「3. 様々な事業者が独自に運営する「介護付き有料老人ホーム」に入りたい」、「4. 介護度が高くなっても所得に応じた費用で入所できる「特別養護老人ホーム」に入りたい」、「5. 身近な地域で他の入居者と共同生活する「認知症高齢者グループホーム」に入りたい」、「6. 見守りや食事などが提供される「サービス付き高齢者向け住宅」に入りたい」を選んだ方にお伺いします。】

問4(6)-1 家賃・介護費用など、一月いくらまで負担可能ですか。(〇は1つ)

家賃・介護費用の負担可能額としては「10万円未満」が28.6%で最も多く、以下「10～15万円未満」が24.4%、「15～20万円未満」が15.6%の順になっています。(図表2-9)

図表2-9 家賃・介護費用の負担可能額



3. からだを動かすことについて

(1) からだを動かすこと

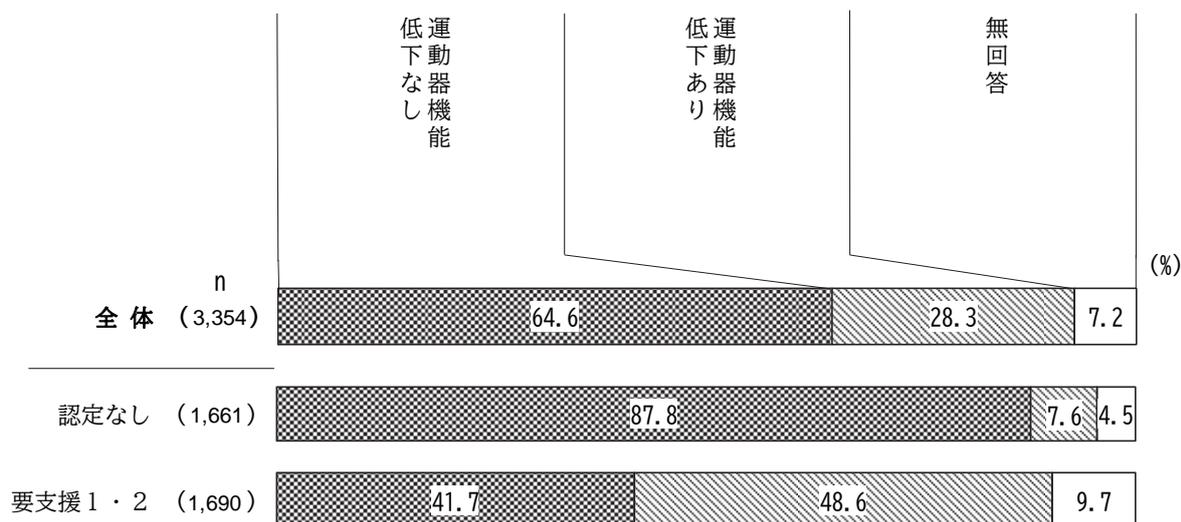
問5 からだを動かすことについてお伺いします。次の(1)～(7)の全ての項目について、あてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

設問項目	選択肢
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない
(3) 15分位続けて歩いていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか	1 何度もある 2 1度ある 3 ない
(5) 転倒に対する不安は大きいですか	1 とても不安である 2 やや不安である 3 あまり不安でない 4 不安でない
(6) 週に1回以上は外出していますか	1 ほとんど外出しない 2 週1回 3 週2～4回 4 週5回以上
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1 とても減っている 2 減っている 3 あまり減っていない 4 減っていない

からだを動かすことについて、全7項目をうかがいました。

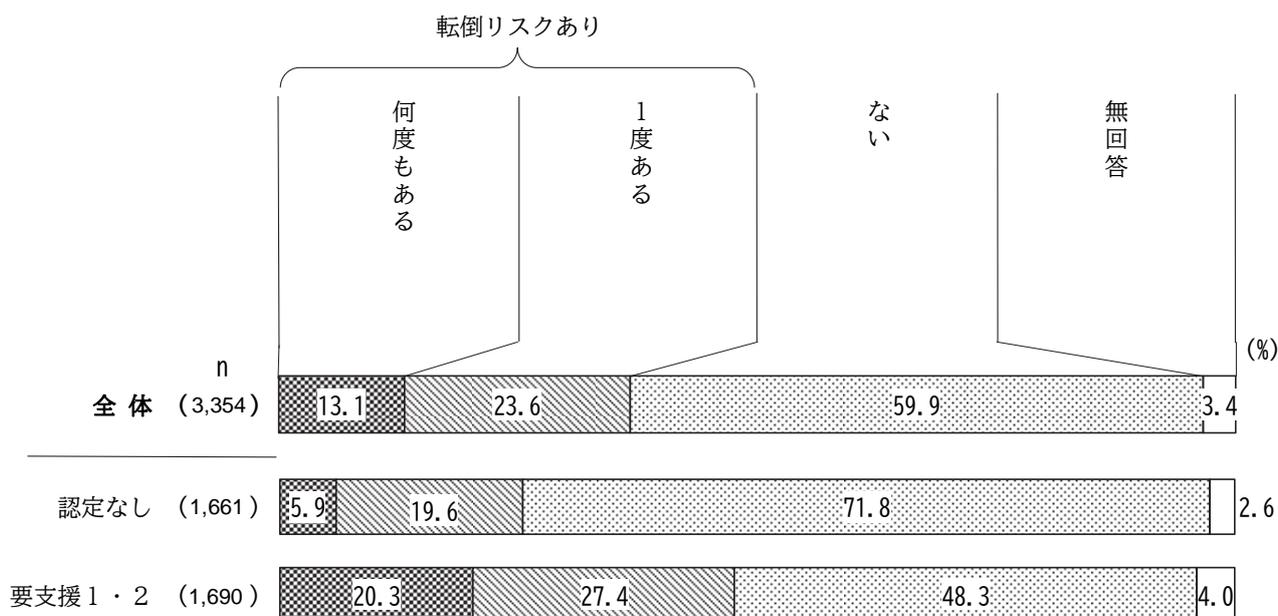
(1)～(5)の設問で、それぞれの該当選択肢を計3つ以上回答した場合は、運動器機能が低下している目安となります。※「運動器機能低下なし」は28.3%、「運動器機能低下あり」が64.6%でした。(図表3-1)

図表3-1 運動器機能低下の有無



(4)について「何度もある」(13.1%)または「1度ある」(23.6%)を回答した場合は、転倒リスクがあるという目安となり※全体の36.7%となります。(図表3-2)

図表3-2 (4) 過去1年間で転んだ経験

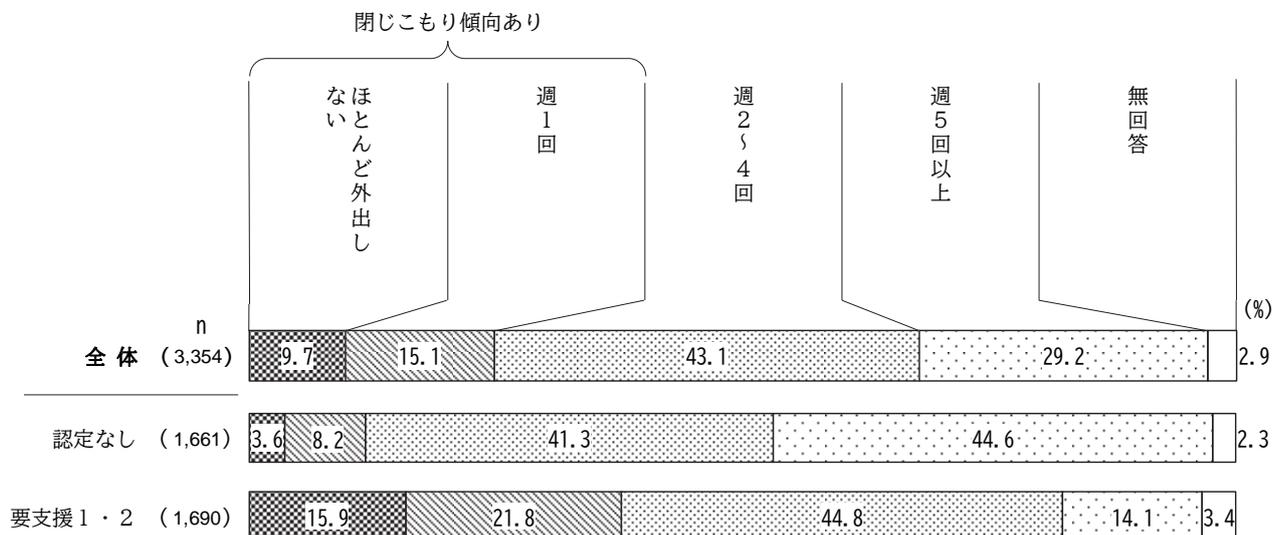


※「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き／厚生労働省」より

第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

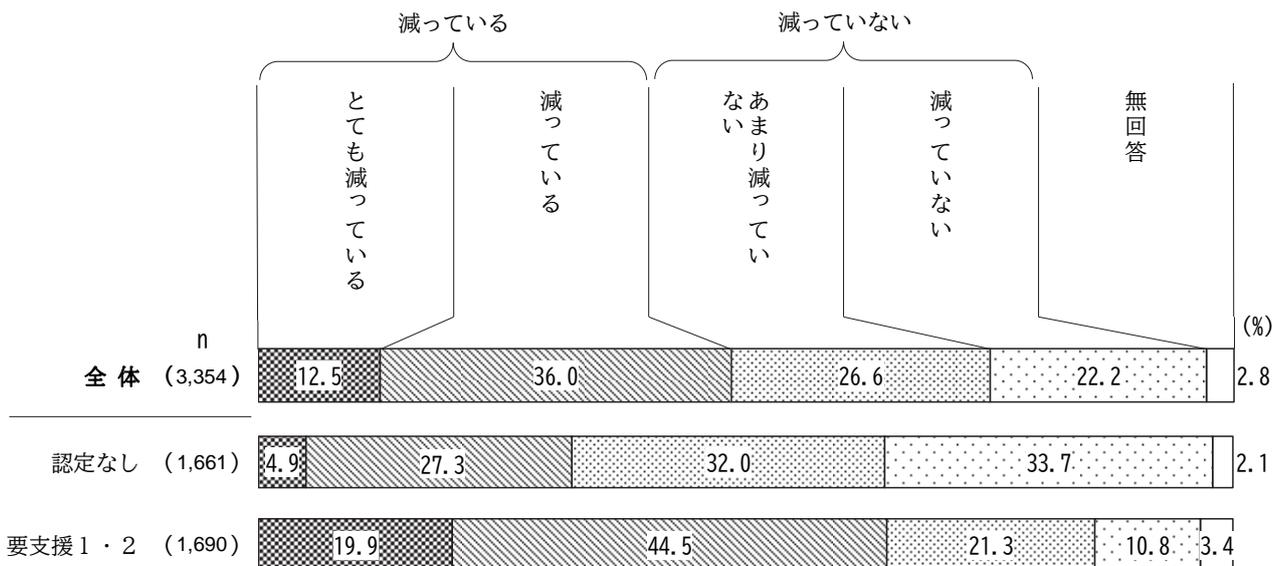
(6) について「ほとんど外出しない」(9.7%) または「週1回」(15.1%) を回答した場合は、閉じこもり傾向があるという目安となり※全体の24.8%となっています。(図表3-3)

図表3-3 (6) 週に1回以上の外出



(7) について「とても減っている」(12.5%) と「減っている」(36.0%) を合わせた『減っている』は48.5%となっています。「あまり減っていない」(26.6%) と「減っていない」(22.2%) を合わせた『減っていない』は48.8%となっています。(図表3-4)

図表3-4 (7) 去年と比較した外出の回数

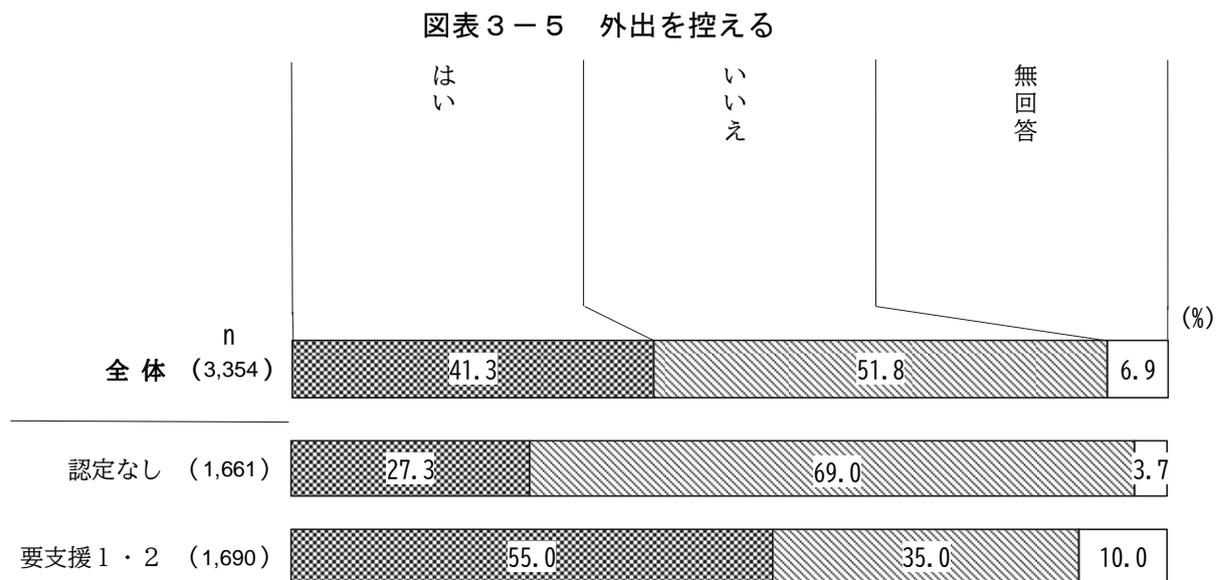


※「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き／厚生労働省」より

(2) 外出を控える

問5 (8) 外出を控えていますか。(○は1つ)

外出を控えているかについては、全体では「はい」が41.3%、「認定なし」では「はい」が27.3%となっています。(図表3-5)



(3) 外出を控えている理由

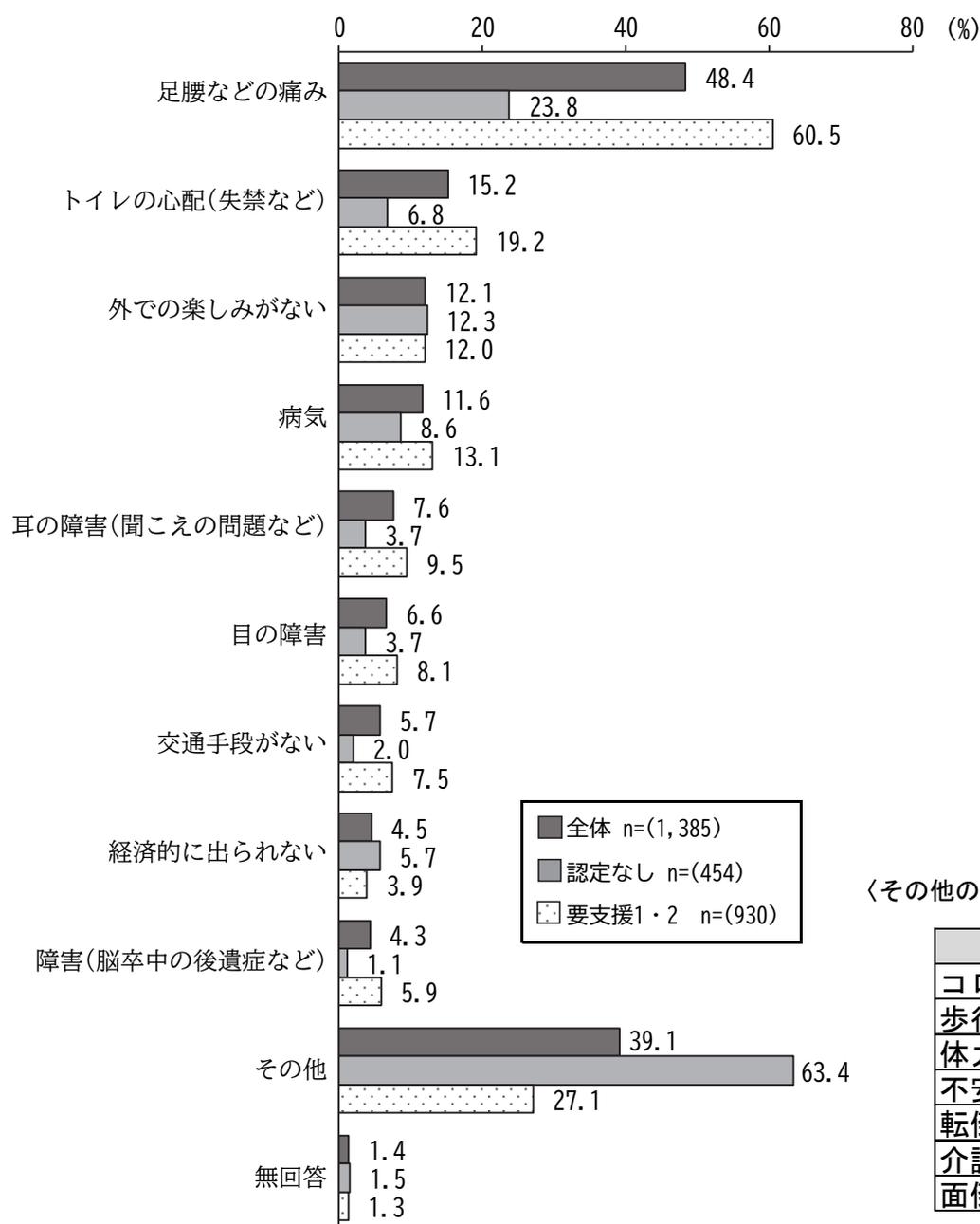
【(8)で「1. はい」(外出を控えている)を選んだ方にお伺いします。】

問5(8)-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

外出を控えている理由としては、「足腰などの痛み」が48.4%で最も多く、以下「トイレの心配(失禁など)」(15.2%)、「外での楽しみがない」(12.1%)の順となっています。

また、“認定なし”では「その他」が63.4%と最も多く、全体でも「その他」と回答した人のほとんどが具体的な理由に「コロナ」を挙げています。(図表3-6)

図表3-6 外出を控えている理由



〈その他の内訳 上位7項目(複数回答)〉

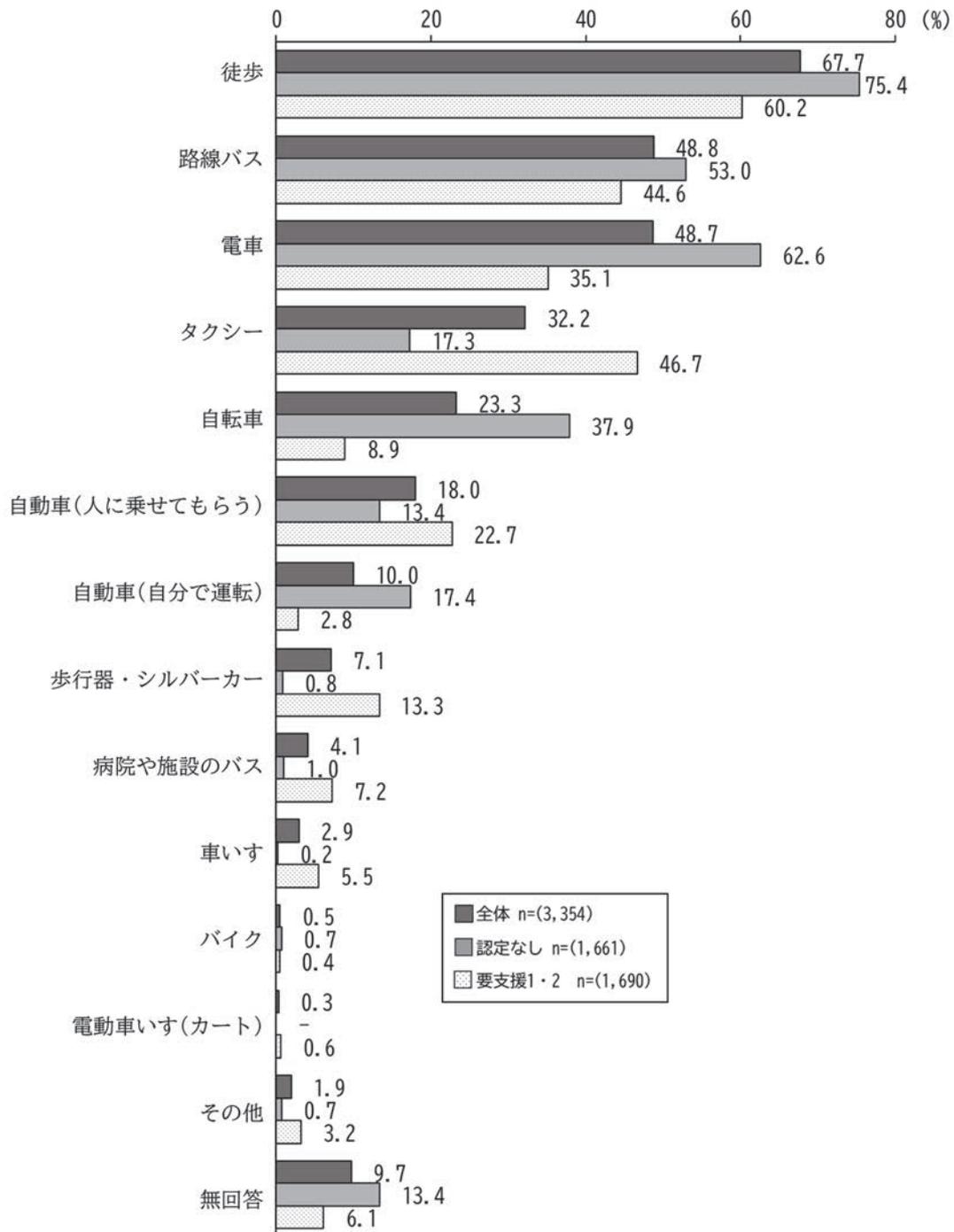
項目	件数
コロナ	402
歩行困難	29
体力がない	19
不安がある	17
転倒が心配	16
介護のため	11
面倒	11

(4) 外出する際の移動手段

問5 (9) 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

外出する際の移動手段としては、「徒歩」が67.7%で最も多く、以下「路線バス」(48.8%)、「電車」(48.7%)、「タクシー」(32.2%)、「自転車」(23.3%)の順となっています。(図表3-7)

図表3-7 外出する際の移動手段



4. 食べることについて

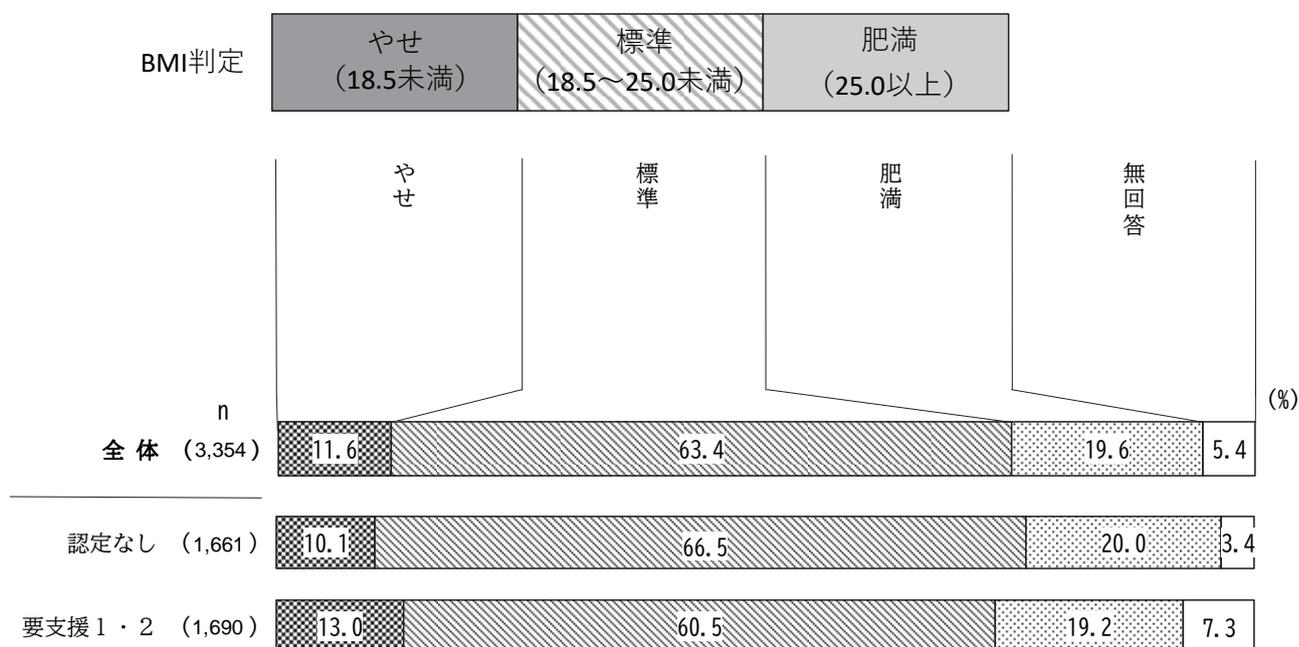
(1) 身長・体重について (BMI※)

問6 食べることについてお伺いします。

問6 (1) 身長・体重をご記入ください。(整数でお答えください)

身長・体重から算出したBMIをみると、「標準」が63.4%、「肥満」が19.6%、「やせ」が11.6%となっています。(図表4-1)

図表4-1 BMI



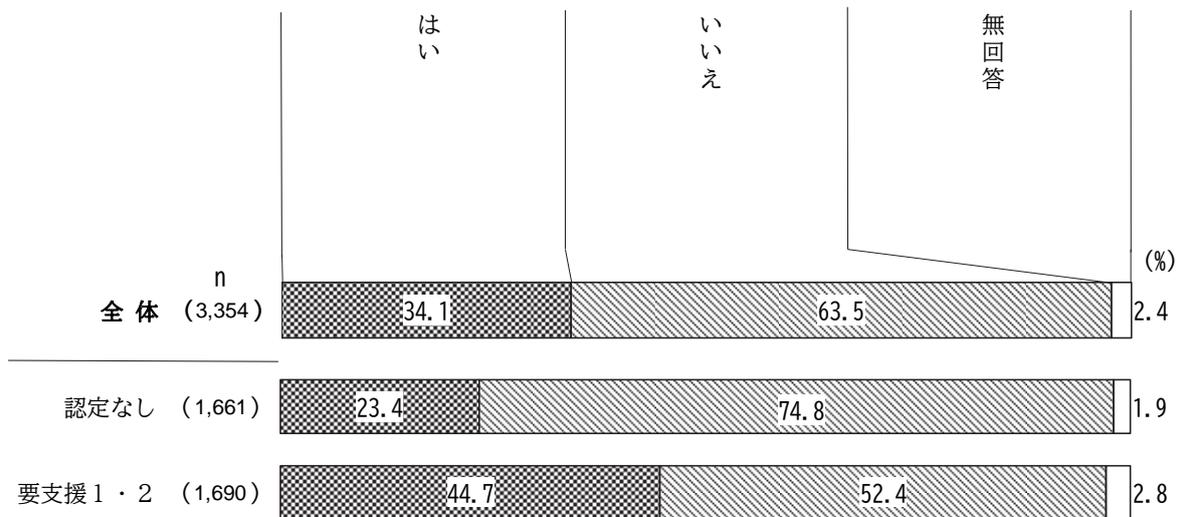
※BMI = [体重 (kg)] ÷ [身長 (m) の2乗]

(2) 半年前と比較した固いものの食べにくさ

問6 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

半年前と比較して固いものが食べにくくなっているかをきいたところ、「はい」が34.1%、「いいえ」が63.5%となっています。(図表4-2)

図表4-2 半年前と比較した固いものの食べにくさについて

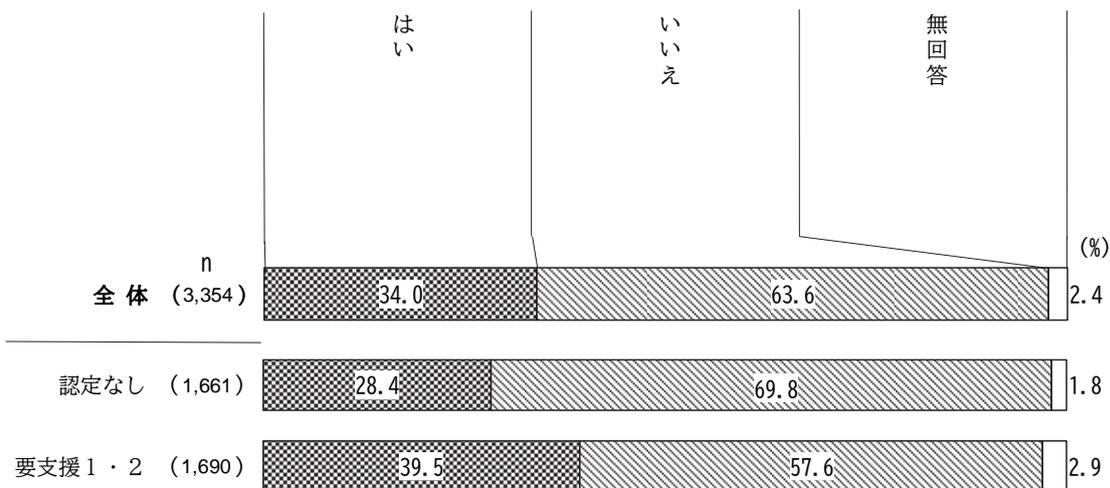


(3) お茶や汁物等でむせることがあるか

問6 (3) お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

お茶や汁物等でむせることがあるかをきいたところ、「はい」が34.0%、「いいえ」が63.6%となっています。(図表4-3)

図表4-3 お茶や汁物等でむせることがあるかについて

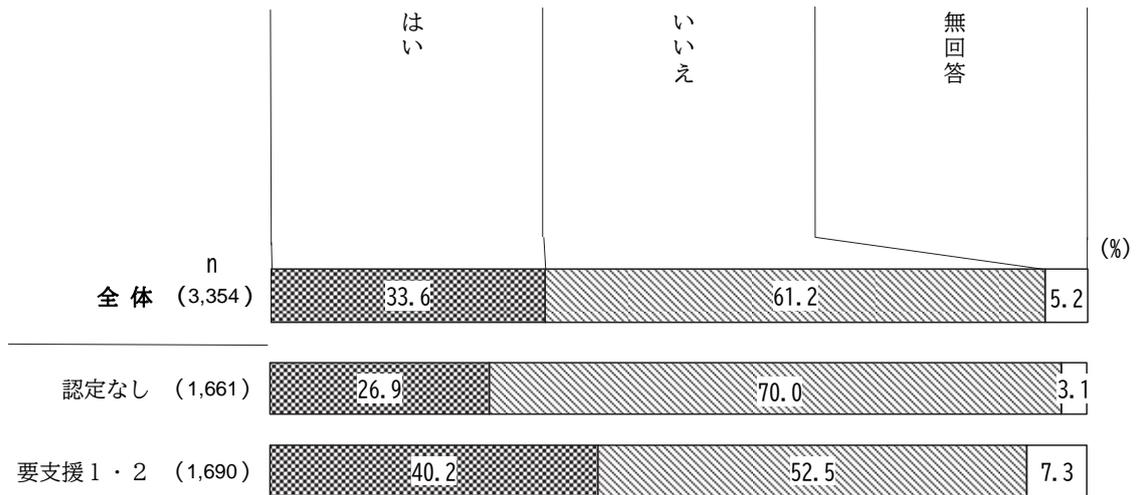


(4) 口の渇きについて

問6 (4) 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

口の渇きが気になるかをきいたところ、「はい」が33.6%、「いいえ」が61.2%となっています。(図表4-4)

図表4-4 口の渇きについて



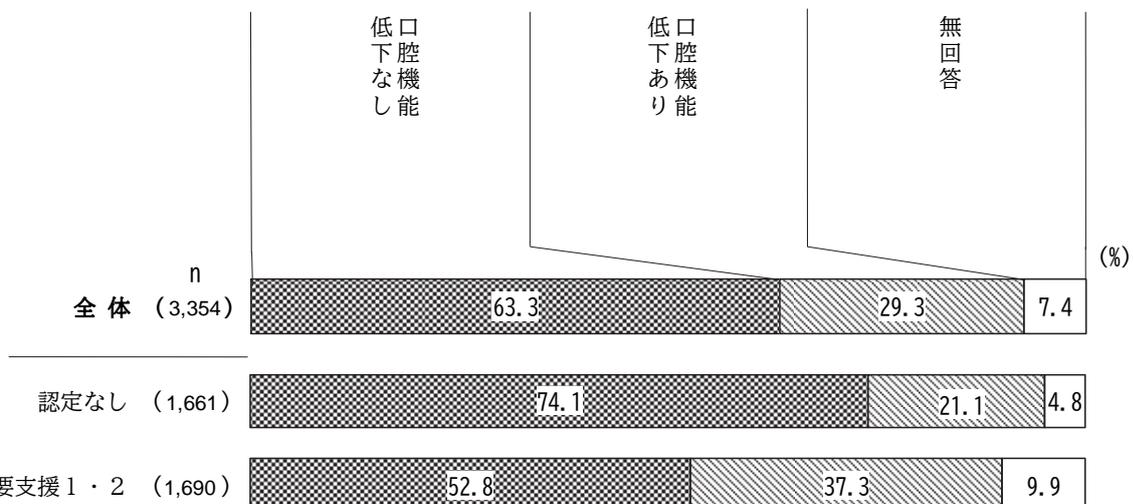
問6 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(はい→1点)

問6 (3) お茶や汁物等でむせることがありますか。(はい→1点)

問6 (4) 口の渇きが気になりますか。(はい→1点)

上記3問中、2問以上該当で「口腔機能が低下している目安となります。※「口腔機能低下なし」は63.3%、「口腔機能低下あり」が29.3%でした。(図表4-5)

図表4-5 口腔機能について



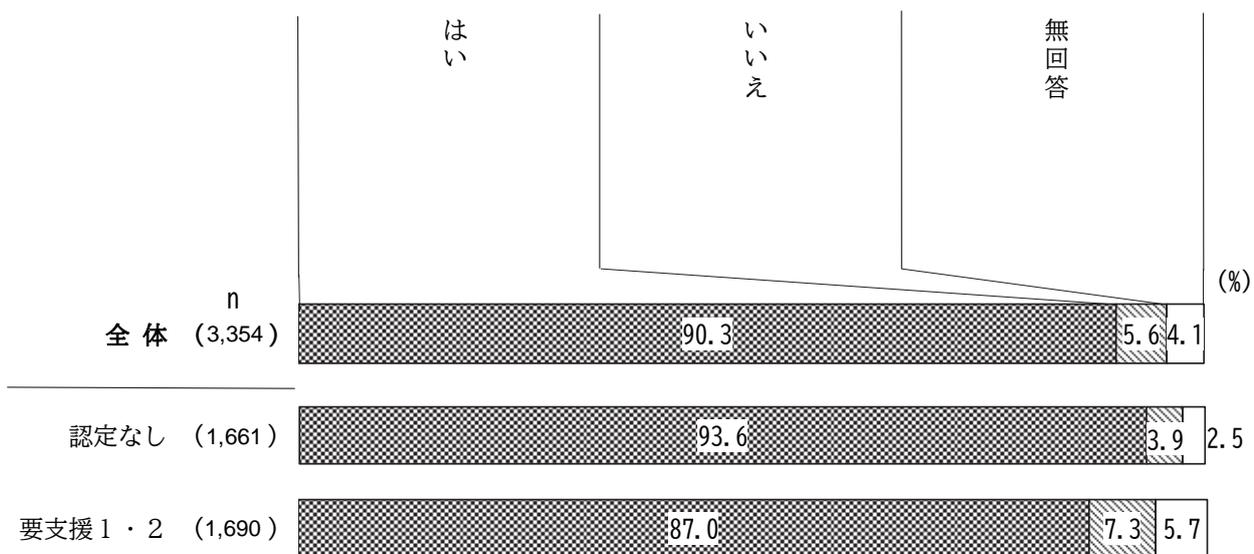
※「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き／厚生労働省」より

(5) 毎日の歯磨き

問6 (5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（○は1つ）

毎日の歯磨きについてきいたところ、「はい」が90.3%、「いいえ」が5.6%となっています。（図表4-6）

図表4-6 毎日の歯磨きについて

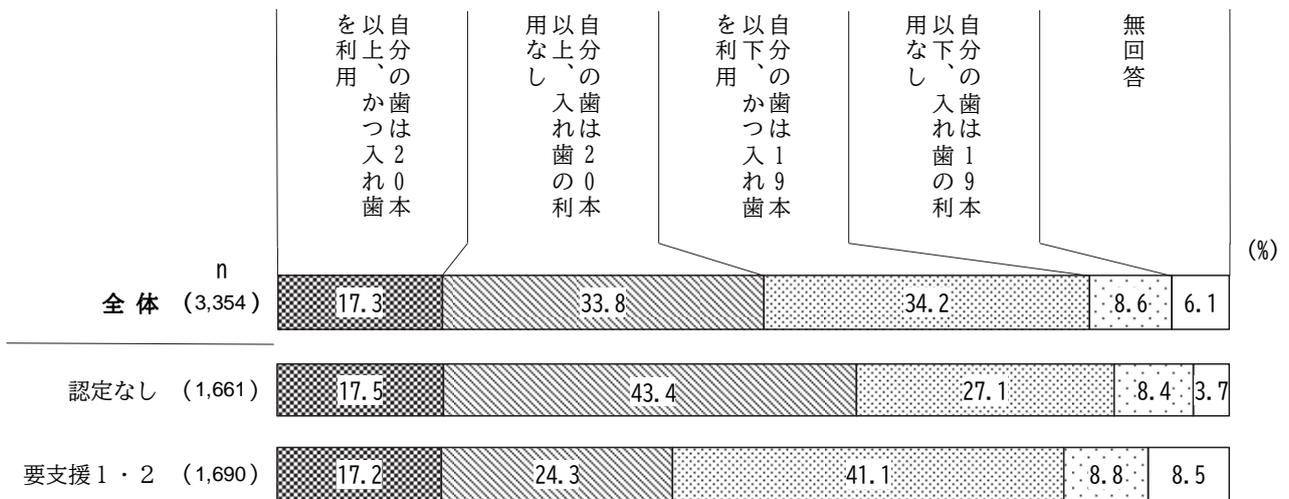


(6) 歯の数と入れ歯の利用状況

問6 (6) 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)(○は1つ)

歯の数と入れ歯の利用状況としては、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が34.2%、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が33.8%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が17.3%の順となっています。(図表4-7)

図表4-7 歯の数と入れ歯の利用状況

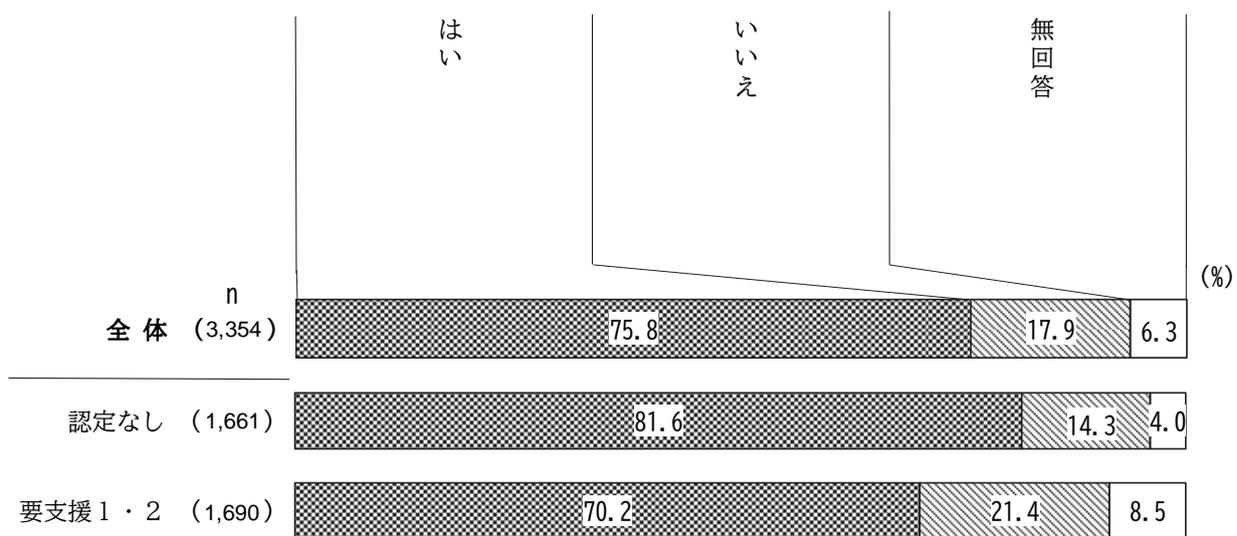


(7) 嚙み合わせについて

問6(6) - 1 嚙み合わせはよいですか。(○は1つ)

嚙み合わせについてきいたところ、「はい」が75.8%、「いいえ」が17.9%となっています。(図表4-8)

図表4-8 嚙み合わせについて



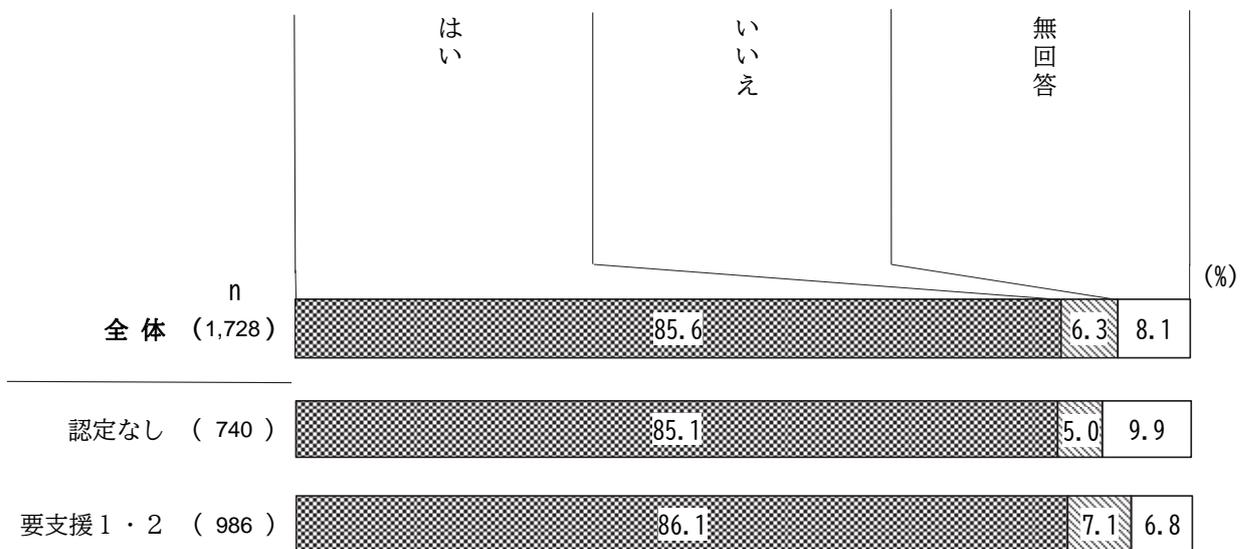
(8) 毎日入れ歯の手入れをしているかについて

【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」、「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方にお伺いします。】

問6(6)-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)

入れ歯の手入れについてきいたところ、「はい」が85.6%、「いいえ」が6.3%となっています。(図表4-9)

図表4-9 毎日入れ歯の手入れをしているかについて

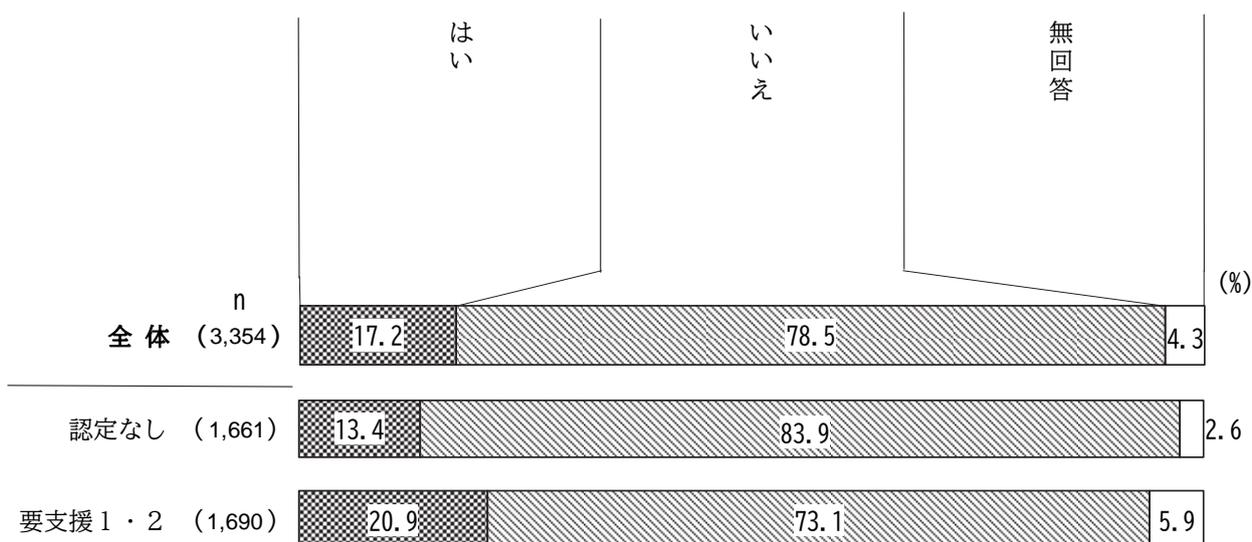


(9) 6か月間で体重の減少があったかについて

問6(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

体重減少についてきいたところ、「はい」が17.2%、「いいえ」が78.5%となっています。(図表4-10)

図表4-10 6か月間で体重の減少があったかについて

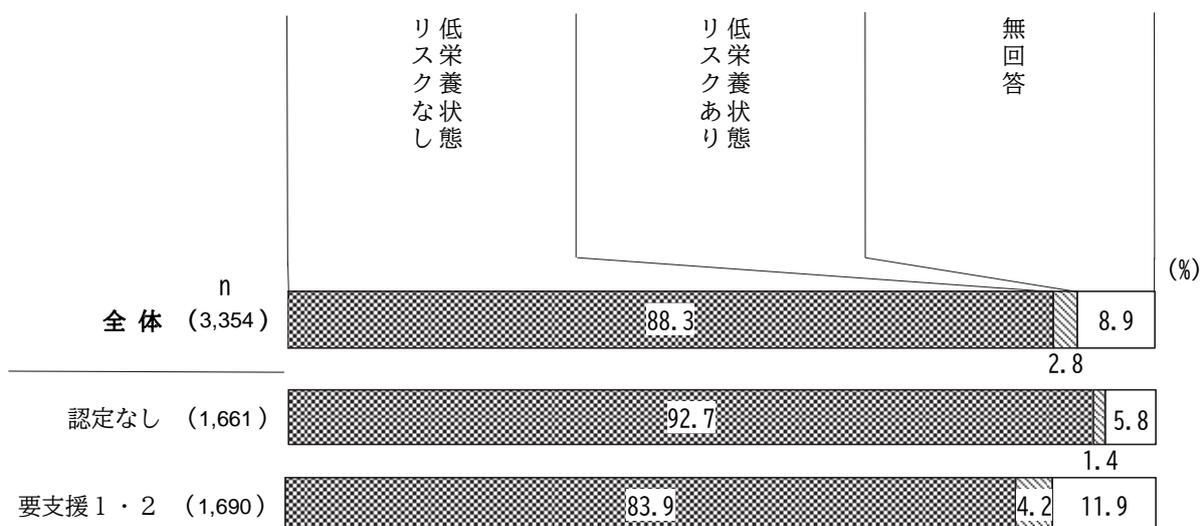


問6(1) 身長・体重・BMI (BMI 18.5以下→1点)

問6(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(ある→1点)

上記2問中、2問該当で、低栄養状態に該当している目安となります。※「低栄養状態リスクなし」は88.3%、「低栄養状態リスクあり」が2.8%でした。(図表4-11)

図表4-11 低栄養状態について



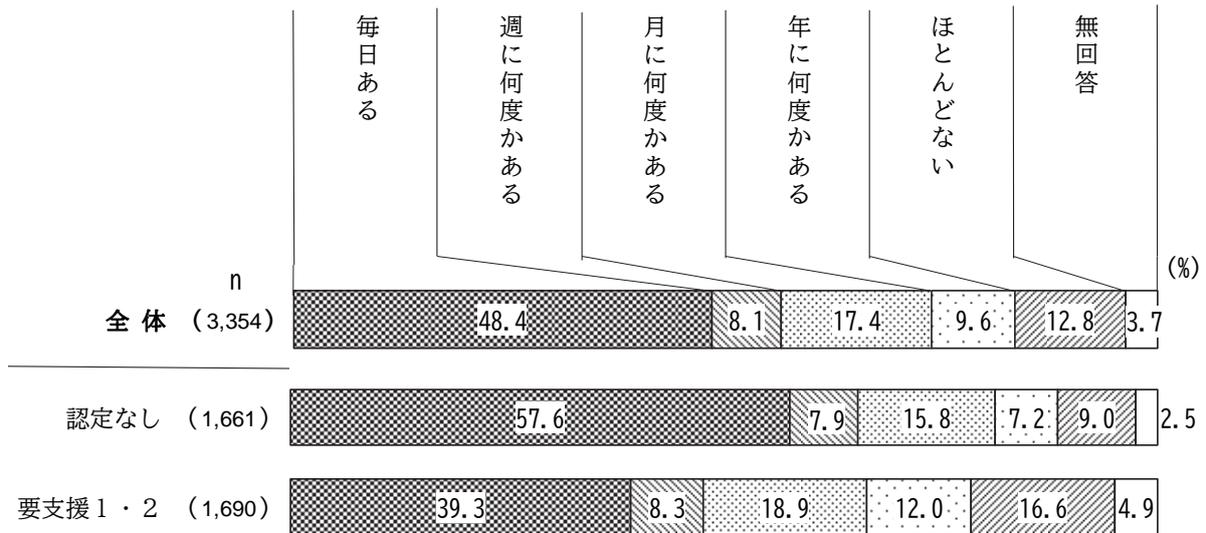
※「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き／厚生労働省」より

(10) どなたかと食事をする機会

問6(8) どなたかと食事をもつ機会がありますか。(○は1つ)

どなたかと食事をもつ機会としては、「毎日ある」が48.4%となっている一方、「ほとんどない」は12.8%となっています。(図表4-12)

図表4-12 どなたかと食事をする機会



5. 毎日の生活について

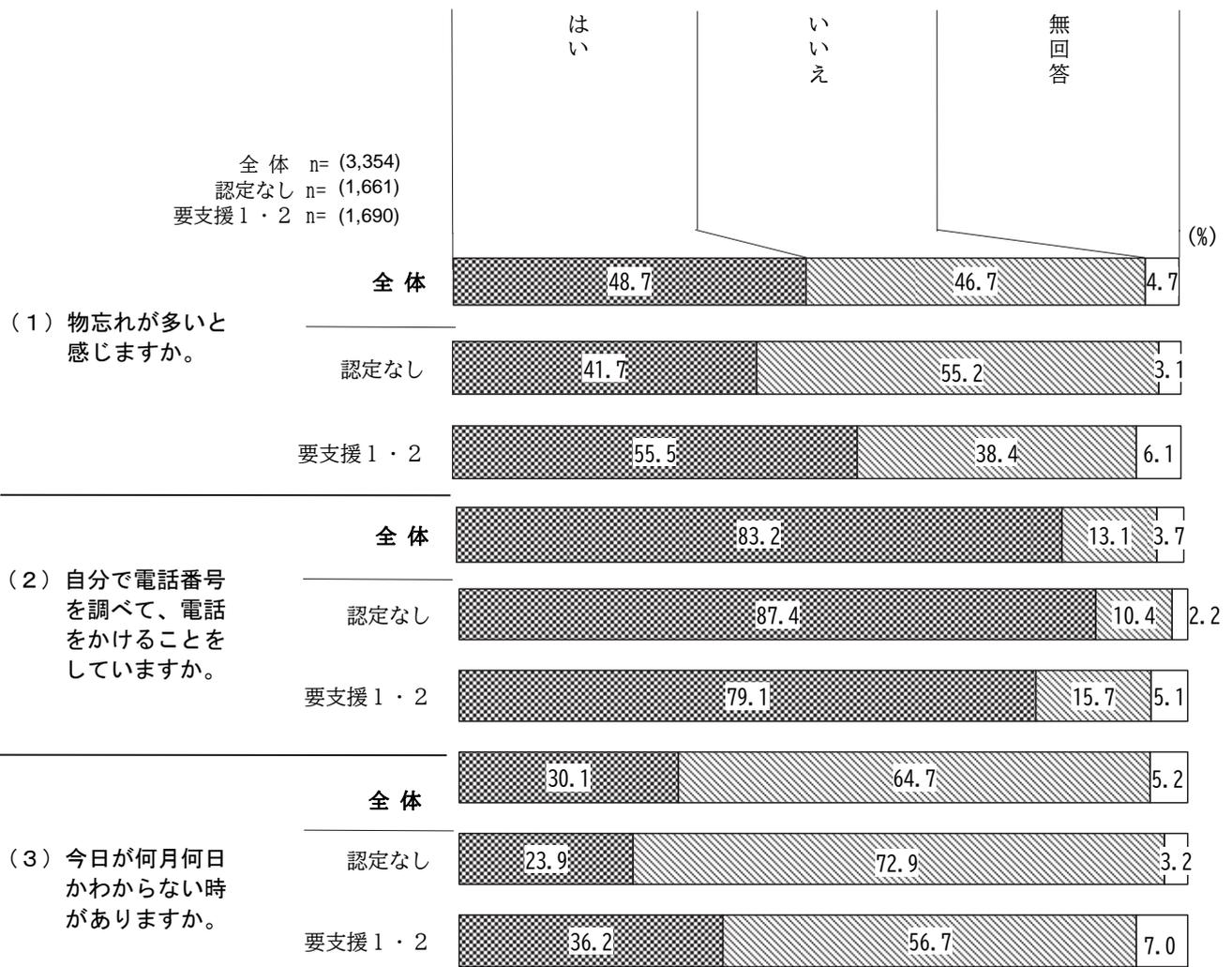
(1) 毎日の生活

問7 毎日の生活についてお伺いします。次の(1)～(16)の全ての項目について、あてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

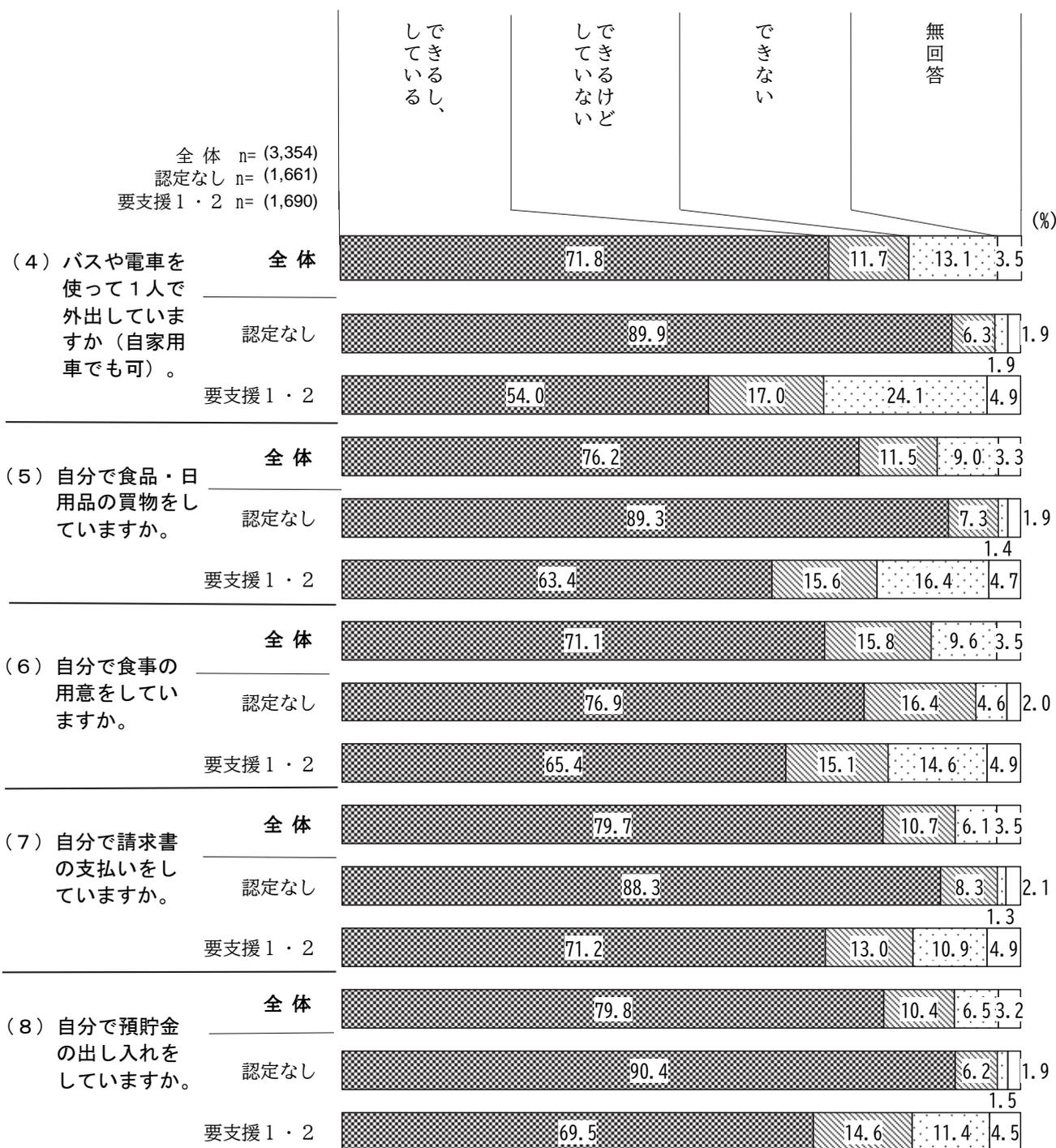
毎日の生活において、全16項目をうかがいました。

「(1) 物忘れが多いと感じますか」は、「はい」が全体の48.7%、「(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか」は、「はい」が全体の83.2%、「(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか」は、「はい」が全体の30.1%、「(4) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)」は、「できない」が全体の13.1%、「(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか」は、「できない」が全体の9.0%、「(6) 自分で食事の用意をしていますか」は、「できない」が全体の9.6%、「(7) 自分で請求書の支払いをしていますか」は、「できない」が全体の6.1%、「(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか」は、「できない」が全体の6.5%、「(9) 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか」は「いいえ」が全体の10.7%、「(10) 新聞を読んでいますか」は「いいえ」が全体の21.8%となっています。「(11) 本や雑誌を読んでいますか」は「いいえ」が全体の21.6%、「(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか」は「いいえ」が全体の9.5%、「(13) 友人の家を訪ねていますか」は「いいえ」が全体の68.2%、「(14) 家族や友人の相談に乗っていますか」は「いいえ」が全体の25.1%、「(15) 病人を見舞うことができますか」は「いいえ」が全体の29.4%、「(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか」は「いいえ」が全体の26.2%となっています。(図表5-1～4)

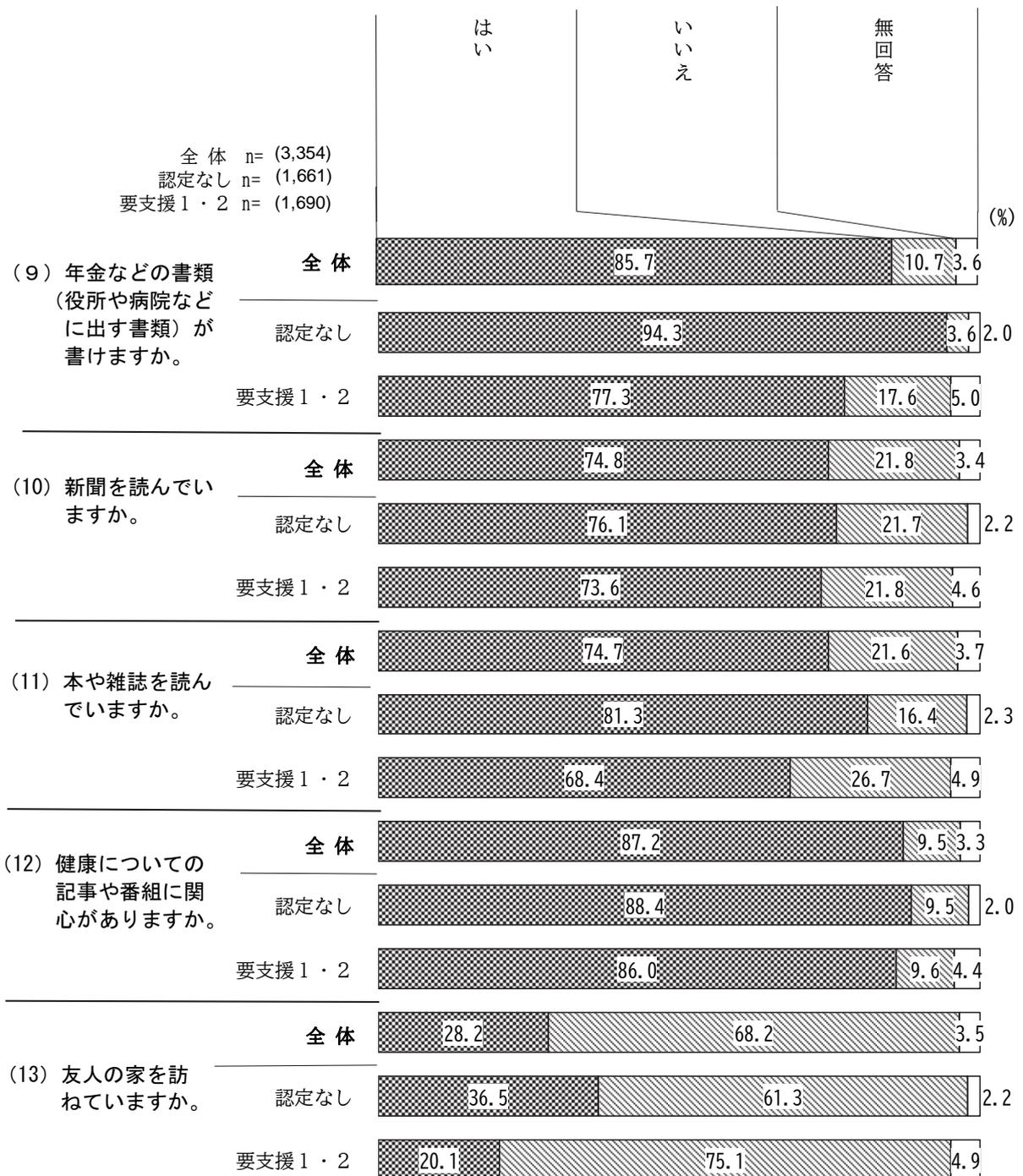
図表5-1 毎日の生活①



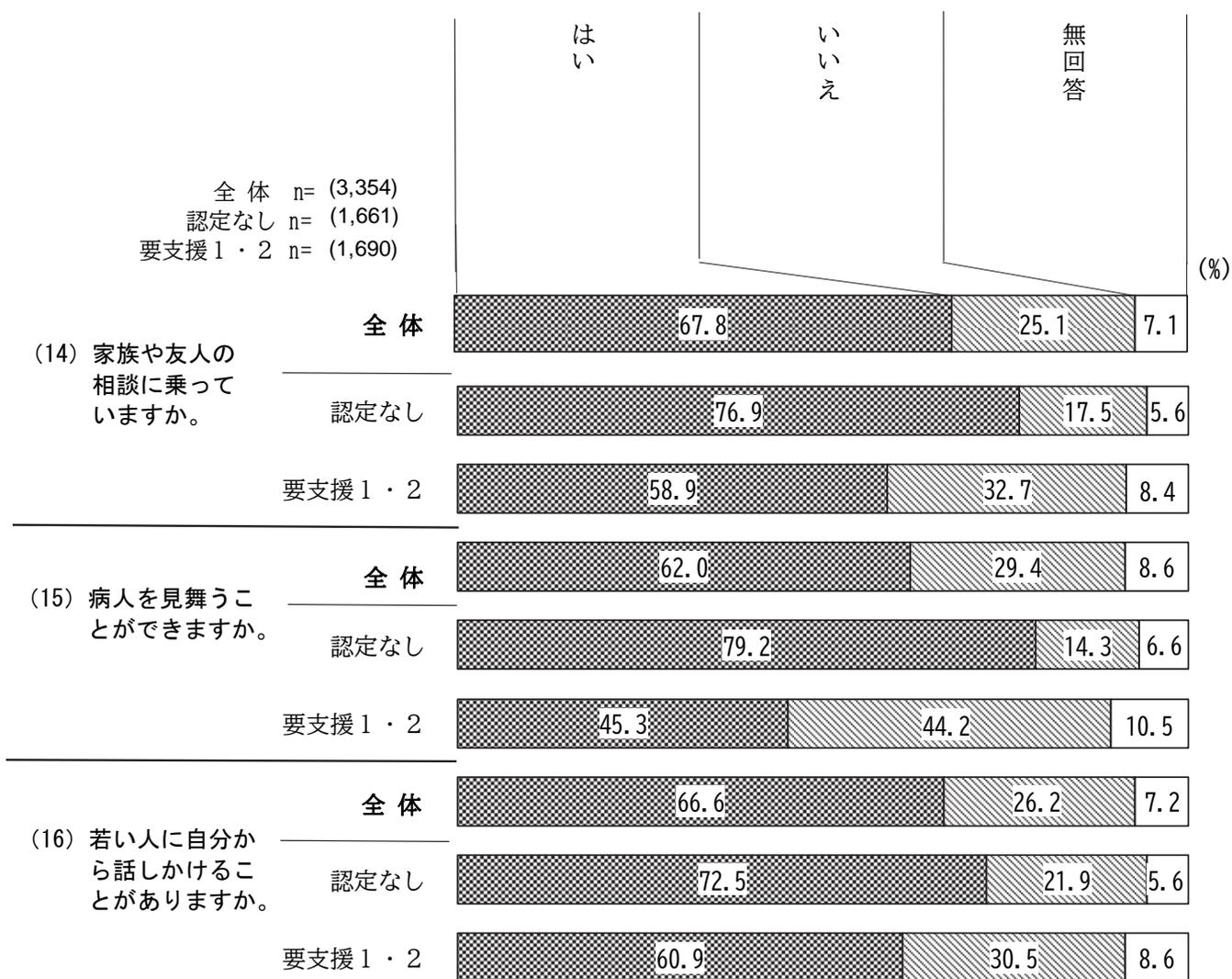
図表5-2 毎日の生活②



図表5-3 毎日の生活③



図表5-4 毎日の生活④

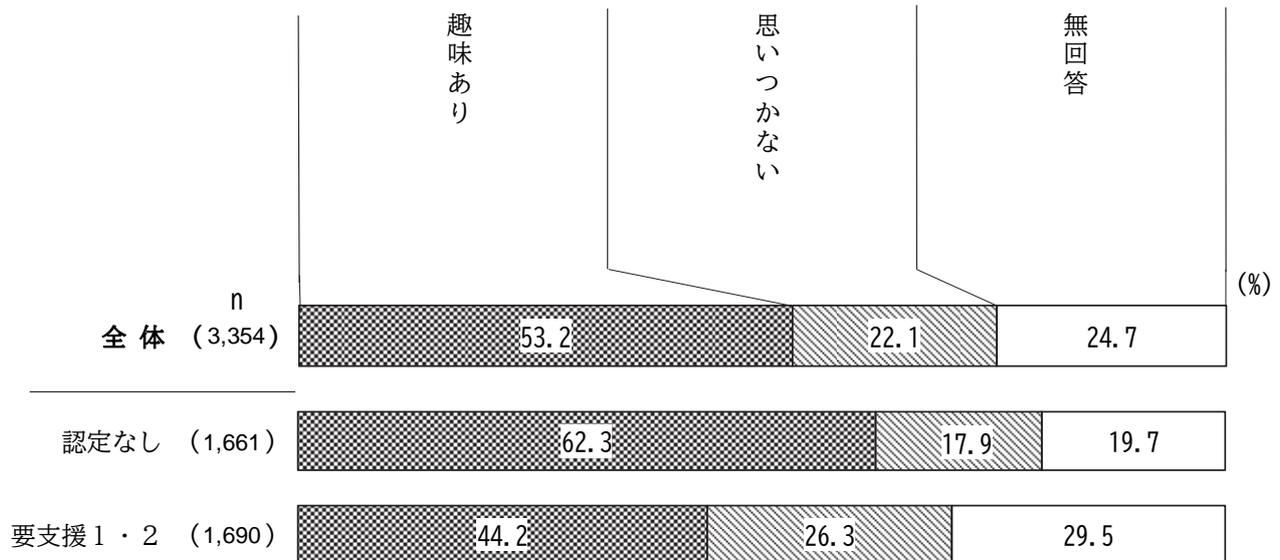


(2) 趣味の有無

問7 (17) 趣味はありますか。(○は1つ)

趣味の有無としては、「趣味あり」が53.2%、「思いつかない」が22.1%となっています。(図表5-5)

図表5-5 趣味の有無



趣味の内容については、「読書、勉強」(419件)、「演奏、コーラス、歌唱」(184件)「音楽鑑賞、テレビ、ラジオ」(171件)、などが多くなっています。(図表5-6)

図表5-6 趣味の内容(上位10項目)

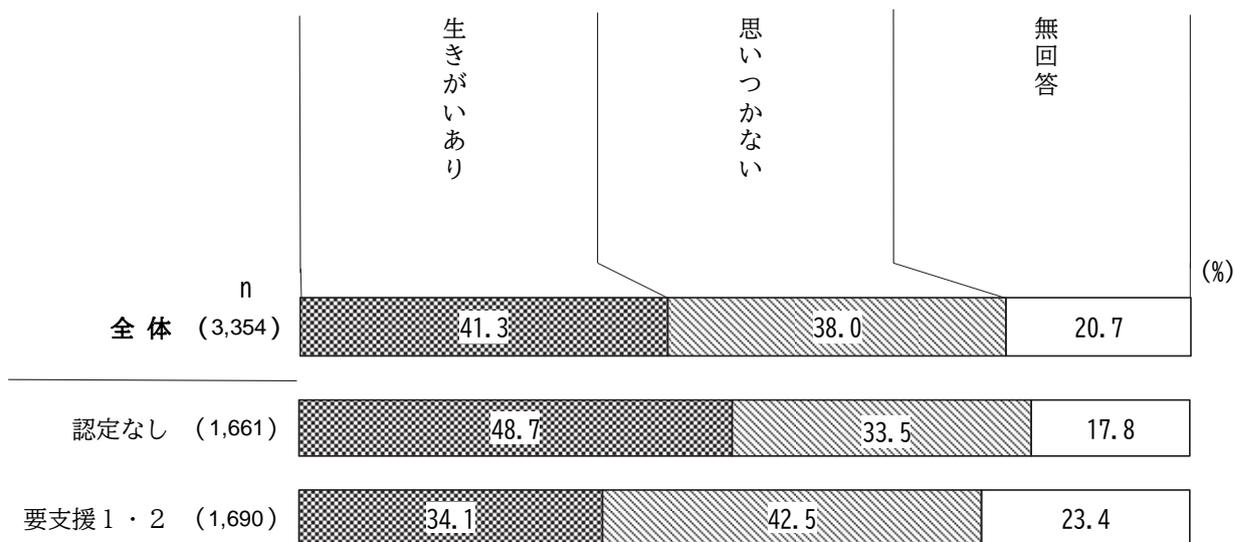
項目	件数
読書、勉強	419
演奏、コーラス、歌唱	184
音楽鑑賞、テレビ、ラジオ	171
ゴルフ	159
麻雀、囲碁、将棋	150
旅行	138
運動	131
絵画	118
ダンス、体操、ジム	110
手芸	108

(3) 生きがいの有無

問7 (18) 生きがいはありますか。(○は1つ)

生きがいの有無としては、「生きがいあり」が41.3%、「思いつかない」が38.0%となっています。
(図表5-7)

図表5-7 生きがいの有無



生きがいの内容を記入してもらったところ、「孫、ひ孫のこと」(354件)、「家族、親族のこと(孫、ひ孫のこと以外)」(130件)、「仕事」(112件)、「旅行」(102件)などが多くなっています。(図表5-8)

図表5-8 生きがいの内容(上位10項目)

項目	件数
孫、ひ孫のこと	354
家族、親族のこと(孫、ひ孫のこと以外)	130
仕事	112
旅行	102
健康管理	78
友人、知人	76
趣味(と回答した人)	74
食事、酒	55
音楽	50
読書、勉強、研究	45

6. 地域での活動について

(1) 会・グループ等の参加頻度

問8 地域での活動についてお伺いします。

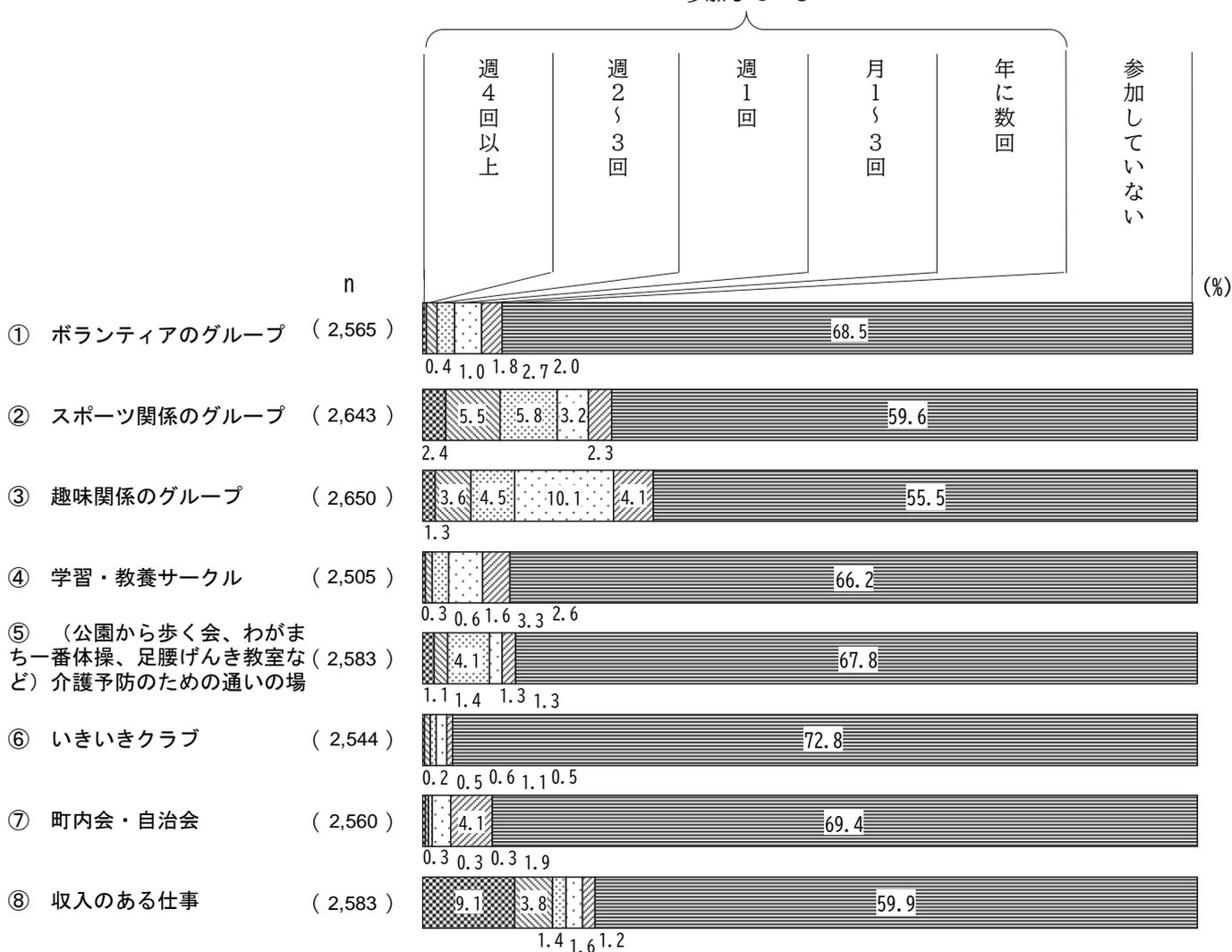
問8 (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑧それぞれに1つずつ回答してください。

会・グループ等の参加状況については、「参加していない」が最も多くなっていますが、『参加している』ものでは、「③趣味関係のグループ」が23.6%で最も多く、「②スポーツ関係のグループ」(19.2%)の順になっています。(図表6-1)

図表6-1 会・グループ等の参加頻度

参加している

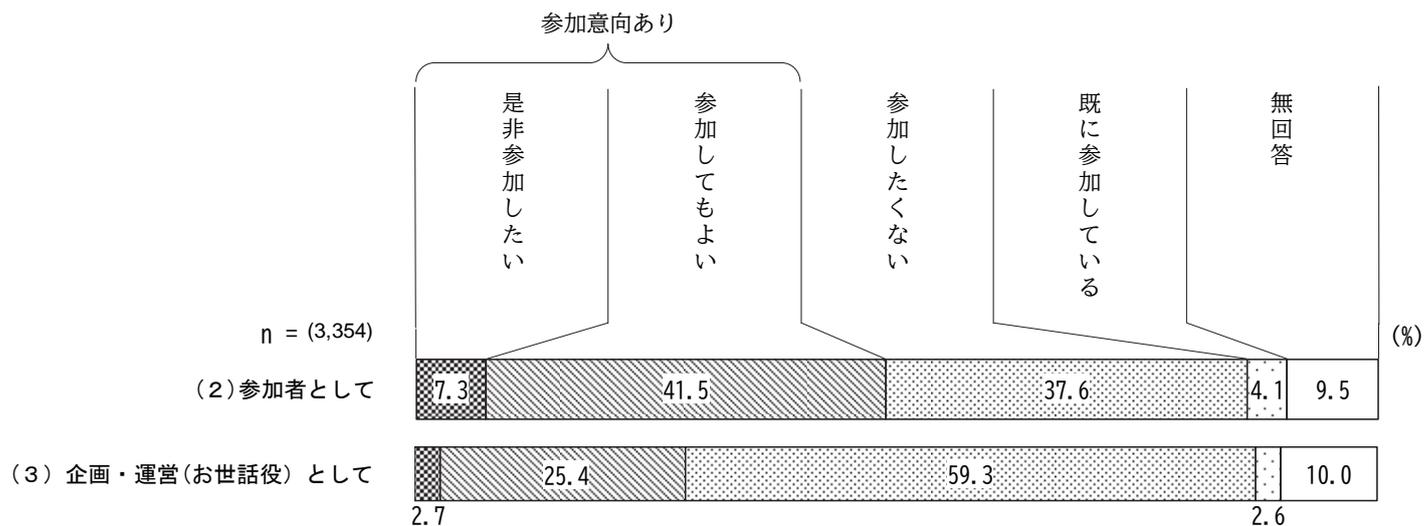


(2) 地域づくりを進める活動への参加意向

問8(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)
問8(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

地域づくりを進める活動へ参加したいかについて、「是非参加したい」(7.3%)と「参加してもよい」(41.5%)を合わせると48.8%となっています。企画・運営(お世話役)として参加したいかについては、「是非参加したい」(2.7%)、「参加してもよい」(25.4%)を合わせると28.1%となっています。(図表6-2)

図表6-2 地域づくりを進める活動への参加意向



7. たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴について

問9 たすけあいについてお伺いします。(あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします。)

問9 (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人を教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

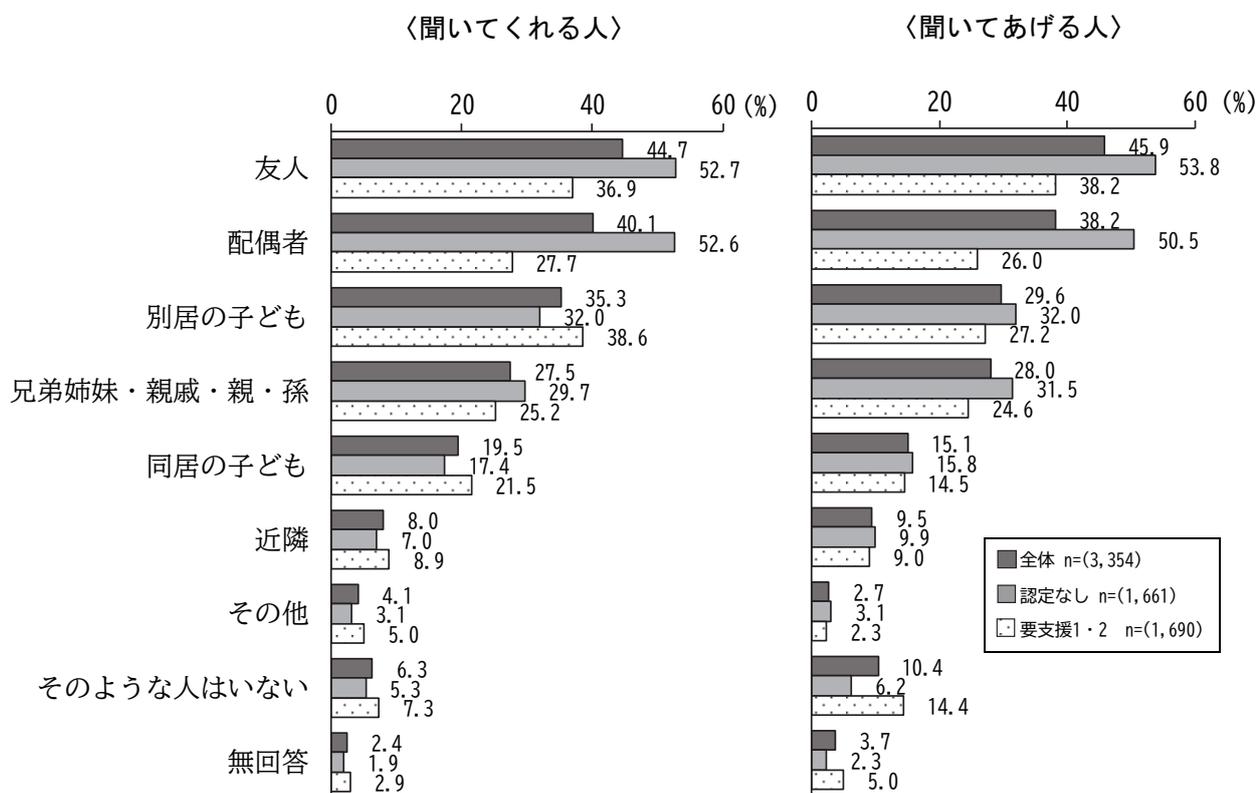
問9 (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人を教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

心配事や愚痴を聞いてくれる人としては、「友人」が44.7%と最も多く、以下「配偶者」(40.1%)、「別居の子ども」(35.3%)の順となっています。

また、心配事や愚痴を聞いてあげる人としては、「友人」が45.9%と最も多く、「配偶者」(38.2%)、「別居の子ども」(29.6%)の順になっており、(1)(2)ともに上位の順位が同じになっています。(図表7-1)

図表7-1 心配事や愚痴



(2) 数日間寝込んだときの看病や世話について

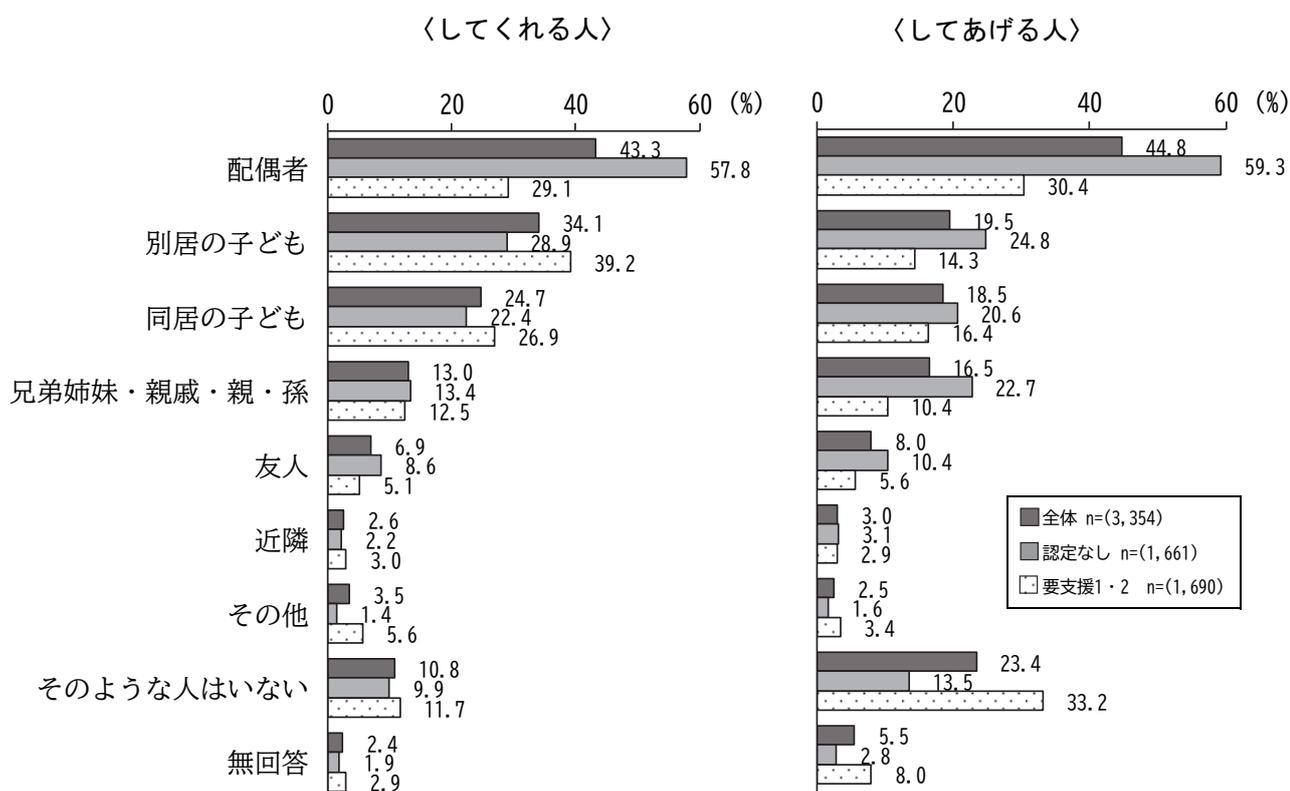
問9 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人を教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

問9 (4) 反対に、看病や世話をしつてあげる人を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人としては、「配偶者」が43.3%と最も多く、以下「別居の子ども」(34.1%)、「同居の子ども」(24.7%)の順となっています。

また、看病や世話をしつてあげる人としては、「配偶者」が44.8%と最も多く、以下、「別居の子ども」(19.5%)、「同居の子ども」(18.5%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(16.5%)の順となっています。(図表7-2)

図表7-2 数日間寝込んだときの看病や世話



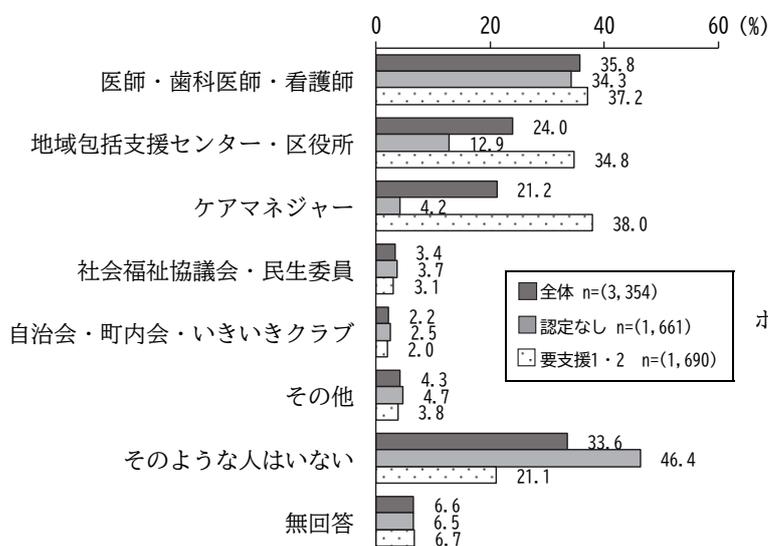
(3) 相談相手や家族、友人・知人について

問9 (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。 (あてはまるものすべてに○)
問9 (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいか教えてください。(○は1つ)
問9 (7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(○は1つ)
問9 (8) よく会う友人・知人はどんな関係の人が教えてください。(あてはまるものすべてに○)

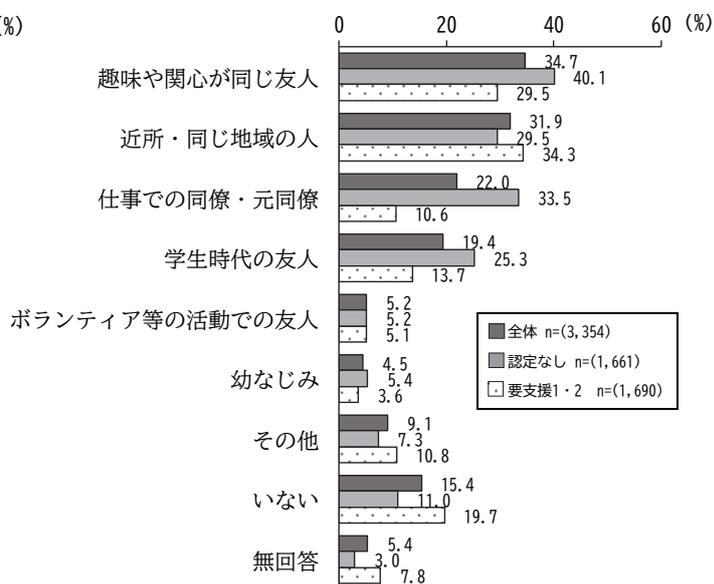
家族や友人・知人以外の相談相手については、全体では「医師・歯科医師・看護師」が35.8%、「認定なし」では、「そのような人はいない」が46.4%、「要支援1・2」では、「ケアマネジャー」が38.0%と最も多くなっています。(図表7-3)

よく会う友人・知人との関係としては、「趣味や関心が同じ友人」が34.7%で最も多く、以下「近所・同じ地域の人」(31.9%)、「仕事での同僚・元同僚」(22.0%)、「学生時代の友人」(19.4%)の順となっています。(図表7-4)

図表7-3 家族や友人・知人以外の相談相手



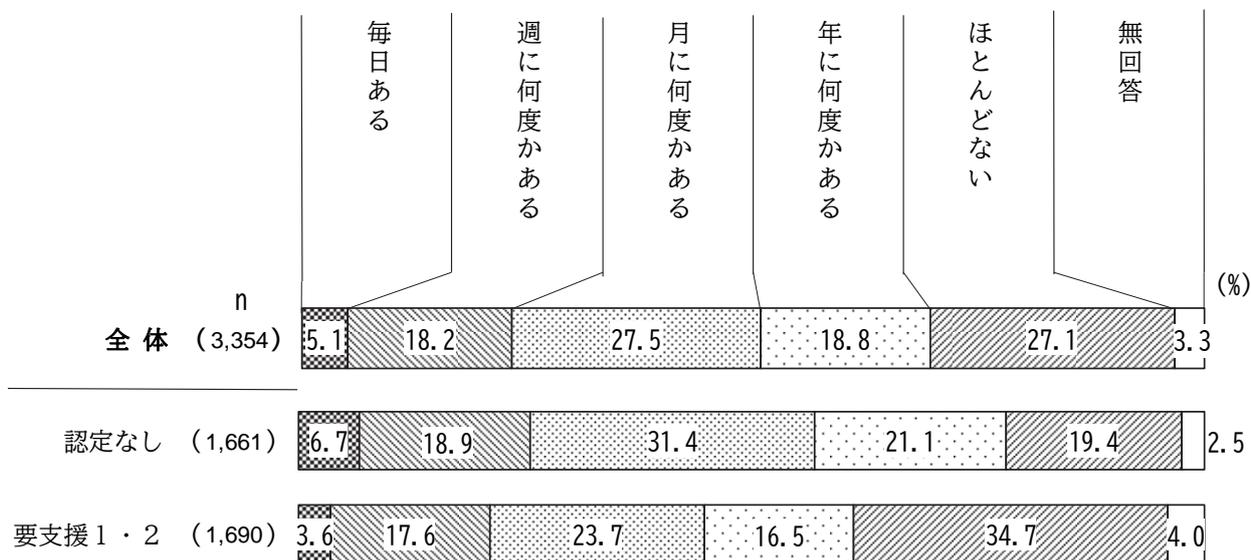
図表7-4 よく会う友人・知人との関係



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

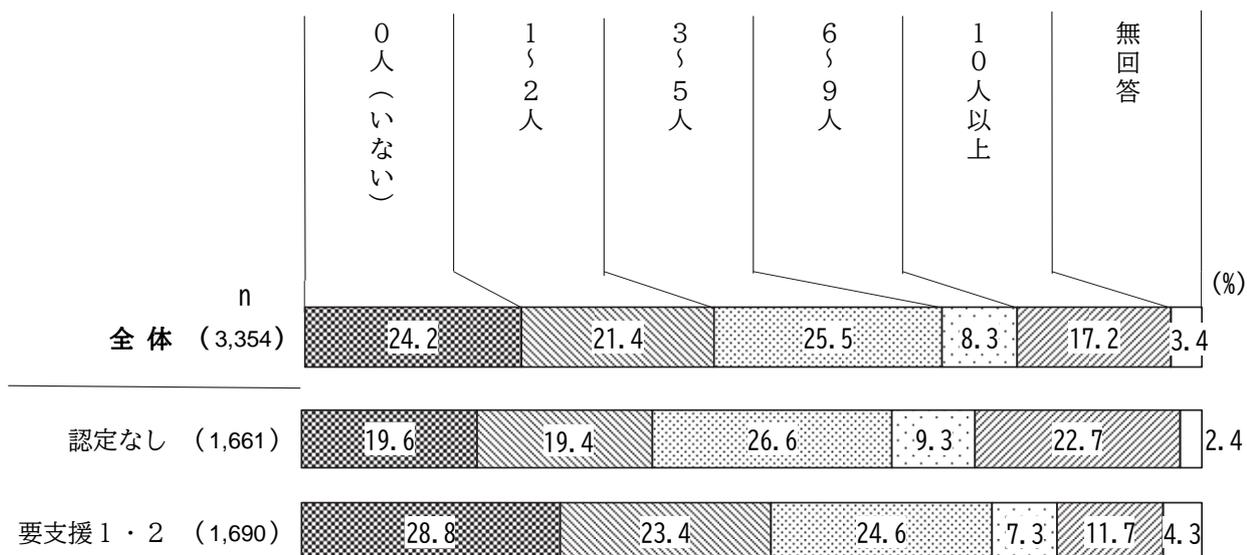
友人・知人と会う頻度としては、「月に何度かある」が27.5%で最も多く、次に「ほとんどない」(27.1%)、「年に何度かある」(18.8%)の順になっています。(図表7-5)

図表7-5 友人・知人と会う頻度



1か月に会った友人・知人の人数としては、「3~5人」が25.5%で最も多く、以下「0人(いない)」(24.2%)、「1~2人」(21.4%)、「10人以上」(8.3%)の順となっています。(図表7-6)

図表7-6 1か月に会った友人・知人の人数

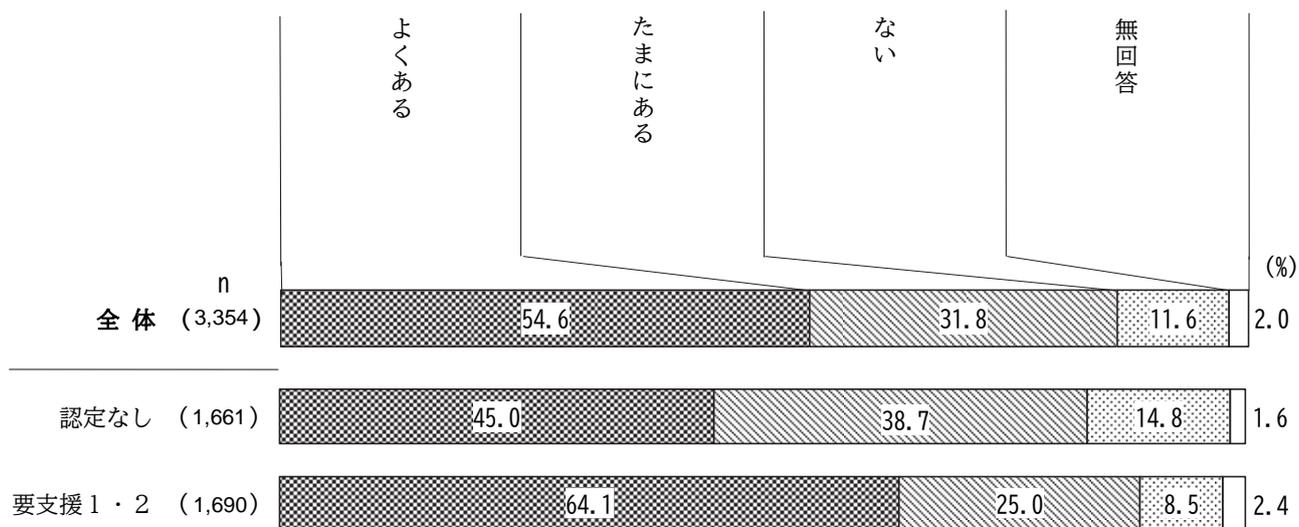


(4) 日中、ひとりになることの有無

問10 日中、ひとりになることがありますか。(○は1つ)

日中ひとりになることについては、「よくある」が54.6%で、「たまにある」が31.8%、「ない」が11.6%となっています。(図表7-7)

図表7-7 日中、ひとりになることの有無



8. 健康について

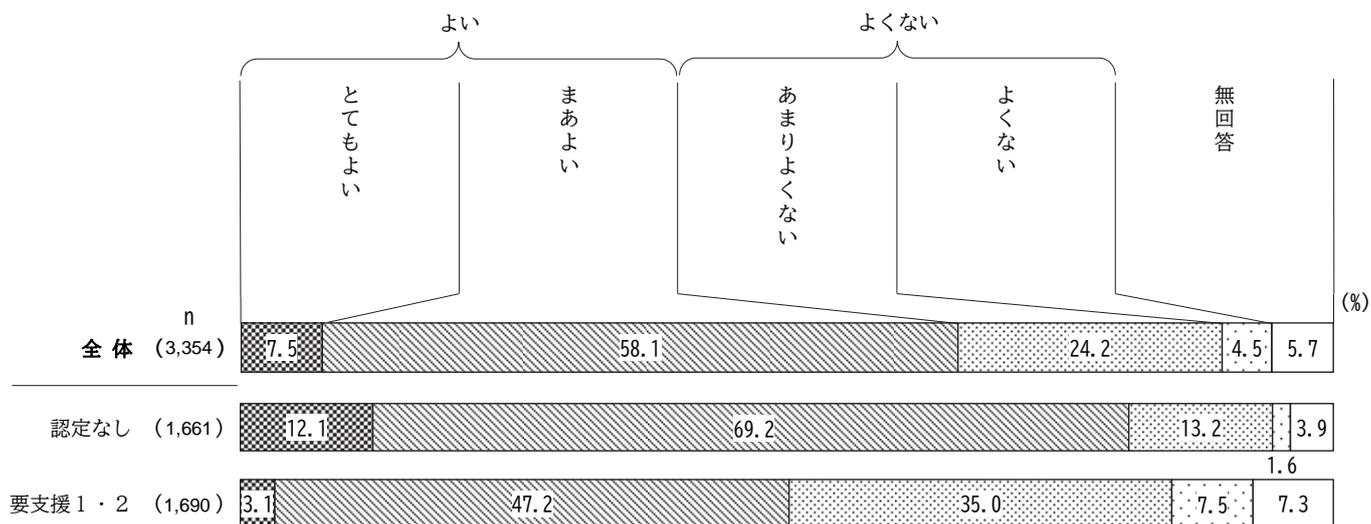
(1) 現在の健康状態

問11 健康についてお伺いします。

問11(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

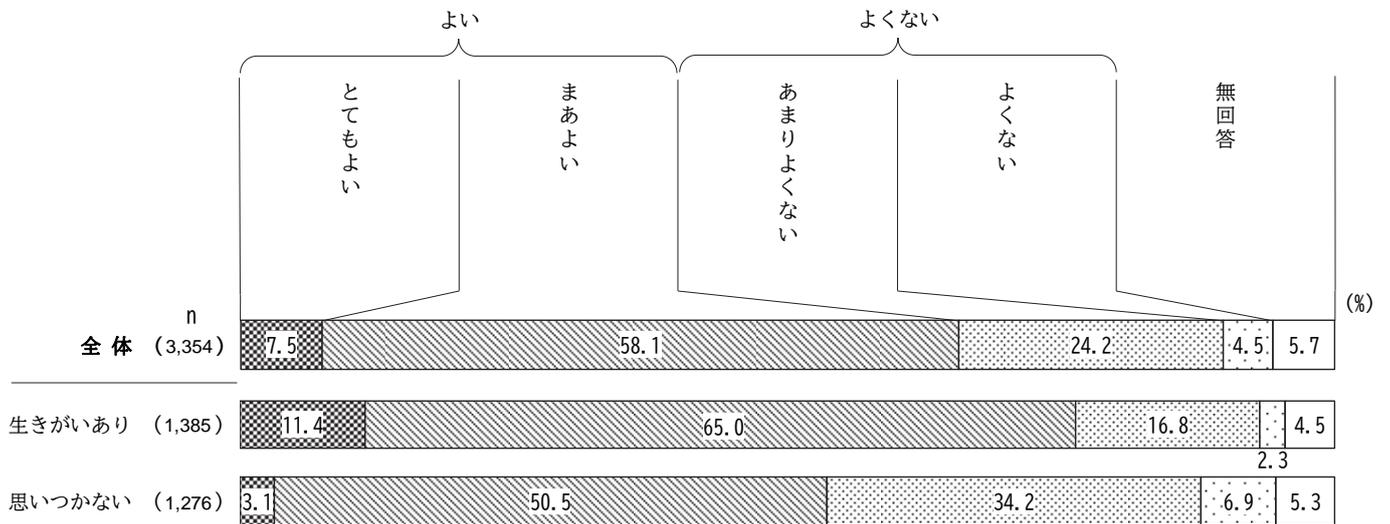
現在の健康状態としては、「とてもよい」(7.5%)と「まあよい」(58.1%)を合わせた『よい』が65.6%に対して、「あまりよくない」(24.2%)と「よくない」(4.5%)を合わせた『よくない』は28.7%となっています。(図表8-1)

図表8-1 現在の健康状態



健康状態と生きがいの有無別でみると、“生きがいあり”で「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『よい』が76.4%と、“思いつかない”で「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『よい』を22.8ポイント上回っています。(図表8-2)

図表8-2 現在の健康状態／生きがいの有無別

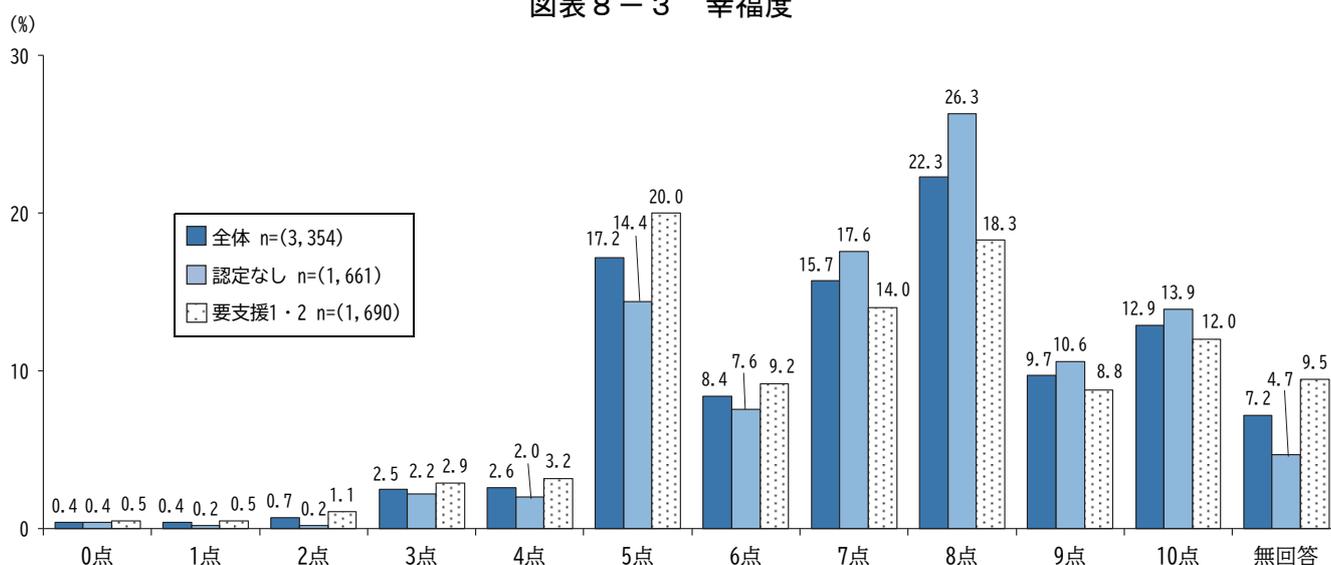


(2) 幸福度

問11(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点とし、該当する点数に○をつけてください。

現在どの程度幸せかについて10点満点で点数化をしてもらったところ、「8点」が22.3%で最も多く、以下「5点」(17.2%)、「7点」(15.7%)、「10点」(12.9%)の順となっています。(図表8-3)

図表8-3 幸福度



幸福度と問4(3)「現在の暮らしの状況」をみると、幸福度の平均は“大変苦しい”から“大変ゆとりがある”に向かって高くなっています。(図表8-4)

図表8-4 幸福度／現在の暮らしの状況

	n	(人)												平均点
		(0点 とても不幸)	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	(10点 とても幸せ)	無回答	
全体	3,354	14	12	22	85	87	577	282	528	747	326	433	241	7.1
大変苦しい	208	8	6	4	18	9	48	20	26	24	10	17	18	5.8
やや苦しい	637	2	2	8	26	27	156	57	100	122	41	50	46	6.5
ふつう	1,939	3	4	5	34	41	318	170	332	447	203	256	126	7.3
ややゆとりがある	358	-	-	3	3	6	27	22	51	104	54	66	22	7.9
大変ゆとりがある	84	-	-	-	1	-	7	4	6	24	13	22	7	8.2

幸福度と生きがいの有無でみると、“生きがいあり”では「8点」(27.4%)が、“思いつかない”では「5点」(26.5%)が最も多くなっています。(図表8-5)

図表8-5 幸福度／生きがいの有無

	n	0点 (とても不幸)	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 (とても幸せ)	無回答
全体	3,354	0.4	0.4	0.7	2.5	2.6	17.2	8.4	15.7	22.3	9.7	12.9	7.2
生きがいあり	1,385	-	0.1	0.1	0.8	1.4	10.0	6.9	15.2	27.4	13.9	19.0	5.3
思いつかない	1,276	0.8	0.8	1.4	5.3	4.3	26.5	10.1	17.5	16.5	4.8	5.3	6.7

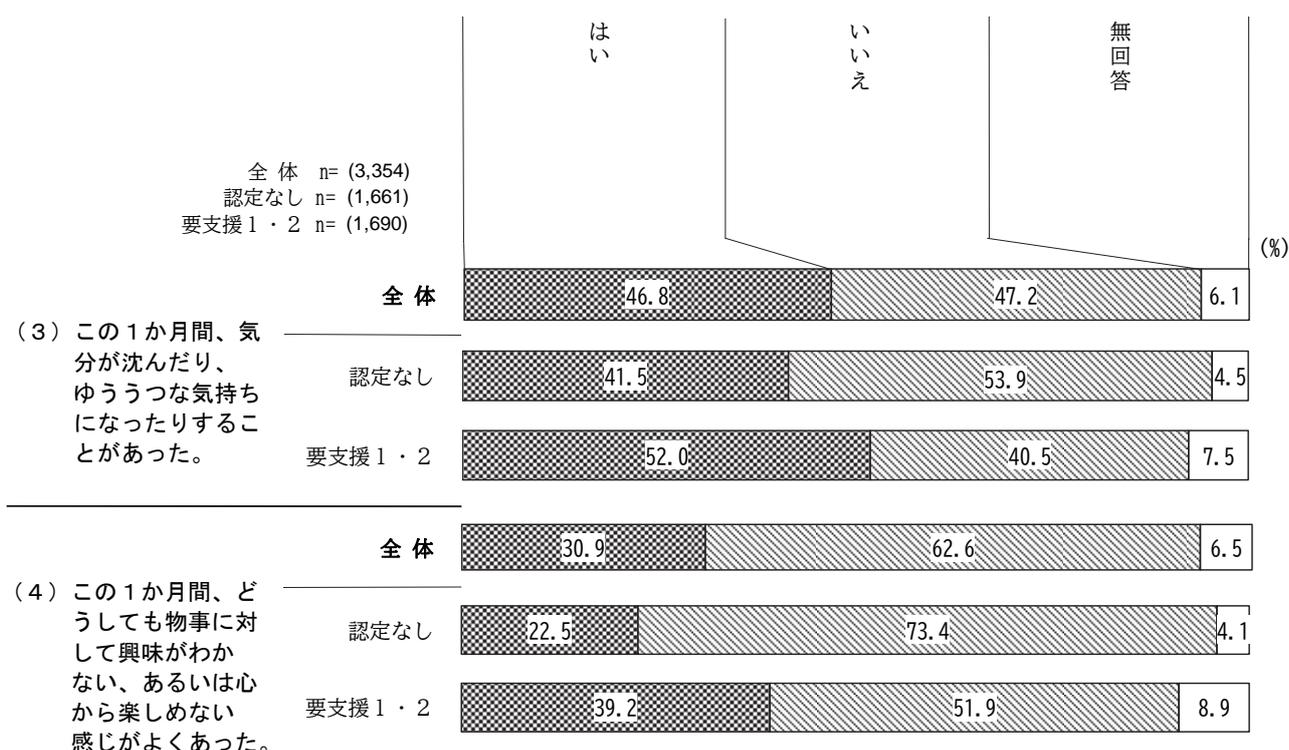
(3) この1か月間の気持ち

問11(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(〇は1つ)
問11(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(〇は1つ)

まず、この1か月間にゆううつな気持ちになったことの有無についてきいたところ、「はい」が46.8%、「いいえ」が47.2%となっています。

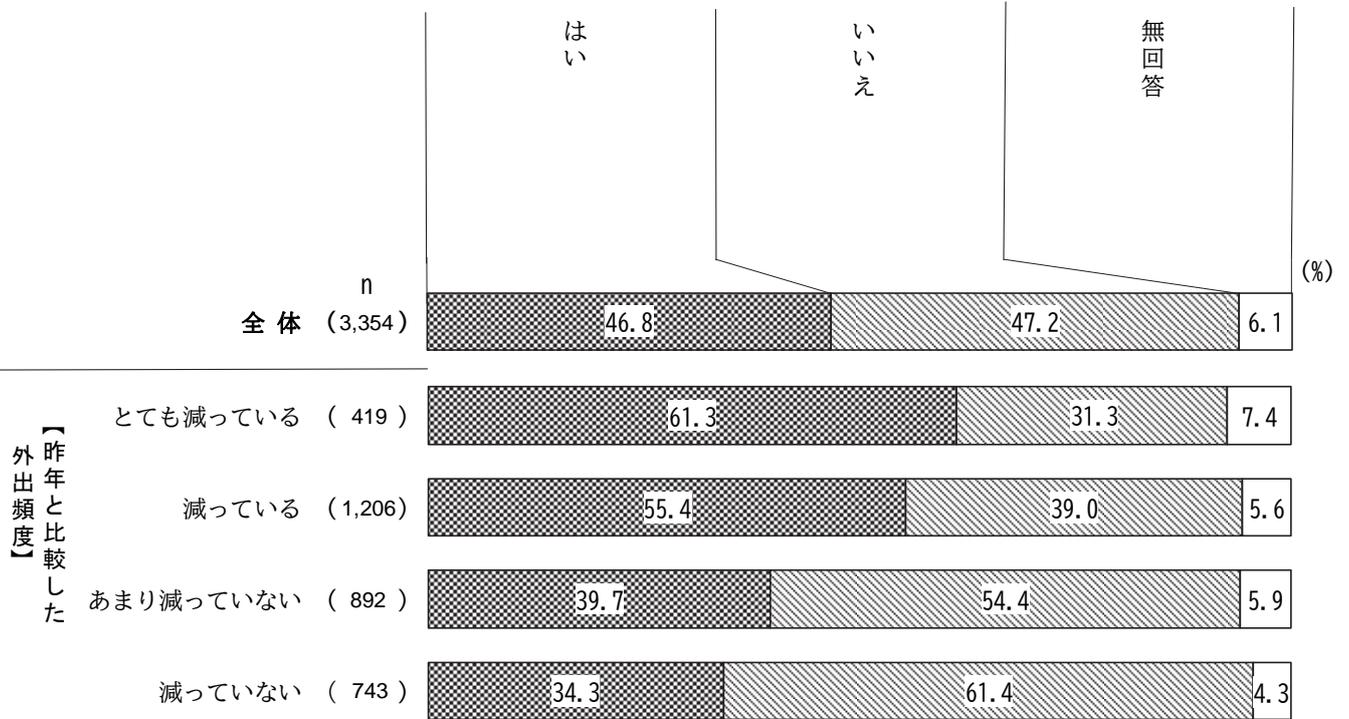
また、この1か月間、物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じの有無については、「はい」が30.9%、「いいえ」が62.6%となっています。(図表8-6)

図表8-6 この1か月間にゆううつな気持ちになったことの有無



この1か月間の気持ちと昨年と比較した外出頻度別でみると、「はい」と答えた人は外出頻度が“とても減っている”（61.3%）、“減っている”（55.4%）で多くなっています。（図表8-7）

図表8-7 この1か月間にゆううつな気持ちになったことの有無／昨年と比較した外出頻度別

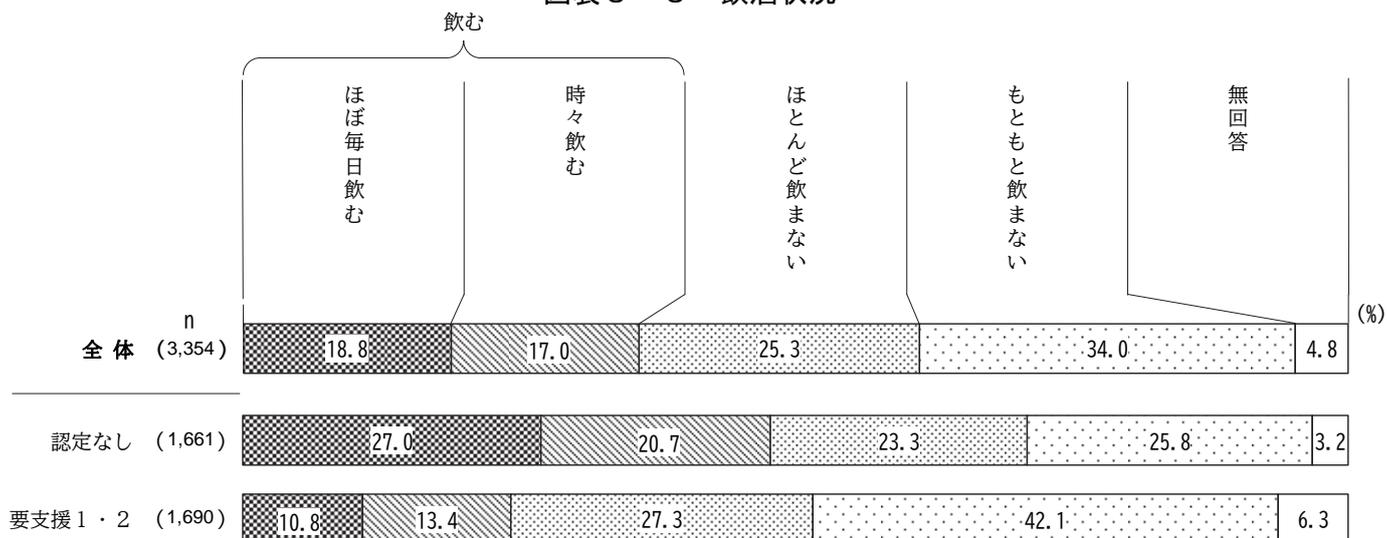


(4) 飲酒状況

問 11 (5) お酒は飲みますか。(○は1つ)

飲酒状況としては、「ほぼ毎日飲む」(18.8%)と「時々飲む」(17.0%)を合わせた『飲んでいる』は35.8%となっています。一方、「ほとんど飲まない」は25.3%、「もともと飲まない」は34.0%となっています。(図表8-8)

図表 8-8 飲酒状況

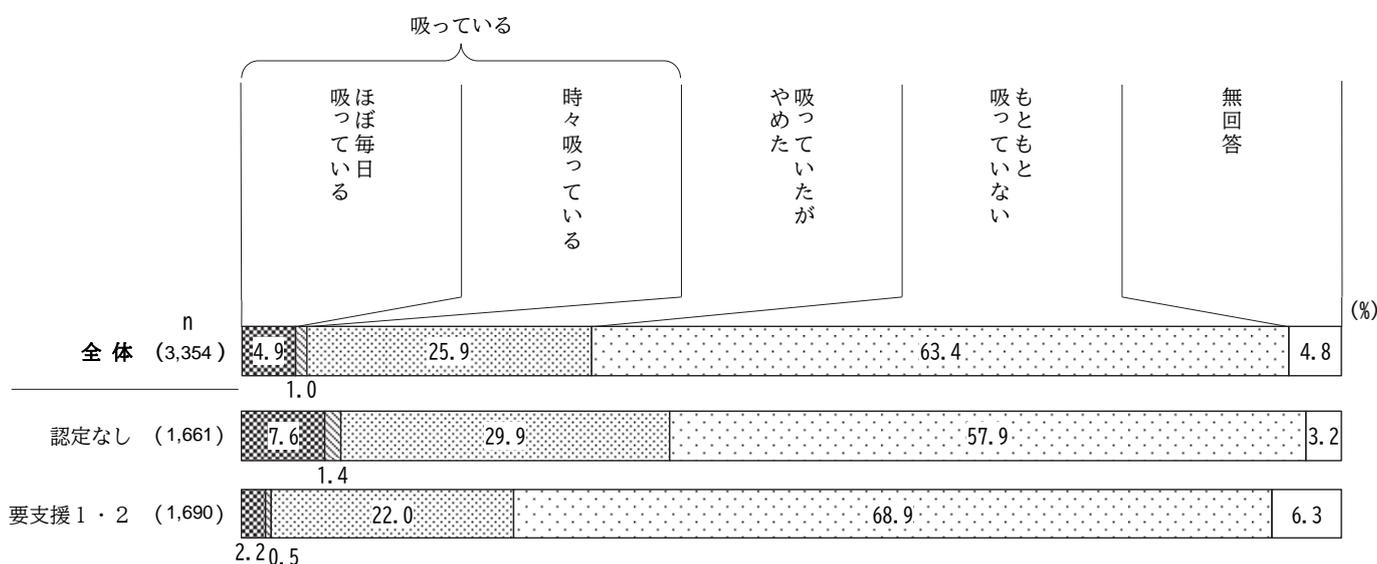


(5) 喫煙状況

問 11 (6) タバコは吸っていますか。(○は1つ)

喫煙状況としては「ほぼ毎日吸っている」(4.9%)と「時々吸っている」(1.0%)を合わせた『吸っている』は5.9%となっています。一方、「吸っていたがやめた」は25.9%、「もともと吸っていない」は63.4%となっています。(図表8-9)

図表 8-9 喫煙状況

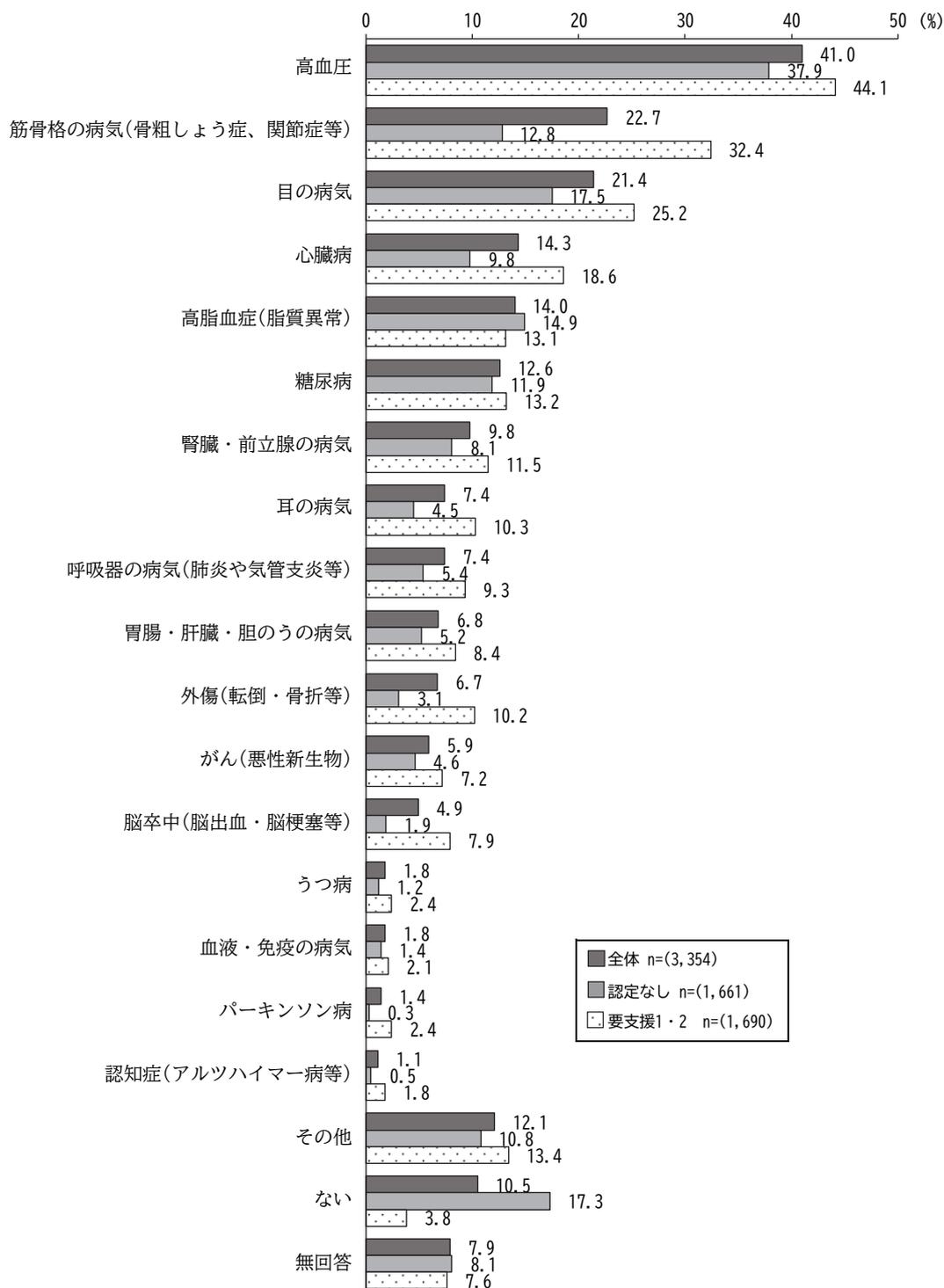


(6) 現在治療中または後遺症のある病気

問11(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)

現在治療中または後遺症のある病気としては「高血圧」が41.0%と最も多く、以下「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(22.7%)、「目の病気」(21.4%)の順となっています。(図表8-10)

図表8-10 現在治療中または後遺症のある病気

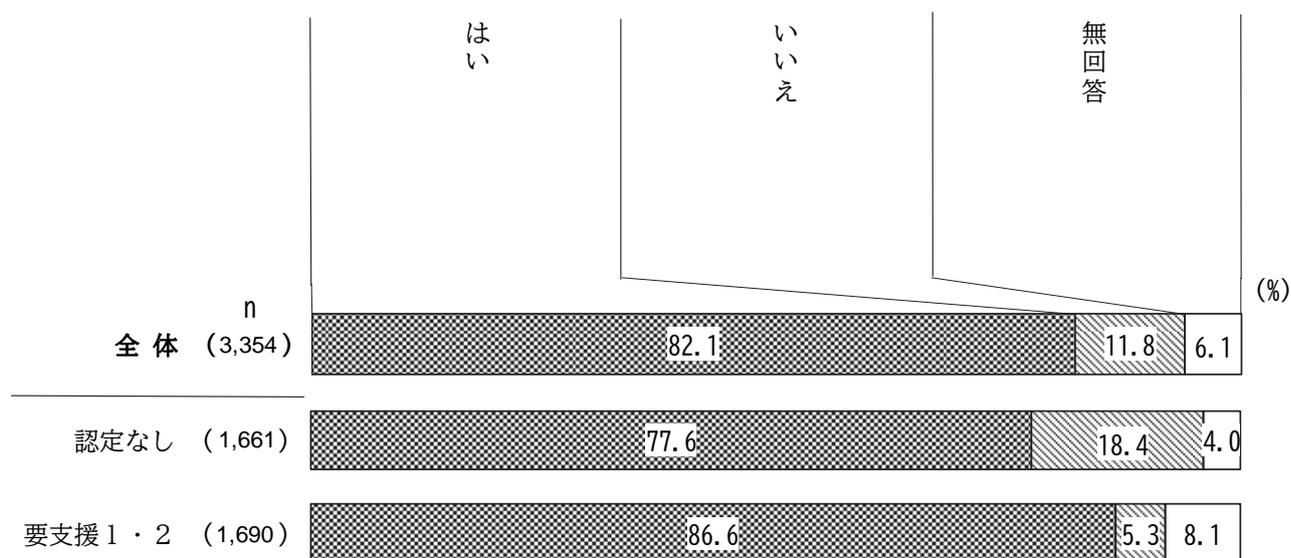


(7) 主治医について

問11(8) 主治医はいますか。(○は1つ)

主治医については「はい」が82.1%、「いいえ」が11.8%となっています。(図表8-11)

図表8-11 現在治療中または後遺症のある病気



(8) 認知症がある人の有無と相談窓口の把握

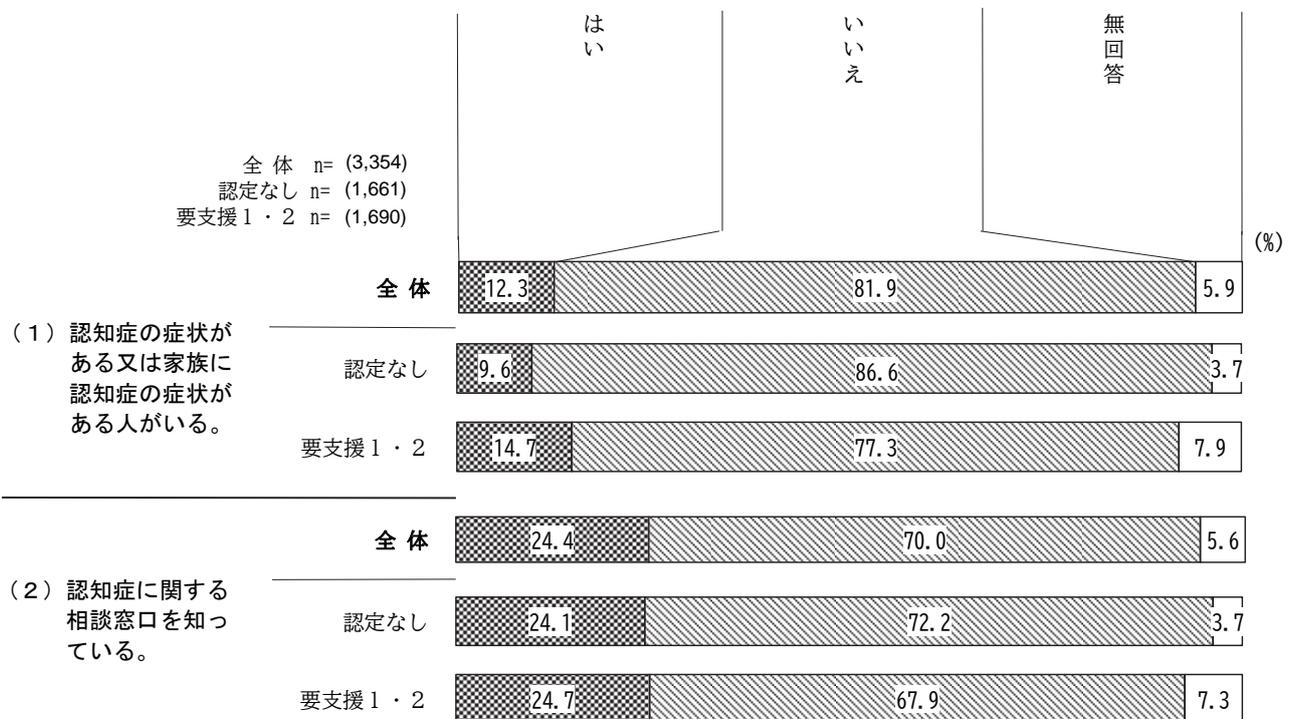
問12 認知症にかかる相談窓口の把握についてお伺いします。

問12(1) 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

問12(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについては、「はい」は全体の12.3%でした。また、認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「はい」は全体の24.4%でした。(図表8-12)

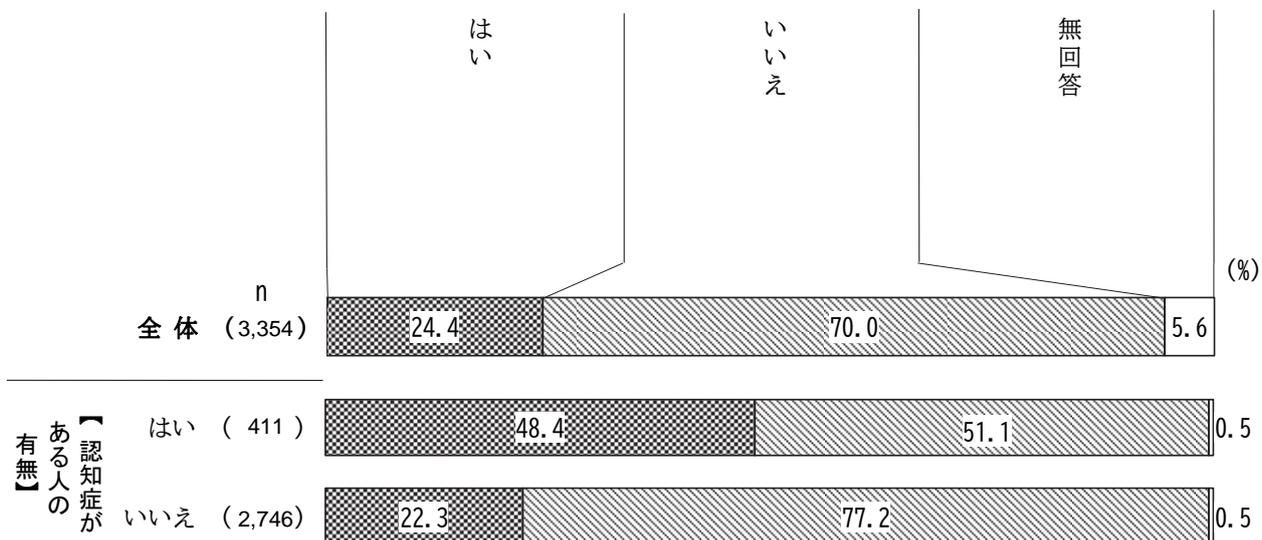
図表8-12 認知症のある人の有無と相談窓口の把握



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

認知症の症状がある人の有無別で認知症に関する相談窓口を知っているかをみると、認知症の症状のある人で相談窓口を知っている人の割合は48.4%でした。(図表8-13)

図表8-13 相談窓口の把握／認知症がある人の有無別

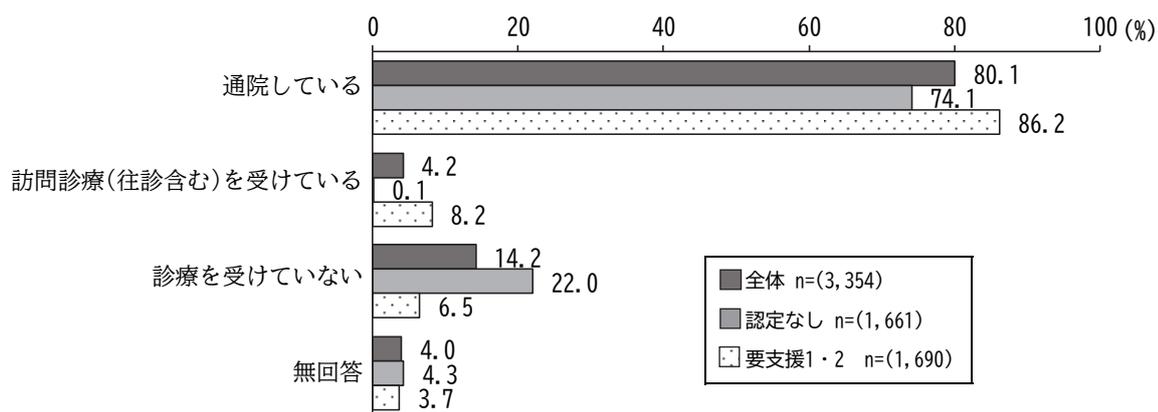


(9) 通院、訪問診療（往診含む）の状況

問13 現在、通院（病院・医院・診療所）や訪問診療（往診含む）で診療を受けていますか。
（あてはまるものすべてに○）

通院、訪問診療（往診含む）の状況としては、「通院している」が80.1%で最も多く、「診療を受けていない」（14.2%）、「訪問診療（往診含む）を受けている」（4.2%）となっています。（図表8-14）

図表8-14 通院、訪問診療（往診含む）の状況



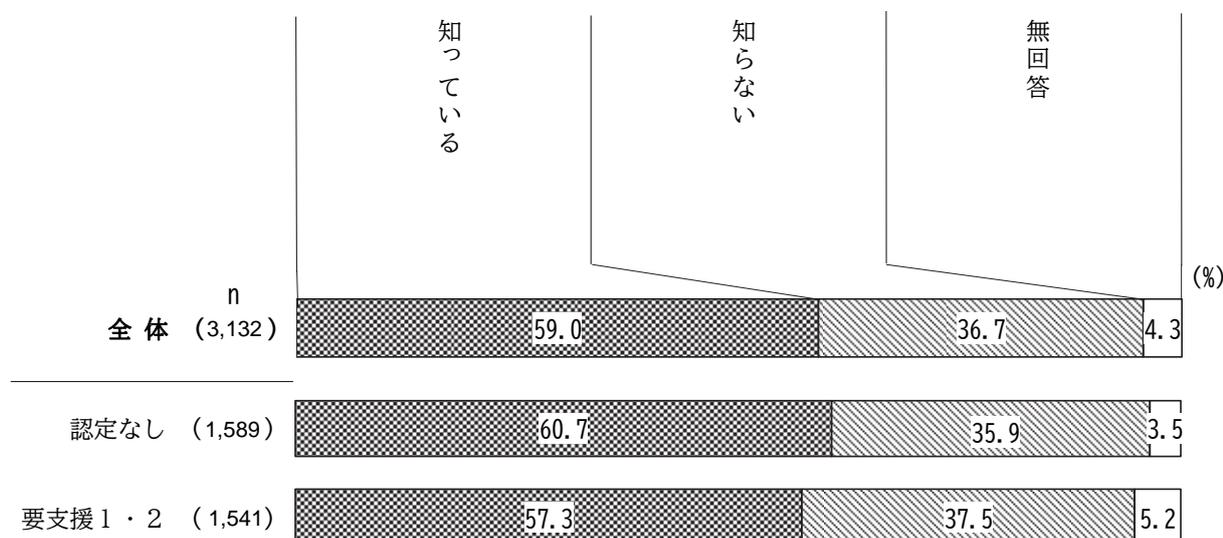
(10) 訪問診療の認知

【問13で「1 通院している」または「3 診療を受けていない」を選んだ方にお伺いします。】

問13(1) 通院が困難な患者さんのお宅に、医師が定期的に診療に伺い、計画的に健康管理を行う「訪問診療」を知っていますか。(○は1つ)

訪問診療は「知っている」が59.0%で、「知らない」は36.7%となっています。（図表8-15）

図表8-15 訪問診療の認知



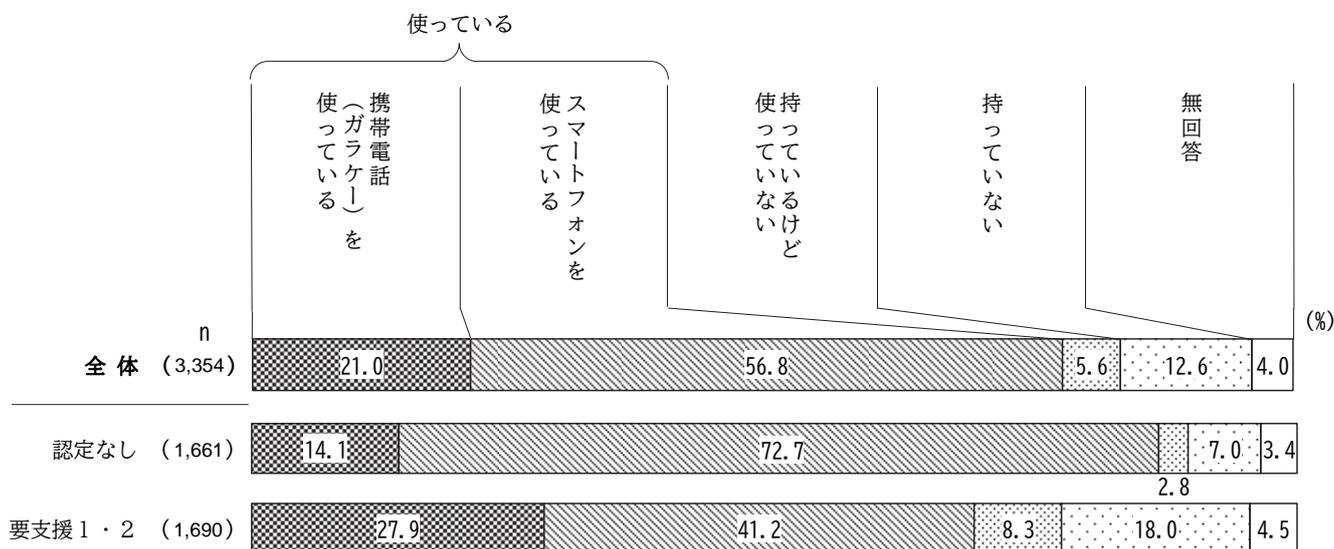
9. 携帯電話・スマートフォンの利用状況について

(1) 携帯電話・スマートフォンの利用状況

問 14 (1) 携帯電話・スマートフォンを使っていますか。(○は1つ)

携帯電話・スマートフォンの利用状況としては、「携帯電話（ガラケー）を使っている」（21.0%）と「スマートフォンを使っている」（56.8%）を合わせた『使っている』は77.8%となっています。一方、「持っているけど使っていない」は5.6%、「持っていない」は12.6%となっています。（図表9-1）

図表9-1 携帯電話・スマートフォンの利用状況



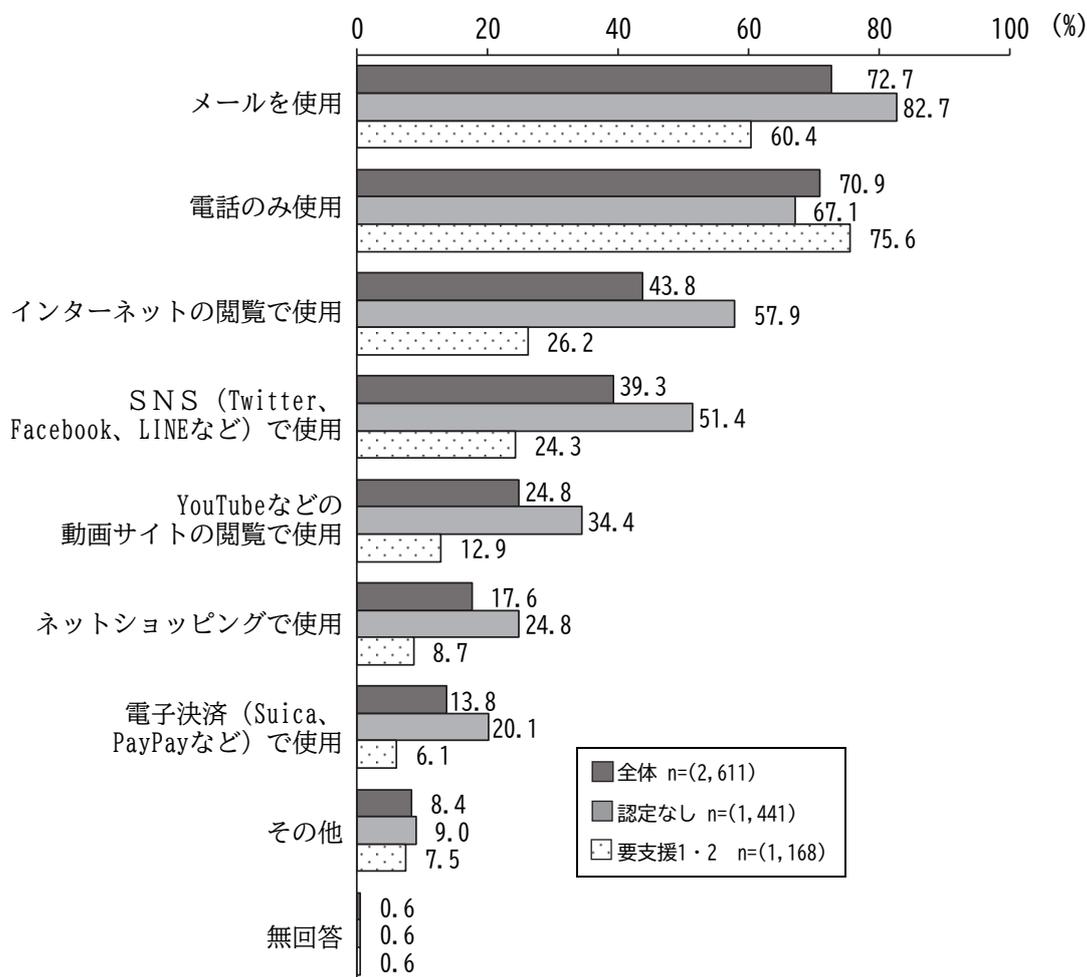
(2) 使用している機能

【(1)で「1 携帯電話(ガラケー)を使っている」、「2 スマートフォンを使っている」を選んだ方にお伺いします。】

問14(1)-1 あなたは普段、携帯電話・スマートフォンのどのような機能を使っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

携帯電話・スマートフォンで使用している機能としては、「メールを使用」が72.7%と最も多く、以下「電話のみ使用」(70.9%)、「インターネットの閲覧で使用」(43.8%)の順となっています。(図表9-2)

図表9-2 携帯電話・スマートフォンで使用している機能



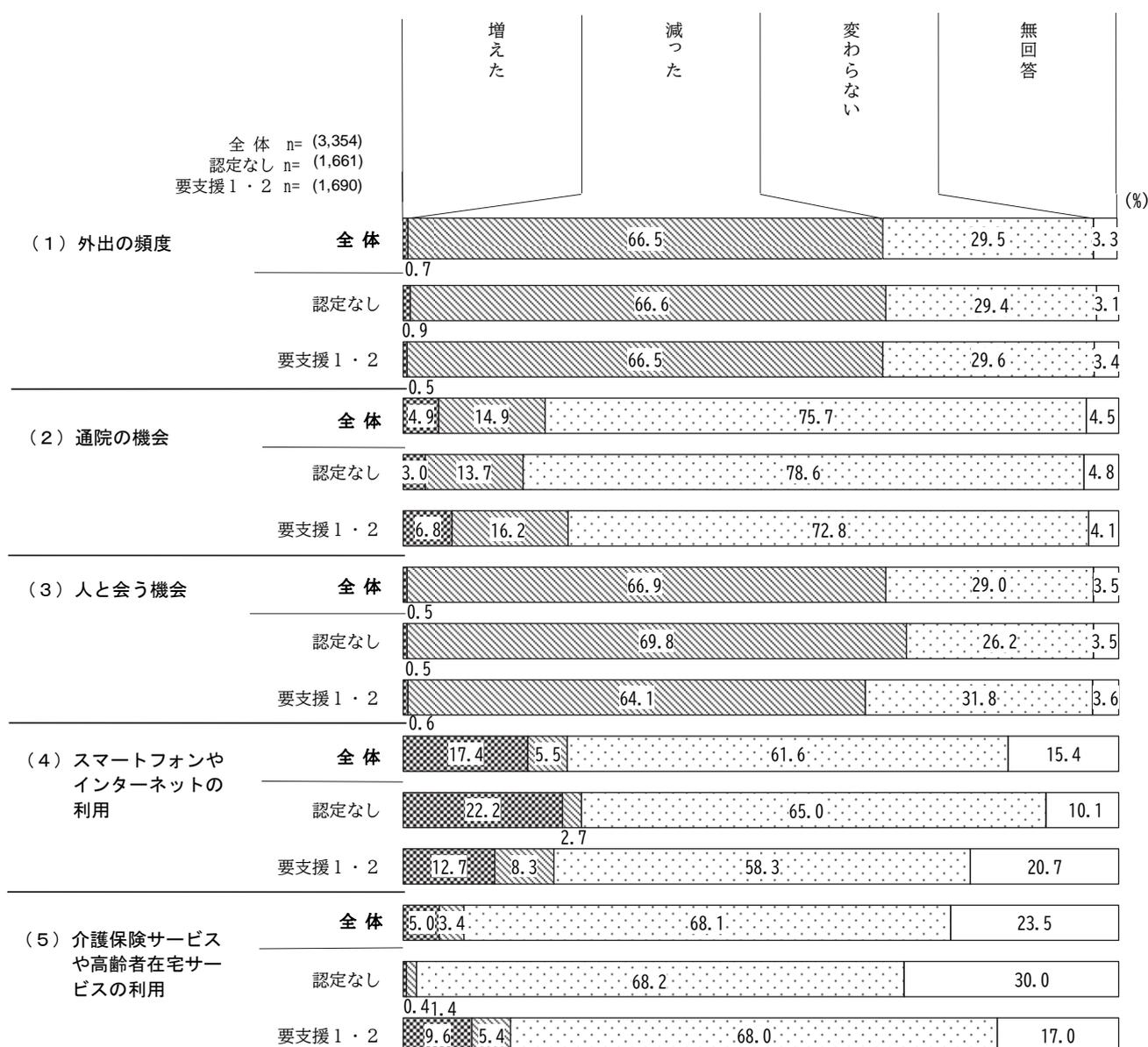
10. コロナ禍での生活の変化について

問 15 新型コロナウイルス感染症に関してお伺いします。コロナ禍以前と比べて、生活の変化はありますか。あてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

コロナ禍での生活の変化において、全5項目をうかがいました。

「(1) 外出の頻度」は、「減った」が全体の66.5%、「変わらない」が29.5%、「(2) 通院の機会」は、「減った」が全体の14.9%、「変わらない」が75.7%、「(3) 人と会う機会」は、「減った」が全体の66.9%、「変わらない」が29.0%、「(4) スマートフォンやインターネットの利用」は、「増えた」が全体の17.4%、「変わらない」が61.6%、「(5) 介護保険サービスや高齢者在宅サービスの利用」は、「増えた」が全体の5.0%、「変わらない」が68.1%となっています。(図表10-1)

図表 10-1 コロナ禍以前と比較しての生活の変化



11. 仕事について

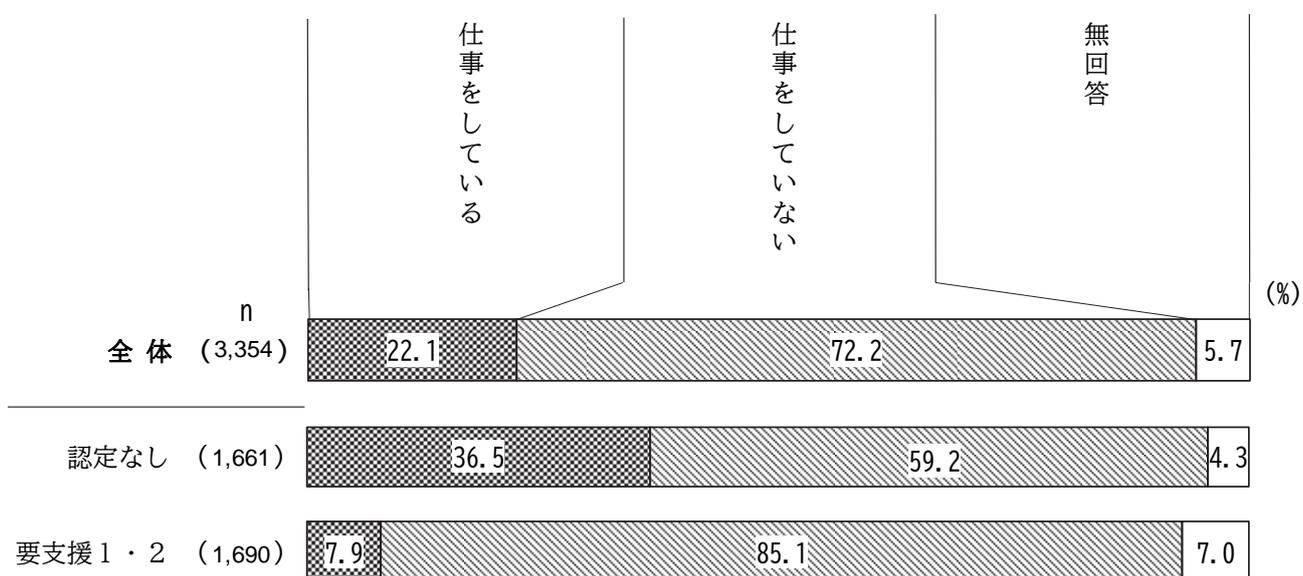
(1) 就労の有無

問16 仕事についてお伺いします。

問16(1) あなたは、現在、収入のある仕事をしていますか。(○は1つ)

就労の有無については、「仕事をしている」が22.1%、「仕事をしていない」が72.2%となっています。(図表11-1)

図表11-1 就労の有無

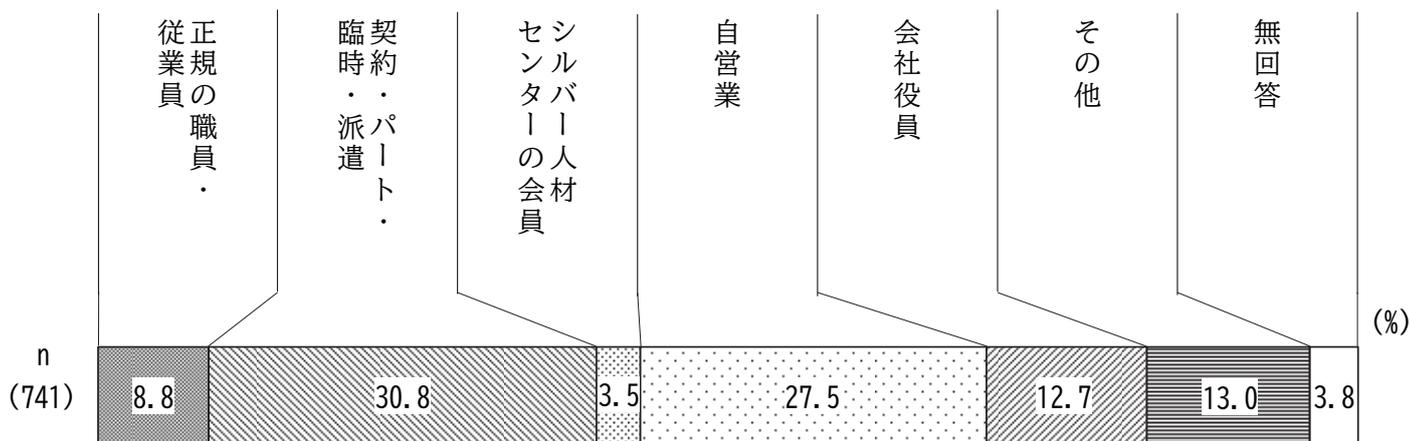


(2) 勤務形態

【問16(1)で「1. 仕事をしている」を選んだ方にお伺いします。】
 問16(1)－1 それはどのような仕事ですか。(〇は1つ)

勤務形態としては「契約・パート・臨時・派遣」が30.8%、「自営業」が27.5%の順になっています。(図表11-2)

図表11-2 勤務形態



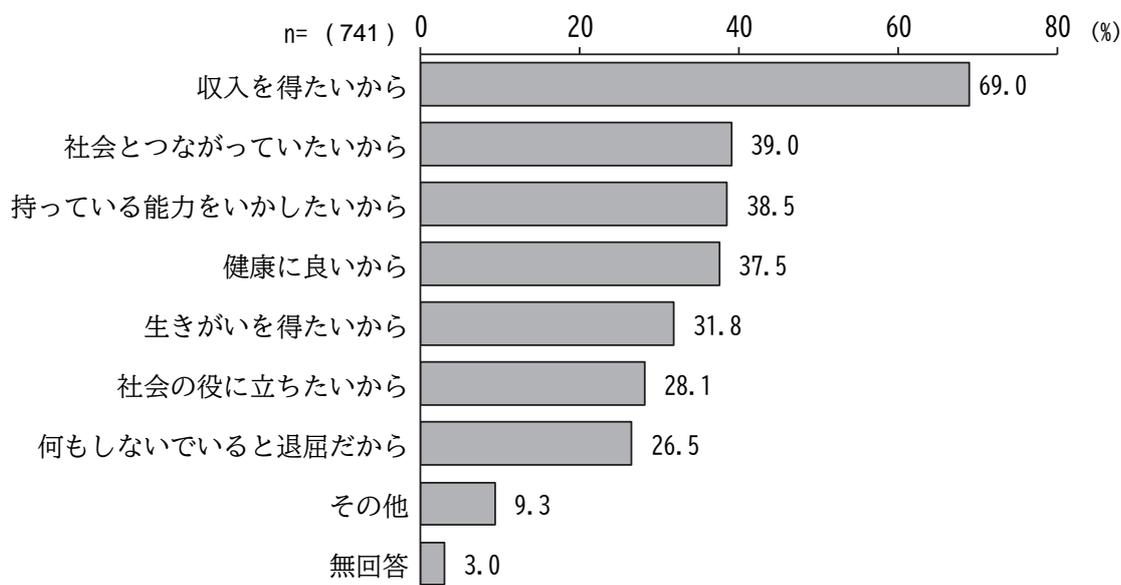
(3) 仕事をしている理由

【問16(1)で「1. 仕事をしている」を選んだ方にお伺いします。】

問16(1)－2 あなたが仕事をしている理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

仕事をしている理由としては「収入を得たいから」が69.0%と最も多く、以下「社会とつながっていたいから」(39.0%)、「持っている能力をいかしたいから」(38.5%)、「健康に良いから」(37.5%)の順となっています。(図表11-3)

図表11-3 仕事をしている理由



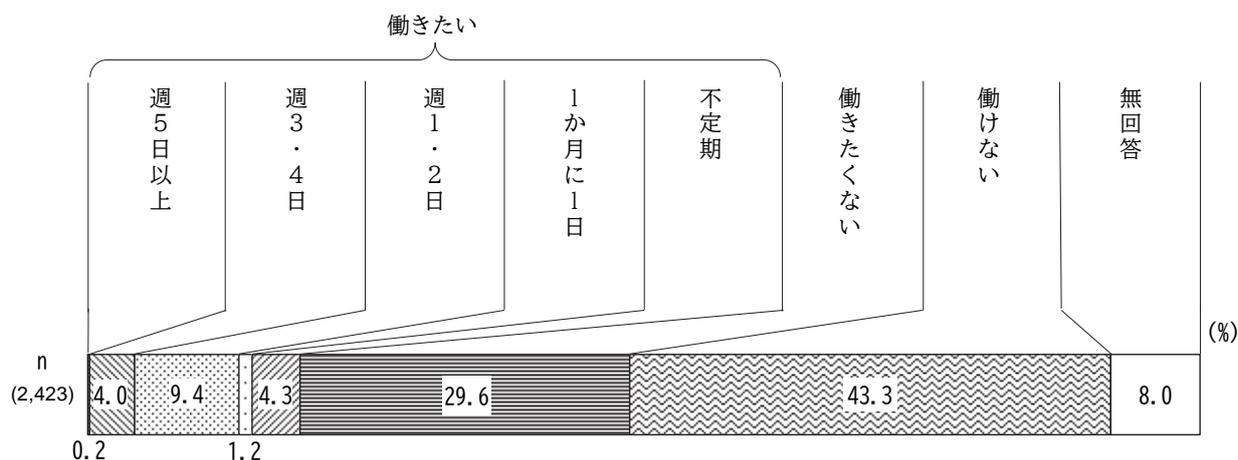
(4) 働きたい日数

【問16(1)で「2. 仕事をしていない」を選んだ方にお伺いします。】

問16(1)-3 週に何日程度であれば働きたいですか。(〇は1つ)

仕事をしていない人の中で、『働きたい』人の割合は19.1%でした。(図表11-4)

図表11-4 働きたい日数



働きたい日数を認定の有無別にみると、「認定なし」では「週1・2日」が14.5%と高くなっています。

性別でみると、男性で「週1・2日」が11.6%と高くなっています。

また、年代別でみると、65~74歳で「週1・2日」(18.5%)、「週3・4日」(9.3%)が多く、『働きたい』人の割合は36.3%となっています。(図表11-5)

図表11-5 働きたい日数/性別、年代別

		n	働きたい					(%)		
			週5日以上	週3・4日	週1・2日	1か月に1日	不定期	働きたくない	働けない	無回答
全体		2,423	0.2	4.0	9.4	1.2	4.3	29.6	43.3	8.0
	認定なし	984	0.5	7.6	14.5	2.1	5.0	43.5	20.5	6.2
	要支援1・2	1,438	0.1	1.5	5.8	0.6	3.8	20.2	58.8	9.2
	性別									
	男性	799	0.4	6.5	11.6	0.8	6.4	36.3	32.9	5.1
	女性	1,589	0.2	2.8	8.3	1.5	3.3	26.4	48.1	9.4
	どちらとも言えない	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-
年代別	65~74歳	507	0.4	9.3	18.5	1.6	6.5	41.2	19.3	3.2
	75~84歳	945	0.3	4.1	8.9	1.5	4.6	33.8	40.0	6.9
	85歳以上	938	0.1	1.1	5.0	0.9	2.9	19.4	59.1	11.6

12. 長寿応援ポイント事業について

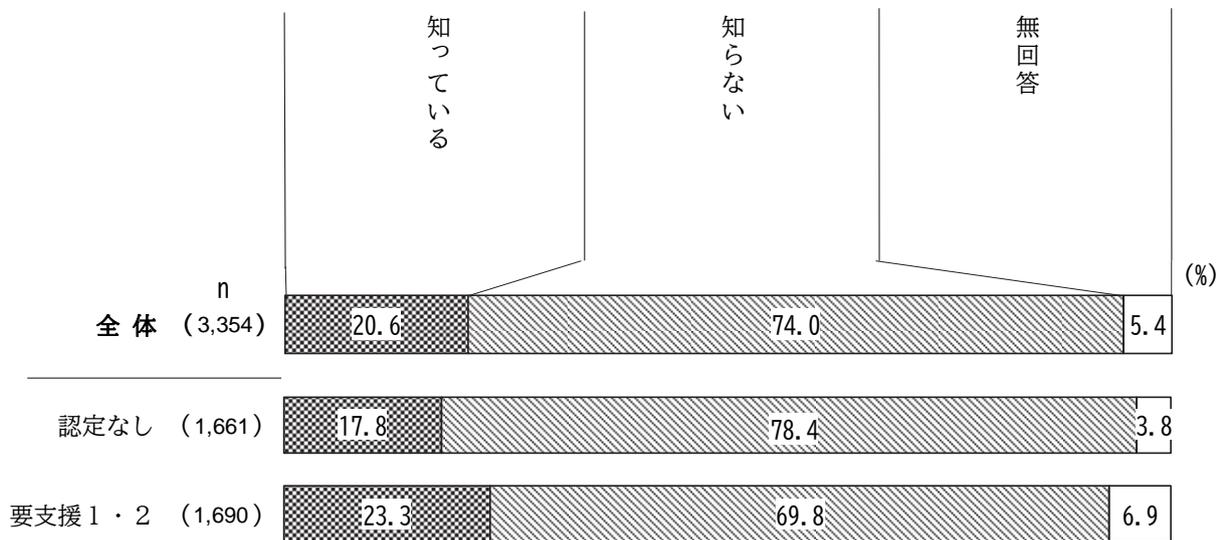
(1) 長寿応援ポイント事業の認知度

問17 長寿応援ポイント事業についてお伺いします。

問17(1) 区が実施している長寿応援ポイント事業を知っていますか。(〇は1つ)

長寿応援ポイント事業の認知度については、「知っている」が20.6%、「知らない」が74.0%となっています。(図表12-1)

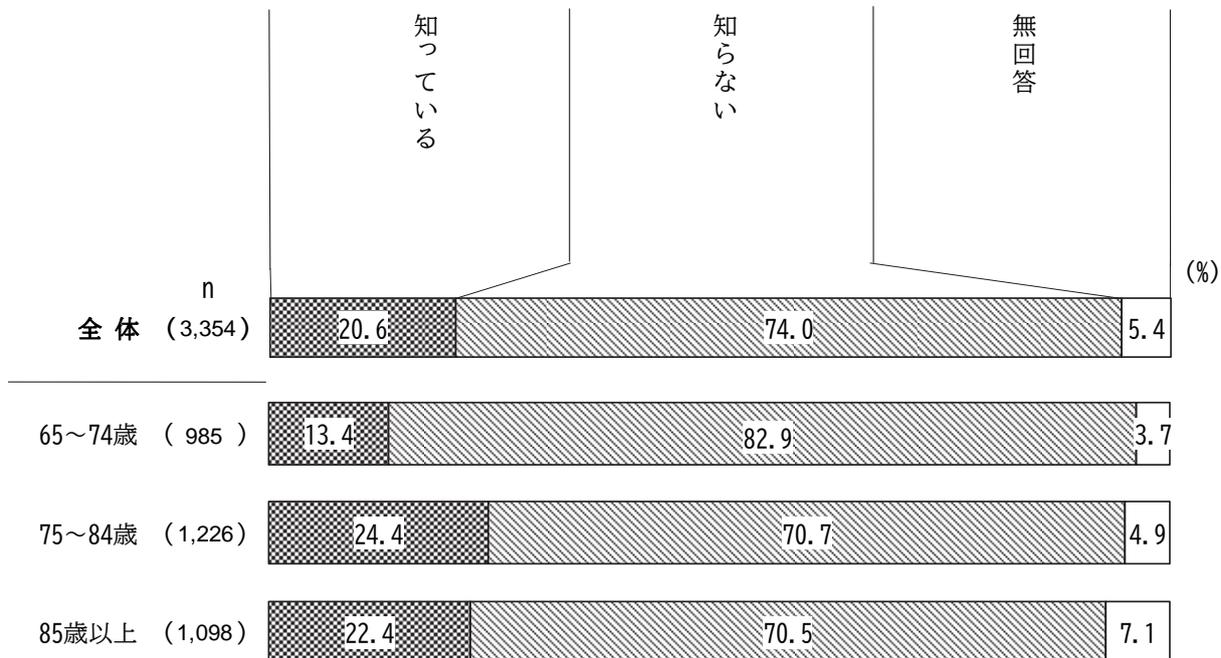
図表12-1 長寿応援ポイント事業の認知度



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

年代別で見ると、「知っている」は“65～74歳”で13.4%にとどまっているのに対し、“75～84歳”では24.4%と、10ポイントほど上がっています。(図表12-2)

図表12-2 長寿応援ポイント事業の認知度(年代別)



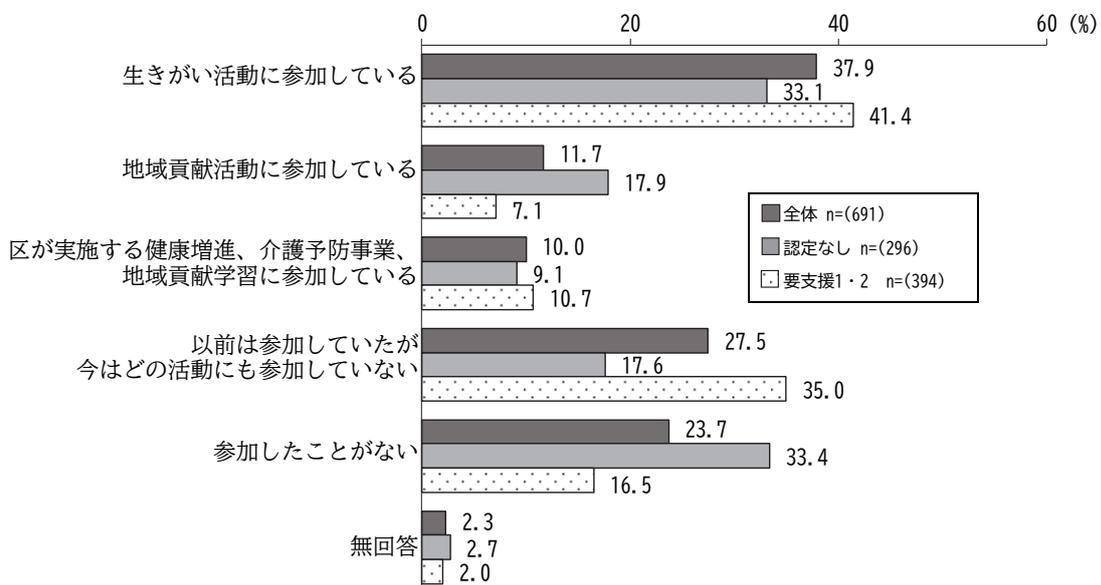
(2) 長寿応援ポイント事業登録団体による活動への参加状況

【問17(1)で「1. 知っている」を選んだ方にお伺いします。】

問17(1) - 1 長寿応援ポイント事業登録団体による活動への参加状況を教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

長寿応援ポイント事業を知っている人の活動への参加状況としては、「生きがい活動に参加している」が37.9%と最も多く、「地域貢献活動に参加している」は11.7%、「区が実施する健康増進、介護予防事業、地域貢献学習に参加している」は10.0%でした。(図表12-3)

図表12-3 長寿応援ポイント事業登録団体による活動への参加状況



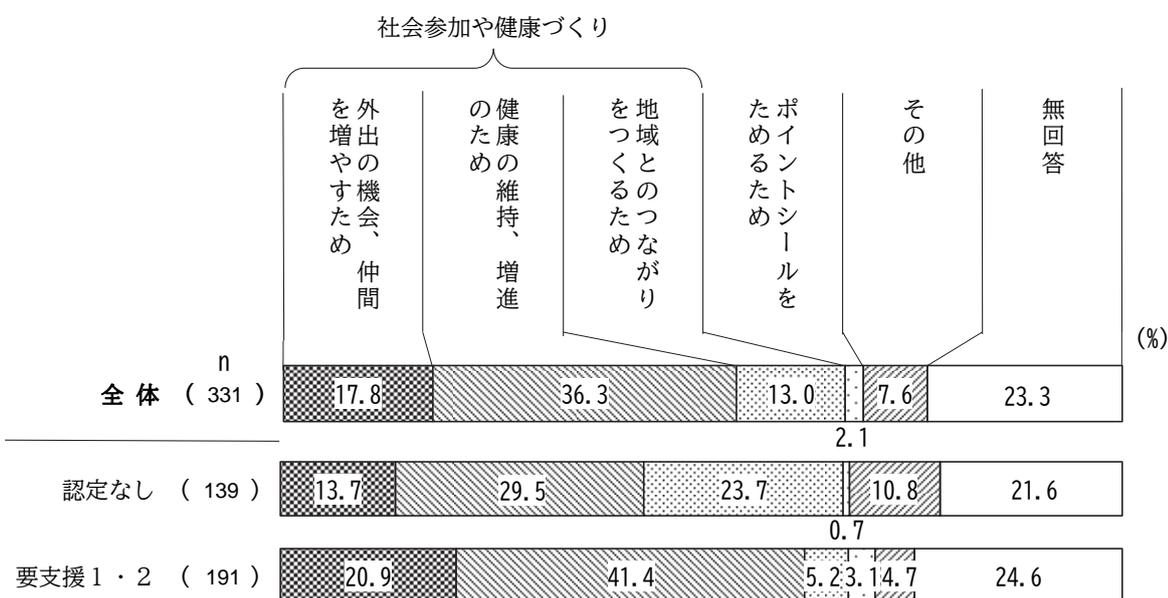
(3) 参加する主な目的

【問17(1)-1で「1~3に参加している」を選んだ方にお伺いします。】

問17(1)-1-1 参加の主な目的はなんですか。(〇は1つ)

何らかの活動に参加している人へ、参加の主な理由をきいたところ、「健康の維持、増進のため」が36.3%、「外出の機会、仲間を増やすため」が17.8%、「地域とのつながりをつくるため」が13.0%と、それらを合わせた『社会参加や健康づくり』が67.1%を占めています。「ポイントシールをためるため」は2.1%です。(図表12-4)

図表12-4 参加する主な目的



(4) 参加したことがない理由

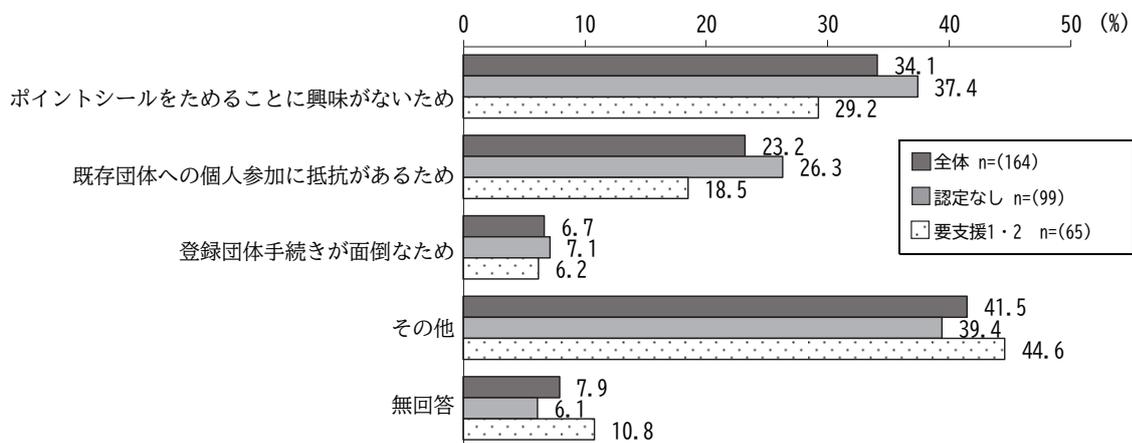
【問17(1)-1で「5. 参加したことがない」を選んだ方にお伺いします。】

問17(1)-1-2 参加したことがない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

長寿応援ポイント事業に参加したことがない理由としては「ポイントシールをためることに興味がないため」が34.1%と最も多く、「既存団体への個人参加に抵抗があるため」は23.2%、「登録団体手続きが面倒なため」は6.7%となっています。(図表12-5)

また、「その他の内訳(複数回答)」としては、「(登録団体等)知らない・分からない」「忙しい・時間がない(就労等)」などがある一方、「病気」「体力・体調の悪化」などの理由により参加したことがない、などがあげられています。

図表12-5 参加したことがない理由



〈その他の内訳(複数回答)〉

理由	件数
(登録団体等)知らない・分からない	148
忙しい・時間がない(就労等)	60
病気	44
体力・体調の悪化	39
高齢のため	25
(事業に)興味・関心がない	23
・そのような事業に関心がない	
・興味のあることがないため など	
必要性がない	16
人付き合いが苦手	14
外出	10
コロナ	6
他で活動	5
(参加する)機会がない	4
・参加する機会に恵まれない	
・誰れかにさそわれない為 など	
その他	25
・友人との時間が有意義な為	
・歩いて行くのが大変、会場が遠い など	

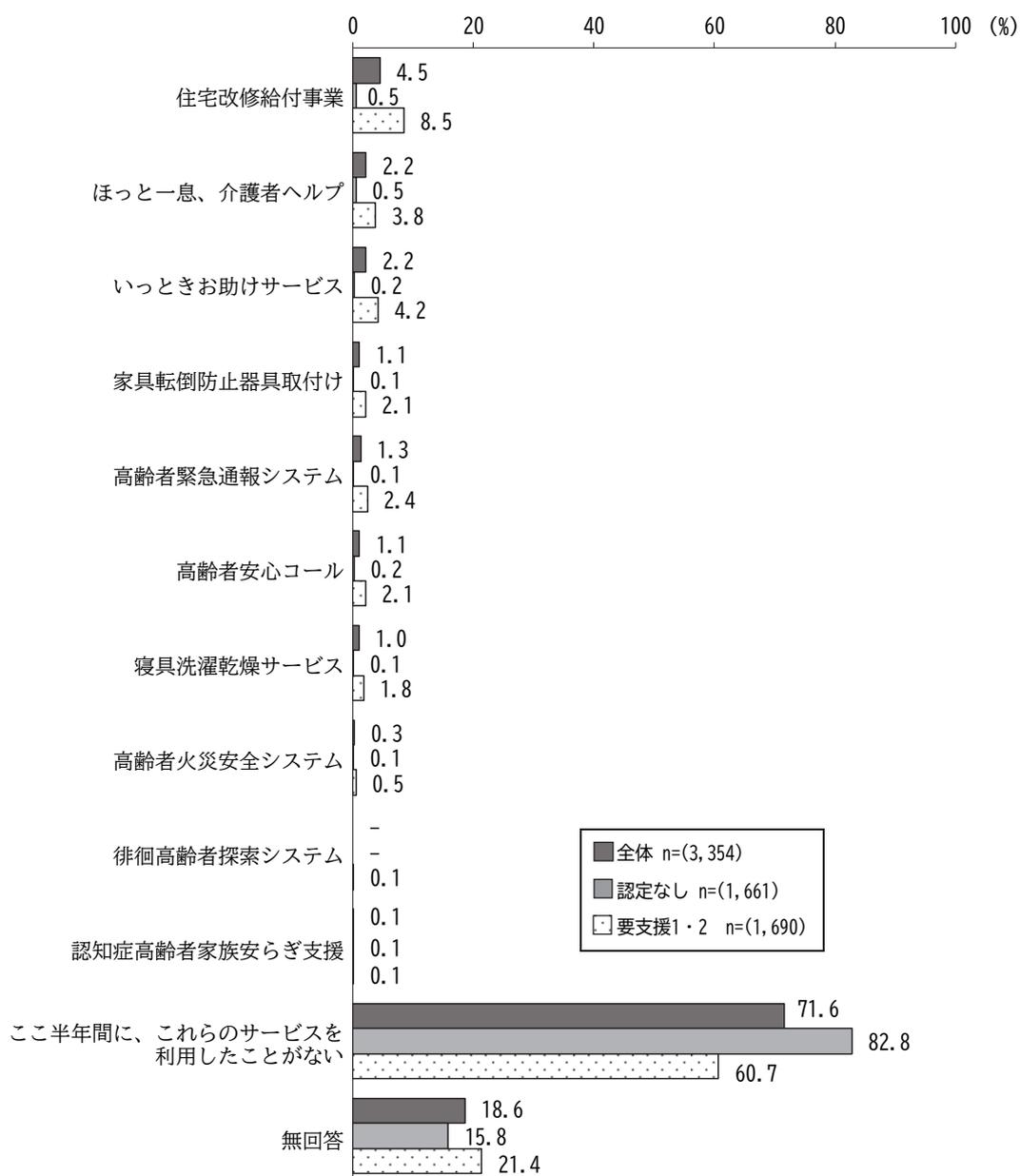
13. 高齢者在宅サービス等について

(1) ここ半年間の高齢者在宅サービスの利用

問18 ここ半年間に、高齢者在宅サービス（区の独自サービス）を利用したことがありますか。
（あてはまるものすべてに○）

全体で、「住宅改修給付事業」（4.5%）が最も多く、次に「ほっと一息、介護者ヘルプ」、「いっときお助けサービス」（2.2%）の順になっています。（図表13-1）

図表13-1 ここ半年間の高齢者在宅サービスの利用



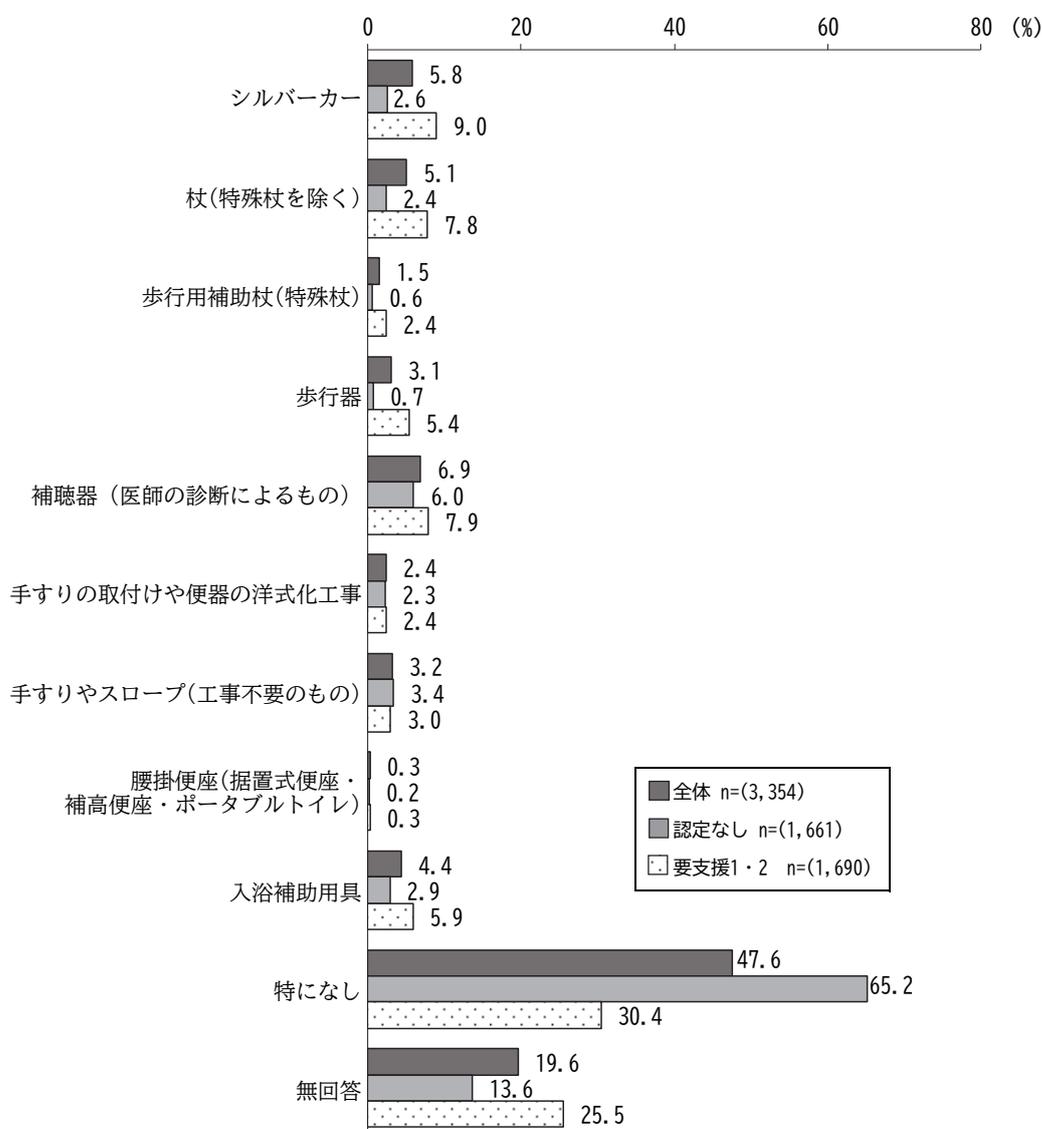
(2) 介護予防のために最も必要だと思う福祉用具等の給付や助成サービス

問 19 介護予防や認知症予防のために、あなたにとって最も必要と思われる福祉用具等の給付や助成のサービスはどれですか。(○は1つ)

介護予防のために最も必要だと思う福祉用具等の給付や助成サービスとしては、「認定なし」では「特になし」が、65.2%と最も多く、次に「補聴器（医師の診断によるもの）」(6.0%)、「手すりやスロープ（工事不要のもの）」(3.4%)、「入浴補助用具」(2.9%)の順になっています。

“要支援1・2”では、「特になし」が、30.4%と最も多く、次に「シルバーカー」(9.0%)、「補聴器（医師の診断によるもの）」(7.9%)、「杖（特殊杖を除く）」(7.8%)の順になっています。(図表 13-2)

図表 13-2 介護予防のために最も必要だと思う福祉用具等の給付や助成サービス



14. 介護保険サービスの利用や制度について

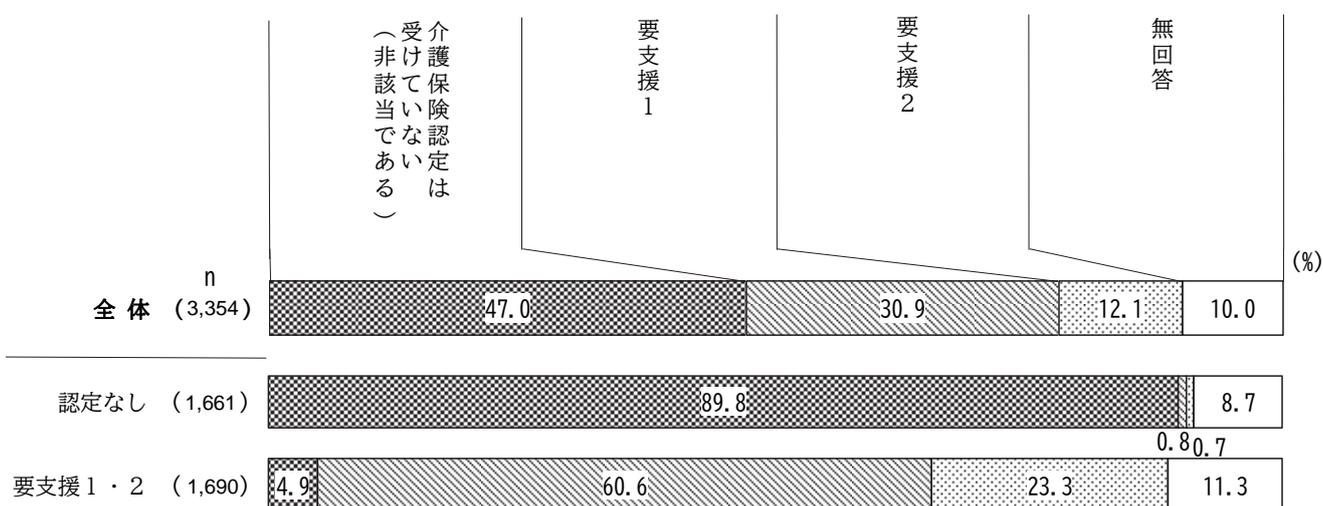
(1) 現在の認定状況

問 20 介護保険サービスの利用や制度についてお伺いします。

問 20 (1) 現在の認定状況を教えてください。(○は1つ)

現在の認定状況としては、全体で見ると「介護保険認定は受けていない(非該当である)」が47.0%、「要支援1」が30.9%、「要支援2」が12.1%となっています。(図表14-1)

図表 14-1 現在の認定状況



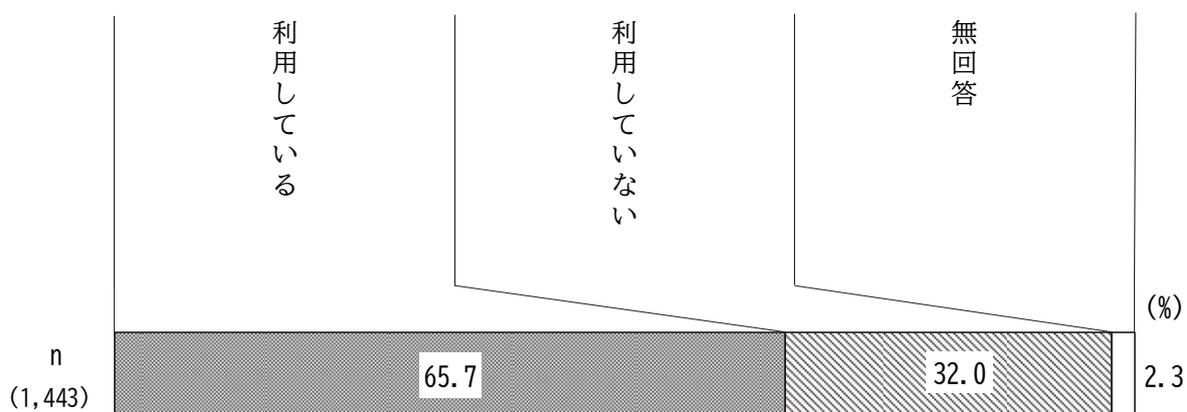
(2) 介護保険サービスの利用状況

【問20(1)で「1. 要支援1」と「2. 要支援2」を選んだ方にお伺いします。】

問20(1) - 1 介護保険サービスを利用していますか。(○は1つ)

介護保険サービスの利用については、「利用している」が65.7%、「利用していない」が32.0%となっています。(図表14-2)

図表14-2 介護保険サービスの利用状況



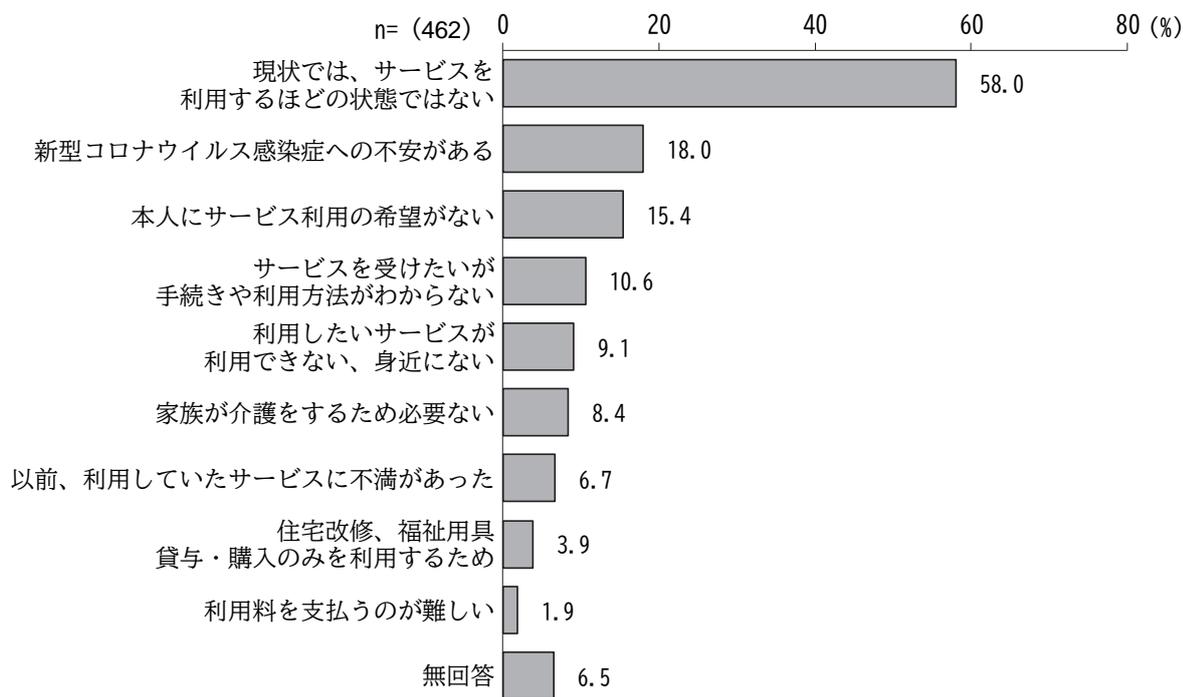
(3) 介護保険サービスを利用していない理由

【問20(1)-1で「2. 利用していない」を選んだ方にお伺いします。】

問20(1)-1-1 サービスを利用していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

介護保険サービスを利用していない理由としては、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が58.0%と最も多く、以下、「新型コロナウイルス感染症への不安がある」(18.0%)、「本人にサービス利用の希望がない」(15.4%)の順となっています。(図表14-3)

図表14-3 介護保険サービスを利用していない理由

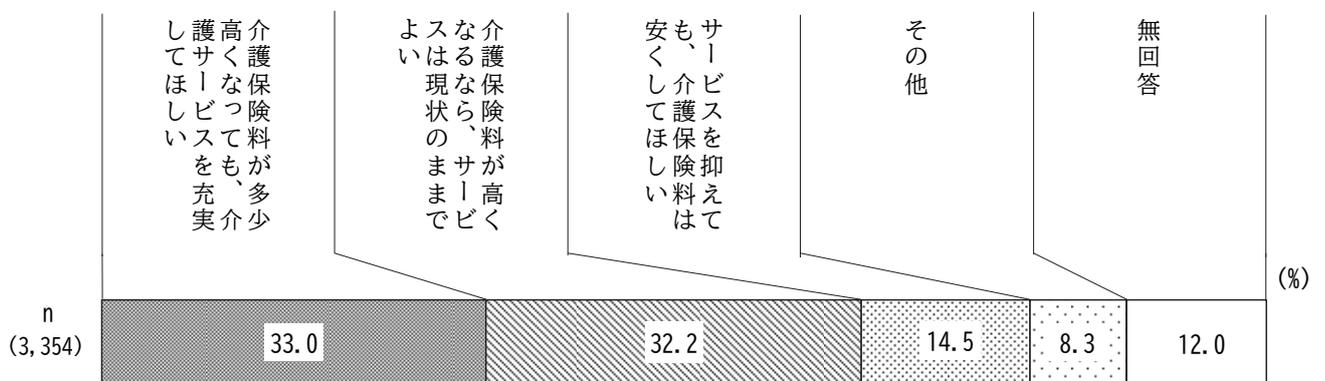


(4) 介護保険サービスと介護保険料のあり方

問 20 (2) 介護サービスと介護保険料のあり方について、ご本人のお考えにもっとも近いものはどれですか。(〇は1つ)

介護保険サービスと介護保険料のあり方については、「介護保険料が多少高くなっても、介護サービスを充実してほしい」が33.0%、「介護保険料が高くなるなら、サービスは現状のままでよい」が32.2%、「サービスを抑えても、介護保険料は安くしてほしい」が14.5%となっています。(図表14-4)

図表 14-4 介護保険サービスと介護保険料のあり方

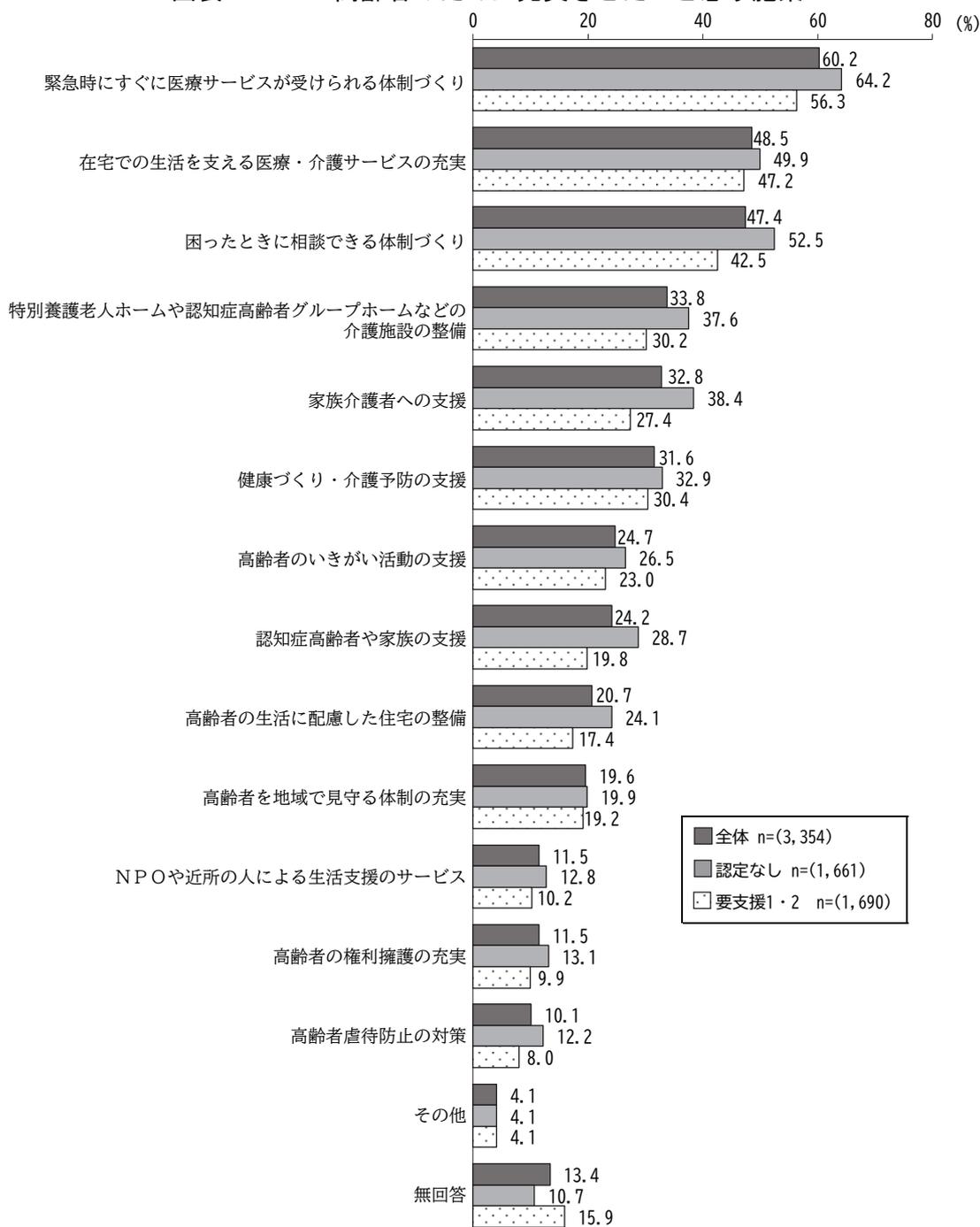


(5) 高齢者のために充実させたいと思う施策

問 21 今後、高齢者のためにどのような施策を充実したらよいと思いますか。具体的な内容があれば「その他」にご記入ください。(あてはまるものすべてに○)

今後、高齢者のために充実した方がよいと思う施策としては、「緊急時にすぐに医療サービスが受けられる体制づくり」が60.2%と最も多く、以下「在宅での生活を支える医療・介護サービスの充実」(48.5%)、「困ったときに相談できる体制づくり」(47.4%)の順となっています。(図表14-5)

図表 14-5 高齢者のために充実させたいと思う施策



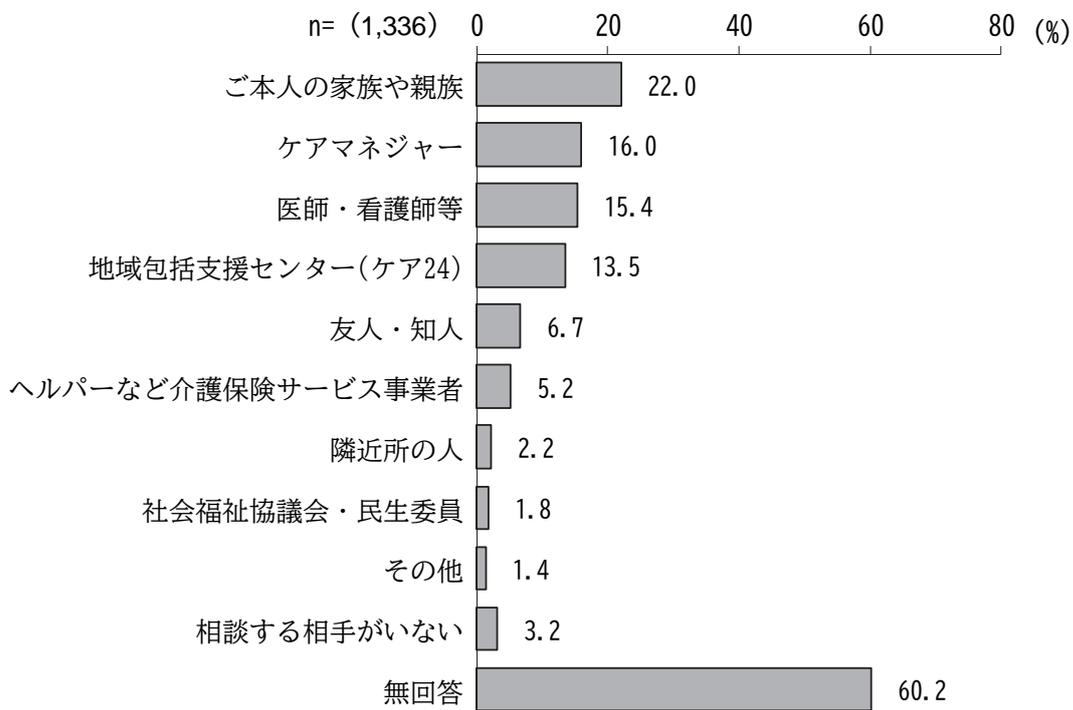
(6) (介助・介護者が) 介護のことで困ったときの相談相手

封筒のあて名ご本人を介助・介護している方におたずねします。

問 22 介護のことで困ったとき、どなたに相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

介助・介護者に対して、介護のことで困ったときの相談相手をきいたところ、「ご本人の家族や親族」が22.0%と最も多く、以下「ケアマネジャー」(16.0%)、「医師・看護師等」(15.4%)、「地域包括支援センター(ケア24)」(13.5%)の順となっています。(図表14-6)

図表 14-6 (介助・介護者が) 介護のことで困ったときの相談相手



15. 社会的孤立の状況について

問4 (1) 家族構成を教えてください。

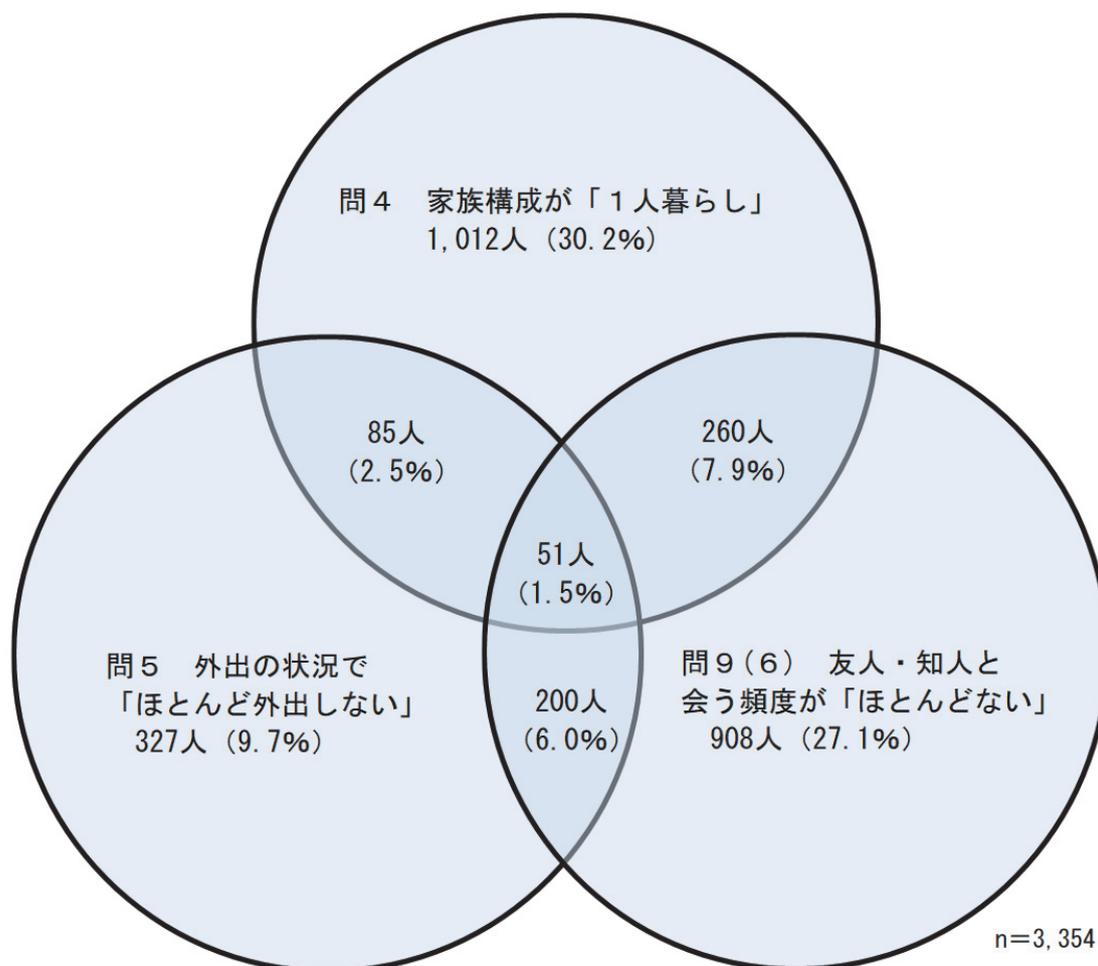
問5 (6) 週に1回以上は外出していますか。

問9 (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいか教えてください。

家族構成(問4(1))、外出の状況(問5(6))、友人・知人と会う頻度(問9(6))といった社会的孤立にかかわる3項目を注視し、その有無・頻度がほとんどないと回答された状況を整理しました。

回答者3,354人のうち、家族構成が「1人暮らし」、外出の状況で「ほとんど外出しない」、友人・知人と会う頻度で「ほとんどない」の3項目がすべてあてはまる人は51人で全体の1.5%となっています。(図表15-1)

図表15-1 社会的孤立の状況



16. 経年比較

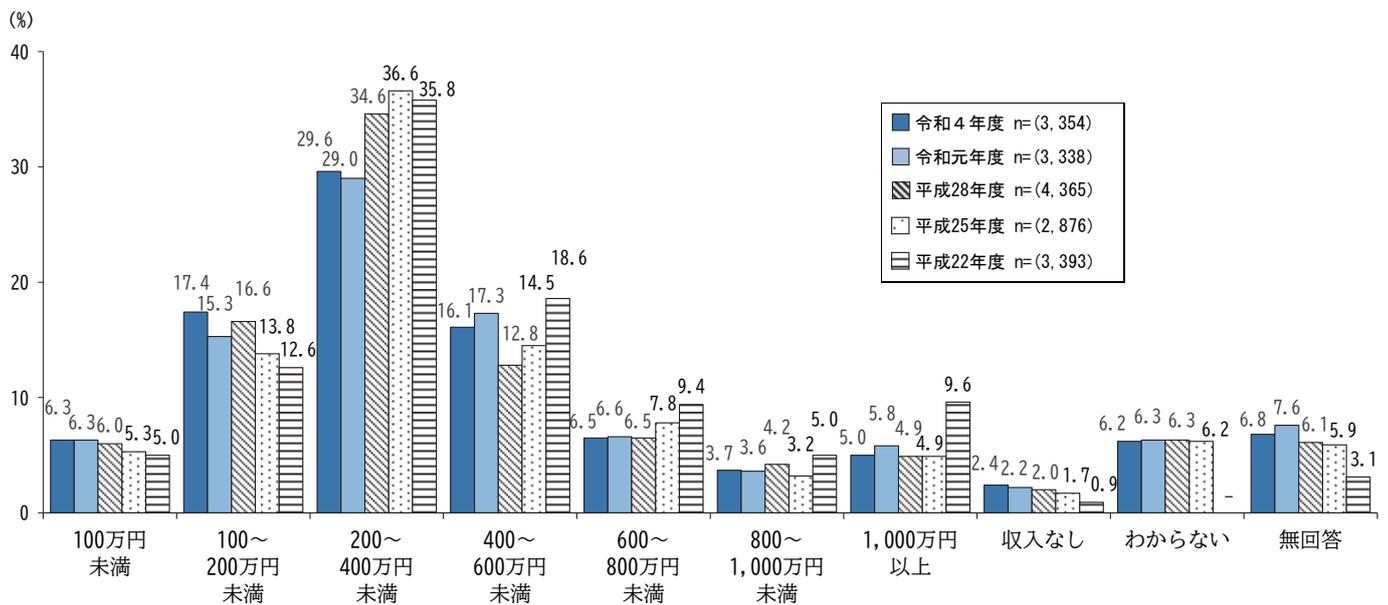
(1) 昨年1年間の世帯収入

問4(4) 昨年1年間の世帯(同居するご家族すべてを含む)の収入はどのくらいでしたか。

(○は1つ)

令和元年度から大きな差異はみられませんが、「400～600万円未満」でやや少なくなり、「100～200万円未満」がやや多くなっています。(図表16-1)

図表16-1 昨年1年間の世帯収入



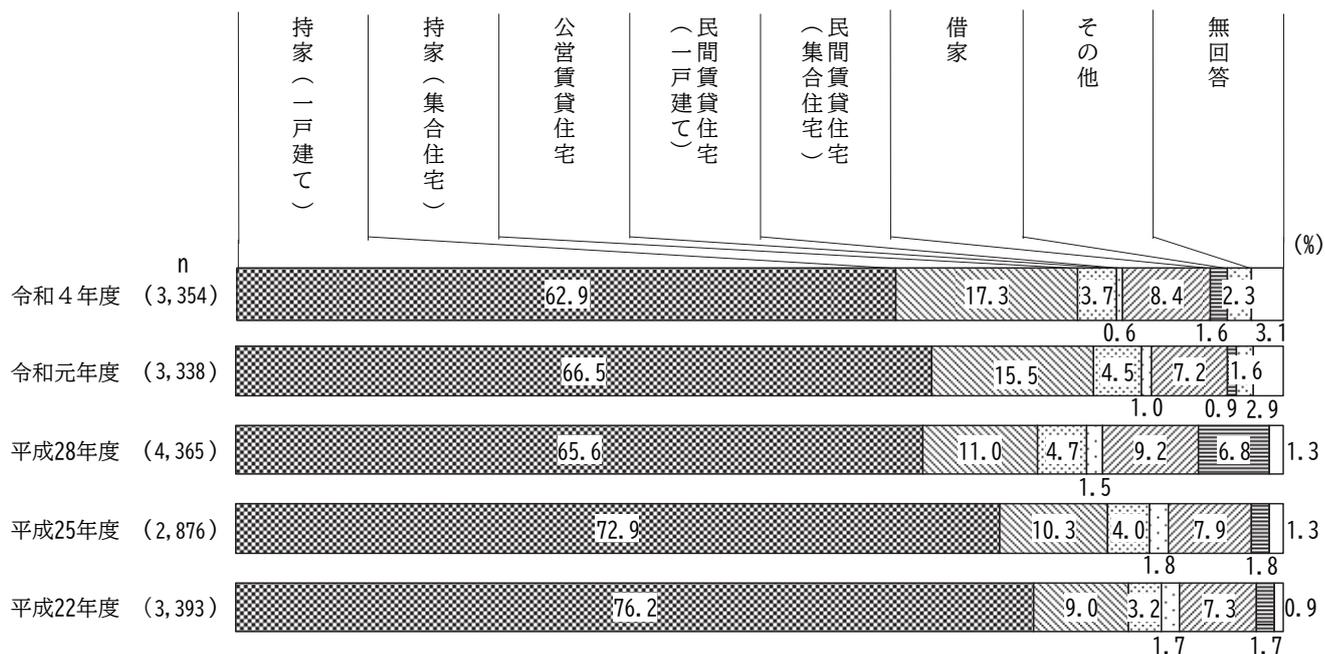
※「わからない」は、平成25年度に新設されました。

(2) 居住形態

問4 (5) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(〇は1つ)

「持家（一戸建て）」では、平成22年度、25年度の7割台に対し、平成28年度、令和元年で6割台半ば、今回で62.9%となっています。また、「持家（集合住宅）」は平成22年度以降微増し、今回で17.3%となっています。(図表16-2)

図表 16-2 居住形態



※令和元年度から令和4年度への選択肢変更は、「借家（社宅、官舎など）」→「借家」となります。

※平成28年度から令和元年度への選択肢変更は、「分譲マンション」→「持家（集合住宅）」、「賃貸の公団、公社住宅、都営、区営住宅」→「公営賃貸住宅」、「賃貸マンション、アパート」→「民間賃貸住宅（集合住宅）」、「社宅、官舎、その他」→「借家（社宅、官舎など）」「その他」となります。

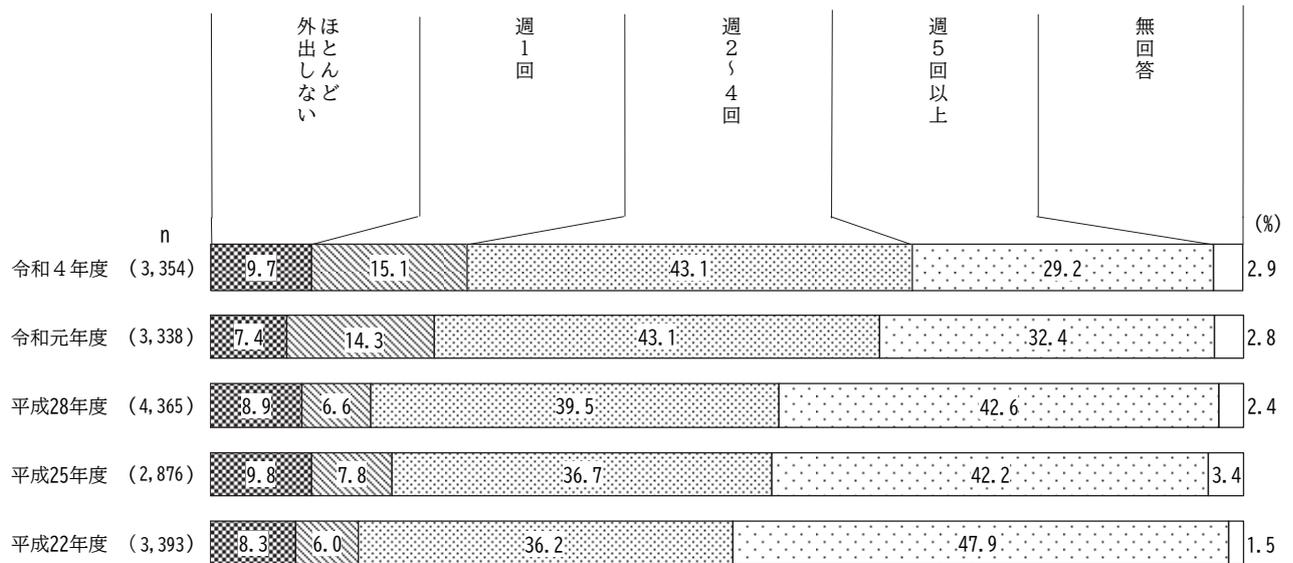
※平成22年度における「賃貸マンション」「民間鉄筋・鉄骨アパート」「民間木造アパート」は、合計して「賃貸マンション、アパート」とし、「間借り・住み込み等」は「その他」へ合算して集計しました。

(3) 外出の頻度

問5 (6) 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

外出の頻度については、「週5回以上」が29.2%で、令和元年度から3.2ポイント減となっています。(図表16-3)

図表16-3 外出の頻度



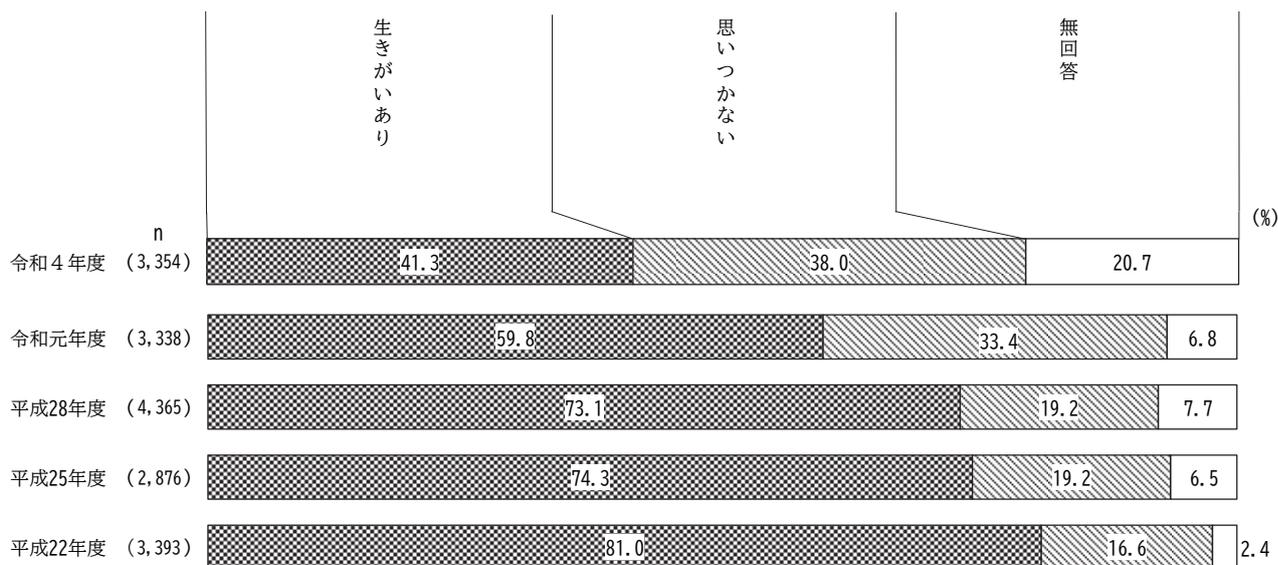
※平成28年度以前から令和元年度への選択肢変更は、「ほとんどない」+「月に1〜2回程度」→ほとんど外出しない、「週に2回程度」+「週に3〜4回程度」→「週2〜4回」、「ほぼ毎日」→「週5回以上」となります。

(4) 生きがいの有無

問7 (18) 生きがいはありますか。(○は1つ)

「生きがいあり」は平成22年以降減少傾向にあり、今回は41.3%と令和元年度から18.5ポイント減となっています。(図表16-4)

図表16-4 生きがいの有無



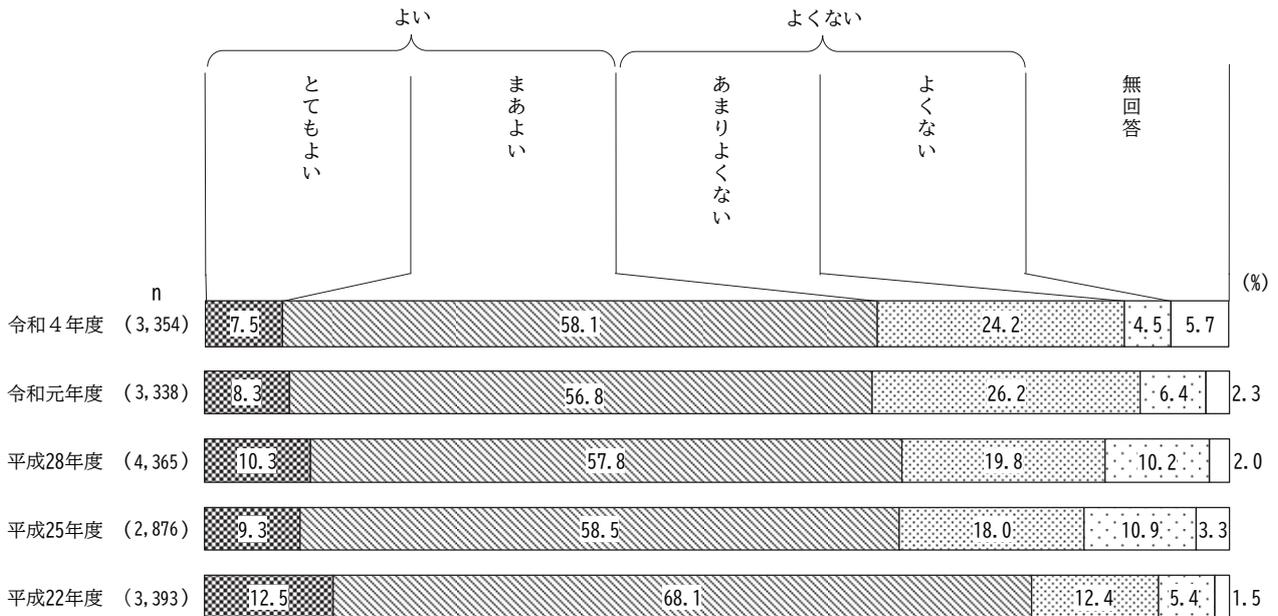
※「生きがいあり」「思いつかない」は、平成25・28年度では「はい」「いいえ」、平成22年度では「感じている」「感じていない」となっていました。

(5) 主観的な健康感について

問 11 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

令和元年度から「とてもよい」「まあよい」を合わせた『よい』は、6割台半ばで推移しています。(図表 16-5)

図表 16-5 主観的な健康感について



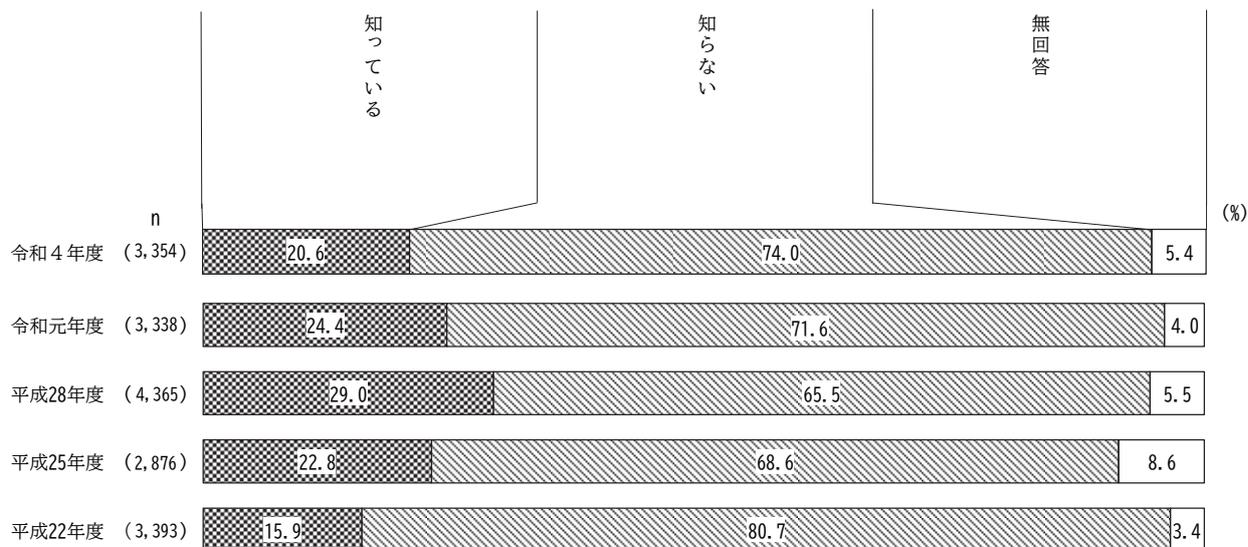
※平成28年度以前から令和元年度への選択肢変更は、「とても健康だと思う」→「よい」、「まあまあ健康だと思う」→「まあよい」、「あまり健康ではない」→「あまりよくない」、「健康ではない」→「よくない」となります。

(6) 長寿応援ポイント事業の認知度

問17(1) 区が実施している長寿応援ポイント事業を知っていますか。(〇は1つ)

「知っている」は平成28年度まで増加傾向にありましたが、今回は20.6%と令和元年度から3.8ポイント減となっています。(図表16-6)

図表16-6 長寿応援ポイント事業の認知度



17. 自由意見

介護保険制度、保健福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などがございましたら、自由にお書きください。

高齢者の福祉について 734 人からご意見・ご要望をいただきました。分類したうえで、それぞれについて数件ずつ示していきます。

1. 認定方法、手続き、サービスに関して

- ・色々な書類の手続きは出来るだけ簡単にしてほしいです。同じような書類を何枚も作成しているため1回で済むようにお願いします。
- ・介護の内容が少し違うと別の業者と契約しないといけなくなるので、区に一度手続きをすれば、それ以降はすべてが自動的に行われるように区で一本化されると良いと思います。
- ・介護保険の認定は、本人だけでなく本人を介護する人の状況も含めて決めて欲しいです。
- ・要介護認定を3回受けても要介護にならず、要支援2で1人での生活が不自由、歩行器利用で買い物難民です。現状を見ていただきたいです。
- ・要介護（要支援）認定の申請について、ある程度の年齢（例えば90才以上）になったら、要支援であっても、年一回は認定調査をしていただきたいです。高齢になればなるほど、老化のスピードは早くなります。一律に認定の期間を定めるだけでなく、細かく見ていただきたい…と心から願っています。

2. 現状の訴え

- ・在宅での生活を支える医療・介護サービスの充実を願っています。
- ・現在の介護保険制度等について、政府による制度の見直しが始まっています。審議会の提言が実現した場合、高齢者の在宅介護は大変困難になると思います。数年先には自分も介護保険を利用することもあると思いますので、現在のサービスが出来るだけ改正されない事を望みます。

3. 施設、サービス等の整備、拡充

- ・特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホームなどの介護施設を整備してほしいです。
- ・親切なケアマネジャーさんやケア24のスタッフの方に大変、助けていただきました。ありがとうございます。通院の付添や日中の声かけや見守りが、お願いできるようになると助かります。
- ・出来ればもう少しヘルパーさんの1回の時間を長く利用出来て、掃除やお買い物、コミュニケーション等が充実できたら嬉しいです。

4. 情報提供、相談機関、広報

- ・困った時に相談できる窓口を作り、ポスター等でインフォメーションが必要だと思います。
- ・高齢者が受けられるサービス等についての冊子を作成し、配布してほしいです。
- ・今後、サービスを受けたいと思っている人に向けて、広報紙やホームページ以外にも説明会のようなものがあっても良いと思います。

5. 保険料に関して

- ・年金が増えないのに、保険料が高すぎます。
- ・現在まで介護・介助は受けていませんが、年金から徴収される介護保険料が高く、負担に感じます。気軽に利用出来る介護予防サービスの方法があればと思います。

6. 満足、感謝

- ・先日介護保険の件で係の方にお会いしました。皆さんとても親切で感じよく頑張っておられるなど感謝しました。
- ・区には本当に色々お世話になっております。本当に感謝致します。
- ・今まで無事にやってこられた事に感謝の気持ちが強く感じられました。

7. 介護保険制度に関して

- ・介護保険料の設定に、サービスを利用してない人のメリットがあると良いです。介護を受けないよう努力する事が本人にとっても国にとってもメリットがあると思います。＜介護保険＞と言う名称をもっと明るいイメージに変えてほしいです。
- ・介護保険加入後、1度もサービスを使ったことがありません。そういう人の保険料の減額等は無いのでしょうか。少ない年金から引かれるので大変です。

8. 今後のこと、不安

- ・老人がどんどん増えてこのまま介護保険制度が続けられるか心配です。
- ・今現在私は80才、夫は85才共に元気で、足腰もしっかりしています。サービスも、認定も受けていませんが、この先自分の体がどの様な状態になるのかは分かりません。介護保険料は高いと思っていますし、これからも払い続けなければなりません。いざ介護サービスを受ける段階になった時、介護保険制度ってこんなに良かったんだ、払っていてよかったねと思えるような充実した内容になっていく事を望んでいます。
- ・現在、介助、介護も受けていないので見当が付きませんが、実際に必要となった時の事が心配です。

9. 福祉政策全般

- ・少子高齢化社会の中で国、地方公共団体、企業間のムダのない連携と縦割でない柔軟な対応が出来る体制を整備してほしいです。また、社会保障や医療でもデジタル化を強力に進め、皆さんがムダな作業から解放され、生き生きとした仕事出来るようになれば良いと思います。更に若者と高齢者がコミュニケーション出来るような社会になれば、一層すばらしい社会になります。双方にメリットがあるように出来たらいいと思います。
- ・介護保険施設「特養」「老健」「療養」の増設により、入居待ちなどの心配のない福祉施策の推進、老後生活の今後に不安のない安心の杉並区政を切望します。

10. 経済的負担

- ・身体が不調の時など、どうしたら良いか、経済的にやっていけるか不安です。収入が年金のみなのに、健康保険、介護保険やその他支出が高く、このまま生活できるか心配です。
- ・国民年金が少ないので年何回か交付金を出してほしいです。物価が何もかも上がり、生活できないのもっと自治体も考えてほしいです。

11. 医療に関して

- ・在宅での医療の充実を特に希望します。
- ・手術等の治療後のリハビリの在り方について、健康保険と介護保険との連携を考えて欲しいです。特に、機能回復を目的とした場合健保は5か月で終了してしましますが、その後介護対象にならない場合機能回復や予防の仕方がわかりません。介護を受けない様な、機能維持の体制整備を是非考え、高齢者向けのスポーツジムの様なものや指導者を設置して欲しいと思います。

12. ヘルパー等の待遇改善

- ・かねてから、「高齢者福祉施設で働く人が少ない」と聞いています。介護者が働きやすい処遇をつくってほしいと願います。
- ・高齢者支援（ケア）従事者の地位・待遇アップをお願いします。
- ・福祉サービスを担う人材が不足しているとよく聞きます。将来、サービスを受けられないのでは？と不安に思います。人材育成や、職員の待遇改善につながる区政を希望します。

13. 介護者の負担軽減

- ・ヤングケアラーであれ、老老介護であれ、ケアしているケアラー（介護人）へのケアが一番大切ではないでしょうか。
- ・父の介護をして自宅で看取りました。経済的にも精神的にも大変でした。働いていたので年末年始やGW位は休みたいと思っても、住み込んでもらっていたヘルパーさんもお休みになるので辛かったです。これは国がやることだと思いますが、介護休暇も申請方法が複雑であることや時期の見極めが難しく、介護される人だけでなく介護者へのケアも充実されることを望みます。

14. その他

- ・この実態調査の主旨がいまひとつわからず質問に答えるのに困った所が多々ありました。高齢者という“枠”で考えるという点に抵抗がある場面があります。ひとり、ひとりが居て、ひとり、ひとりが尊重されてお互いが思いやれる豊かな人生を送ることができる環境作り、そんな街作りが出来たらと思います。
- ・まだ自由に動けるため、現実感がありません。
- ・家の中に知らない人に入られるのが嫌で介護サービスは利用しておりません。
- ・まだまだ健康で足腰が丈夫なので、日頃から転倒にも気を付けています。元気なうちは働きたいと思っているので、就職活動もしています。まだ介護保険等にも実感が湧きませんが、とりあえず毎日元気で頑張ります。

第3章 要介護認定者に関する実態調査結果

1. 対象者の属性

(1) 介護保険認定の状況及び性別

本調査は、令和4年9月1日現在、杉並区にお住まいの65歳以上の方2,500人（要介護認定1～5を受けている方）を対象に行い、自宅及び区内の親族等の家に居住している方を調査数の基礎としました。

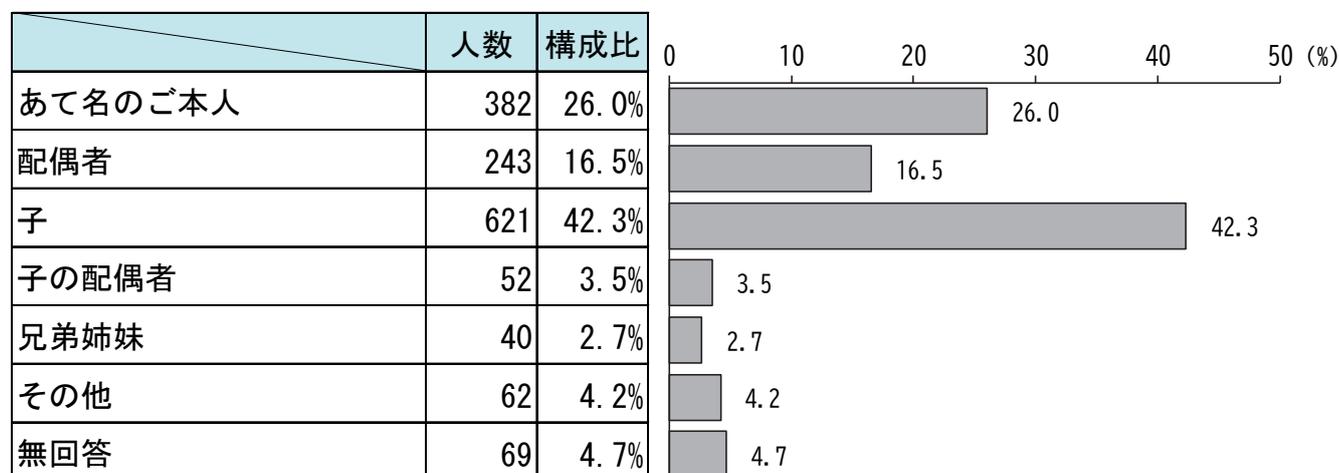
図表1-1 居住先及び性別

			構成			
			男性	女性	どちらとは言えない	無回答
全体	1,469人	100.0%				
自宅(ショートステイ中含む)	909人	61.9%	340人	564人	—	5人
区内の親族等の家	19人	1.3%	5人	14人	—	—
入院中	111人	7.6%				
区外へ転出	1人	0.1%				
介護施設に入所	339人	23.1%				
その他	31人	2.1%				
無回答	59人	4.0%				

(2) 調査票の記入者

問1 調査票を記入される方は、どなたですか。封筒のあて名のご本人からみた関係でご回答ください。2人以上で記入される場合は主に記入される方をご記入ください。(○は1つ)

図表1-2 調査票の記入者



(3) 居住先

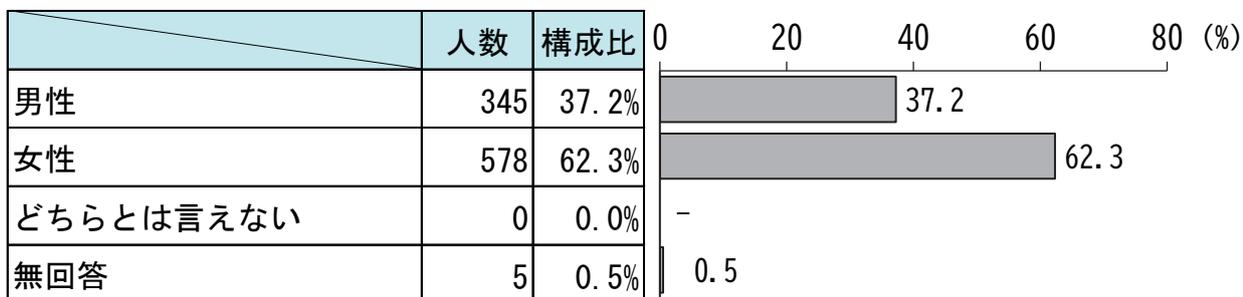
問2 あなたは今どちらにいらっしゃいますか。(〇は1つ)

図表1-1を参照ください。

(4) 性別

問3 あなたの性別を教えてください。(〇は1つ)

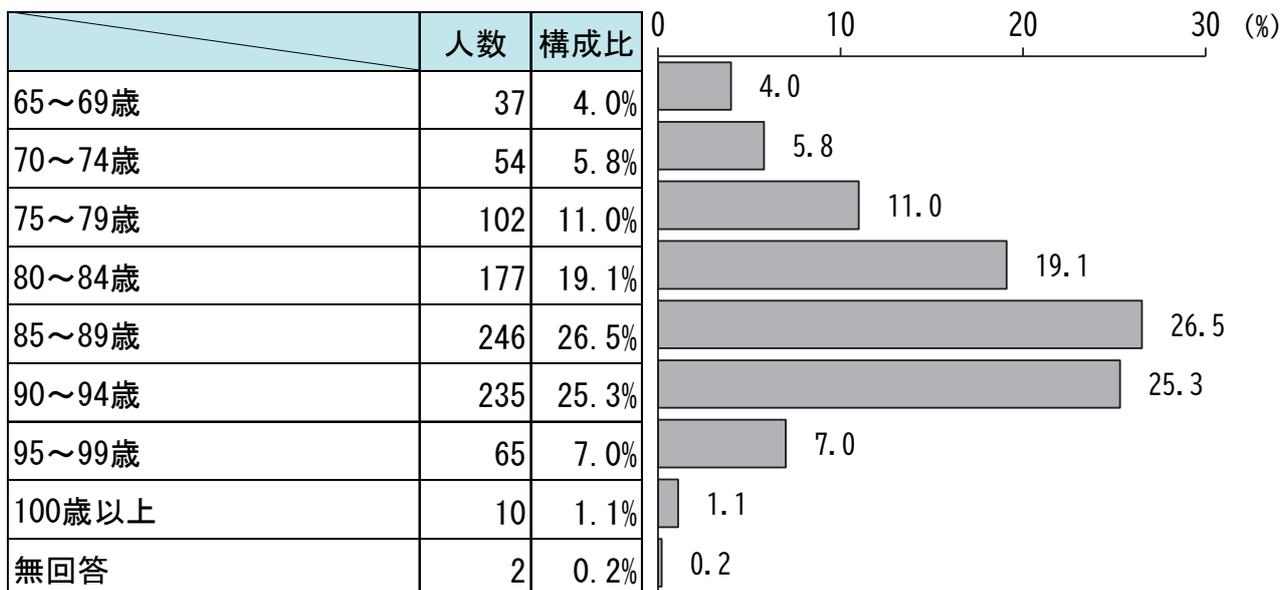
図表1-3 性別



(5) 年齢

問4 あなたの年齢はおいくつですか。(〇は1つ)

図表1-4 年齢



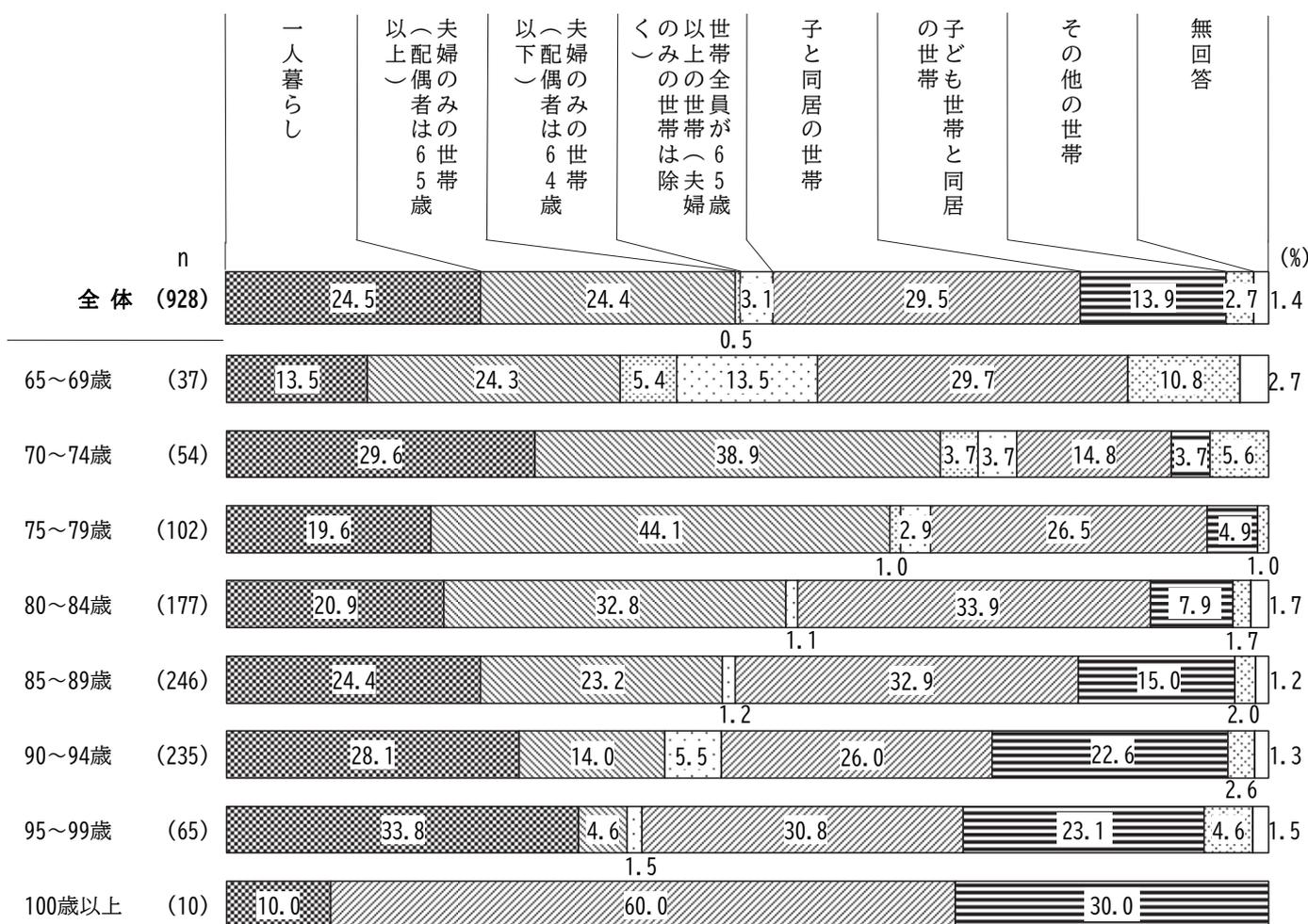
(6) 家族構成

問5 一緒に暮らしている家族の構成を教えてください。(○は1つ)

家族構成としては「子と同居の世帯」が29.5%、「一人暮らし」が24.5%、「夫婦のみの世帯（配偶者は65歳以上）」が24.4%、「子ども世帯と同居の世帯」が13.9%などとなっています。

年齢別で見ると、“70～79歳”で「夫婦のみの世帯（配偶者は65歳以上）」が3割台後半から4割台半ば、“80～89歳”で「子と同居の世帯」が3割台と多くなっています。また、“70～74歳”、“90～99歳”では「一人暮らし」が2割台後半から3割台前半を示し、他層と比較してもやや多くなっています。(図表1-5)

図表1-5 家族構成／年齢別



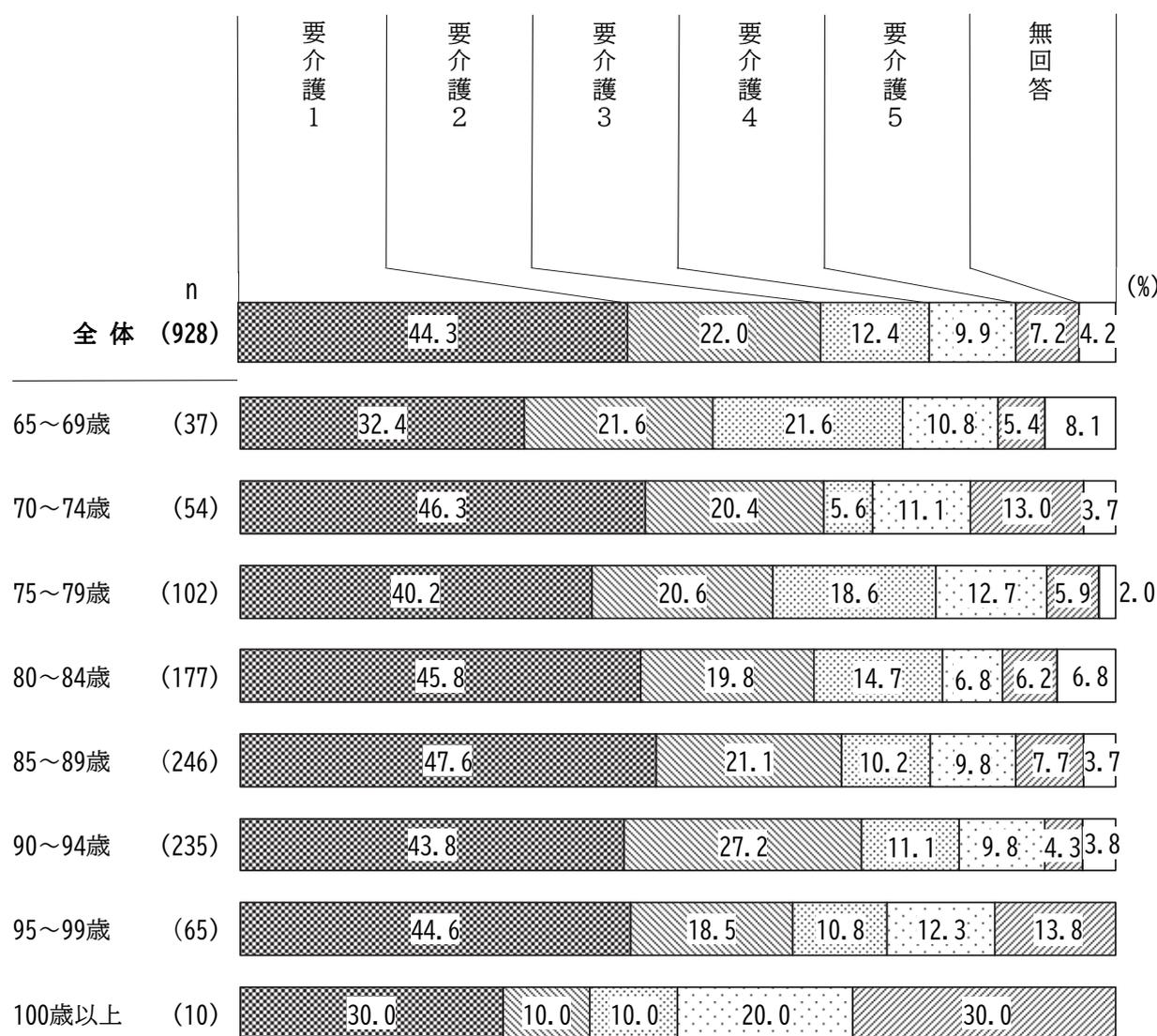
(7) 要介護度

問6 現在の要介護度を教えてください。(有効期間が切れている場合、切れる前の要介護度を記入してください。)(○は1つ)

要介護度としては「要介護1」の44.3%が最も多く、「要介護2」22.0%、「要介護3」12.4%、「要介護4」9.9%、「要介護5」7.2%となっています。

年齢別でみると、「要介護1」は“85～89歳”で47.6%と最も多く、また「要介護2」は“90～94歳”が27.2%で最も多くなっています。(図表1-6)

図表1-6 要介護度/年齢別



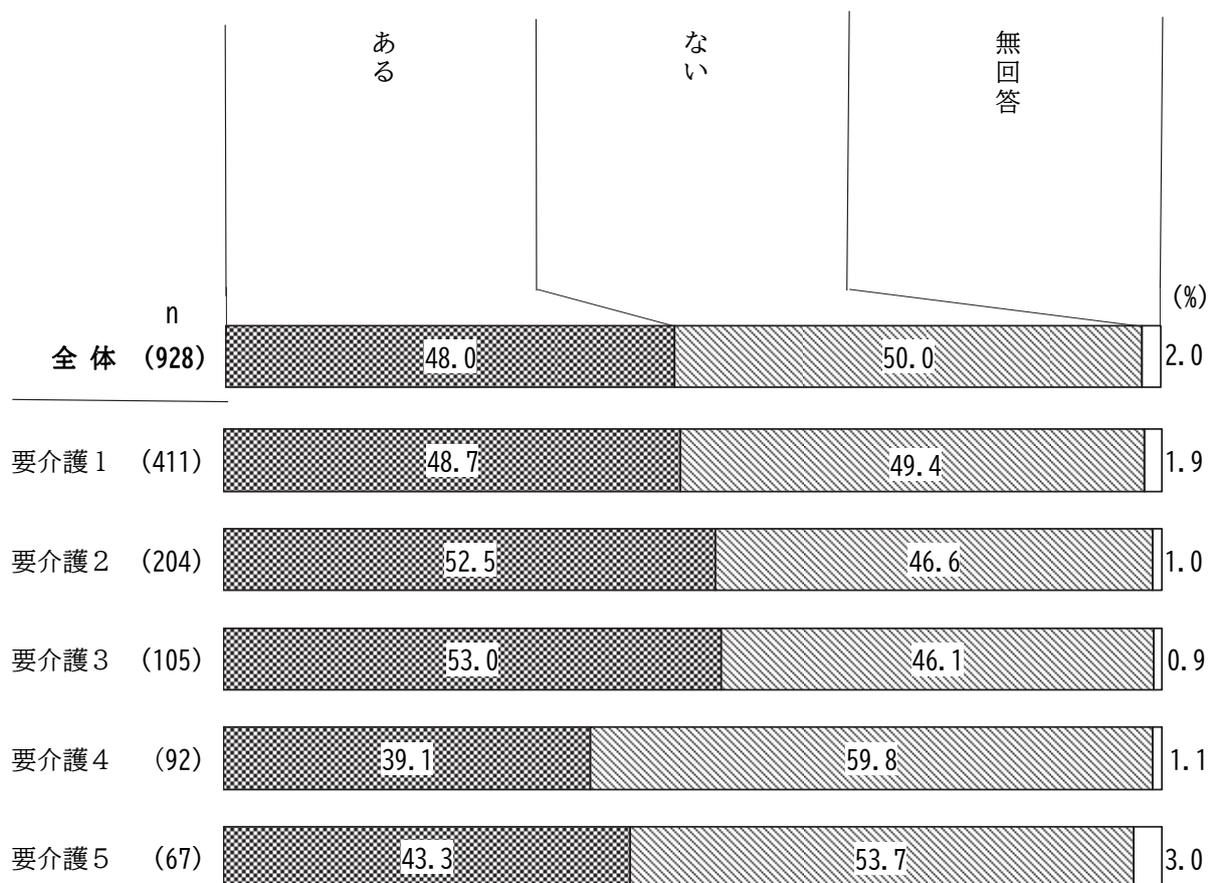
(8) 認知症

問7 認知症の症状に不安を感じたり、認知症と言われたりしたことがありますか。(○は1つ)

認知症の症状に不安を感じたり、認知症と言われたりしたことがあるかについては、「ある」が48.0%、「ない」が50.0%となっています。

要介護度別でみると、“要介護2”、“要介護3”で「ある」が5割以上となっています。(図表1-7)

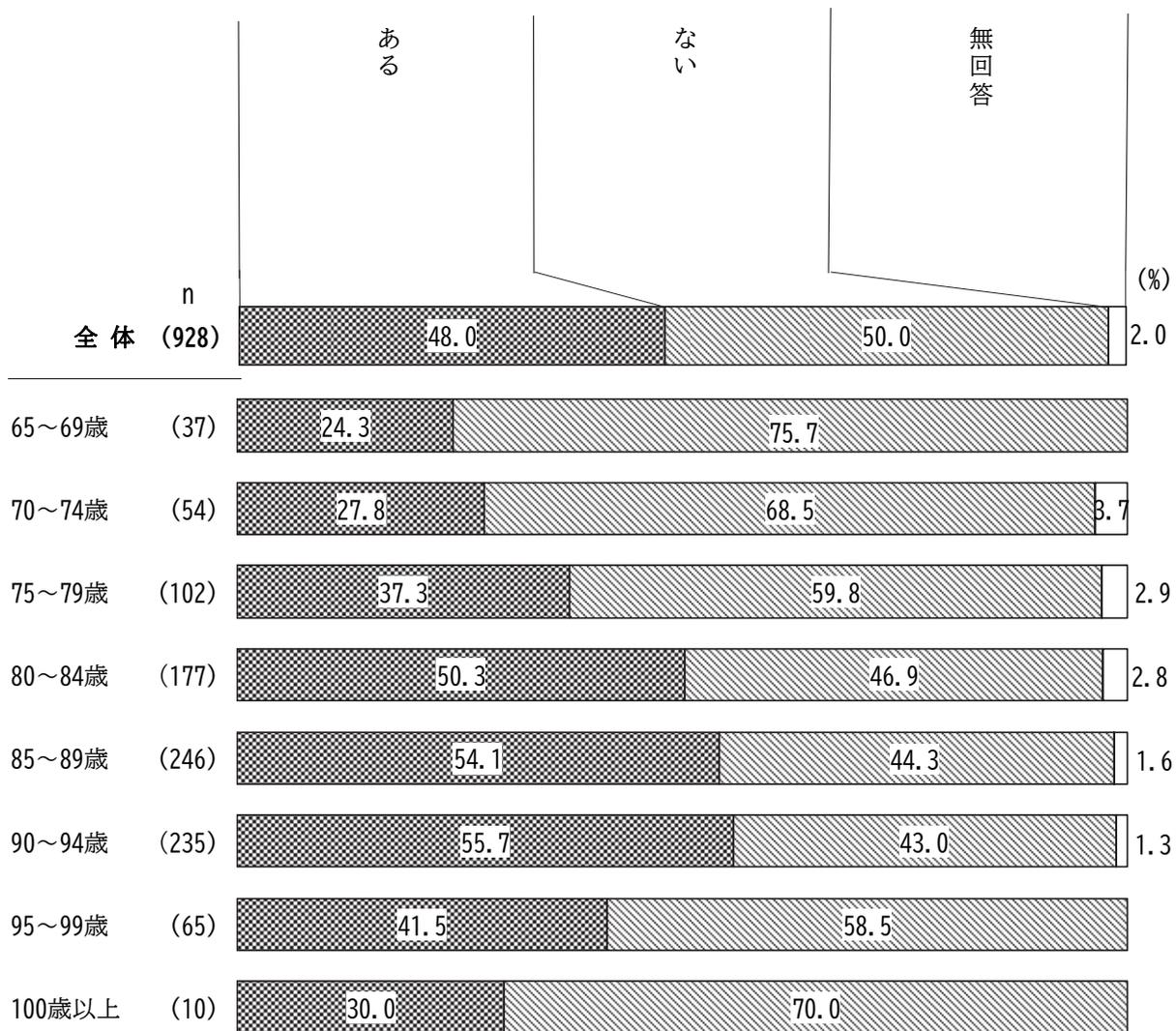
図表1-7 認知症／要介護度



第3章 要介護認定者に関する実態調査結果

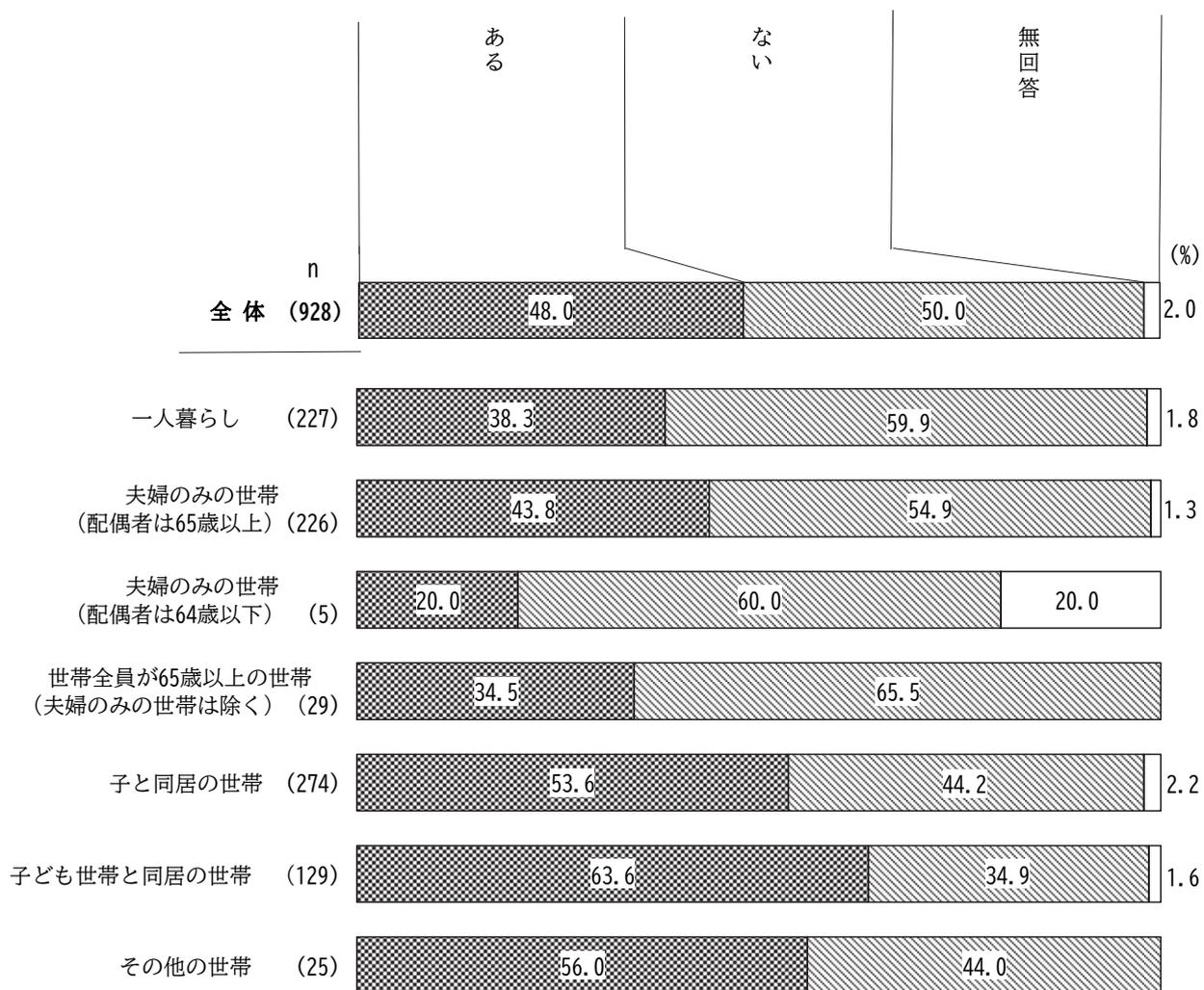
年齢別でみると、“80～94歳”で「ある」が5割以上となっています。(図表1-8)

図表1-8 認知症／年齢別



家族構成別でみると、“子ども世帯と同居の世帯”で「ある」が6割以上と他層と比べて最も多くなっています。(図表1-9)

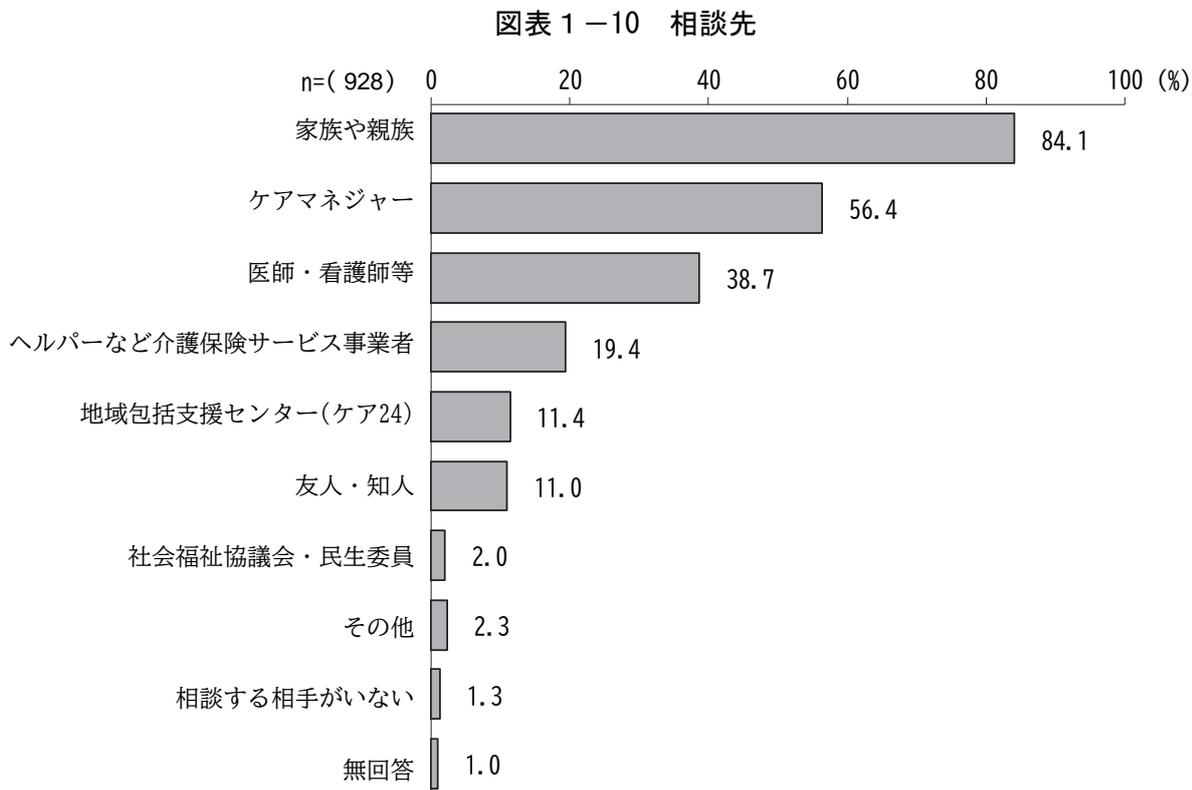
図表1-9 認知症／家族構成別



(9) 相談先

問8 生活の中で不安に思ったとき、どなた(どこ)に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

相談先としては「家族や親族」が84.1%を占めており、次いで「ケアマネジャー」が56.4%、「医師・看護師等」が38.7%となっています。(図表1-10)

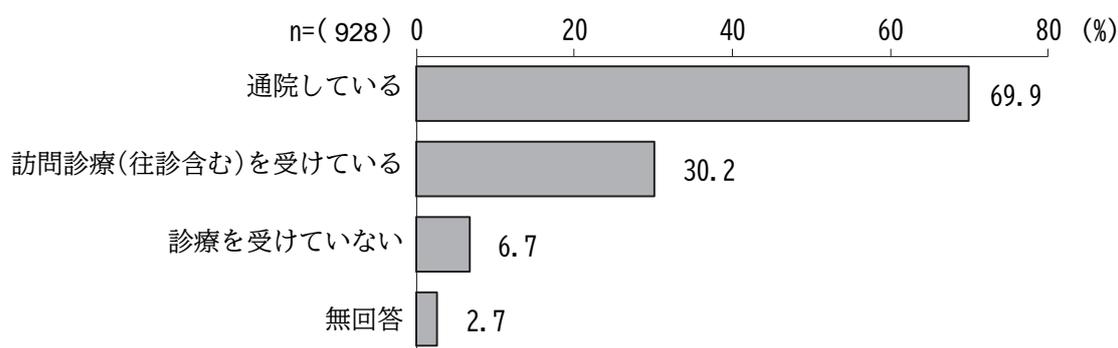


(10) 通院、訪問診療（往診含む）の状況

問9 現在、通院（病院・医院・診療所）や訪問診療（往診含む）で診療を受けていますか。（あてはまるものすべてに○）

通院、訪問診療（往診含む）の状況としては、「通院している」が69.9%、「訪問診療（往診含む）を受けている」が30.2%、「診療を受けていない」が6.7%となっています。（図表1-11）

図表1-11 通院、訪問診療（往診含む）の状況



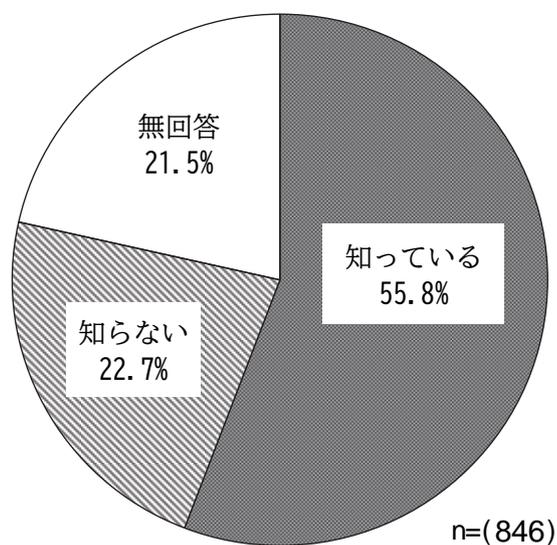
(11) 訪問診療の認知

【問9で「1. 通院している」と「3. 診療を受けていない」を選んだ方にお伺いします。】

問9-1 通院が困難な患者さんのお宅に、医師が定期的に診療に伺い、計画的に健康管理を行う「訪問診療」を知っていますか。（○は1つ）

訪問診療は「知っている」が55.8%、「知らない」が22.7%となっています。（図表1-12）

図表1-12 訪問診療の認知



2. サービスの利用状況について

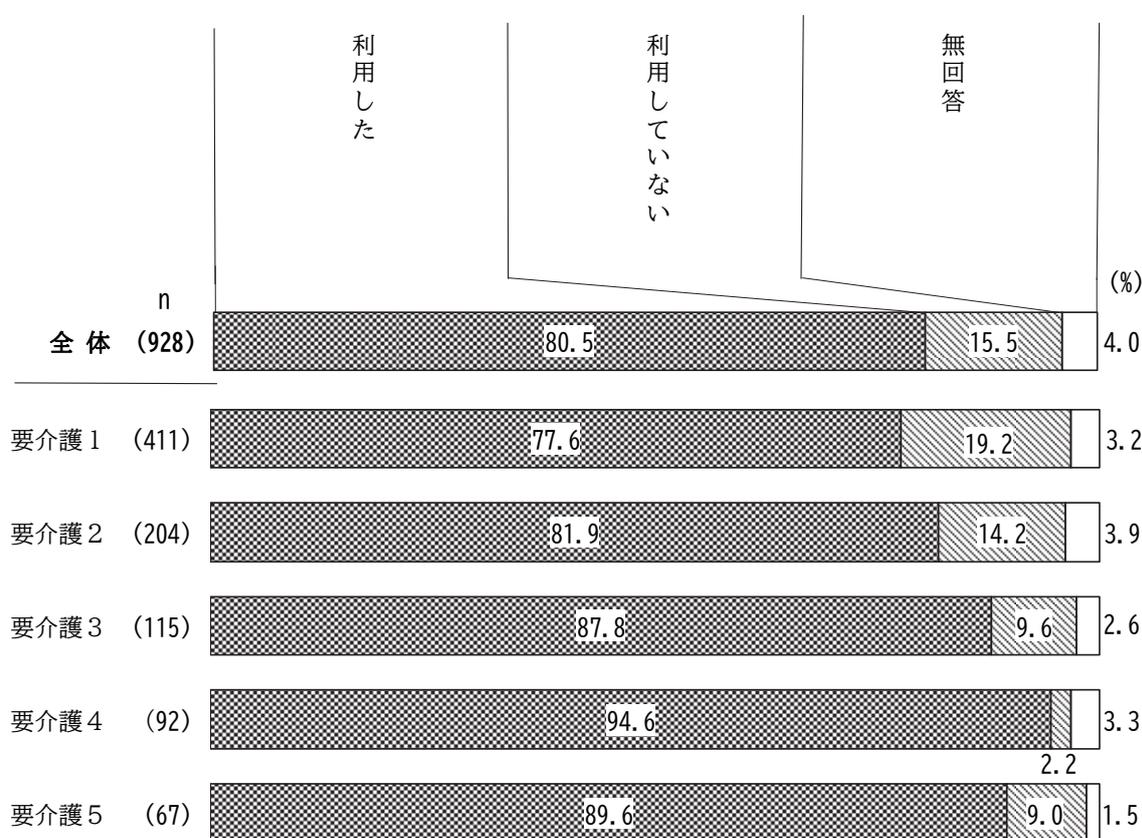
(1) 介護保険サービスの利用状況

問10 令和4年8月中に、介護保険サービスを利用しましたか。(○は1つ)

介護保険サービスの利用状況としては「利用した」が80.5%を占めています。

要介護度別でみると、“要介護4”で「利用した」が9割台半ばとなっています。(図表2-1)

図表2-1 介護保険サービスの利用状況／要介護度別



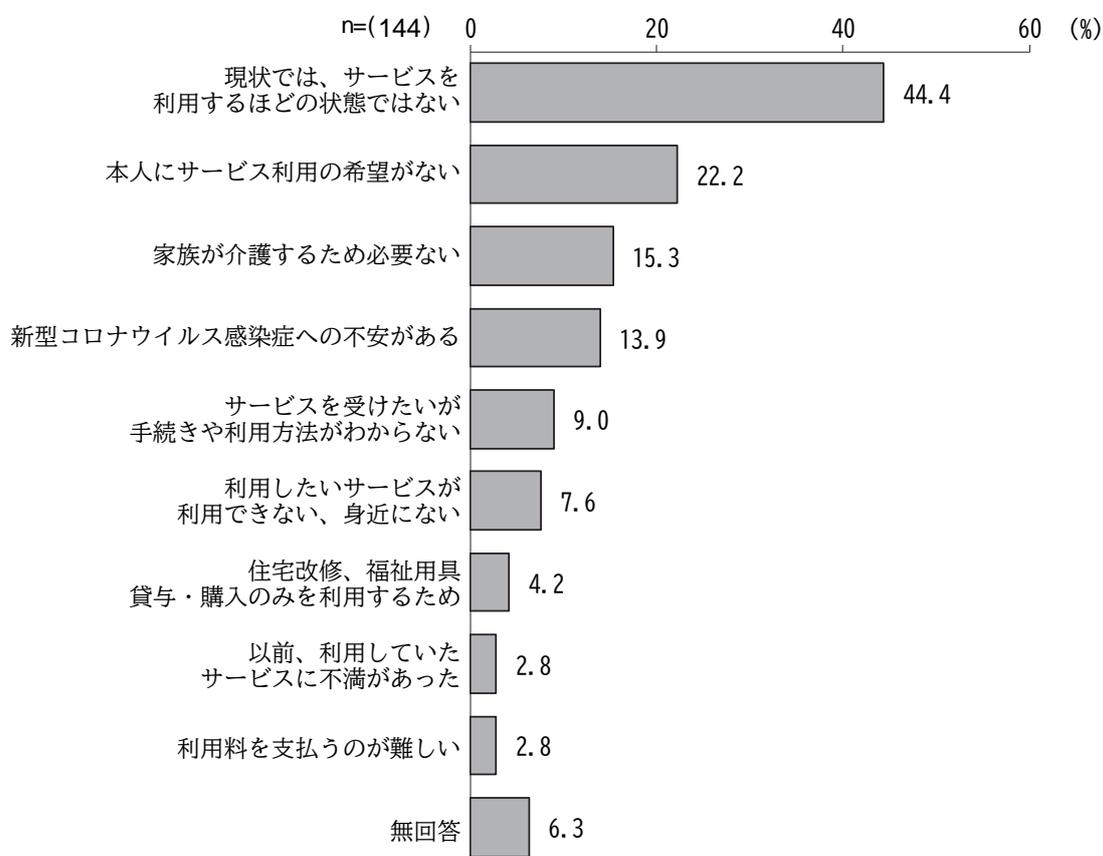
(2) 介護保険サービスを利用していない理由

【問10で「2. 利用していない」を選んだ方にお伺いします。】

問10-1 8月の時点で、介護保険サービスを利用していない理由で、ご本人のお考えに近いものはどれですか。(〇は2つまで)

介護保険サービスを利用していない理由としては「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が44.4%で最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が22.2%、「家族が介護をするため必要ない」が15.3%、「新型コロナウイルス感染症への不安がある」が13.9%の順となっています。(図表2-2)

図表2-2 介護保険サービスを利用していない理由

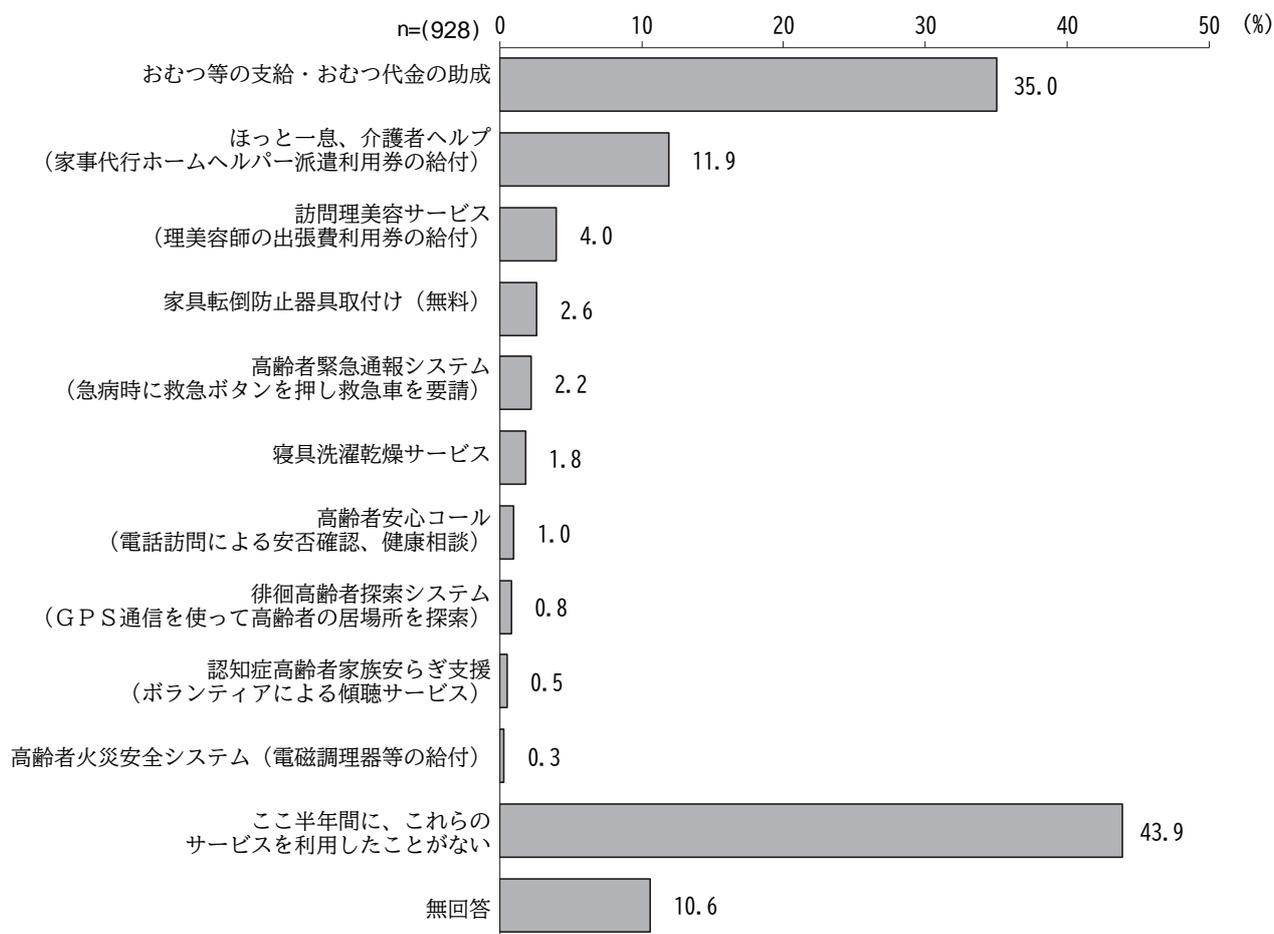


(3) 高齢者在宅サービスの利用状況

問11 ここ半年間に、高齢者在宅サービス（区の独自サービス）を利用したことがありますか。
（あてはまるものすべてに○）

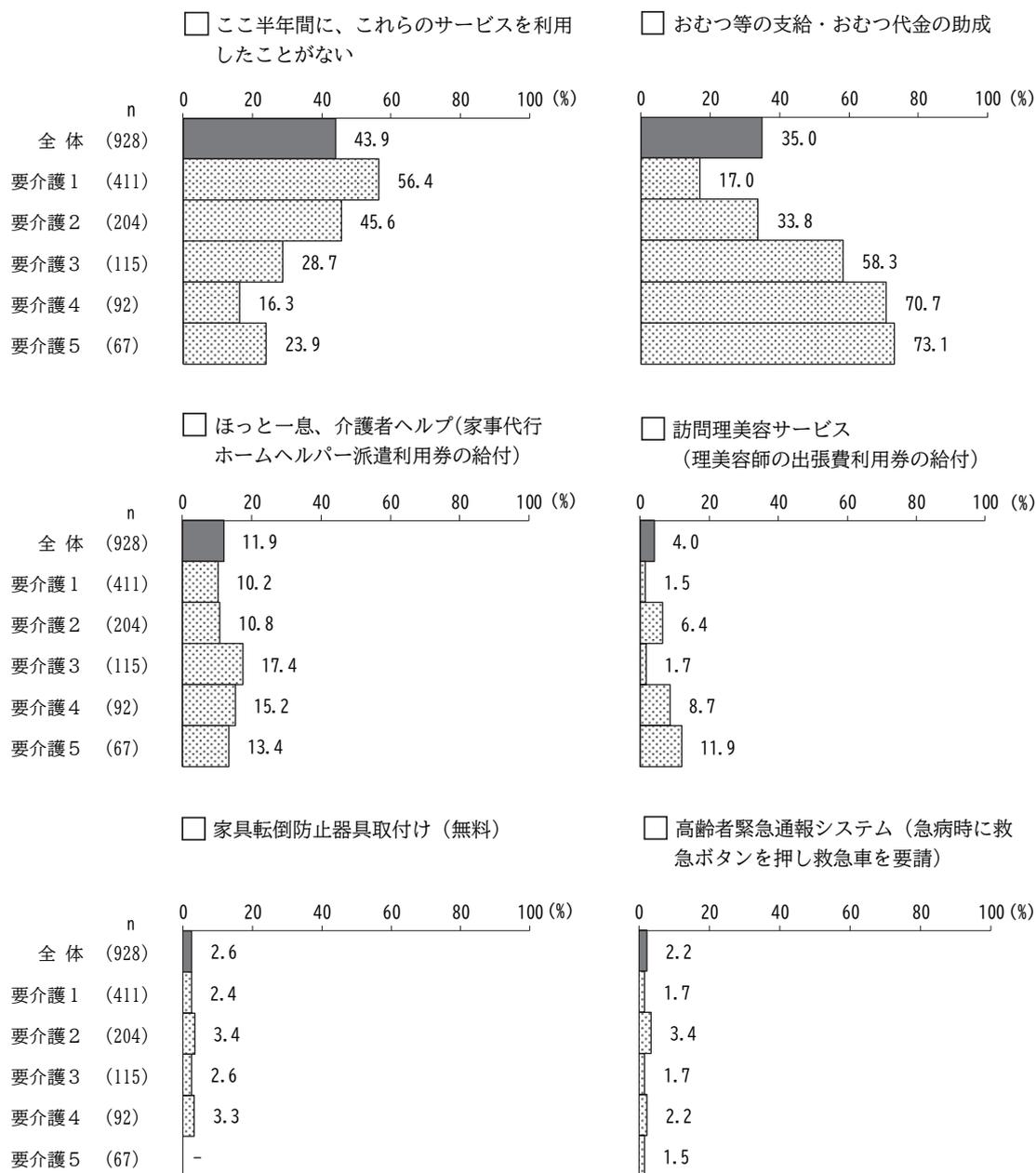
高齢者在宅サービスの利用状況としては「おむつ等の支給・おむつ代金の助成」が35.0%で最も多く、次いで「ほっと一息、介護者ヘルプ（家事代行ホームヘルパー派遣利用券の給付）」が11.9%となっています。（図表2-3）

図表2-3 高齢者在宅サービスの利用状況



要介護度別にみると、「おむつ等の支給・おむつ代金の助成」が「要介護4」、「要介護5」で7割以上となっています。(図表2-4)

図表2-4 高齢者在宅サービスの利用状況／要介護度別（上位6位まで）

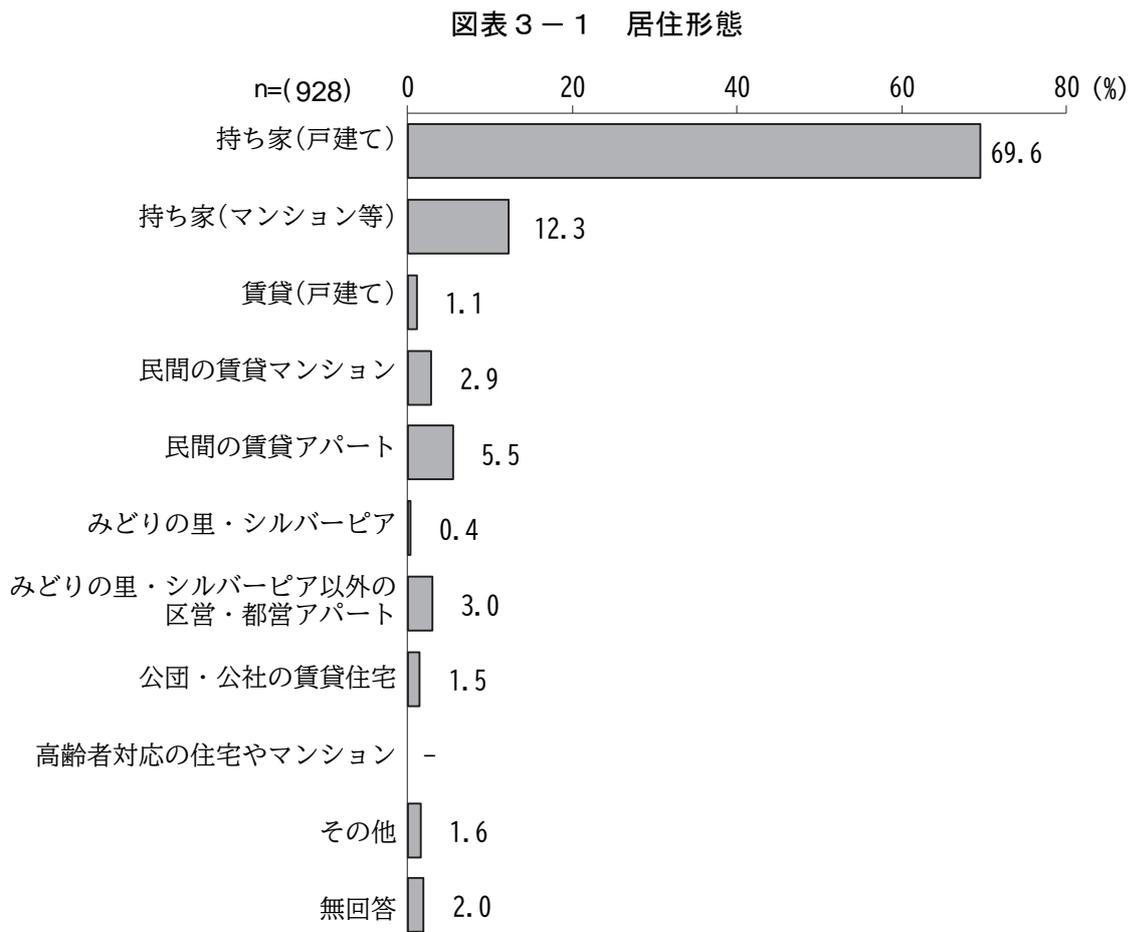


3. 住まいについて

(1) 居住形態

問12 現在のお住まいは次のうちどれですか。(○は1つ)

居住形態としては「持ち家(戸建て)」が69.6%を占めています。(図表3-1)



(2) 居住先の介護を受けながらの生活に対する適正の有無

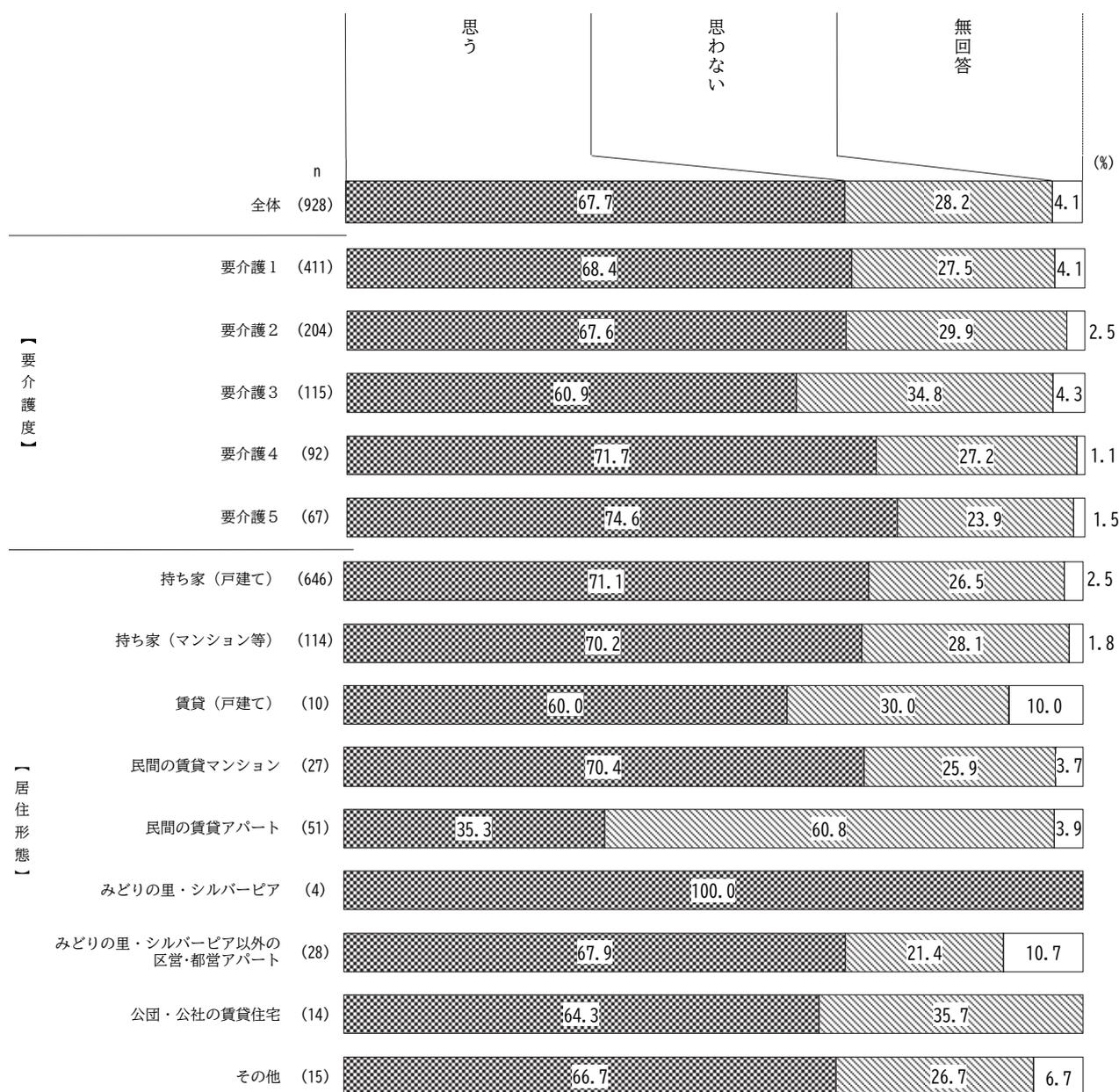
問13 現在のお住まいは、介護を受けながら在宅生活を送るのに適していると思いますか。(○は1つ)

現居住先が介護を受けながらの生活に対して、適していると「思う」は67.7%、適していると「思わない」は28.2%となっています。

要介護度別でみると、“要介護3”では適していると「思わない」が34.8%と、他層より多くなっています。

居住形態別でみると、“民間の賃貸アパート”で適していると「思わない」が6割を超え、他の居住形態よりも多くなっています。(図表3-2)

図表3-2 居住先の介護を受けながらの生活に対する適正の有無／要介護度別、居住形態別



※「高齢者対応の住宅やマンション」の回答はありませんでした。

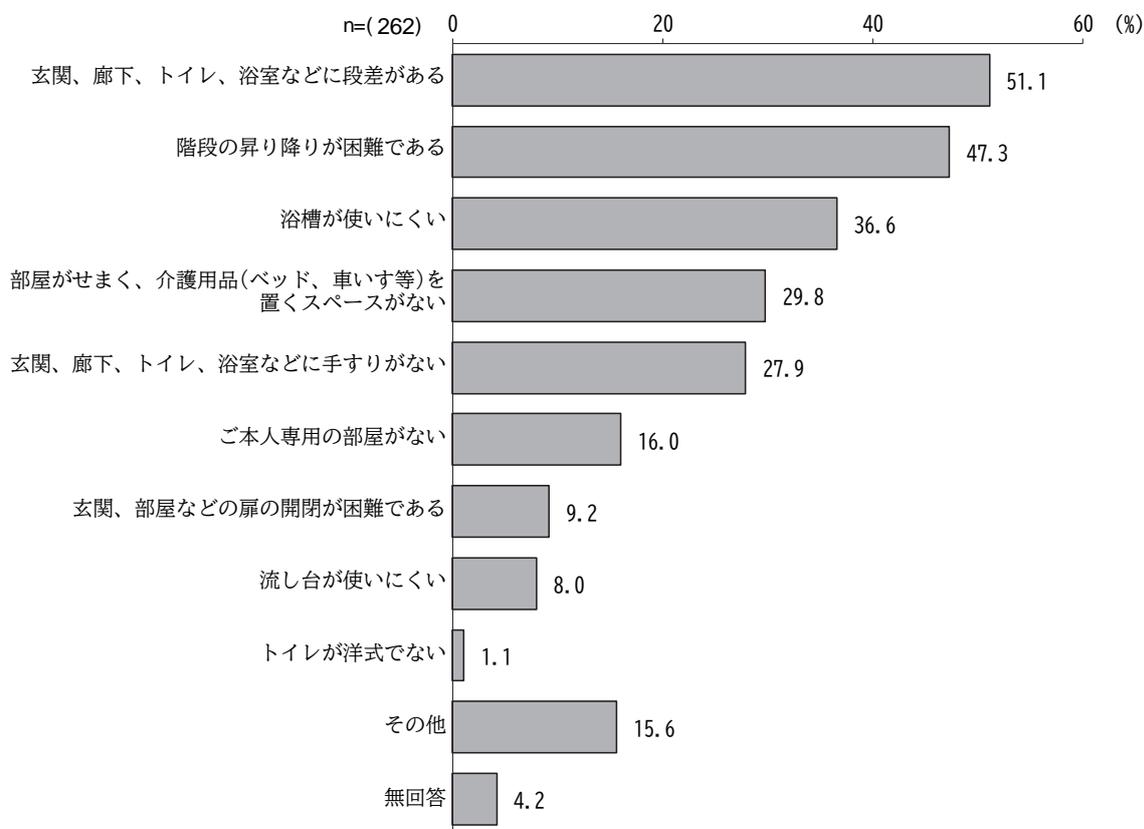
(3) 適していると思わない理由

【問13で「2. 思わない」を選んだ方にお伺いします。】

問13-1 在宅生活に適していると思わない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

適していると思わない理由としては、「玄関、廊下、トイレ、浴室などに段差がある」(51.1%)、「階段の昇り降りが困難である」(47.3%)が5割前後で多くなっており、次いで「浴槽が使いにくい」が36.6%、「部屋がせまく、介護用品(ベッド、車いす等)を置くスペースがない」が29.8%、「玄関、廊下、トイレ、浴室などに手すりがない」が27.9%となっています。(図表3-3)

図表3-3 適していると思わない理由



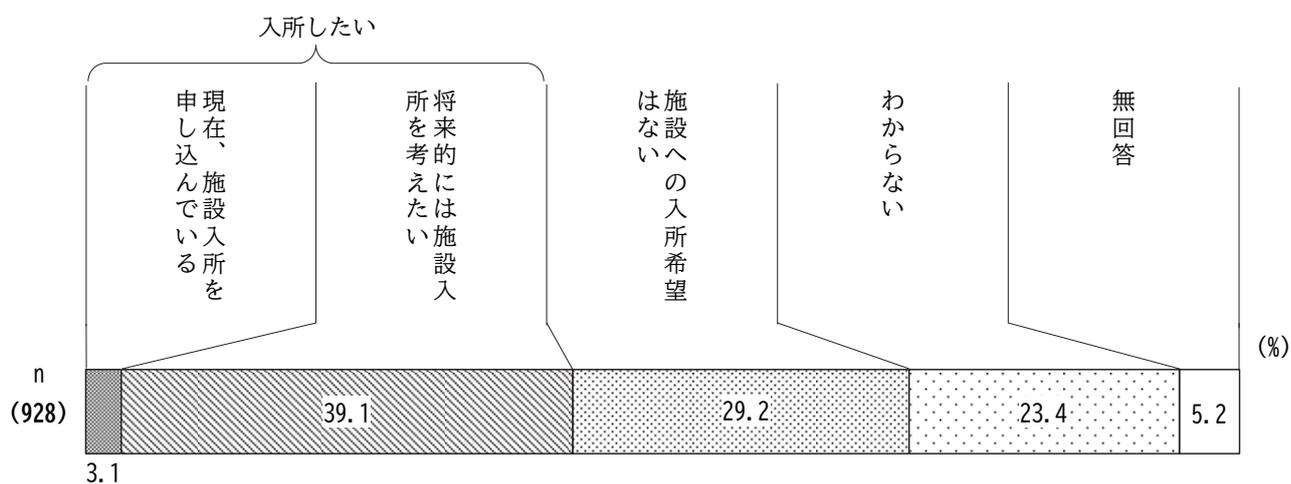
4. 施設の入所について

(1) 特別養護老人ホームなどへの入所（居）希望

問 14 特別養護老人ホームや認知症グループホーム、有料老人ホーム等に入所（居）希望がありますか。（○は1つ）

特別養護老人ホームなどへの入所（居）希望としては、「現在、施設入所を申し込んでいる」(3.1%)と「将来的には施設入所を考えたいたい」(39.1%)を合わせた『入所したい』の42.2%に対し、「施設への入所希望はない」が29.2%となっています。また、「わからない」も23.4%となっています。（図表4-1）

図表4-1 特別養護老人ホームなどへの入所（居）希望

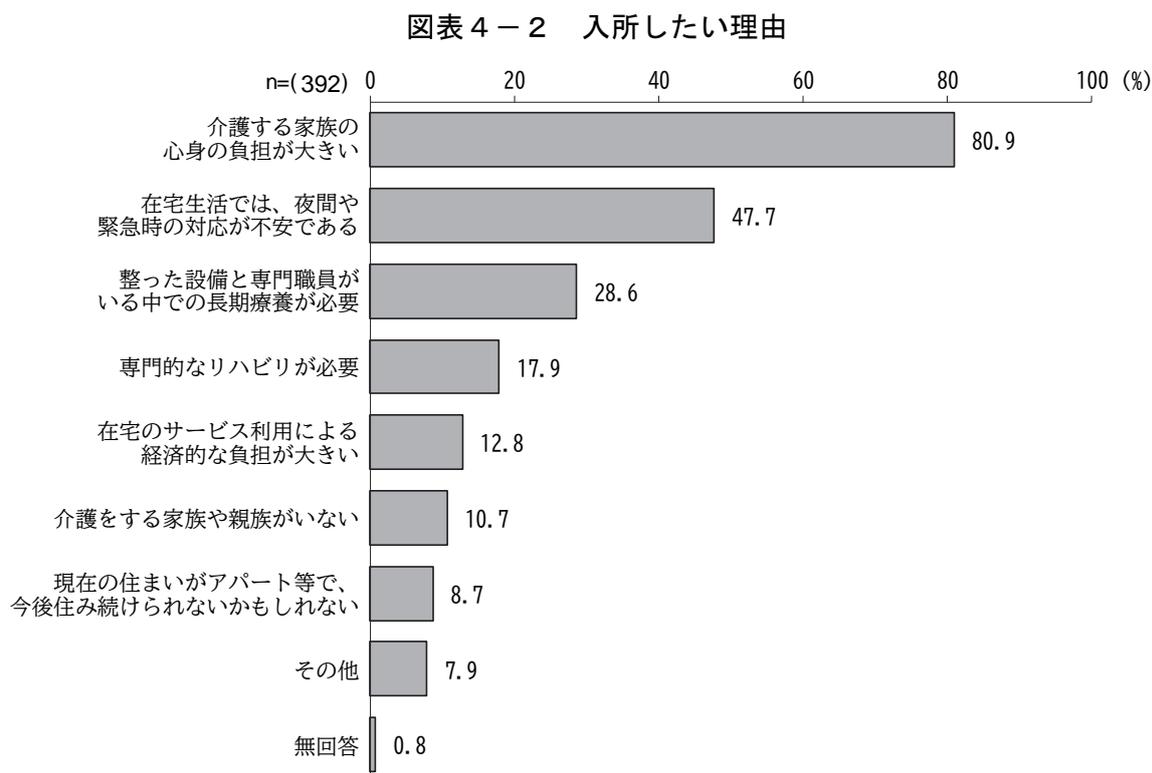


(2) 入所したい理由

【問14で「1. 現在、施設入所を申し込んでいる」と「2. 将来的には施設入所を考えたい」を選んだ方にお伺いします。】

問14-1 入所したいとお考えの理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

入所したい理由としては「介護する家族の心身の負担が大きい」が80.9%と最も多く、次いで「在宅生活では、夜間や緊急時の対応が不安である」が47.7%、「整った設備と専門職員がいる中での長期療養が必要」が28.6%となっています。(図表4-2)



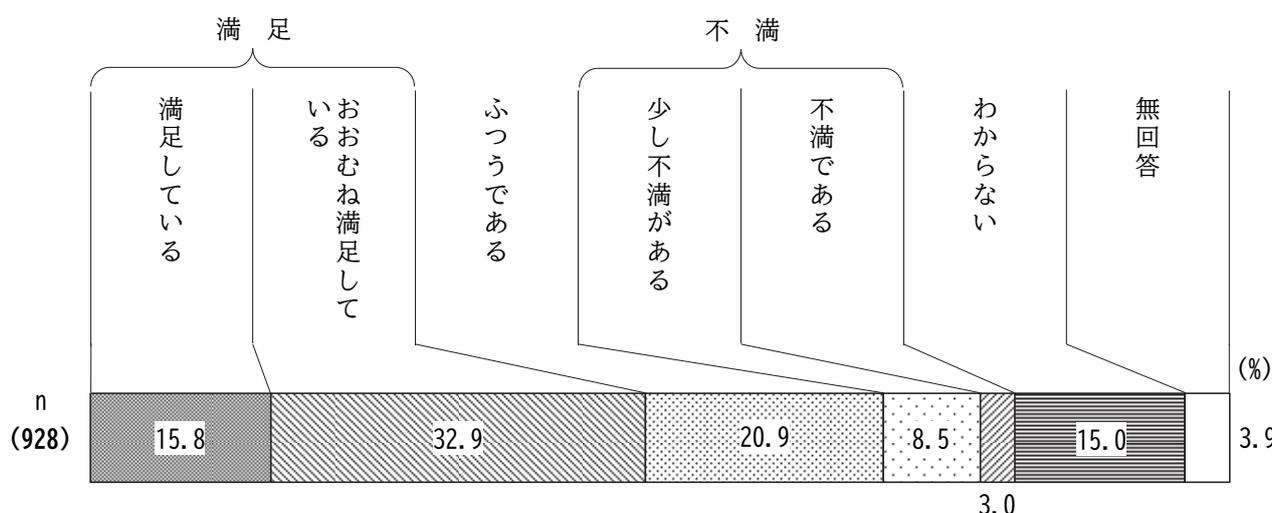
5. 介護保険制度について

(1) 介護保険サービスの満足度

問 15 介護保険サービス全般の内容に満足していますか。(○は1つ)

介護保険サービスの満足度としては、「満足している」(15.8%)と「おおむね満足している」(32.9%)を合わせた『満足』の48.7%に対して、「少し不満がある」(8.5%)と「不満である」(3.0%)を合わせた『不満』は11.5%となっています。(図表5-1)

図表5-1 介護保険サービスの満足度

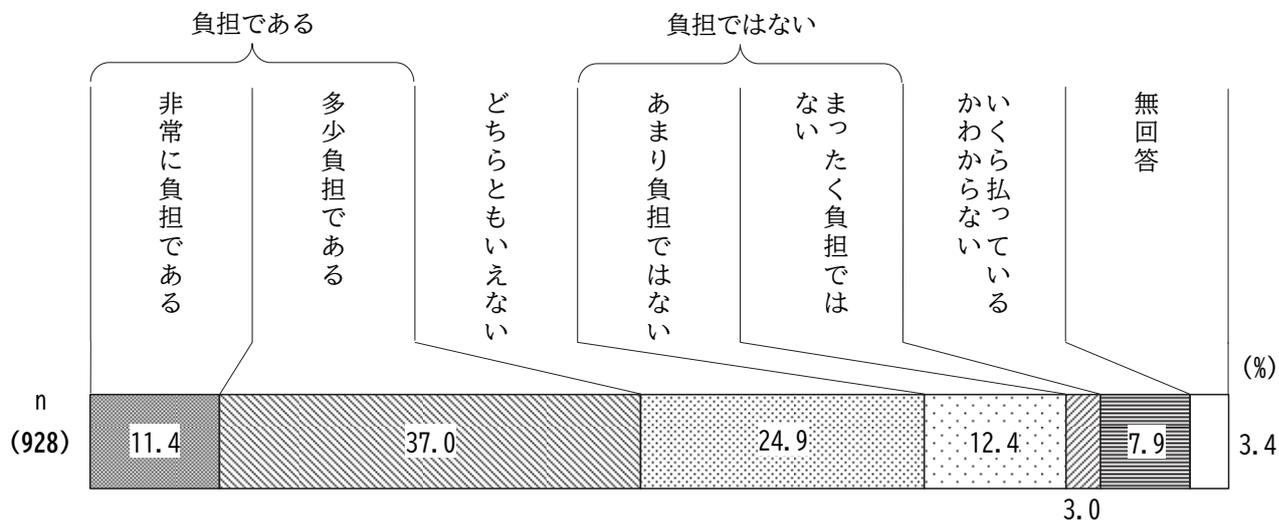


(2) 介護保険料の負担感

問 16 現在の介護保険料をどのように感じていますか。(○は1つ)

介護保険料の負担感としては、「非常に負担である」(11.4%)と「多少負担である」(37.0%)を合わせた『負担である』の48.4%に対して、「あまり負担ではない」(12.4%)、「まったく負担ではない」(3.0%)を合わせた『負担ではない』は15.4%となっています。(図表5-2)

図表5-2 介護保険料の負担感

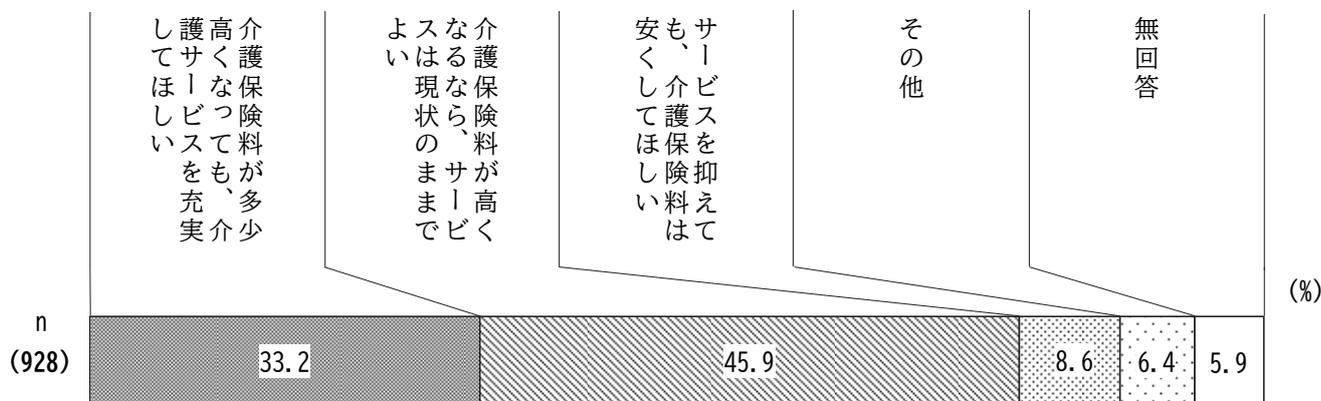


(3) 介護サービスと介護保険料に対する考え

問 17 介護サービスと介護保険料のあり方について、ご本人のお考えにもっとも近いものはどれですか。(○は1つ)

介護サービスと介護保険料に対する考えとしては、「介護保険料が高くなるなら、サービスは現状のままでよい」が45.9%と最も多く、次いで「介護保険料が多少高くなっても、介護サービスを充実してほしい」が33.2%となっています。一方、「サービスを抑えても、介護保険料は安くしてほしい」は8.6%となっています。(図表5-3)

図表5-3 介護サービスと介護保険料に対する考え

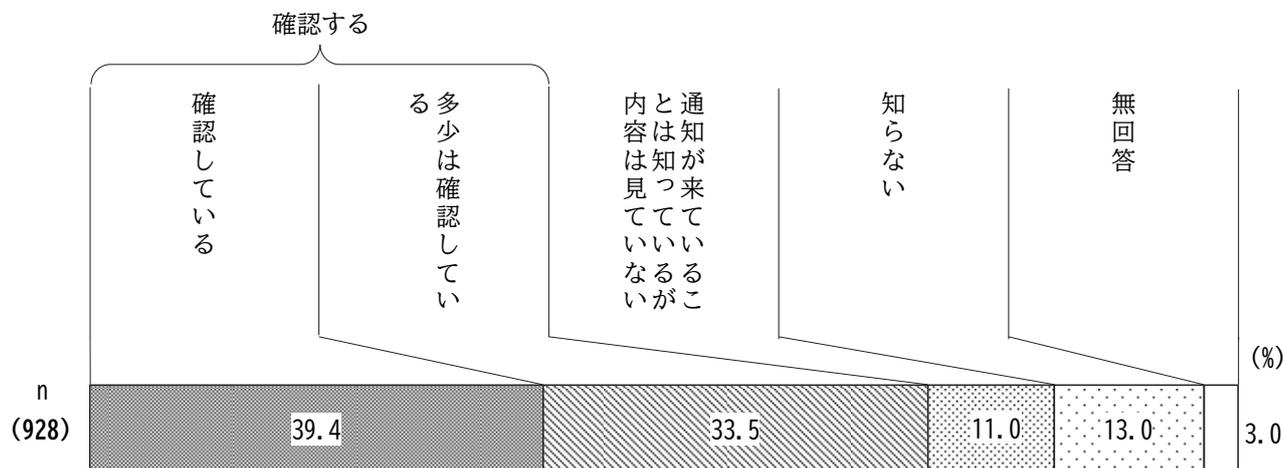


(4) 介護サービス利用費用のお知らせの内容確認状況

問 18 介護保険サービス利用の費用について、区から年2回お知らせを送付していますが、内容を確認していますか。(○は1つ)

介護サービス利用費用のお知らせの内容確認状況としては、「確認している」(39.4%)と「多少は確認している」(33.5%)を合わせた『確認する』が72.9%となっています。(図表5-4)

図表5-4 介護サービス利用費用のお知らせの内容確認状況

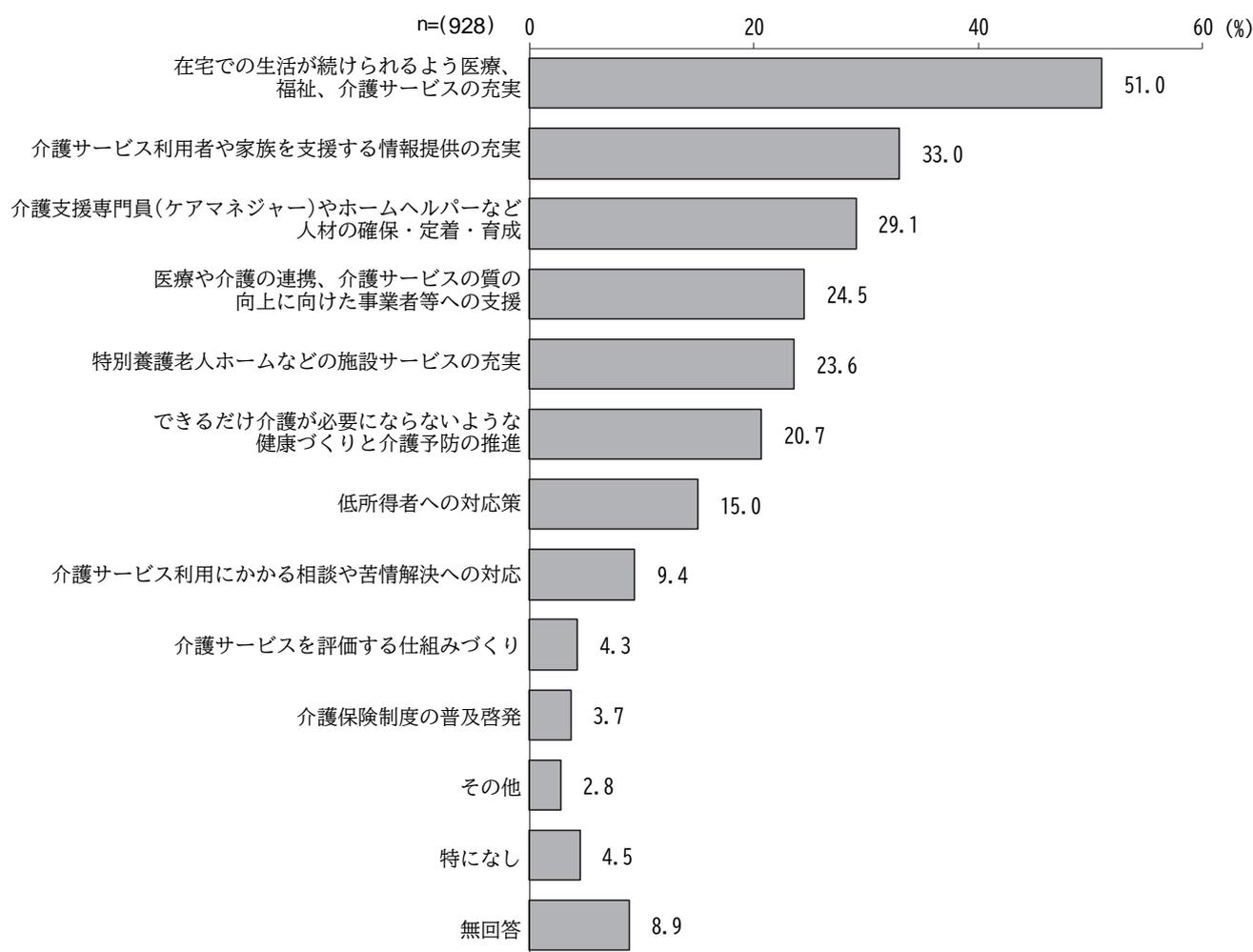


(5) 区が注力していくべきと思うもの

問19 今後、区が力を入れていくべきと思うものは何ですか。(〇は3つまで)

区が注力していくべきと思うものとしては、「在宅での生活が続けられるよう医療、福祉、介護サービスの充実」が51.0%と最も多く、次いで「介護サービス利用者や家族を支援する情報提供の充実」が33.0%、「介護支援専門員(ケアマネジャー)やホームヘルパーなど人材の確保・定着・育成」が29.1%、「医療や介護の連携、介護サービスの質の向上に向けた事業者等への支援」が24.5%となっています。(図表5-5)

図表5-5 区が注力していくべきと思うもの



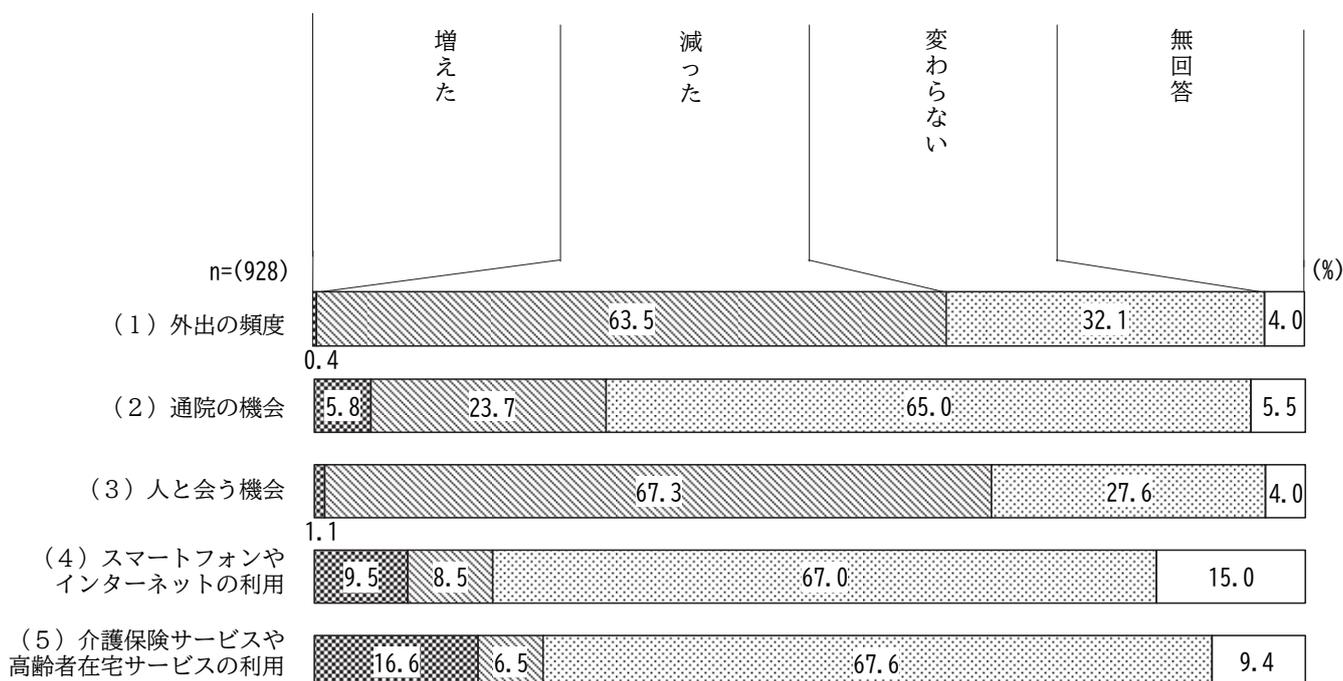
(6) コロナ禍以前との生活の変化

問 20 コロナ禍以前と比べて、生活の変化はありますか。

(あてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください)

コロナ禍以前の生活の変化としては、“(1) 外出の頻度”、“(3) 人と会う機会”では「減った」が6割台半ばとなっています。また、「増えた」ものとしては“(5) 介護保険サービスや高齢者在宅サービスの利用”が16.6%と最も多くなっています。(図表5-6)

図表5-6 コロナ禍以前の生活の変化



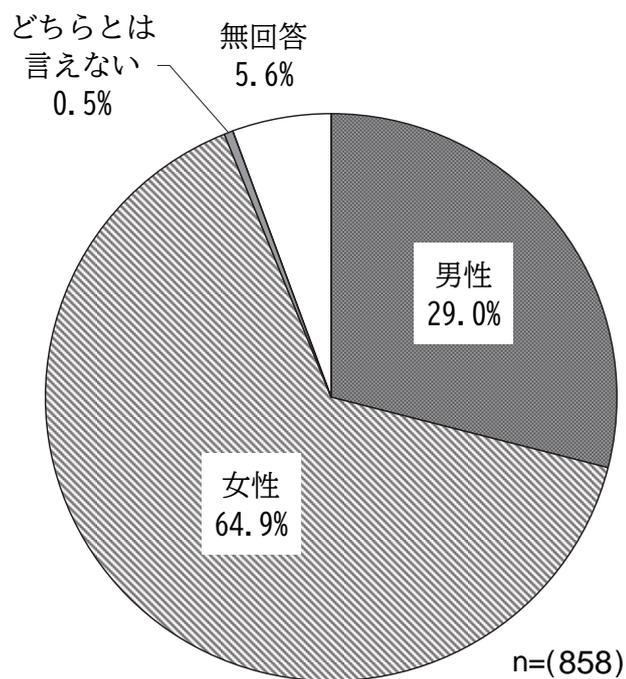
6. 主な介護者について

(1) 主な介護者の性別

問 21 あなたの性別をお答えください。(〇は1つ)

主な介護者の性別は、「男性」が29.0%、「女性」が64.9%となっています。(図表6-1)

図表6-1 主な介護者の性別

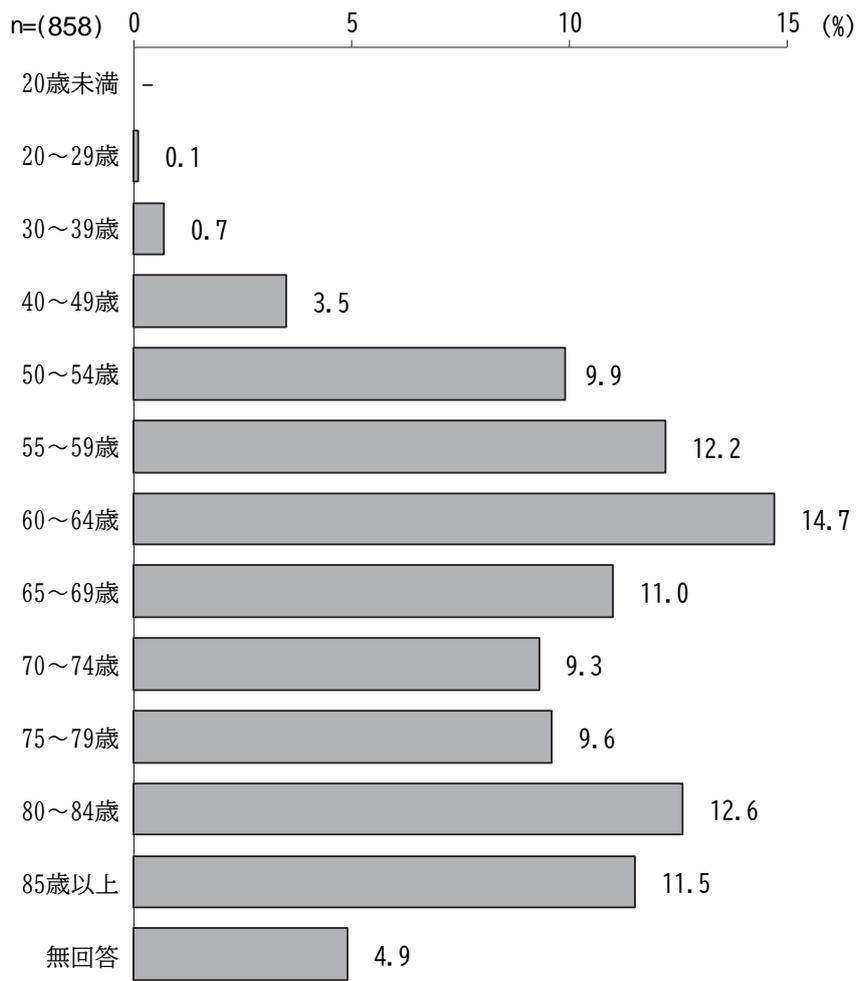


(2) 主な介護者の年齢

問 22 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

主な介護者の年齢は、「60～64歳」が14.7%で最も多く、次いで「80～84歳」が12.6%、「55～59歳」が12.2%となっています。(図表6-2)

図表6-2 主な介護者の年齢

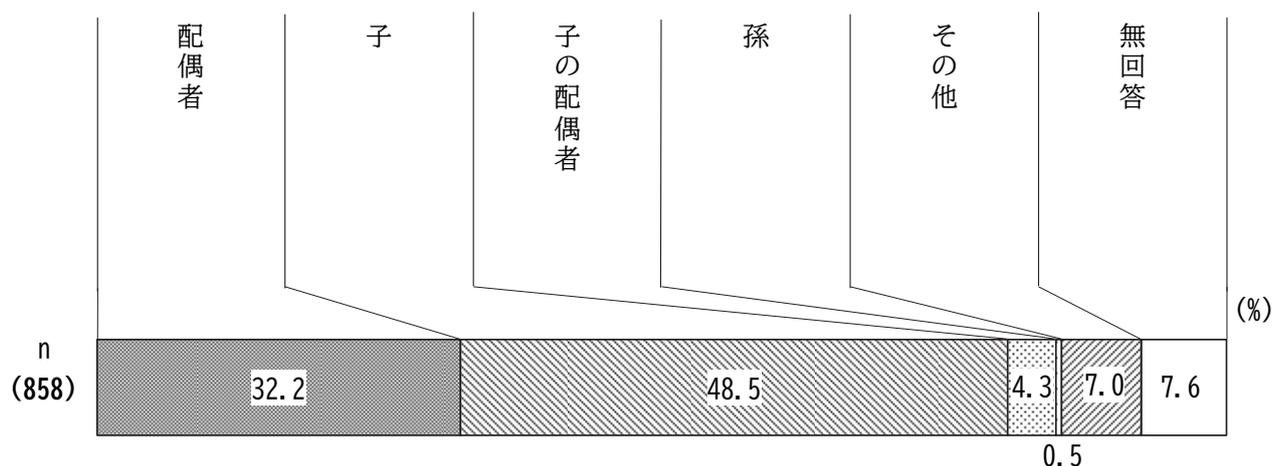


(3) 対象者との続柄

問 23 ご本人からみた続柄をお答えください。(○は1つ)

対象者との続柄としては、「子」が48.5%、「配偶者」が32.2%となっています。(図表6-3)

図表6-3 対象者との続柄

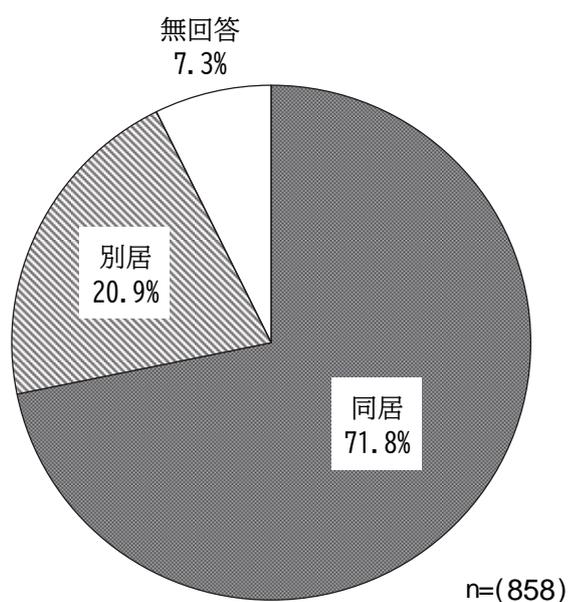


(4) 同居の状況

問 24 ご本人との同居の状況をお答えください。(○は1つ)

同居の状況としては、「同居」が71.8%、「別居」が20.9%となっています。(図表6-4)

図表6-4 同居の状況

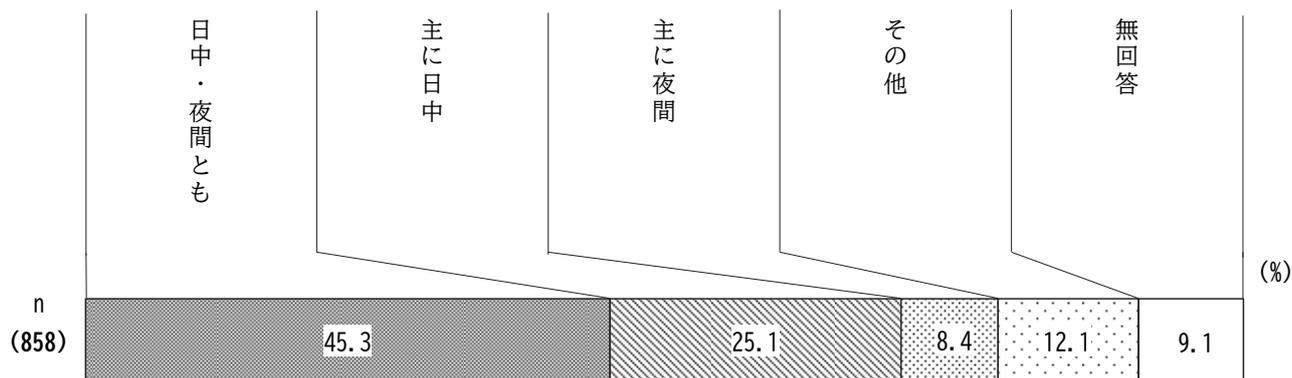


(5) 介護の時間帯

問 25 介護の時間帯をお答えください。(○は1つ)

介護の時間帯としては、「日中・夜間とも」が45.3%、「主に日中」が25.1%となっています。(図表6-5)

図表6-5 介護の時間帯

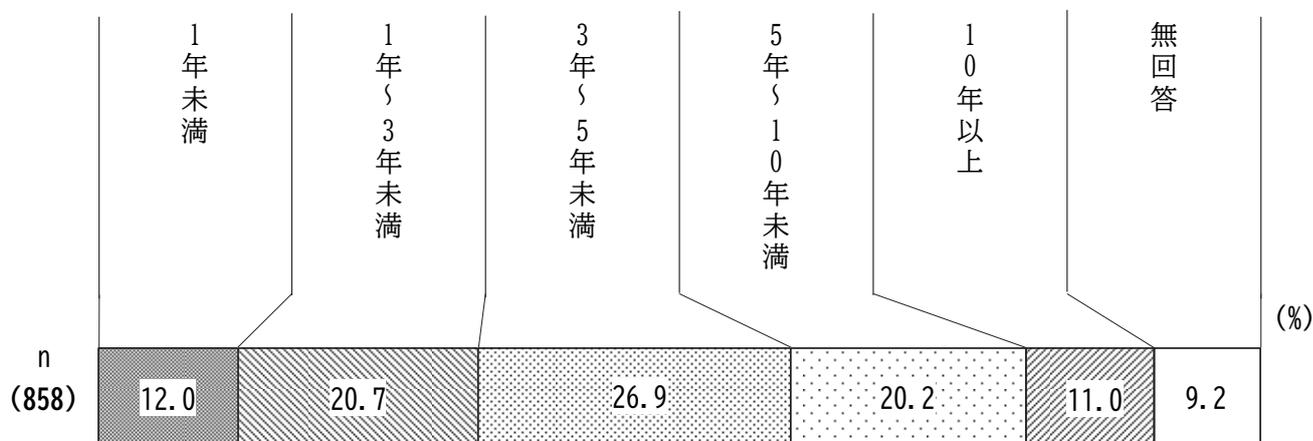


(6) 介護をしている年数

問 26 介護の年数をお答えください。(○は1つ)

介護をしている年数としては、「3年～5年未満」が26.9%、「1年～3年未満」が20.7%、「5年～10年未満」が20.2%となっています。(図表6-6)

図表6-6 介護をしている年数

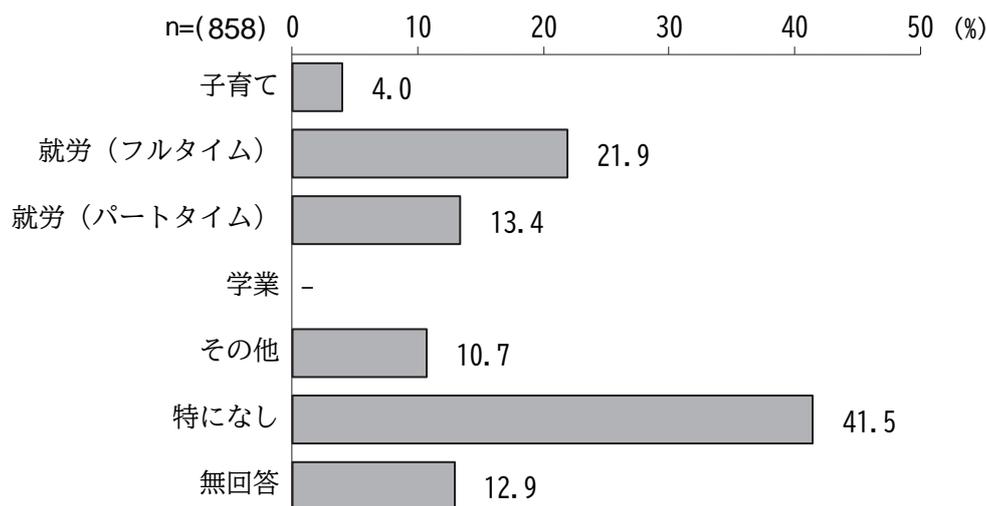


(7) 介護や家事以外に行っていること

問 27 介護や家事以外に行っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

介護や家事以外に行っていることとしては、「就労（フルタイム）」が21.9%、「就労（パートタイム）」が13.4%となっています。一方、「特になし」は41.5%となっています。(図表6-7)

図表6-7 介護や家事以外に行っていること



主な介護者の年齢別でみると、「就労（フルタイム）」は「40～64歳」で多く、なかでも「40～49歳」が63.3%、「50～54歳」が52.9%となっています。また、「就労（パートタイム）」は「65～69歳」で24.5%と最も多くなっています。(図表6-8)

図表6-8 介護や家事以外に行っていること／就労（フルタイム）・就労（パートタイム）／
主な介護者の年齢別 (%)

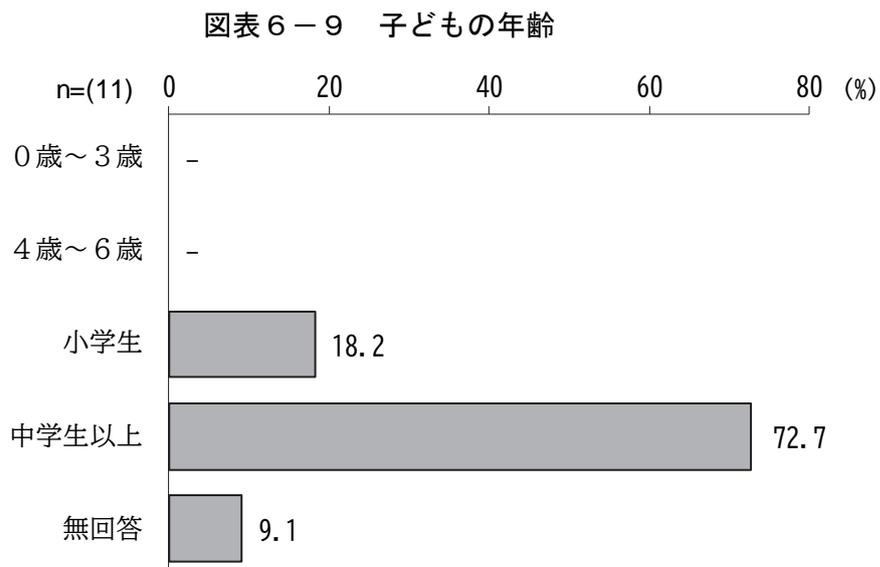
	n	就労 (フルタイム)	就労 (パートタイム)
全体	858	21.9	13.4
20歳未満	-	-	-
20～29歳	1	100.0	-
30～39歳	6	66.7	16.7
40～49歳	30	63.3	20.0
50～54歳	85	52.9	18.8
55～59歳	105	40.0	21.0
60～64歳	126	37.3	18.3
65～69歳	94	12.8	24.5
70～74歳	80	7.5	11.3
75～79歳	82	8.5	7.3
80～84歳	108	1.9	3.7
85歳以上	99	2.0	3.0

(8) 子どもの年齢

【問27で「1.子育て」を選んだ方にお伺いします。】

問27-1 対象児童、生徒の年齢をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

介護や家事以外に行っていることが「子育て」とした人に、子どもの年齢をきいたところ、「中学生以上」が72.7%を占めています。(図表6-9)



(9) 介護休暇制度などの利用状況

【問27で「2. 就労（フルタイム）」と「3. 就労（パートタイム）」を選んだ方にお伺いします。】

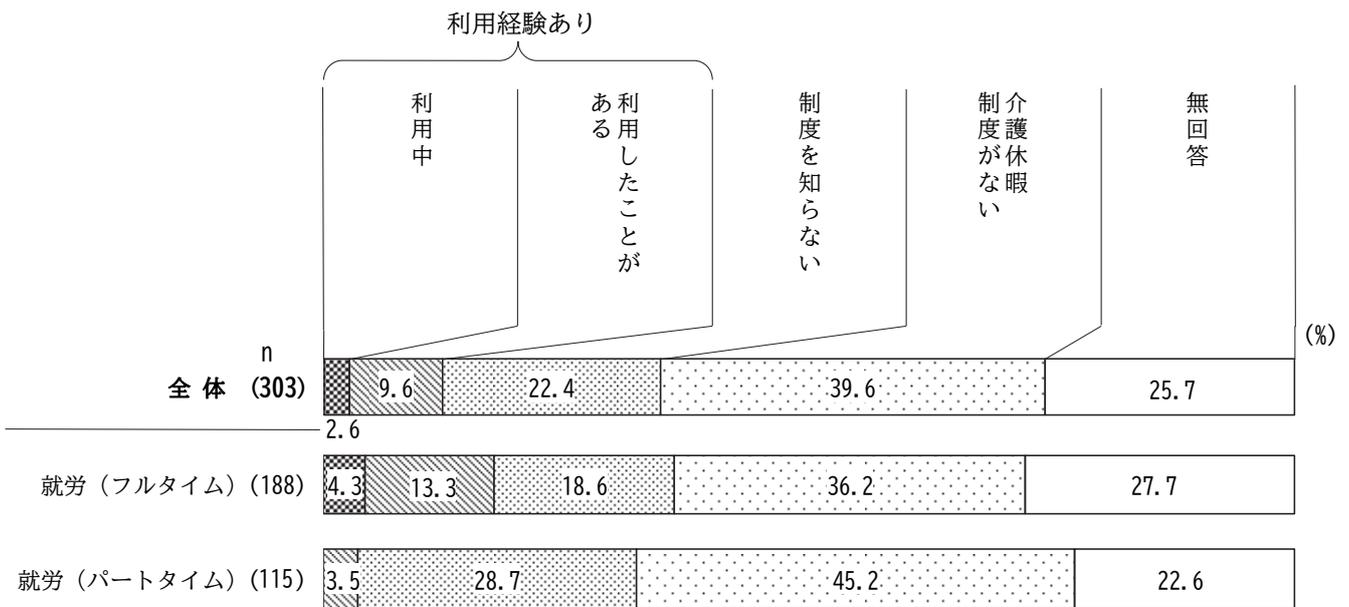
問27-2 職場で介護休暇制度など※を利用していますか。（○は1つ）

※ 介護のための短時間勤務制度、介護休暇、介護休業等

介護休暇制度などの利用状況としては、「利用中」（2.6%）と「利用したことがある」（9.6%）を合わせた『利用経験あり』は12.2%となっています。一方、「制度を知らない」は22.4%、「介護休暇制度がない」は39.6%となっています。

就労状況別でみると、『利用経験あり』は“就労（フルタイム）”で17.6%に対して、“就労（パートタイム）”では3.5%となっています。それに伴い、“就労（パートタイム）”では「制度を知らない」、「介護保険制度がない」とも“就労（フルタイム）”を大きく上回っています。（図表6-10

図表6-10 介護休暇制度などの利用状況



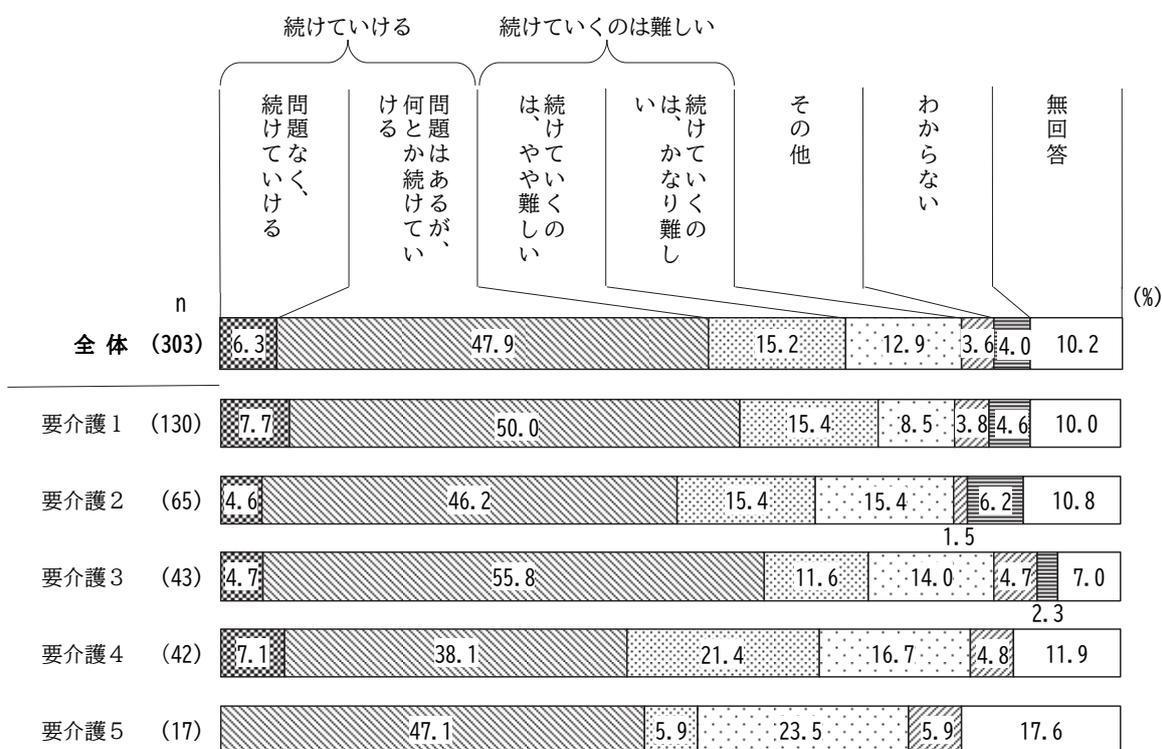
(10) 就労と介護の両立

【問27で「2. 就労（フルタイム）」と「3. 就労（パートタイム）」を選んだ方にお伺いします。】
 問27-3 今後も就労をしながら介護を続けていけそうですか。（○は1つ）

就労と介護の両立については、「問題はあるが、何とか続けていける」が47.9%を占めて多くなっています。また、「問題なく、続けていける」(6.3%)と合わせた『続けていける』としてみると54.2%となっています。一方、「続けていくのは、やや難しい」(15.2%)と「続けていくのは、かなり難しい」(12.9%)を合わせた『続けていくのは難しい』は28.1%となっています。

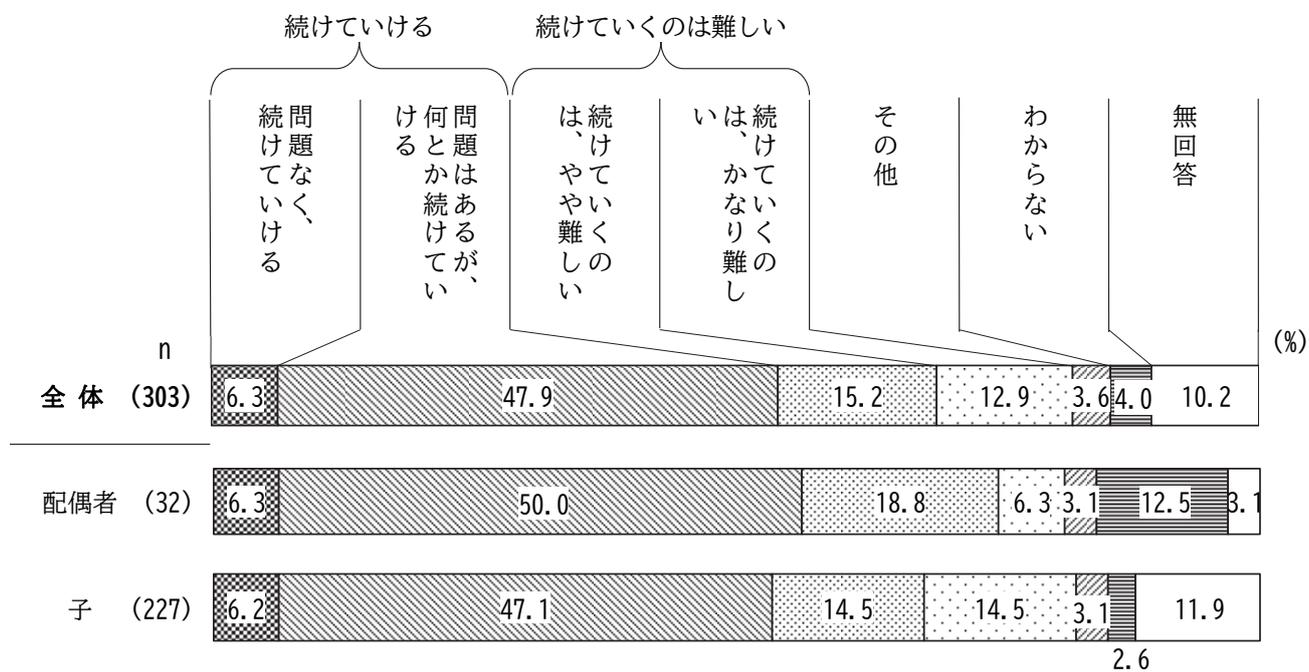
要介護度別でみると、“要介護1”と“要介護3”で『続けていける』が6割前後となっています。（図表6-11）

図表6-11 就労と介護の両立／要介護度別



対象者との続柄別で“子”をみても、全体との大きな差異はみられません。(図表6-12)

図表6-12 就労と介護の両立／対象者との続柄別

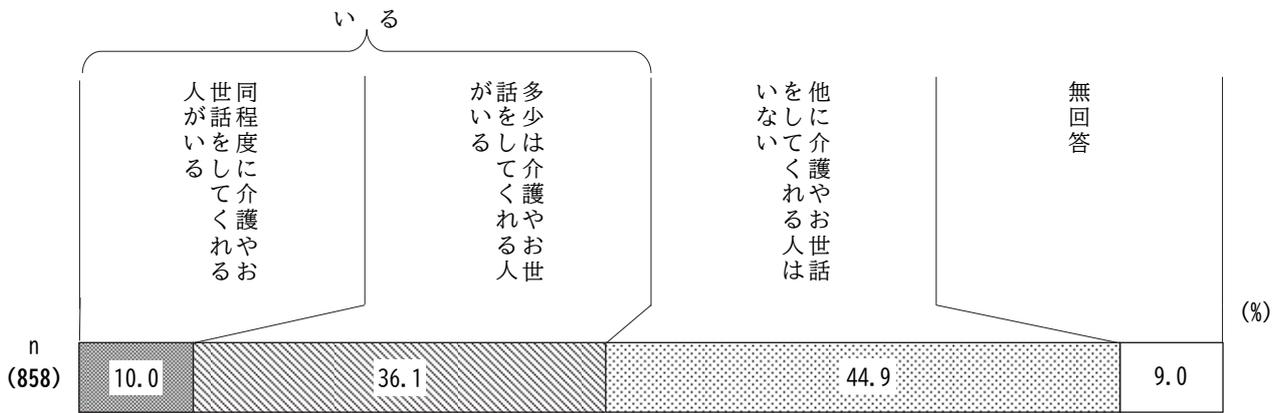


(11) 主な介護者以外の介護者の有無

問 28 主に介護をしている方以外に、介護やお世話をする方（ヘルパーを除く）はいますか。
 (○は1つ)

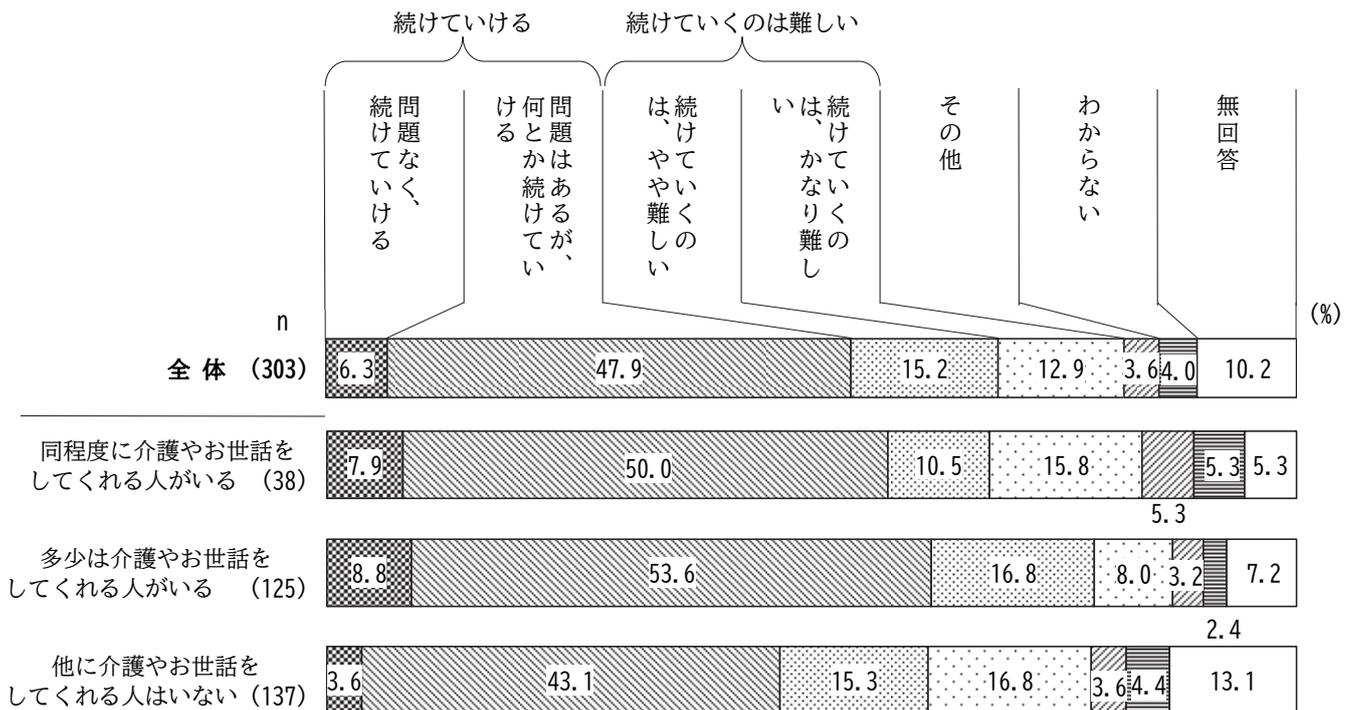
主な介護者以外の介護者の有無としては、「同程度に介護やお世話をしてくれる人がある」(10.0%)と「多少は介護やお世話をしてくれる人がある」(36.1%)を合わせた『いる』が46.1%に対し、「他に介護やお世話をしてくれる人はいない」は44.9%と、ほぼ同様の結果となっています。(図表6-13)

図表6-13 主な介護者以外の介護者の有無



就労と介護の両立について、主な介護者以外の介護者の有無別でみると、他の介護者がいるほど『続けていける』が多くなっているのがわかります。(図表6-14)

図表6-14 就労と介護の両立／主な介護者以外の介護者の有無別



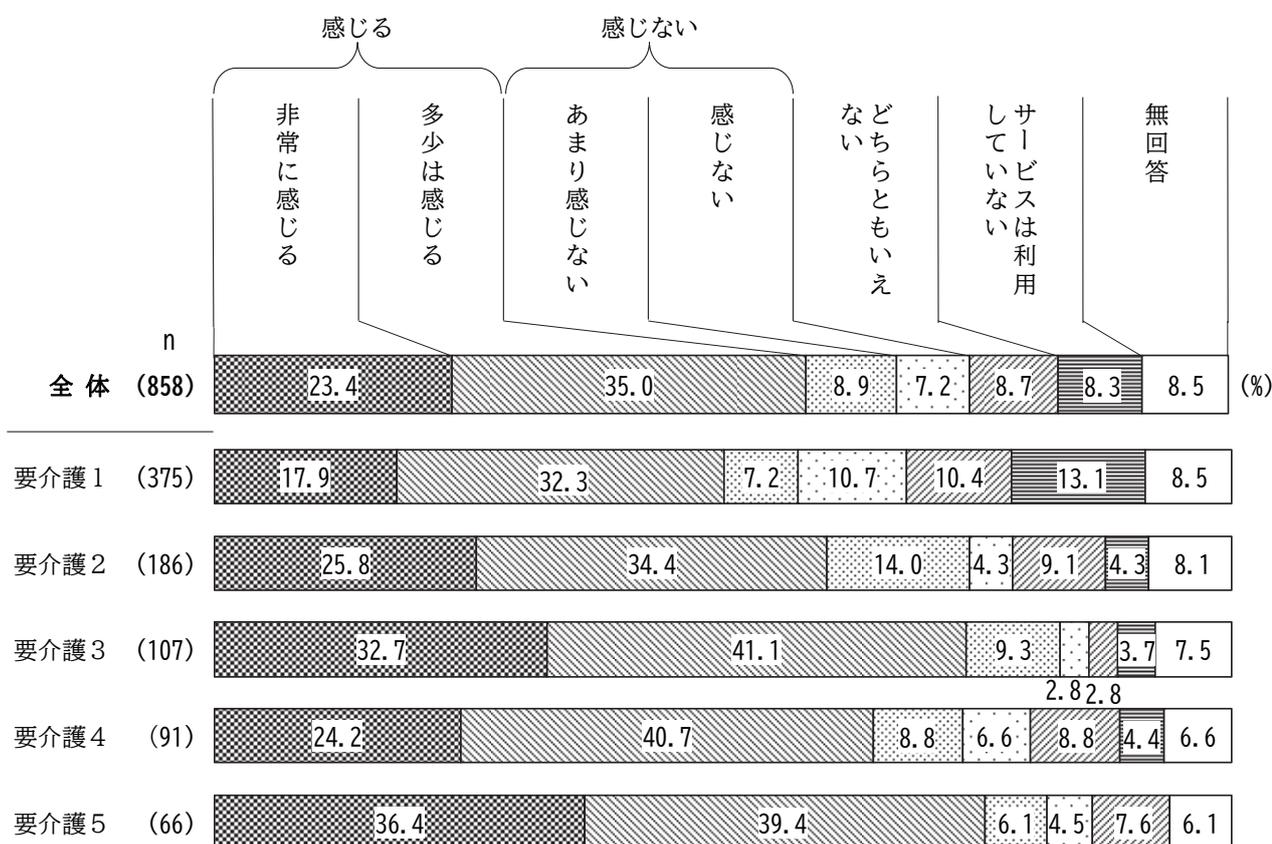
(12) 介護保険サービスによる介護負担の軽減感

問 29 介護保険サービスを利用して、介護にかかる負担が軽減されたと感じることはありますか。
(○は1つ)

介護保険サービスによる介護負担の軽減感としては、「非常に感じる」(23.4%)と「多少は感じる」(35.0%)を合わせた『感じる』の58.4%に対して、「あまり感じない」(8.9%)と「感じない」(7.2%)を合わせた『感じない』は16.1%となっています。

要介護度別でみると、“要介護2以上”で『感じる』が6割を超えており、なかでも“要介護5”で75.8%を占めています。また、“要介護3”“要介護5”で「非常に感じる」が、それぞれ32.7%、36.4%と多くなっています。(図表6-15)

図表6-15 介護保険サービスによる介護負担の軽減感／要介護度別



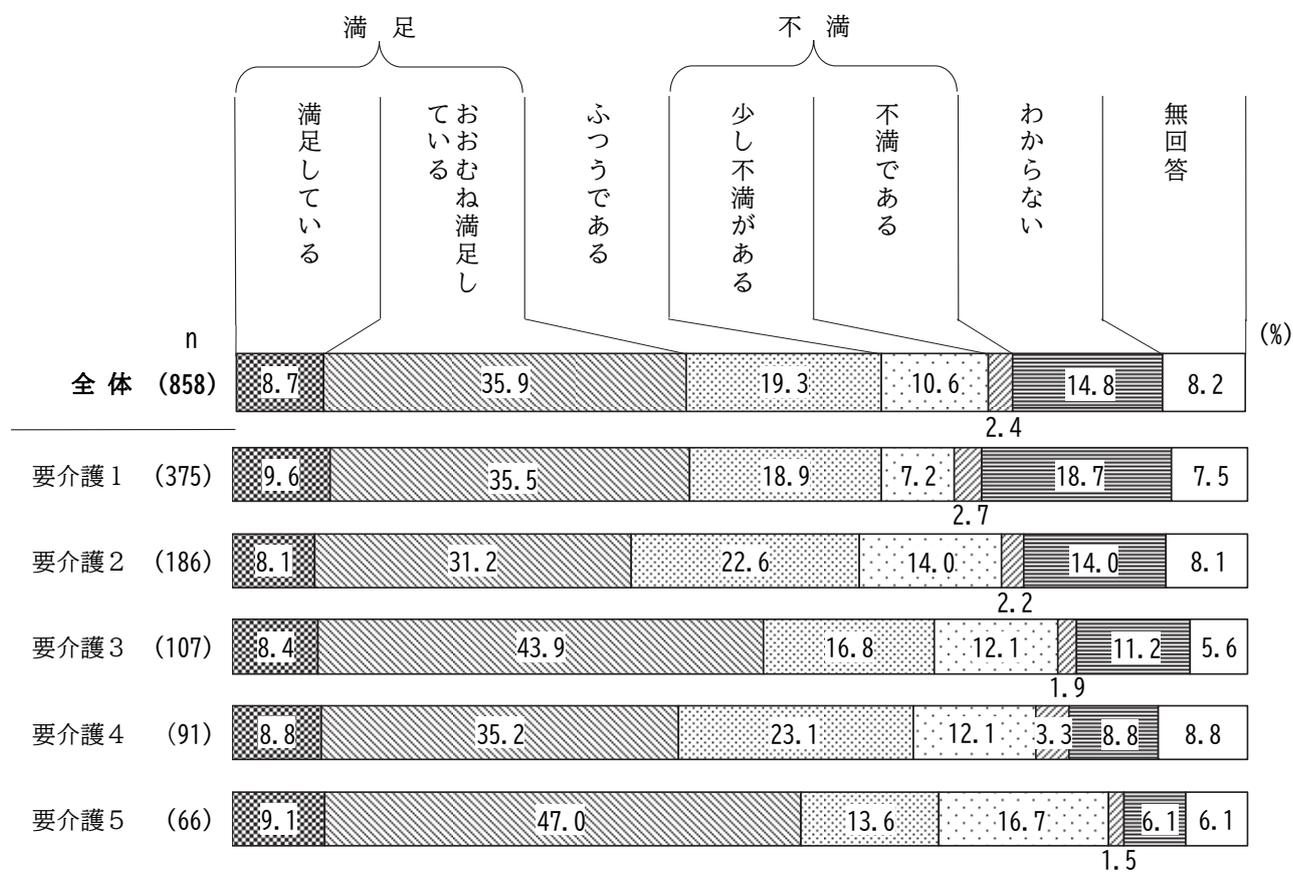
(13) 主な介護者からみる介護保険サービスの満足度

問30 介護保険サービス全般の内容は満足できますか。(○は1つ)

主な介護者からみる介護保険サービスの満足度としては、「満足している」(8.7%)と「おおむね満足している」(35.9%)を合わせた『満足』の44.6%に対して、『不満』(「少し不満がある」+「不満である」)は13.0%となっています。

要介護度別でみると、“要介護5”で『満足』が56.1%、『不満』が18.2%と、ともに最も多くなっています。(図表6-16)

図表6-16 主な介護者からみる介護保険サービスの満足度/要介護度別

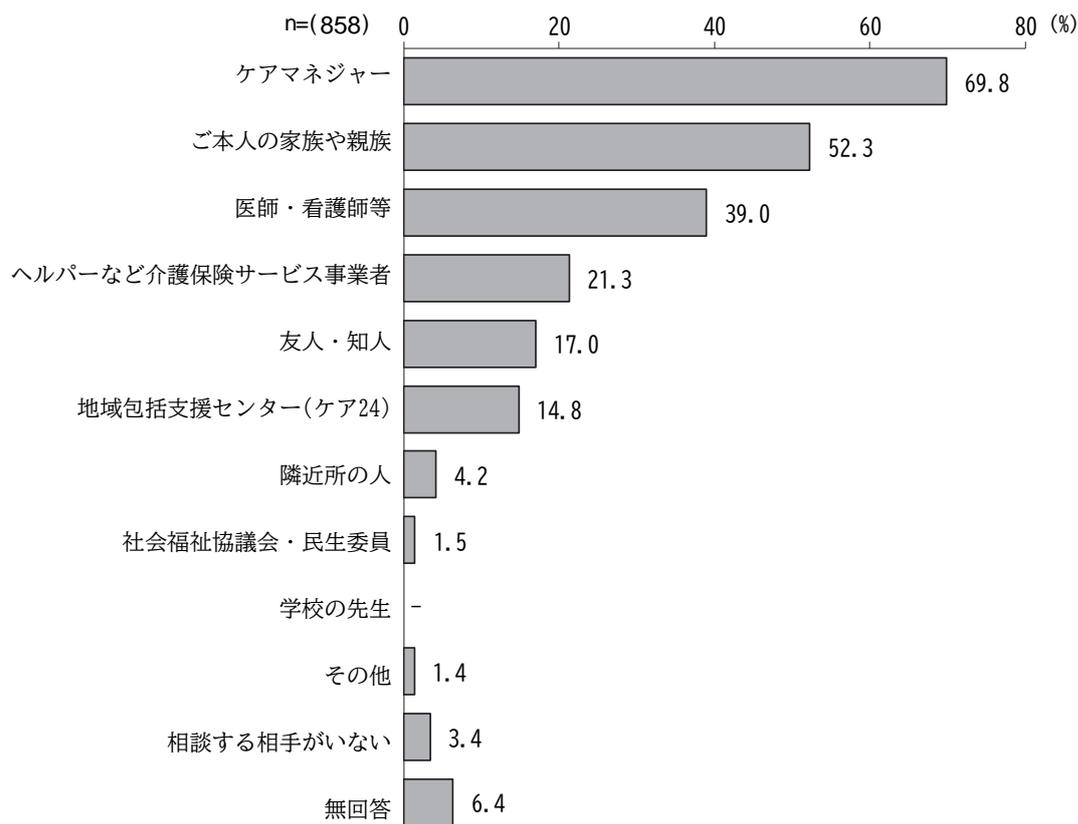


(14) 主な介護者の相談先

問31 介護のことで困ったとき、どなたに相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

主な介護者の相談先としては「ケアマネジャー」が69.8%と最も多く、次いで「ご本人の家族や親族」が52.3%、「医師・看護師等」が39.0%となっています。(図表6-17)

図表6-17 主な介護者の相談先

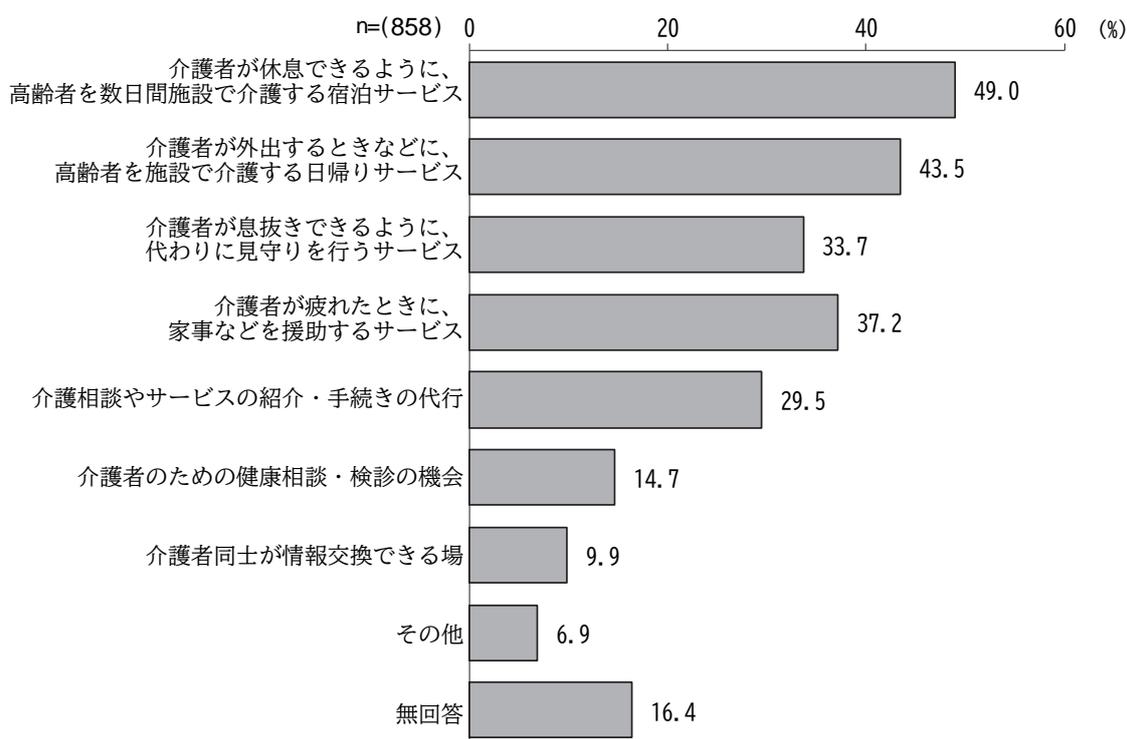


(15) 主な介護者が必要とするサービス

問 32 介護者が必要とするサービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

主な介護者が必要とするサービスとしては「介護者が休息出来るように、高齢者を数日間施設で介護する宿泊サービス」が49.0%と最も多く、次いで「介護者が外出するときなどに、高齢者を施設で介護する日帰りサービス」が43.5%、「介護者が疲れたときに、家事などを援助するサービス」が37.2%となっています。(図表6-18)

図表6-18 主な介護者が必要とするサービス

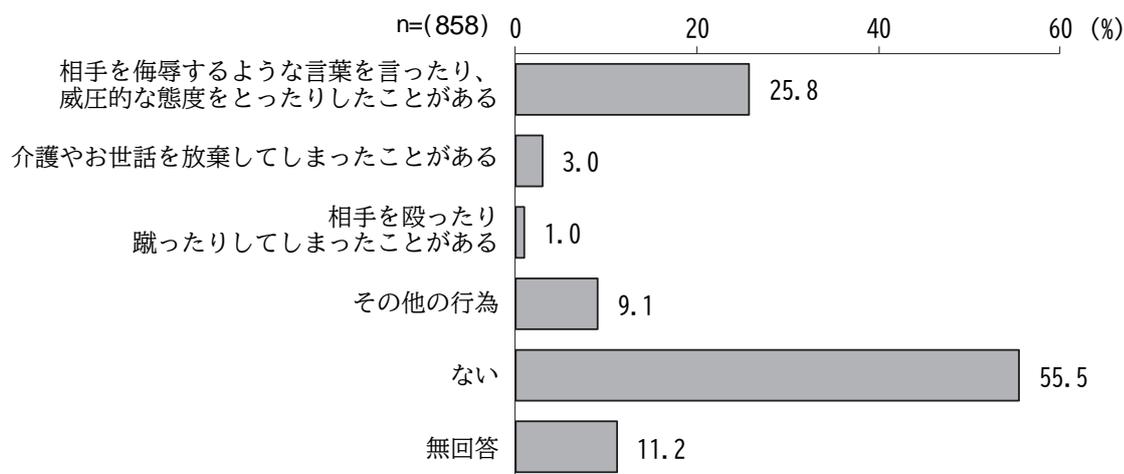


(16) 最近6か月の間の主な介護者と対象者との衝突

問33 最近6か月の間に、介護が原因でご本人と衝突したことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

最近6か月の間の主な介護者と対象者との衝突としては「相手を侮辱するような言葉を言ったり、威圧的な態度をとったりしたことがある」が25.8%と最も多くなっています。なお、「ない」は55.5%となっています。(図表6-19)

図表6-19 最近6か月の間の主な介護者と対象者との衝突



(17) 在宅介護の継続

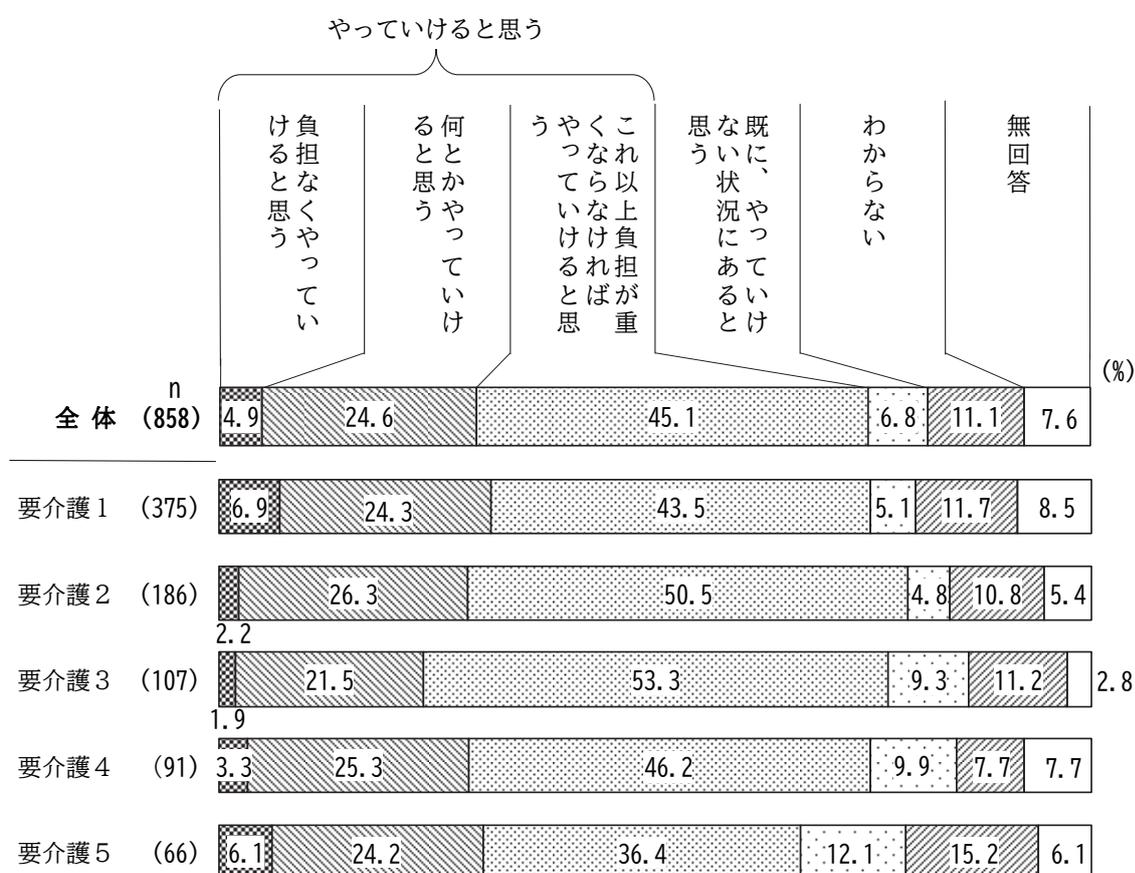
問34 これからも在宅で介護を続けていけると思えますか。(○は1つ)

在宅介護の継続としては「これ以上負担が重くならないかやっていると」が45.1%、「何とかやっていると」が24.6%、「負担なくやっていると」が4.9%となっており、それらを合わせた『やっていると』は74.6%を占めています。

要介護度別でみると、“要介護2”で『やっていると』が8割近くと最も多くなっています。

(図表6-20)

図表6-20 在宅介護の継続／要介護度別



7. 社会的孤立の状況について

問5 一緒に暮らしている家族の構成を教えてください。

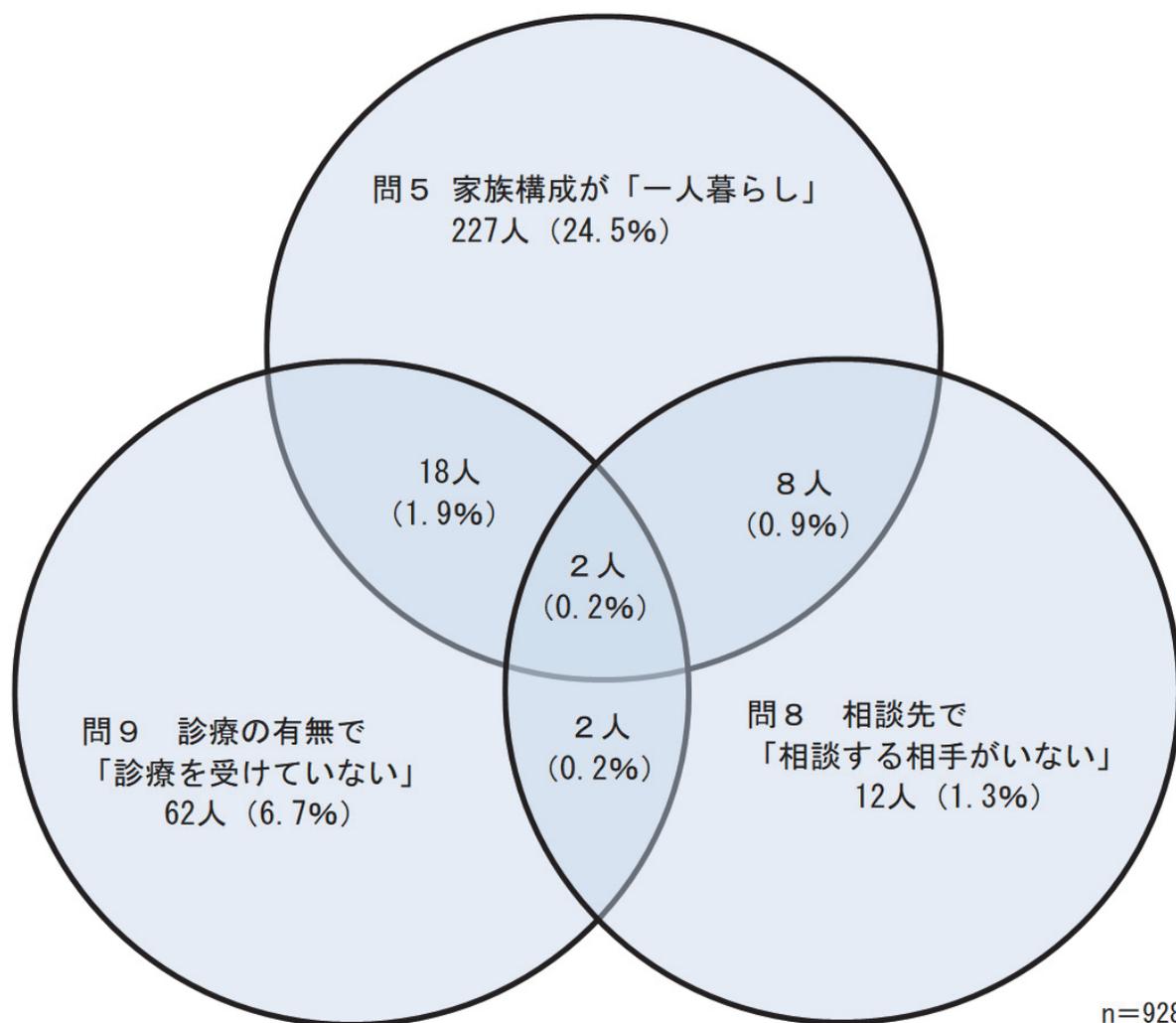
問8 生活の中で不安に思ったとき、どなた（どこ）に相談しますか。

問9 現在、通院（病院・医院・診療所）や訪問診療（往診含む）で診療を受けていますか。

介護者がいない人について、家族構成（問5）、相談先（問8）、通院や訪問診療の有無（問9）といった社会的孤立にかかわる3項目を注視し、その有無・頻度がほとんどないと回答された状況を整理しました。

回答者928人のうち、家族構成が「一人暮らし」、相談先で「相談する相手がない」、診療の有無で「診療を受けていない」の3項目では2人該当しています。（図表7-1）

図表7-1 社会的孤立の状況



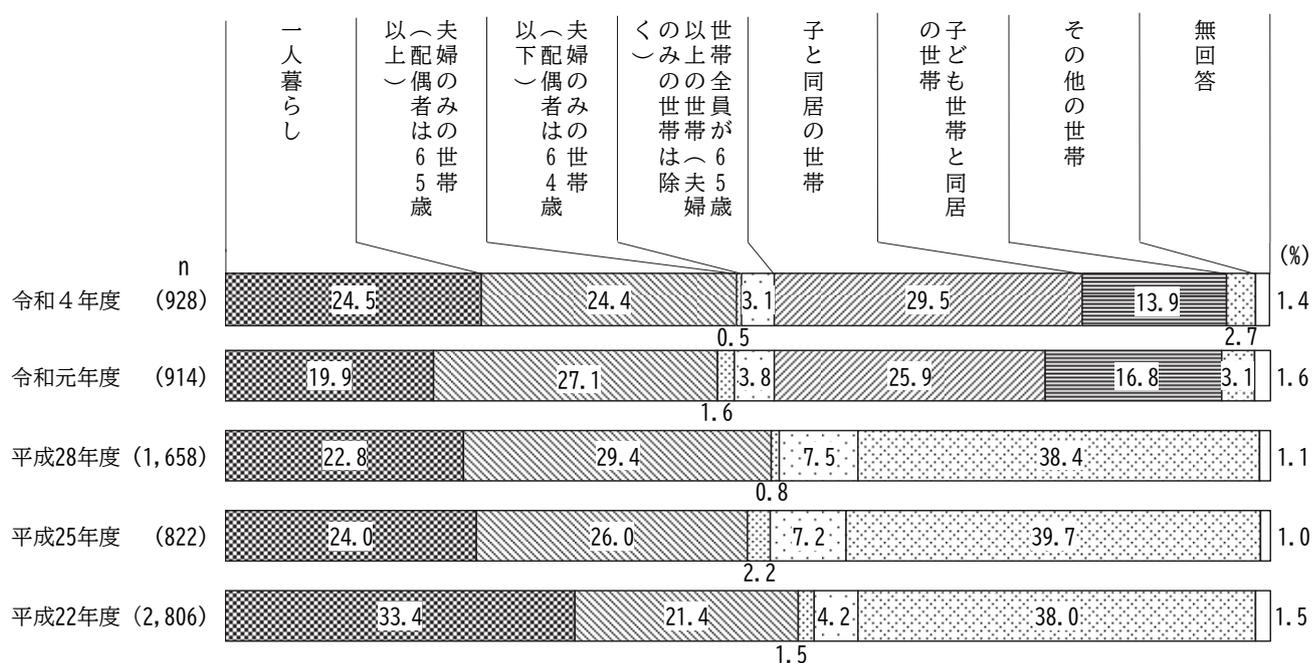
8. 経年比較

(1) 家族構成

問5 一緒に暮らしている家族の構成を教えてください。(○は1つ)

「夫婦のみの世帯（配偶者は65歳以上）」が令和元年度から2.7ポイント減となっています。また「一人暮らし」では4.6ポイント増となっています。(図表8-1)

図表8-1 家族構成



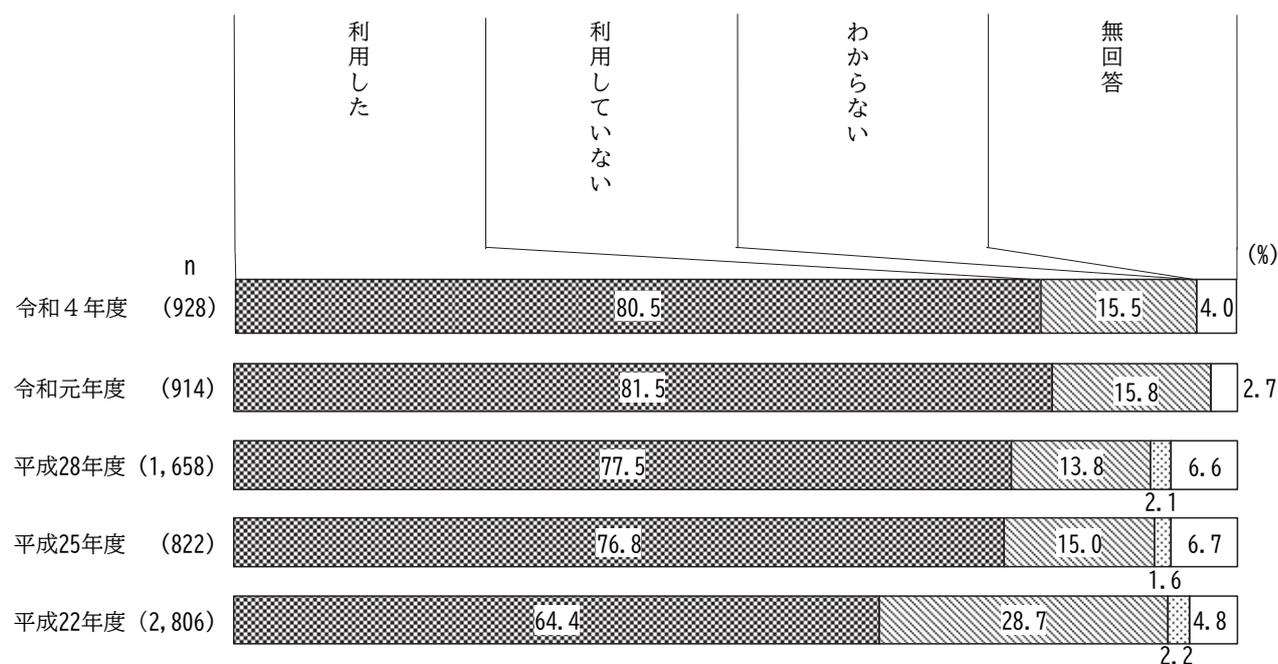
※令和元年度以降の選択肢「子同居の世帯」「子ども世帯同居の世帯」「その他の世帯」は、平成28年度以前では「その他の世帯」として一括になっています。

(2) 介護保険サービスの利用状況

問10 令和4年8月中に、介護保険サービスを利用しましたか。(○は1つ)

令和元年度から特に大きな変動はありません。(図表8-2)

図表8-2 介護保険サービスの利用状況



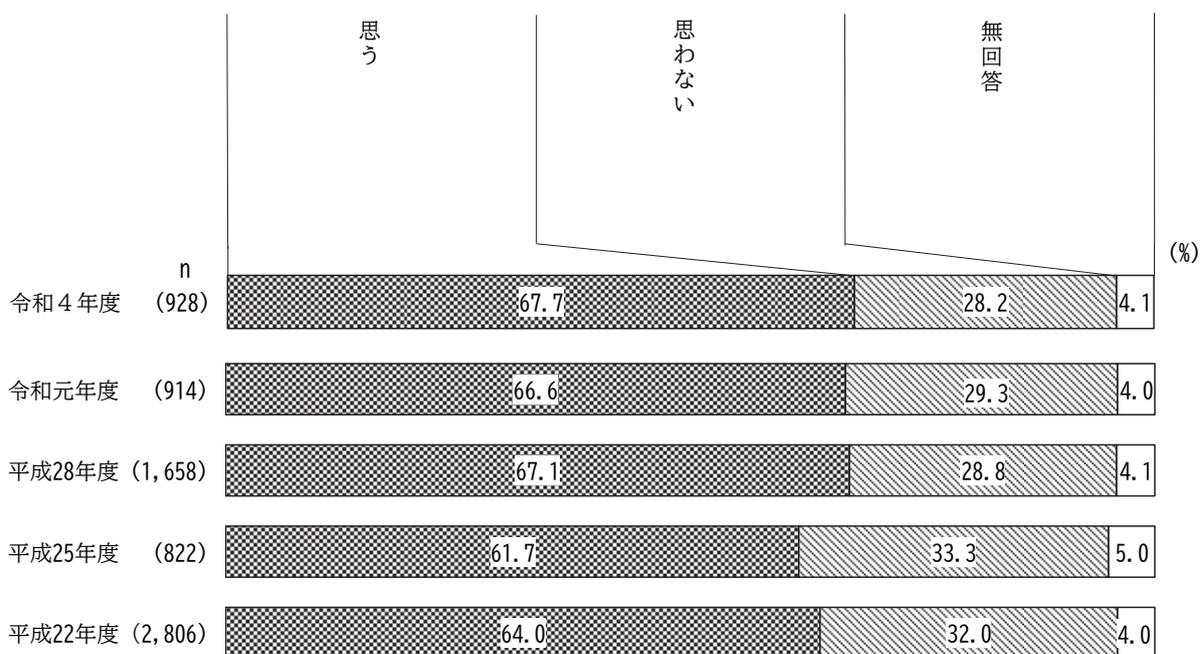
※令和元年度以降は「わからない」を削除しました。

(3) 居住先の介護を受けながらの生活に対する適正の有無

問13 現在のお住まいは、介護を受けながら在宅生活を送るのに適していると思いますか。(○は1つ)

適していると「思う」は令和元年度より1.1ポイント増となっています。(図表8-3)

図表8-3 居住先の介護を受けながらの生活に対する適正の有無

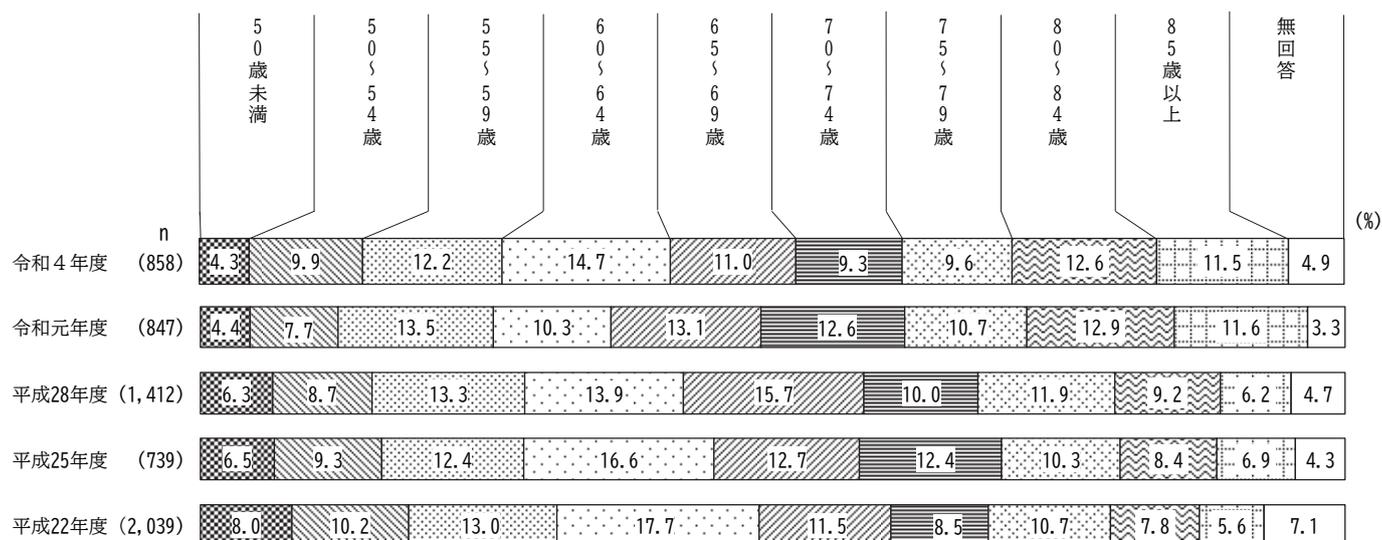


(4) 主な介護者の年齢

問 22 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

『80歳以上』は令和元年度以降 20%を超え、老老介護が進行していることがうかがえます。(図表8-4)

図表8-4 主な介護者の年齢



(5) 対象者との続柄

問 23 ご本人からみた続柄をお答えください。(○は1つ)

「子※」が令和元年度から 2.5 ポイント増となっています。(図表8-5)

図表8-5 対象者との続柄

	n	配偶者	子		子の配偶者			孫	その他	無回答		
			娘	息子	息子の妻	娘の夫						
令和4年度	858	32.2	48.5		4.3			0.5	7.0	7.6		
令和元年度	847	37.1	46.0		5.7			0.2	6.0	5.0		
平成28年度	1,412	38.5		32.0	15.0			8.6	0.4	0.4	5.0	
平成25年度	739	31.4		34.6	12.7			11.1	—	4.3	1.9	3.9
平成22年度	2,039	30.6		31.9	13.6			13.6	0.2	4.2	5.9	—

※令和元年度以降の選択肢「子」は、平成28年度以前では「娘」と「息子」に分かれています。

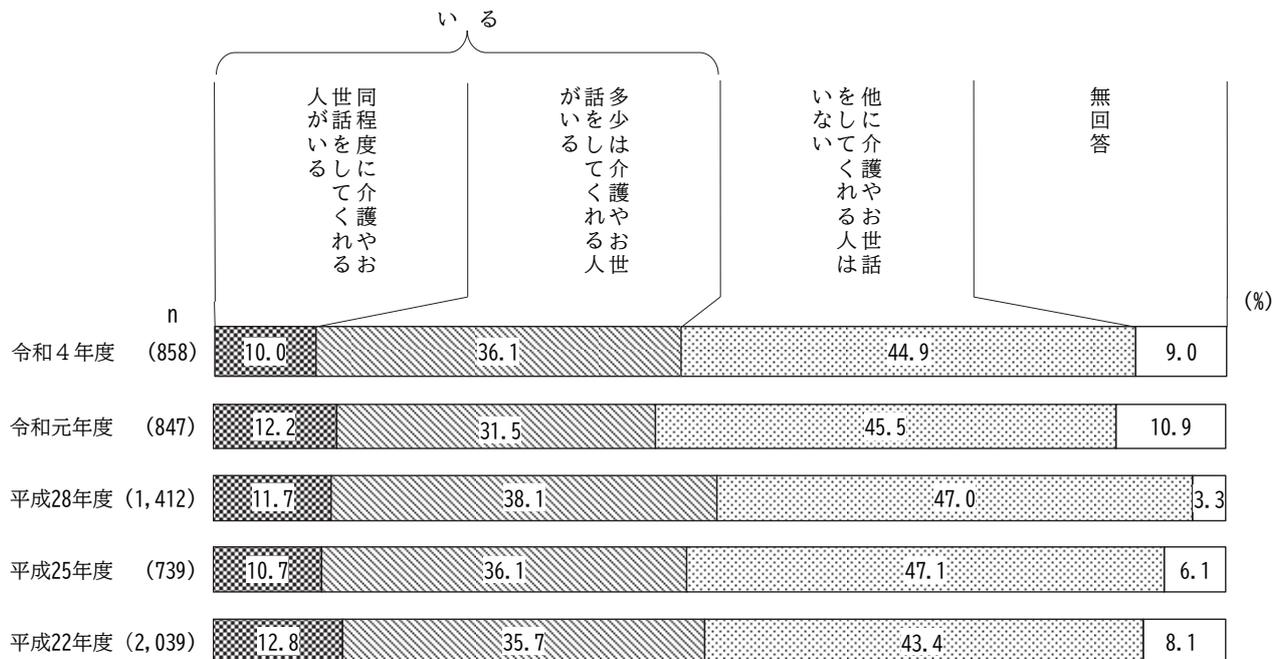
※令和元年度以降の選択肢「子の配偶者」は、平成28年度以前は「息子の妻」と「娘の夫」に分かれています。

(6) 主な介護者以外の介護者の有無

問 28 主に介護をしている方以外に、介護やお世話をする方（ヘルパーを除く）はいますか。（○は1つ）

『いる』が令和元年度から2.4ポイント増となっています。（図表8-6）

図表8-6 主な介護者以外の介護者の有無

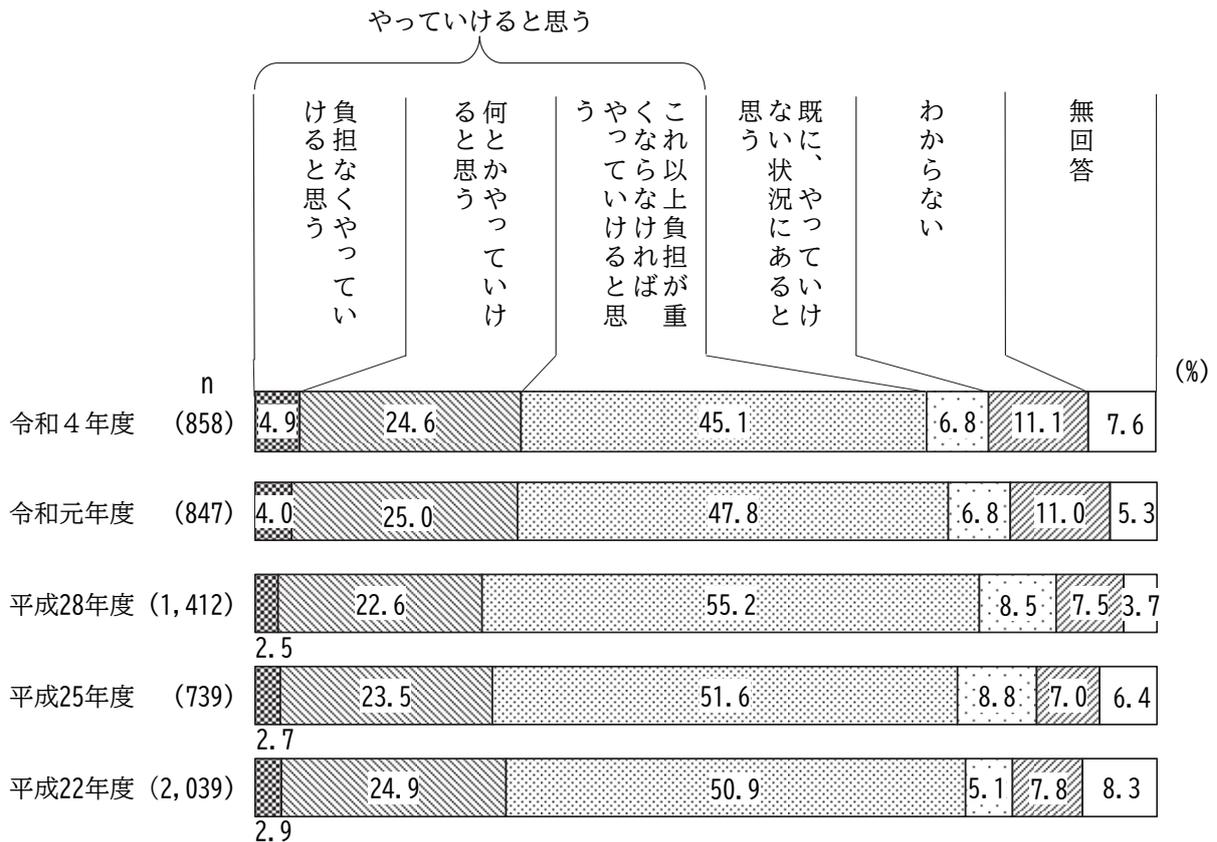


(7) 在宅介護の継続

問 34 これからも在宅で介護を続けていけると思えますか。(○は1つ)

『やっていけると思う』が令和元年度から2.2ポイント減となっています。(図表8-7)

図表8-7 在宅介護の継続



9. 自由意見

介護保険制度、保健福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などございましたら、自由にお書きください。

高齢者の福祉について 323 人からご意見・ご要望をいただきました。分類したうえで、それぞれについて数件ずつ示していきます。

1. 介護保険制度に関して

- ・条件が伴わないと使えないサービスがある。(ちょこっとヘルプ等)
- ・介護認定をされるための手続きにかかる時間が長すぎます。認定を受けた時点では、もう既に更なる重度の認定の申請が必要になります。
- ・どの程度に利用出来るのか情報が少ないです。
- ・介護施設は、とても高齢の方を対象としている感じがある。障害はあってもまだまだ若い人を対象とした施設が欲しいと思います。(食事やレクリエーション等) また、年を重ねていくうえで専門的なりハビリの見直しを入所して行なえる施設があればと痛切に願っています。
- ・介護者自身が高齢であるため負担が大きく、介護者の為のヘルプが“ほっと一息”以外にあれば大変助かります。“ほっと一息”をもう少し拡大できないものでしょうか。

2. スタッフ（介護人材）

- ・介護して下さる方々は本当に良くめんどろを見て下さっていると思います。安心してデイケアに通所お願いできます事に感謝しております。
- ・介護に携わる人材（ケアマネ、ヘルパーさん、他）の給料を今より最低 3 割アップになる様に、法律、規約、体制、財政補助、税金の使い方を改善して下さい。(行政システム等の改善)
- ・ヘルパーなど介護現場で働く人達にも配慮してほしいです。(低賃金、超過勤務などが無いよう委託先を定期的にチェックするなど)
- ・ケアマネの担当人数に寄るかもしれないが、月 1 回の訪問だけではなく、サービス依頼してる件など（ショートステイ申込など）進捗を知らせて欲しいです。
- ・良いケアマネジャーはどうやって見つけたらいいのか、知りたいです。情報が欲しいです。

3. 経済的負担

- ・有料ショートステイの補助金も検討して頂きたいです。
- ・(以前に比べて)今は介護福祉が大変に優れていると思います。
- ・介護保険料後期高齢者の保険料が、収入の割に高すぎて困る。
- ・介護施設内で利用するレンタル介護用品(車イス、歩行器他)を介護保険の対象となるよう国に働きかけて欲しいです。
- ・もっとサービスが使いたいですが、点数が足りず自己負担が増えています。

4. 在宅サービス

- ・介護認定を受けて、介護者の負担が軽くなると思ったが、実際は同居しているとサービスがあまり受けられない(単なる見守りや、料理は対象外)と知り、結局民間のサービスに頼ることにしました。仕事と介護の両立が可能なサービスがあれば、理想です。
- ・ケアプランを定期的なものだけではなく必要な時にだけ(単発)に申しこめるサービスがあったらと思います。(例えば手伝う人が都合のつかない時に入浴などの身体サービスを受けたいなど)
- ・デイサービスの時間を介護者の都合に合わせて、時間を延長できるシステムを作りたいです。
- ・家事全般(洗濯、炊事等)について代行サービスが受けられると息抜きが出来肉体的精神的に余裕が出来気分的に楽になります。

5. その他

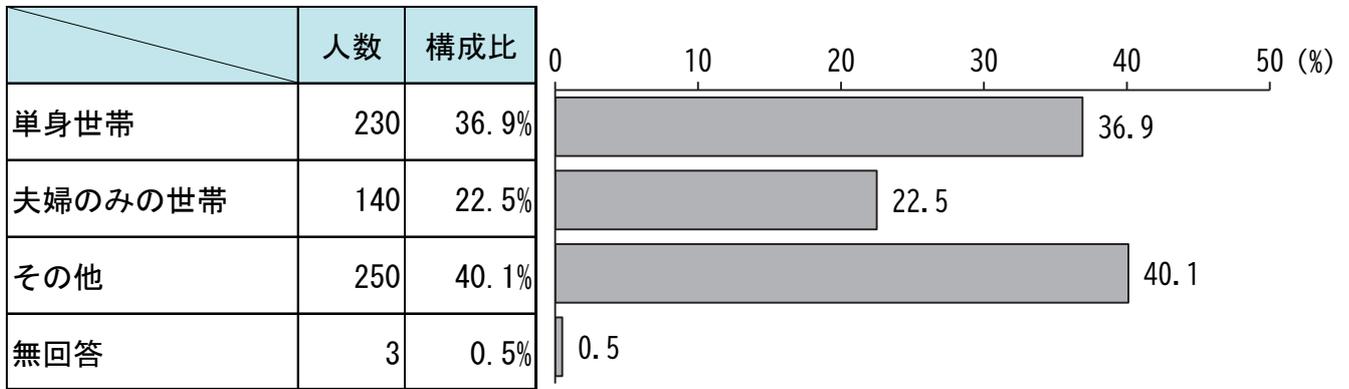
- ・コロナによる外出制限(施設介護)をやめてほしい。面会や本人の散歩ができるようにしてほしいです。
- ・初めて介護認定を受ける際、介護者は解らないことだらけです。この最初の時点でおせっかいだと思われるくらいの助言がほしかったです。
- ・提出書類など種々多いので、もっと少なくスムーズに処理できることを希望します。
- ・今は、まだどうにか、世話できていると思うが、近い将来自分も、健康でいられない時の状態を想像すると、とても心配です。
- ・介護者は1人に集中することが多く体も心も負担が大きいです。介護者向けの無料セミナー、相談など開催して頂けるとありがたいです。
- ・区の助成金で介護の負担をしていかないと、働く人が働けなくなるし、税金も払えない、子供も増えないと思います。

第4章 在宅介護実態調査結果

(1) 世帯類型

A問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

図表1 世帯類型



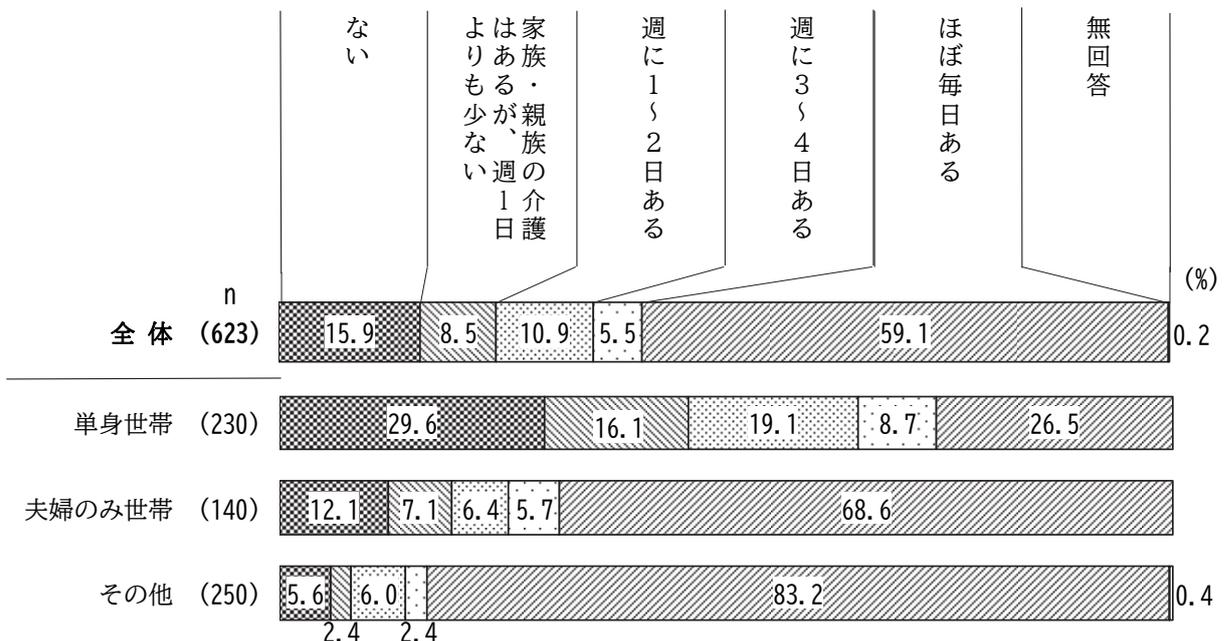
(2) 介護の頻度

A問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

介護の頻度としては「ほぼ毎日ある」が59.1%と最も多く、「週に1～2日ある」は10.9%、「週に3～4日ある」は5.5%となっています。一方、「ない」は15.9%となっています。

世帯類型でみると、“夫婦のみ世帯”で「ほぼ毎日ある」が68.6%となっています。一方、“単身世帯”では「ない」が29.6%と最も多くなっています。（図表2）

図表2 介護の頻度／世帯類型別

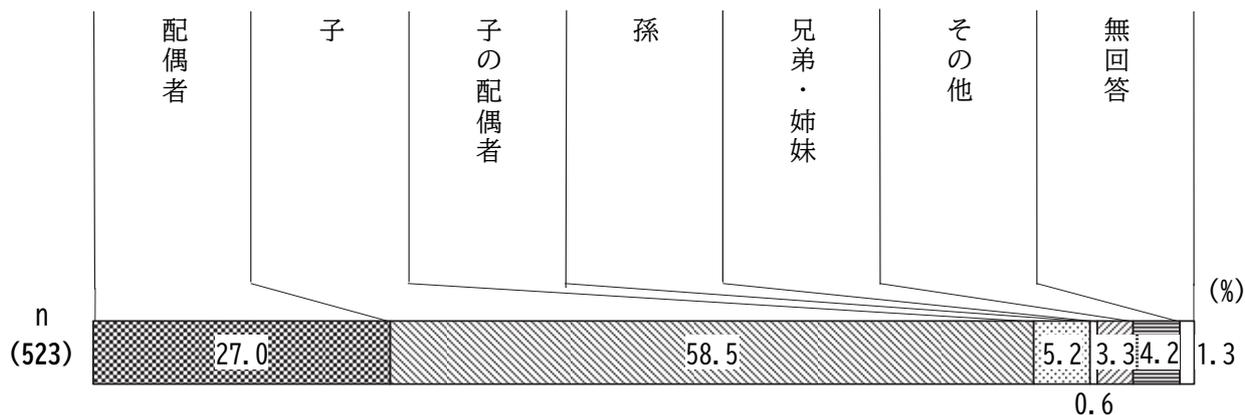


(3) 主な介護者

A問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

主な介護者としては「子」が58.5%と最も多く、次いで「配偶者」が27.0%となっています。（図表3）

図表3 主な介護者

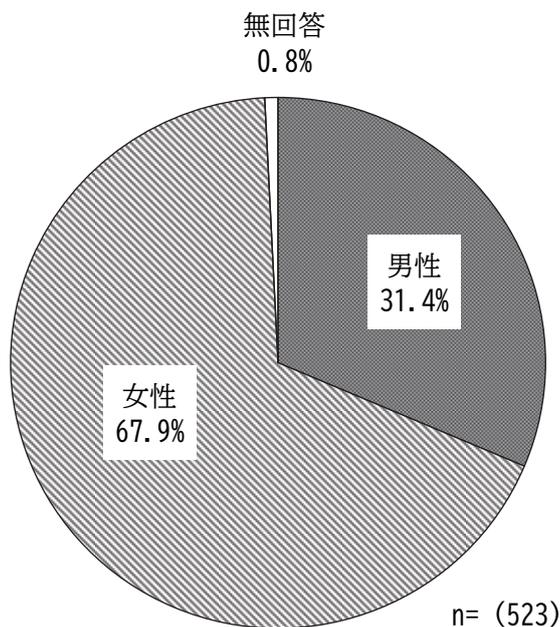


(4) 主な介護者の性別

A問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

主な介護者の性別は「男性」が31.4%、「女性」67.9%となっています。（図表4）

図表4 主な介護者の性別

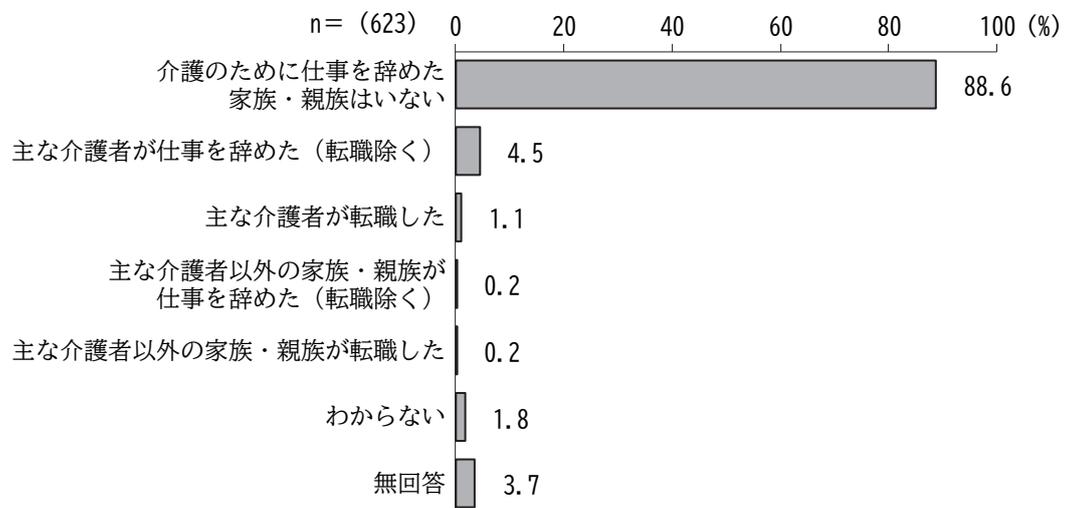


(5) 介護を理由とした退職状況

A問5 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数回答可）※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

介護を理由とした退職状況としては「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が88.6%を占めています。一方、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」は4.5%となっています。（図表5）

図表5 介護を理由とした退職状況



(6) 施設等への入所・入居の検討状況

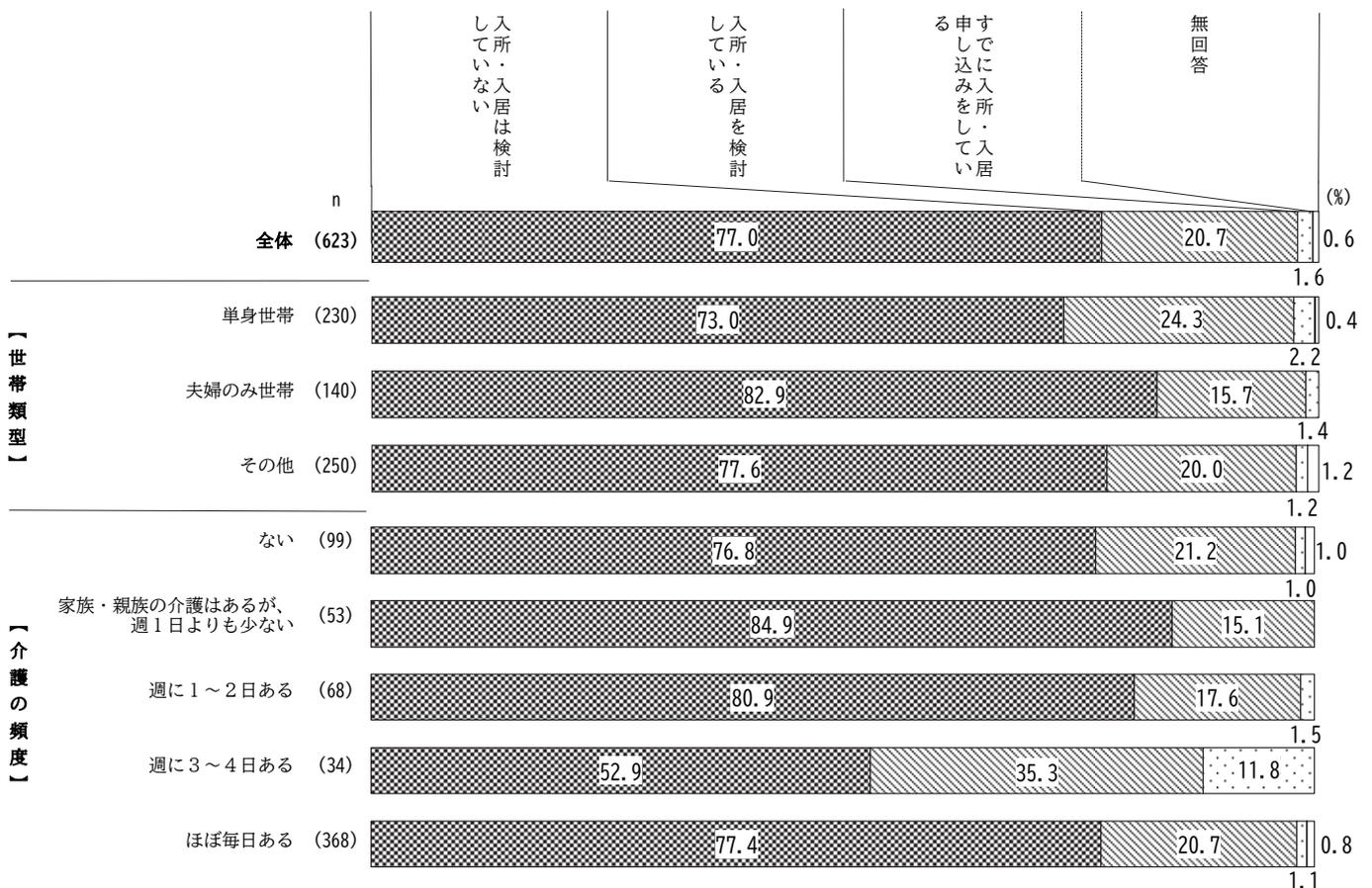
A問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）
 ※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

施設等への入所・入居の検討状況としては、「入所・入居は検討していない」が77.0%、「入所・入居を検討している」が20.7%となっています。

世帯類型別でみると、“夫婦のみ世帯”で「入所・入居は検討していない」が82.9%と多くなっています。

介護の頻度別でみると、“週に3～4日ある”で「入所・入居を検討している」が35.3%と、他層より多くなっています。（図表6）

図表6 施設等への入所・入居の検討状況／世帯類型別、介護の頻度別



(7) 主な介護者の勤務形態

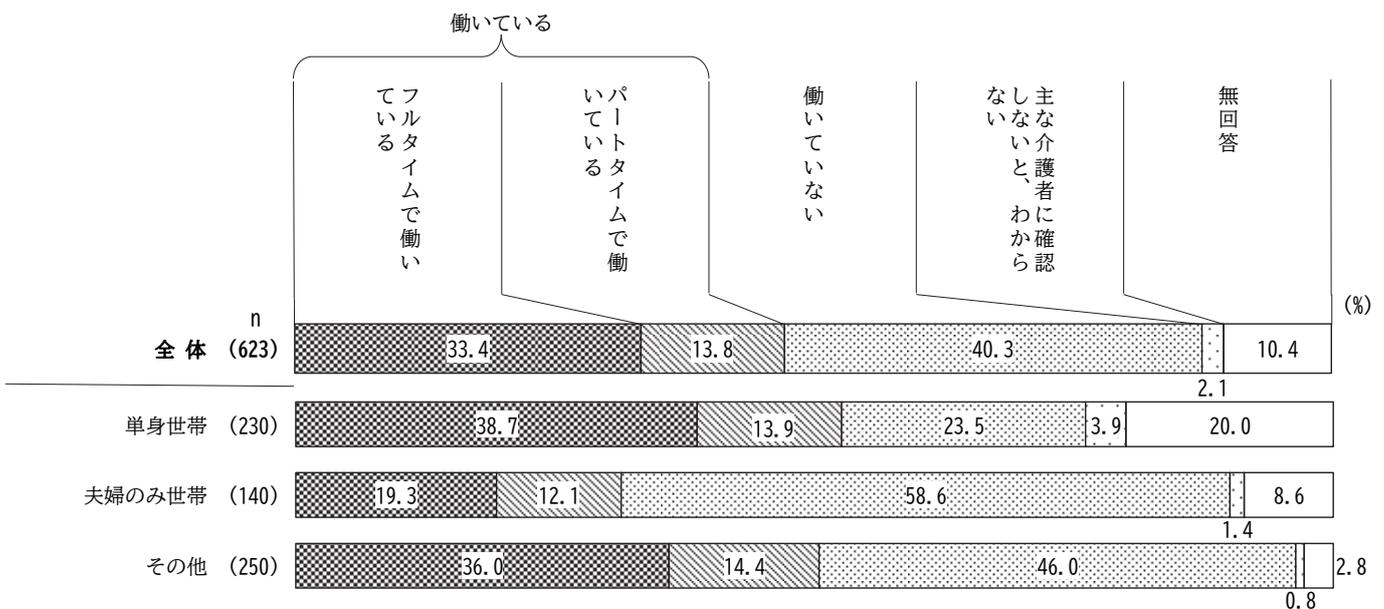
B問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」「嘱託」「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択してください。

主な介護者の勤務形態としては、「フルタイムで働いている」（33.4%）と「パートタイムで働いている」（13.8%）を合わせた『働いている』が47.2%に対して、「働いていない」は40.3%となっています。

世帯類型別みると、“単身世帯”の『働いている』が52.6%に対して、“夫婦のみ世帯”では31.4%となっています。（図表7）

図表7 主な介護者の勤務形態／世帯類型別



第4章 在宅介護実態調査結果

主な介護者の勤務形態別で介護の頻度をみると、“主な介護者に確認してみないと、わからない”を除き、どの形態でも「ほぼ毎日ある」が最も多くなっていますが、“パートタイムで働いている”“働いていない”で6割を超えているなか、“フルタイムで働いている”は5割台半ばと、やや差異がみられます。(図表8)

図表8 介護頻度／主な介護者の勤務形態別

	n	上段：人数、下段：%					
		ない	家族・親 族の介護 はある が、週1 日より 少ない	週に1～ 2日ある	週に3～ 4日ある	ほぼ毎日 ある	無回答
全体	623 100.0	99 15.9	53 8.5	68 10.9	34 5.5	368 59.1	1 0.2
フルタイムで働いている	208 100.0	9 4.3	29 13.9	39 18.8	16 7.7	115 55.3	- -
パートタイムで働いている	86 100.0	2 2.3	6 7.0	14 16.3	6 7.0	58 67.4	- -
働いていない	251 100.0	22 8.8	13 5.2	13 5.2	11 4.4	191 76.1	1 0.4
主な介護者に確認してみないと、わからない	13 100.0	4 30.8	5 38.5	1 7.7	1 7.7	2 15.4	- -

(8) 介護と就労の両立

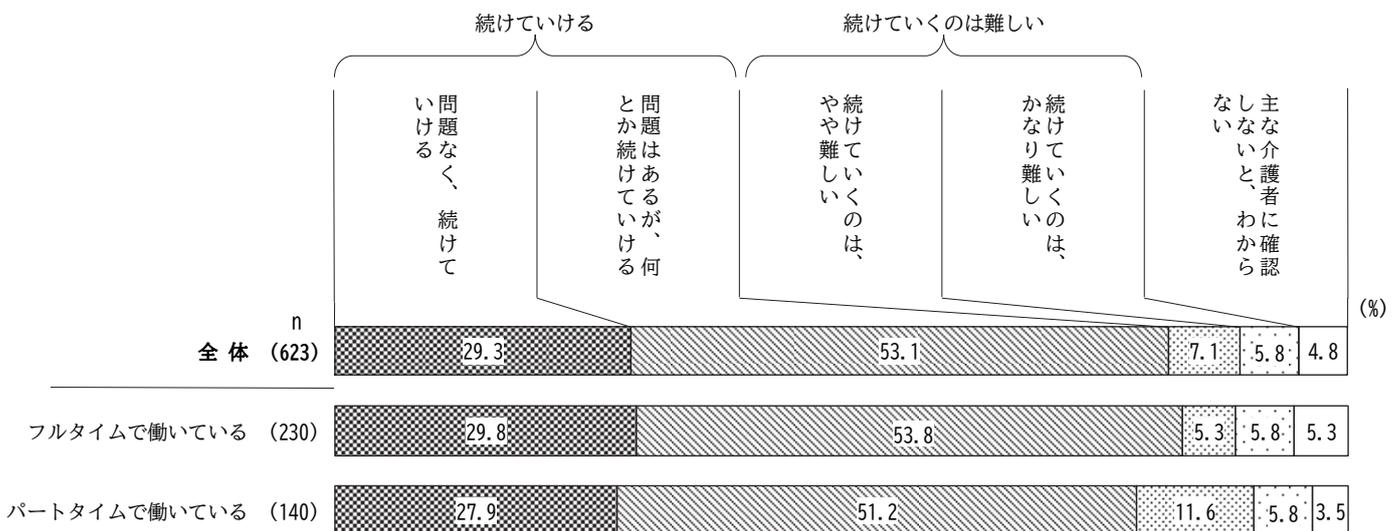
B問1で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

B問2 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

介護と就労の両立としては、「問題なく、続けていける」(29.3%)と「問題はあるが、何とか続けていける」(53.1%)を合わせた『続けていける』が82.4%を占めています。一方、「続けていくのは、かなり難しい」(5.8%)と「続けていくのは、やや難しい」(7.1%)を合わせた『難しい』は12.9%となっています。

主な介護者の勤務形態別でみると、『続けていける』は“フルタイムで働いている”が83.6%、“パートタイムで働いている”が79.1%でともに多くなっています。(図表9)

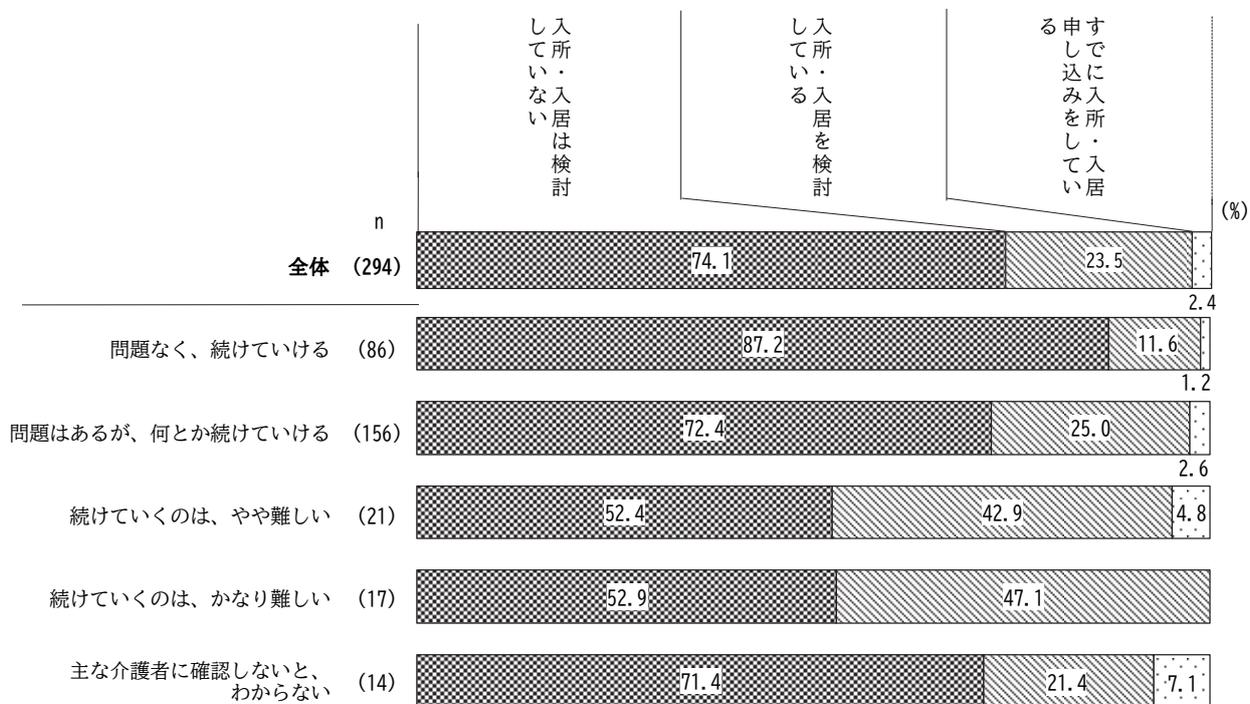
図表9 介護と就労の両立／主な介護者の勤務形態別



第4章 在宅介護実態調査結果

介護と就労の両立別で施設等への入所・入居の検討状況をみると、「入所・入居は検討していない」は、「問題なく、続けていける」で87.2%、「問題はあるが、何とか続けていける」で72.4%となっています。(図表10)

図表10 施設等への入所・入居の検討状況／介護と就労の両立別



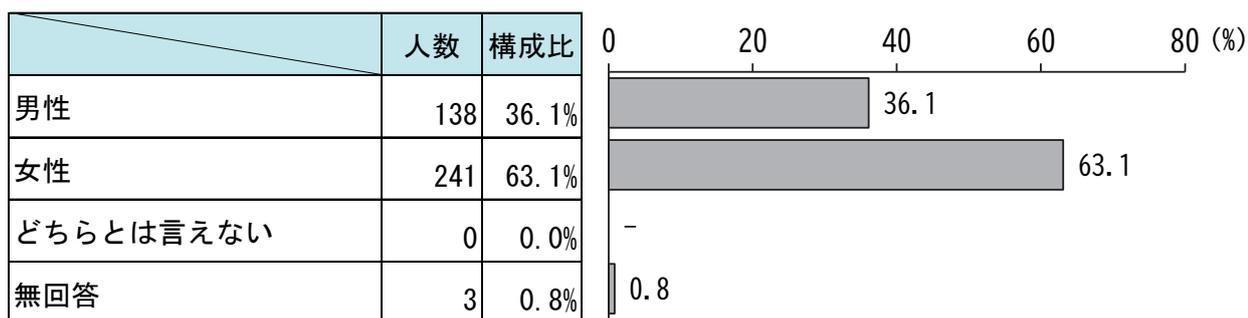
第5章 特別養護老人ホーム入所希望者 実態調査結果

1. 対象者の属性

(1) 性別

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

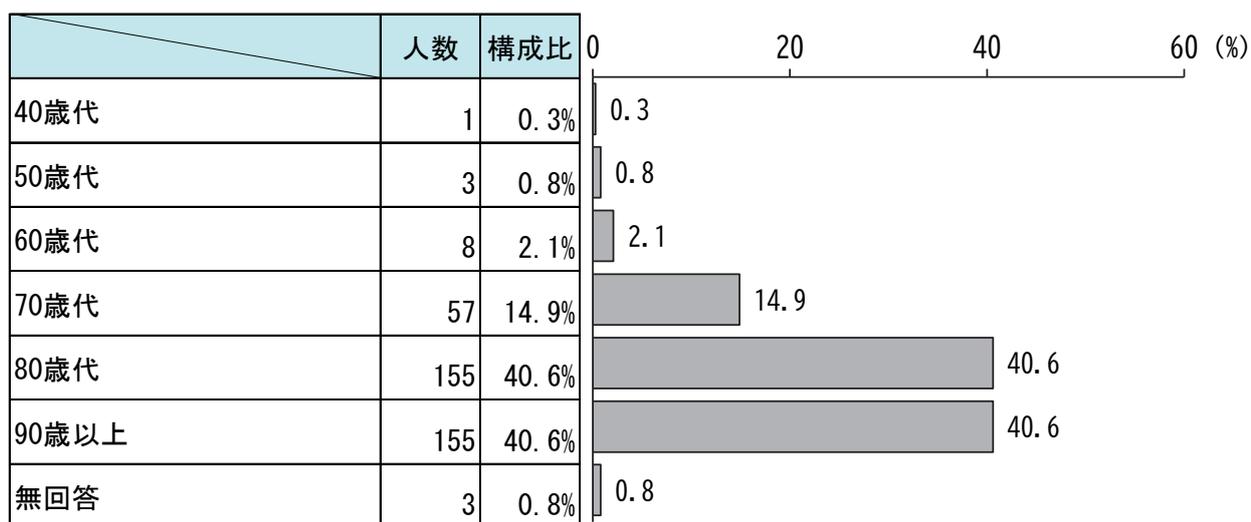
図表1-1 性別



(2) 年齢

問2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

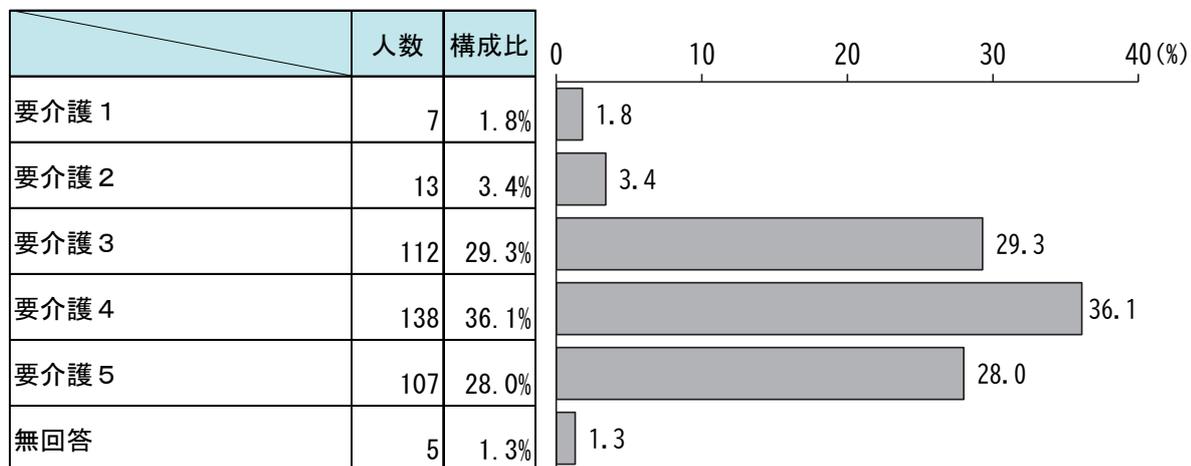
図表1-2 年齢



(3) 要介護度

問3 あなたの要介護度をお答えください。(〇は1つ)

図表1-3 要介護度

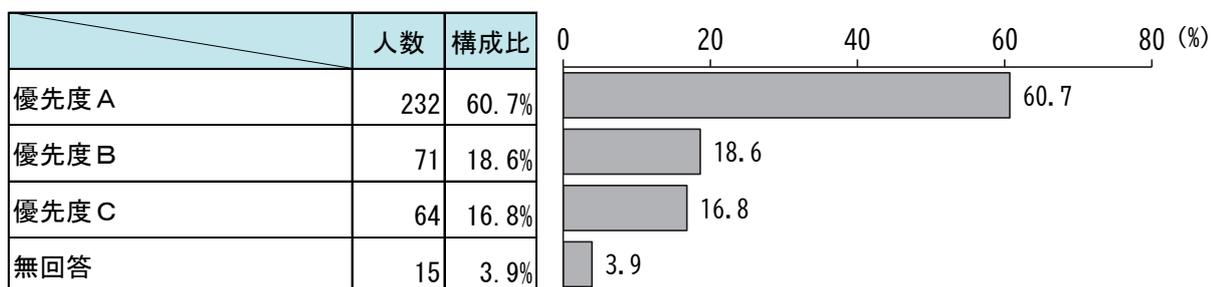


※特別養護老人ホームは、原則要介護度3以上の方が入所できる施設ですが、要介護1・2の方も「やむを得ない事情により特別養護老人ホーム以外での生活が著しく困難と認められる方」は申し込みできます。

(4) 区の第一次評価

問4 あなたが、特別養護老人ホームへ申し込んだ際の、区の第一次評価は次のどれでしたか。(〇は1つ)

図表1-4 区の第一次評価



※区では第一次評価を行い、入所の優先度（緊急度）を判定しております。

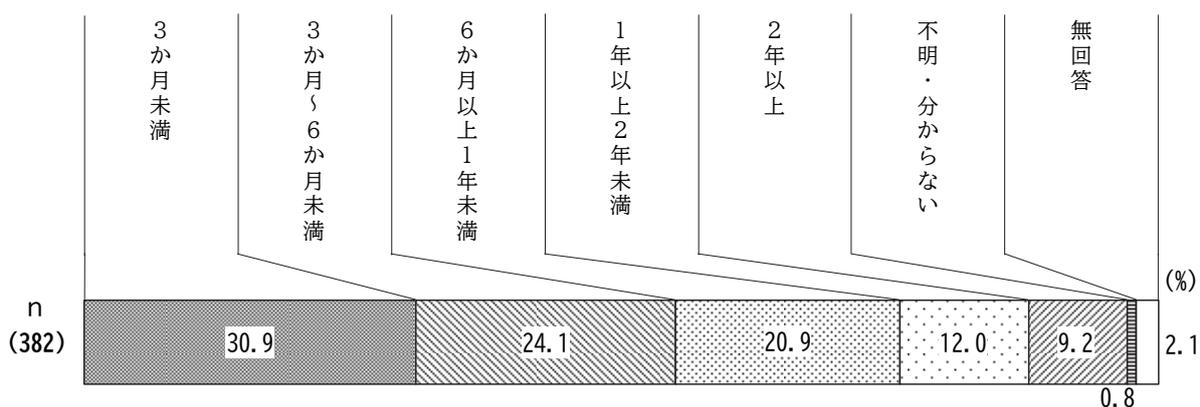
優先度A：優先度が高い、優先度B：優先度が中程度、優先度C：優先度が低い

(5) 入所申込をしてからの期間

問5 あなたが、特別養護老人ホームへ入所申込をしてから、現在までの期間はどれにあてはまりますか。(〇は1つ)

入所申込をしてからの期間をみると、「3か月未満」が30.9%と最も多く、「3か月～6か月未満」は24.1%、「6か月以上1年未満」は20.9%となっています。(図表1-5)

図表1-5 入所申込をしてからの期間

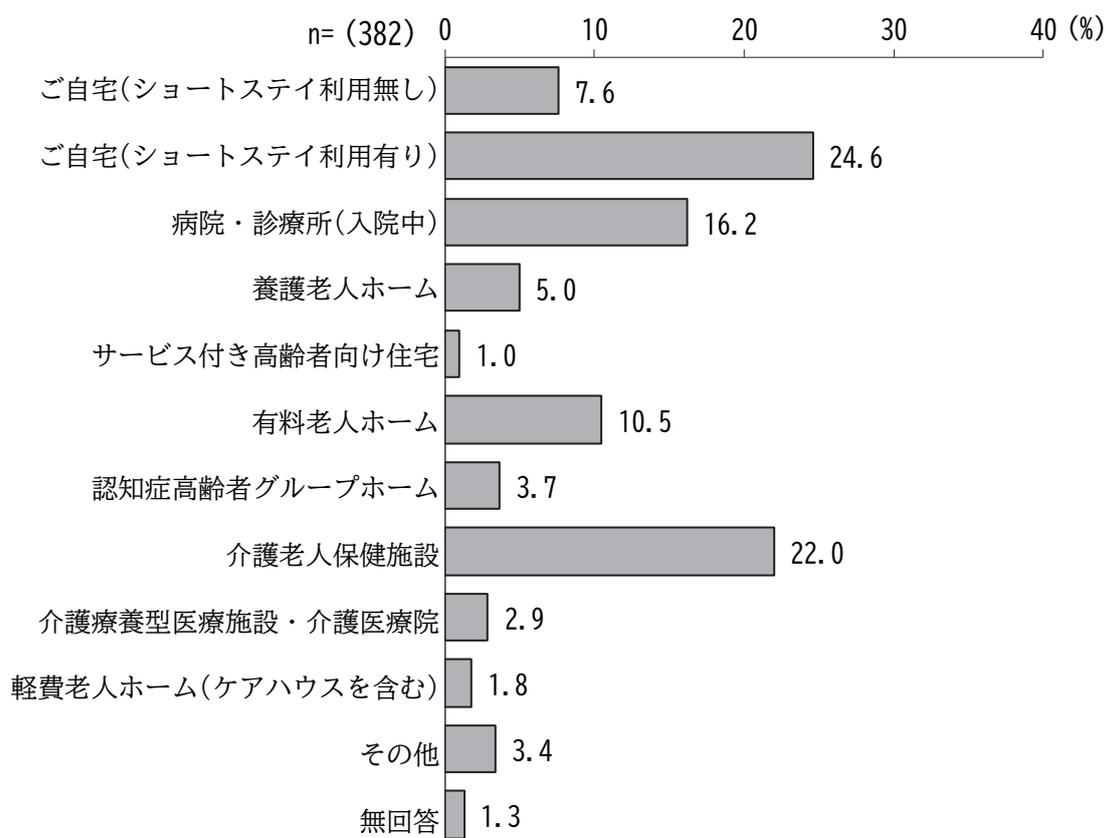


(6) 居住先

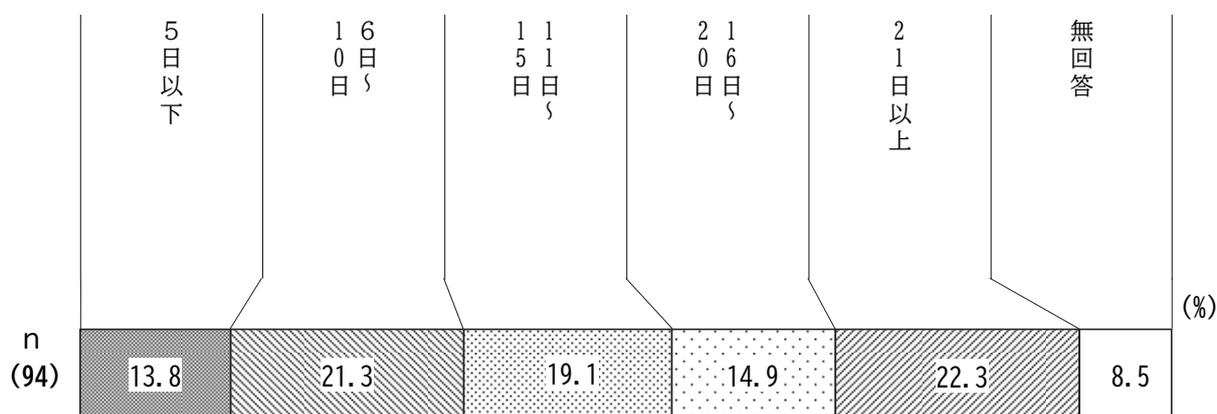
問6 あなたは、現在、どちらにお住まいですか。(〇は1つ)

居住先としては「ご自宅(ショートステイ利用有り)」が24.6%と最も多く、次いで、「介護老人保健施設」が22.0%、「病院・診療所(入院中)」が16.2%、「有料老人ホーム」が10.5%の順となっています。なお、「ご自宅(ショートステイ利用有り)」回答者の、ひと月あたりのショートステイ利用日数は、「21日以上」が22.3%、「6日～10日」が21.3%となっています。(図表1-6、7)

図表1-6 居住先



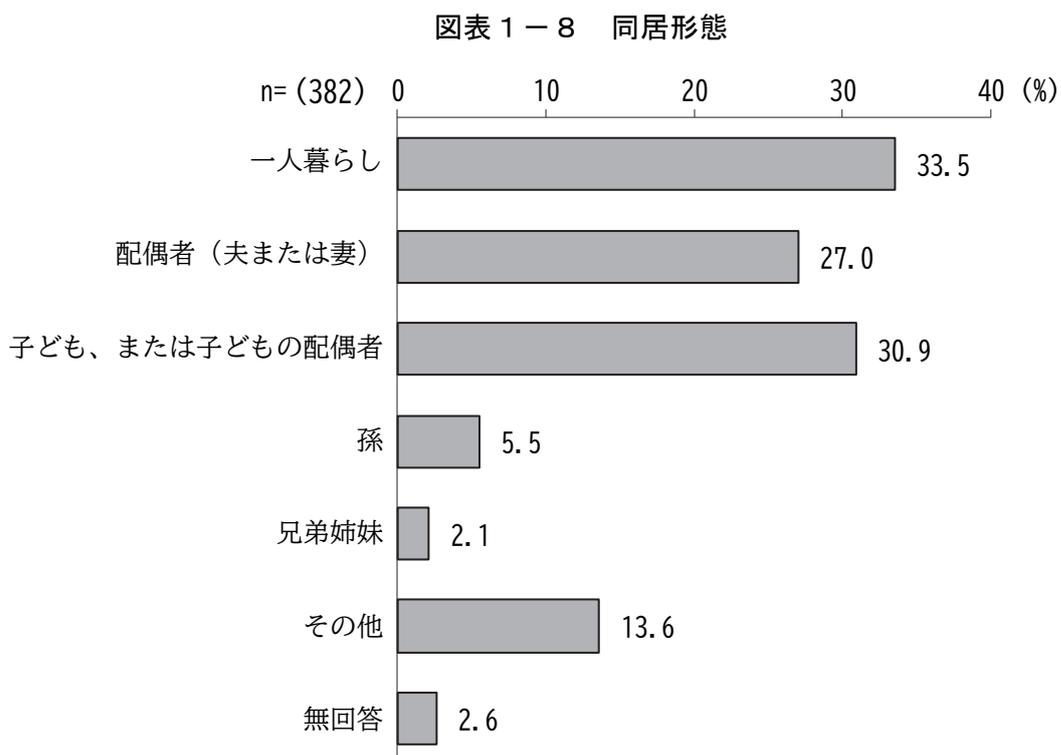
図表1-7 ショートステイのひと月あたりの利用日数



(7) 同居形態

問7 あなたは、どなたと一緒に住んでいますか。あなたからみた関係でお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

同居形態としては「一人暮らし」が33.5%と最も多く、次いで、「子ども、または子どもの配偶者」が30.9%、「配偶者（夫または妻）」が27.0%の順となっています。(図表1-8)



2. 入所に関わる意識・状態について

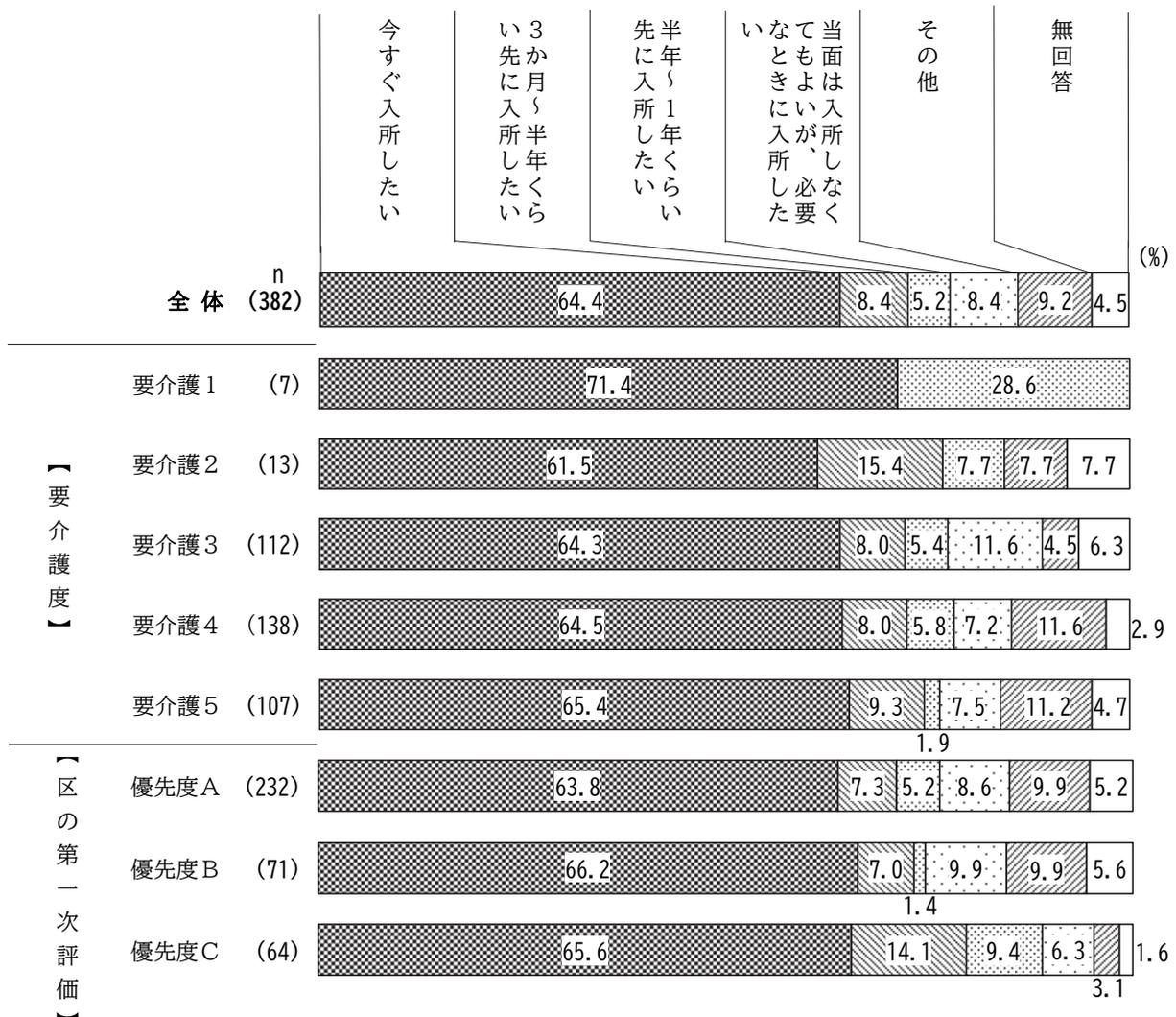
(1) 入所希望時期

問8 あなたが、特別養護老人ホームに入所したい時期はいつ頃ですか。(○は1つ)

入所希望時期では「今すぐ入所したい」が64.4%と多くなっています。一方で、「当面は入所しなくてもよいが、必要な時に入所したい」が8.4%となっています。

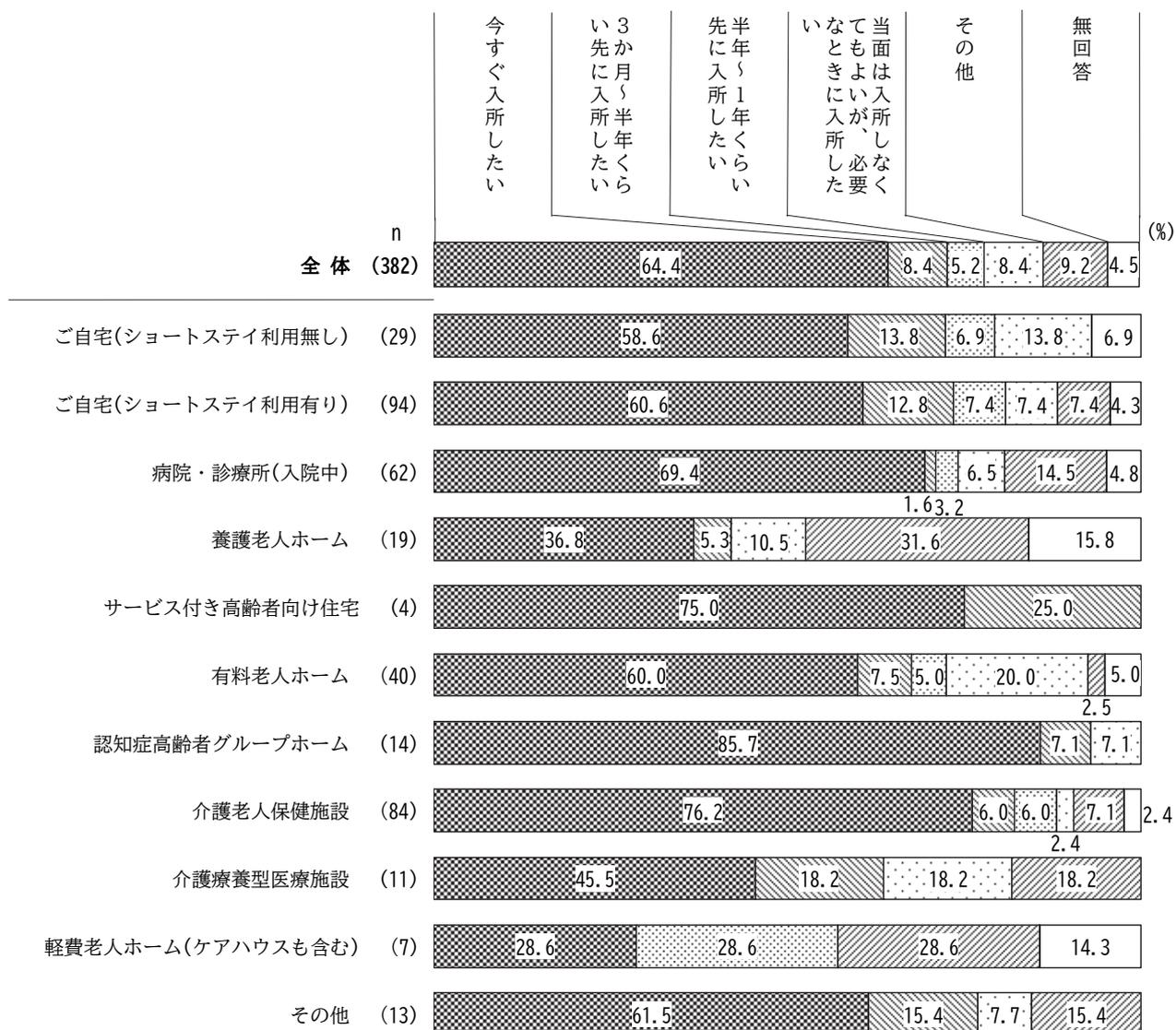
要介護度別及び区の第一次評価別でも同じ傾向となっています。(図表2-1)

図表2-1 入所希望時期/要介護度別、区の第一次評価別



居住先別でみると、“介護老人保健施設”で「今すぐ入所したい」が76.2%となっています。また、「当面は入所しなくてもよいが、必要なときに入所したい」では、“有料老人ホーム”で2割台と多くなっています。(図表2-2)

図表2-2 入所希望時期/居住先別



第5章 特別養護老人ホーム入所希望者実態調査結果

同居形態別で見ると、“一人暮らし”で「今すぐ入所したい」が67.2%と多くなっています。(図表2-3)

図表2-3 入所希望時期／同居形態別

上段：人数、下段：%

	n	今すぐ入所したい	3か月～半年くらい先に入所したい	半年～1年くらい先に入所したい	当面は入所しなくてもよいが、必要なときに入所したい	その他	無回答
全体	382 100.0	246 64.4	32 8.4	20 5.2	32 8.4	35 9.2	17 4.5
一人暮らし	128 100.0	86 67.2	11 8.6	9 7.0	7 5.5	14 10.9	1 0.8
配偶者（夫または妻）	103 100.0	69 67.0	7 6.8	6 5.8	6 5.8	9 8.7	6 5.8
子ども、または子どもの配偶者	118 100.0	75 63.6	9 7.6	4 3.4	13 11.0	11 9.3	6 5.1
孫	21 100.0	16 76.2	1 4.8	- -	1 4.8	3 14.3	- -
兄弟姉妹	8 100.0	5 62.5	1 12.5	1 12.5	- -	- -	1 12.5
その他	52 100.0	26 50.0	5 9.6	2 3.8	7 13.5	10 19.2	2 3.8

(2) 入所費用

問9 特別養護老人ホームに入所した場合の費用内訳を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

入所費用としては、全体で「年金」が89.3%と多くなっています。(図表2-4)

図表2-4 入所費用

上段：人数、下段：%

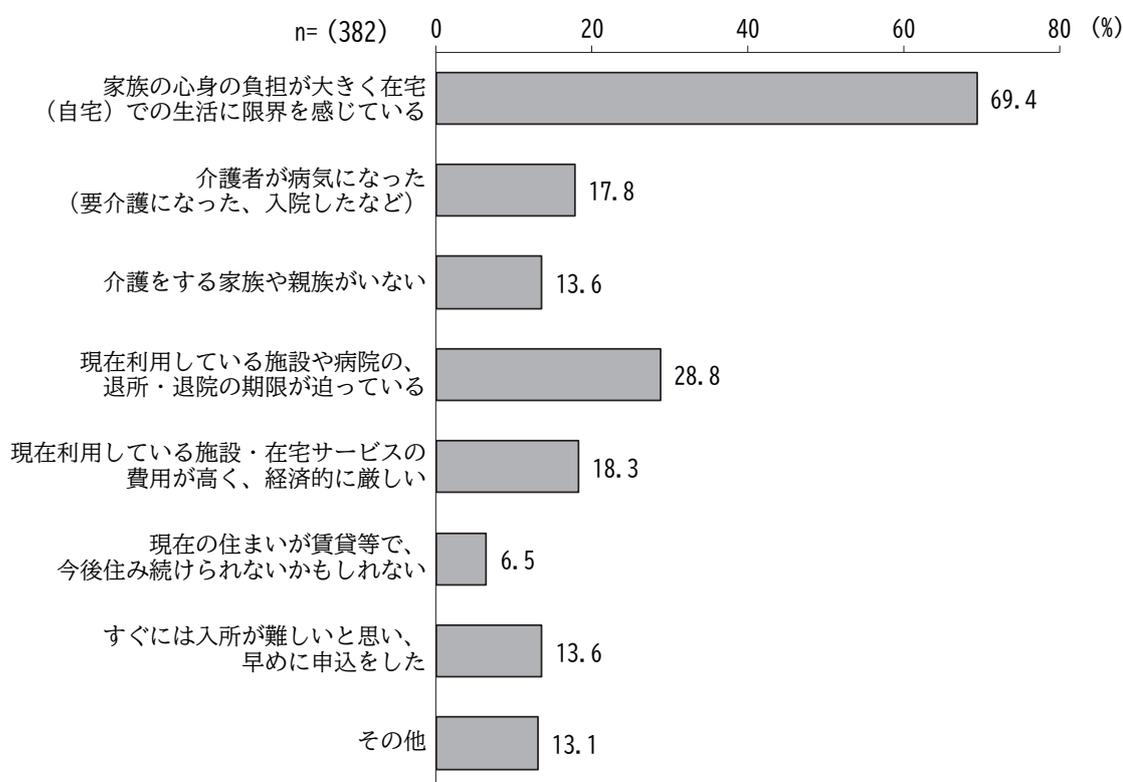
		n	年金	預貯金	不動産	株式配当	給与	その他	無回答
全体		382 100.0	341 89.3	200 52.4	25 6.5	3 0.8	16 4.2	39 10.2	- -
費用負担者	本人	293 100.0	267 91.1	148 50.5	20 6.8	3 1.0	- -	16 5.5	- -
	本人以外	27 100.0	14 51.9	16 59.3	1 3.7	- -	5 18.5	5 18.5	- -
	両方	61 100.0	59 96.7	36 59.0	4 6.6	- -	11 18.0	18 29.5	- -

(3) 入所申込をした理由

問10 あなたが、特別養護老人ホームに入所の申込をした理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

入所申込をした理由としては「家族の心身の負担が大きく在宅（自宅）での生活に限界を感じている」が69.4%と最も多く、次いで、「現在利用している施設や病院の、退所・退院の期限が迫っている」が28.8%、「現在利用している施設・在宅サービスの費用が高く、経済的に厳しい」が18.3%、「介護者が病気になった（要介護になった、入院したなど）」が17.8%の順となっています。（図表2-5）

図表2-5 入所申込をした理由



第5章 特別養護老人ホーム入所希望者実態調査結果

区の第一次評価別でみると、“優先度A”では「家族の心身の負担が大きく在宅（自宅）での生活に限界を感じている」が74.6%と多くなっています。また、「介護をする家族や親族がいない」、「現在の住まいが賃貸等で、今後住み続けられないかもしれない」は、優先度が高いほど少なくなっていることがわかります。（図表2-6）

図表2-6 入所申込をした理由／区の第一次評価別

上段：人数、下段：%

	n	家族の心身の負担が大きく在宅（自宅）での生活に限界を感じている	介護者が病気になる（要介護になった、入院したなど）	介護をする家族や親族がいない	現在利用している施設や病院の、退所・退院の期限が迫っている	現在利用している施設・在宅サービスの費用が高く、経済的に厳しい	現在の住まいが賃貸等で、今後住み続けられないかもしれない	すぐには入所が難しいと思い、早めに申込をした	その他
全体	382 100.0	265 69.4	68 17.8	52 13.6	110 28.8	70 18.3	25 6.5	52 13.6	50 13.1
優先度A	232 100.0	173 74.6	49 21.1	25 10.8	68 29.3	44 19.0	8 3.4	31 13.4	30 12.9
優先度B	71 100.0	48 67.6	8 11.3	11 15.5	17 23.9	12 16.9	7 9.9	8 11.3	12 16.9
優先度C	64 100.0	33 51.6	7 10.9	14 21.9	21 32.8	9 14.1	10 15.6	9 14.1	7 10.9

入所希望時期別でみると、どの項目でも「家族の心身の負担が大きく在宅（自宅）での生活に限界を感じている」が多くなっており、特に“当面は入所しなくてもよいが、必要などときに入所したい”で71.9%と多くなっています。また、“今すぐ入所したい”では「現在利用している施設や病院の、退所・退院の期限が迫っている」で34.6%、“当面は入所しなくてもよいが、必要などときに入所したい”では「すぐには入所が難しいと思い、早めに申し込みをした」で25.0%となっています。（図表2-7）

図表2-7 入所申込をした理由／入所希望時期別

上段：人数、下段：%

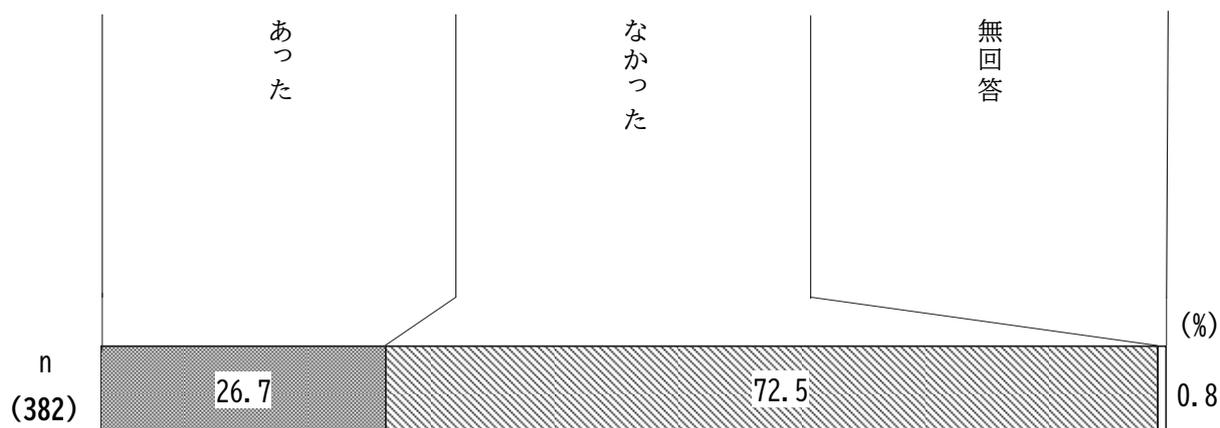
	n	家族の心身の負担が大きく在宅（自宅）での生活に限界を感じている	介護者が病気になる（要介護になった、入院したなど）	介護をする家族や親族がいない	現在利用している施設や病院の、退所・退院の期限が迫っている	現在利用している施設・在宅サービスの費用が高く、経済的に厳しい	現在の住まいが賃貸等で、今後住み続けられないかもしれない	すぐには入所が難しいと思い、早めに申込をした	その他
全体	382 100.0	265 69.4	68 17.8	52 13.6	110 28.8	70 18.3	25 6.5	52 13.6	50 13.1
今すぐ入所したい	246 100.0	172 69.9	45 18.3	32 13.0	85 34.6	61 24.8	15 6.1	24 9.8	29 11.8
3か月～半年くらい先に入所したい	32 100.0	21 65.6	3 9.4	5 15.6	3 9.4	3 9.4	2 6.3	6 18.8	4 12.5
半年～1年くらい先に入所したい	20 100.0	12 60.0	4 20.0	6 30.0	4 20.0	1 5.0	5 25.0	5 25.0	2 10.0
当面は入所しなくてもよいが、必要などときに入所したい	32 100.0	23 71.9	4 12.5	3 9.4	7 21.9	1 3.1	-	8 25.0	3 9.4
その他	35 100.0	22 62.9	7 20.0	5 14.3	7 20.0	2 5.7	2 5.7	6 17.1	11 31.4

(4) 入所可能連絡の有無

問11 あなたは、特別養護老人ホームから入所できるという連絡を受けたことがありますか。
(○は1つ)

入所可能連絡が「あった」(辞退したが、再申し込みをした)は26.7%、「なかった」は72.5%となっています。(図表2-8)

図表2-8 入所可能連絡の有無



入所希望時期別でみると、“今すぐ入所したい”では、入所可能連絡が「あった」(辞退したが、再申し込みをした)で20.3% (50人) となっています。(図表2-9)

図表2-9 入所可能連絡の有無/入所希望時期別

上段：人数、下段：%

	n	あった	なかった	無回答
全体	382	102	277	3
	100.0	26.7	72.5	0.8
今すぐ入所したい	246	50	195	1
	100.0	20.3	79.3	0.4
3か月～半年くらい先に入所したい	32	9	23	-
	100.0	28.1	71.9	-
半年～1年くらい先に入所したい	20	2	18	-
	100.0	10.0	90.0	-
当面は入所しなくてもよいが、必要なときに入所したい	32	15	17	-
	100.0	46.9	53.1	-
その他	35	19	15	1.0
	100.0	54.3	42.9	2.9

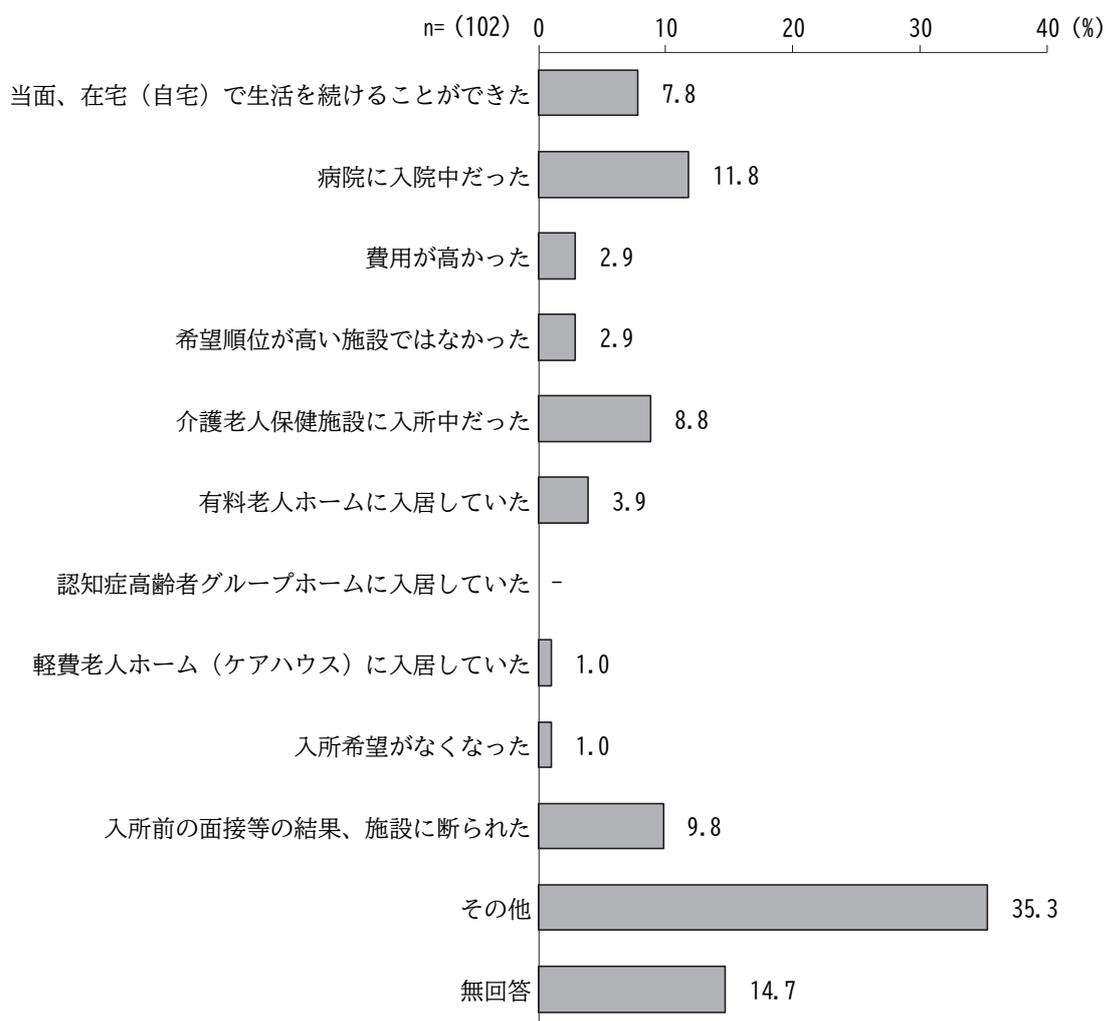
(5) 入所できなかった理由

【問11で「1. あった」を選んだ方にお伺いします。】

問11-1 あった場合、一番最近で入所ができなかった理由は何ですか。(○は1つ)

入所できなかった理由としては「病院に入院中だった」が11.8%と最も多く、次いで、「入所前の面接等の結果、施設に断られた」が9.8%、「介護老人保健施設に入所中だった」が8.8%の順となっています。(図表2-10)

図表2-10 入所できなかった理由



<その他の主な内訳>

待機中（入所手続き中）	9件
入所済み	8件
新型コロナウイルスの影響	7件
疾病・体調等	3件
ショートステイ利用中	2件
本人の希望	2件
そのほかの施設に入所	2件

図表2-11 入所できなかった理由／区の第一次評価別

上段：人数、下段：%

	n	当面、在宅 (自宅)で 生活を続け ることがで きた	病院に入院 中だった	費用が高 かった	希望順位が 高い施設で はなかった	介護老人保 健施設に入 所中だった	有料老人 ホームに入 居していた
全体	102 100.0	8 7.8	12 11.8	3 2.9	3 2.9	9 8.8	4 3.9
優先度A	61 100.0	5 8.2	7 11.5	2 3.3	2 3.3	5 8.2	2 3.3
優先度B	21 100.0	3 14.3	2 9.5	1 4.8	-	3 14.3	-
優先度C	17 100.0	-	3 17.6	-	1 5.9	1 5.9	1 5.9

	n	認知症高齢 者グループ ホームに入 居していた	軽費老人 ホーム(ケ アハウス) に入居して いた	入所希望が なくなった	入所前の面 接等の結 果、施設に 断られた	その他	無回答
全体	102 100.0	-	1 1.0	1 1.0	10 9.8	36 35.3	15 14.7
優先度A	61 100.0	-	-	1 1.6	8 13.1	21 34.4	8 13.1
優先度B	21 100.0	-	-	-	2 9.5	6 28.6	4 19.0
優先度C	17 100.0	-	-	-	-	9 52.9	2 11.8

(6) 希望する施設形態

問 12 区内の特別養護老人ホームには、主に4人部屋中心の多床室の施設と、ユニット型個室の施設があります。あなたは、入所申込の際にどちらを希望されましたか。(○は1つ)

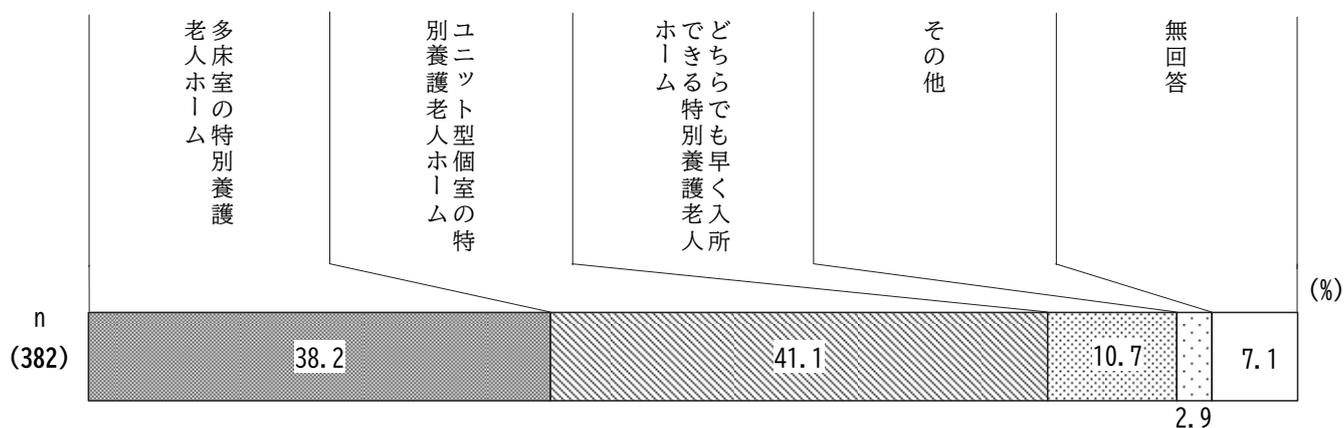
【参考】1割負担・要介護5の場合の料金目安(月額)

多床室…………… 約99,000円~130,000円

ユニット型個室… 約131,000円~202,000円

希望する施設形態としては「ユニット型個室の特別養護老人ホーム」が41.1%、「多床室の特別養護老人ホーム」が38.2%とほぼ二分しています。なお、「どちらでも早く入所できる特別養護老人ホーム」は10.7%となっています。(図表2-12)

図表2-12 希望する施設形態



希望する施設形態別で入所申込をした理由をみると、“多床室の特別養護老人ホーム”では「介護をする家族や親族がない」(53.8%)が多く、次いで「現在の住まいが賃貸等で、今後住み続けられないかもしれない」が52.0%、「介護者が病気になった(要介護になった、入院したなど)」が50.0%の順となっています。(図表2-13)

図表2-13 希望する施設形態／入所申込をした理由別

上段：人数、下段：%

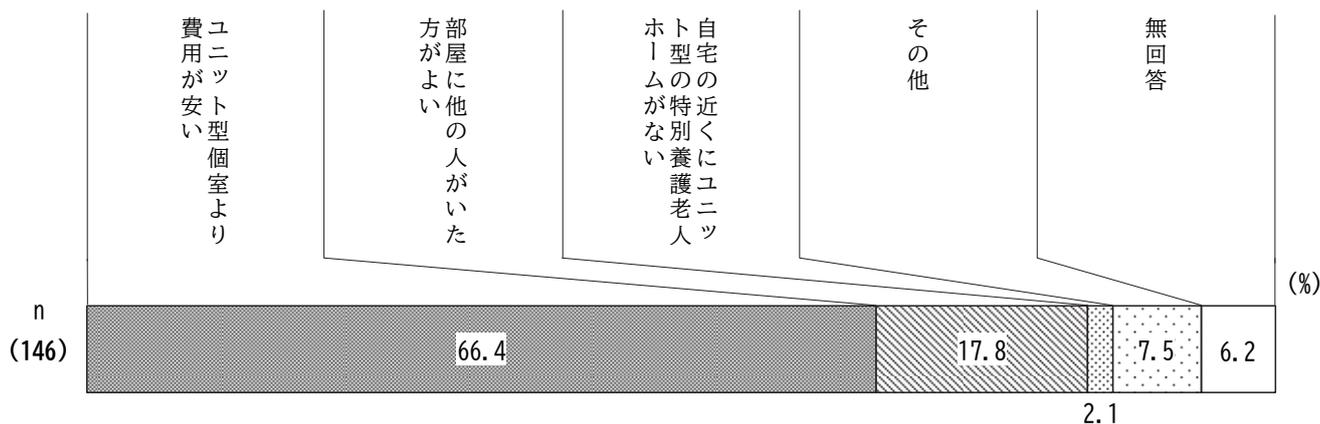
	n	多床室の 特別養護 老人ホーム	ユニット 型個室の 特別養護 老人ホーム	どちらで も早く入 所できる 特別養護 老人ホーム	その他	無回答
全体	382 100.0	146 38.2	157 41.1	41 10.7	11 2.9	27 7.1
家族の心身の負担が大きく在宅 (自宅)での生活に限界を感じている	265 100.0	101 38.1	104 39.2	30 11.3	9 3.4	21 7.9
介護者が病気になった (要介護になった、入院したなど)	68 100.0	34 50.0	18 26.5	7 10.3	3 4.4	6 8.8
介護をする家族や親族がない	52 100.0	28 53.8	14 26.9	7 13.5	1 1.9	2 3.8
現在利用している施設や病院の、退所・退院の期限が迫っている	110 100.0	44 40.0	43 39.1	12 10.9	4 3.6	7 6.4
現在利用している施設・在宅サービスの 費用が高く、経済的に厳しい	70 100.0	28 40.0	32 45.7	4 5.7	2 2.9	4 5.7
現在の住まいが賃貸等で、今後住み続けられないかもしれない	25 100.0	13 52.0	10 40.0	1 4.0	1 4.0	- -
すぐには入所が難しいと思い、早めに申込をした	52 100.0	20 38.5	21 40.4	4 7.7	3 5.8	4 7.7
その他	50 100.0	22 44.0	17 34.0	6 12.0	3 6.0	2 4.0

(7) 多床室を選んだ理由

【問 12 で「1. 多床室の特別養護老人ホーム」を選んだ方にお伺いします。】
 問 12-1 多床室を選んだ最も近い理由は何ですか。(○は1つ)

多床室を選んだ理由としては「ユニット型個室より費用が安い」が 66.4%と多くなっており、「部屋に他の人がいた方がよい」は 17.8%となっています。(図表 2-14)

図表 2-14 多床室を選んだ理由

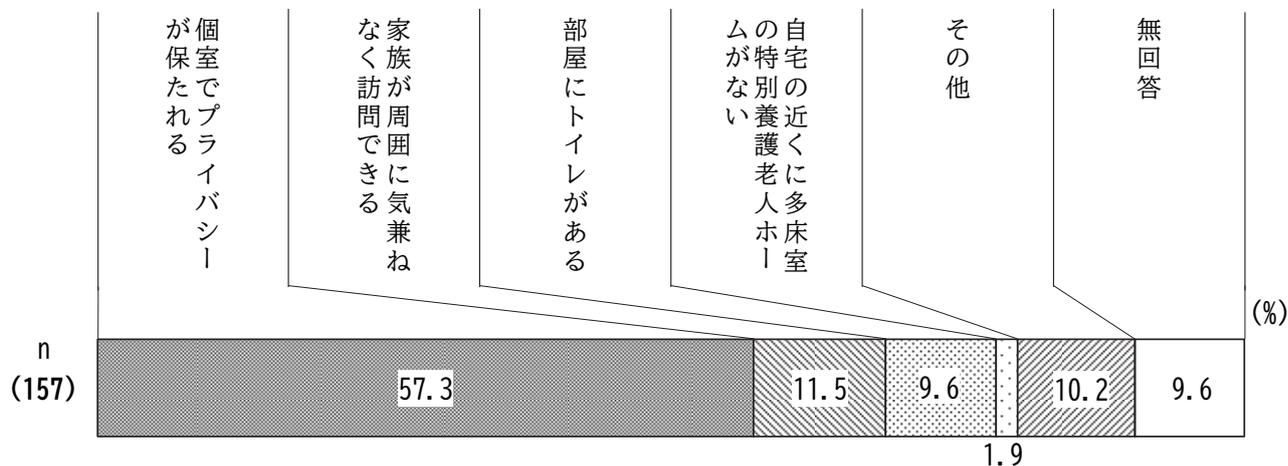


(8) ユニット型個室を選んだ理由

【問 12 で「2. ユニット型個室の特別養護老人ホーム」を選んだ方にお伺いします。】
 問 12-2 ユニット型個室を選んだ最も近い理由は何ですか。(○はひとつ)

ユニット型個室を選んだ理由としては「個室でプライバシーが保たれる」が 57.3%と最も多く、「家族が周囲に気兼ねなく訪問できる」が 11.5%、「部屋にトイレがある」が 9.6%の順となっています。(図表 2-15)

図表 2-15 ユニット型個室を選んだ理由

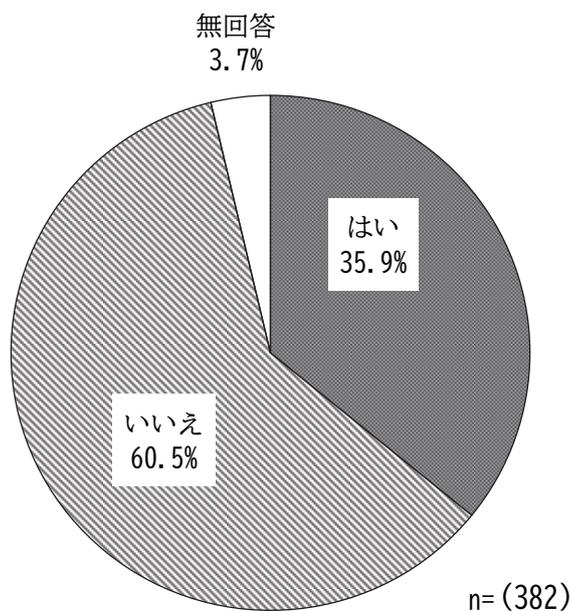


(9) 医療的処置の有無

問13 あなたは、現在、医療的な処置を受けていますか。(○は1つ)

医療的処置の有無としては「はい」が35.9%、「いいえ」が60.5%となっています。(図表2-16)

図表2-16 医療的処置の有無



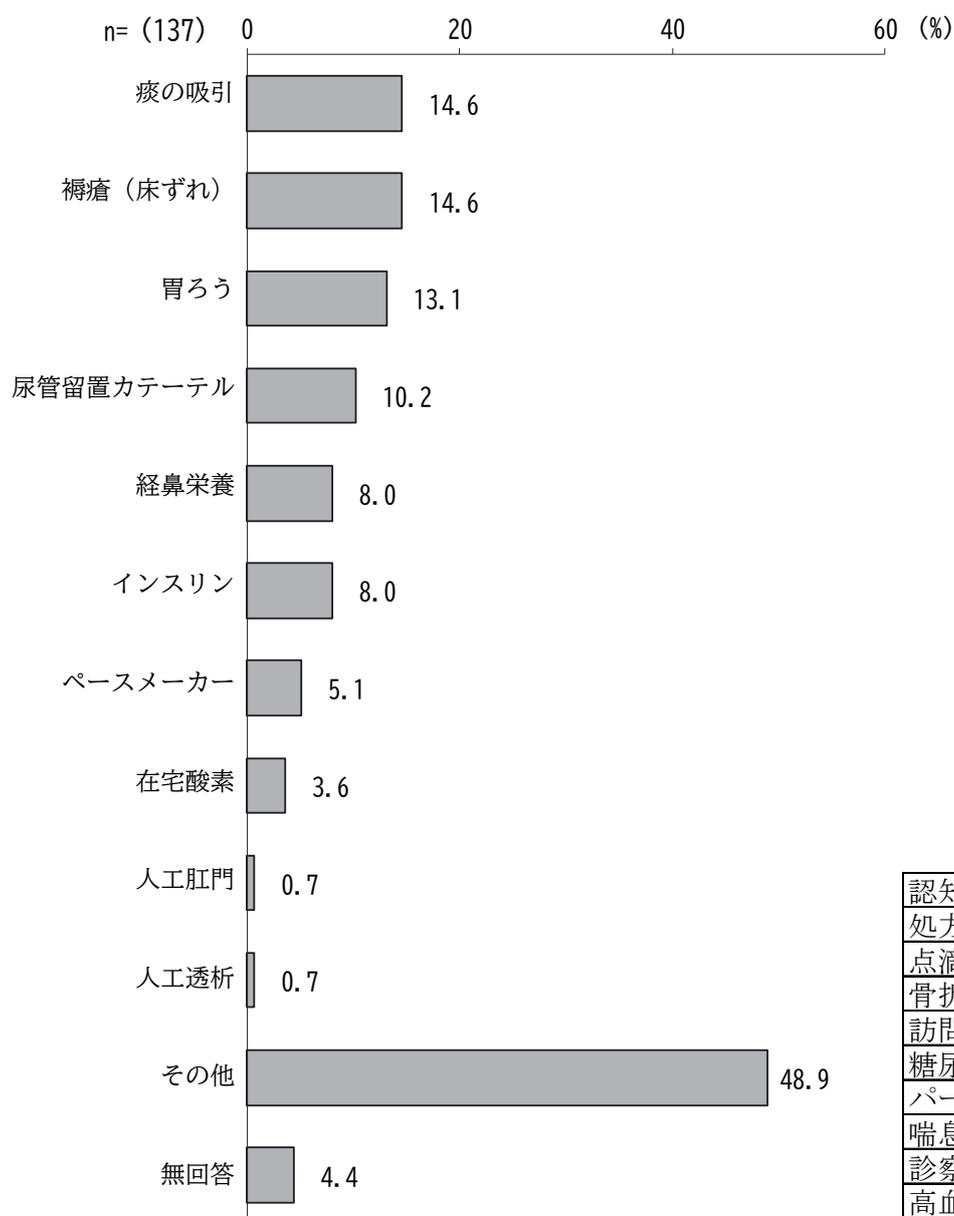
(10) 具体的な医療処置

【問13で「1. はい」を選んだ方にお伺いします。】

問13-1 次の中から受けている医療をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

具体的な医療処置としては「痰の吸引」と「褥瘡(床ずれ)」が14.6%と最も多く、次いで、「胃ろう」が13.1%、「尿管留置カテーテル」が10.2%の順となっています。また、「その他」(48.9%)の内容としては、「認知症」「処方薬」などが挙げられています。(図表2-17)

図表2-17 具体的な医療処置



〈その他の主な内訳〉

認知症	9件
処方薬	8件
点滴	4件
骨折	4件
訪問医療	3件
糖尿病	3件
パーキンソン病	3件
喘息	3件
診察・検査	3件
高血圧	2件
中心静脈栄養	2件
肺炎	2件
脳梗塞	2件
胸(肺)部の滞水処置	2件
バルーンを入れている	2件
リハビリ	2件

(11) 希望する入所場所

問14 あなたは、どこの場所にある特別養護老人ホームを希望しますか。
(あてはまるものすべてに○)

希望する入所場所としては「杉並区内」が74.3%と多くなっており、次いで、「現在の住まいに近いところ」が56.0%となっています。

入所申込をしてからの期間別でみると、“3か月未満”で「杉並区内」が80.5%と多くなっています。(図表2-18)

図表2-18 希望する入所場所／入所申込をしてからの期間別

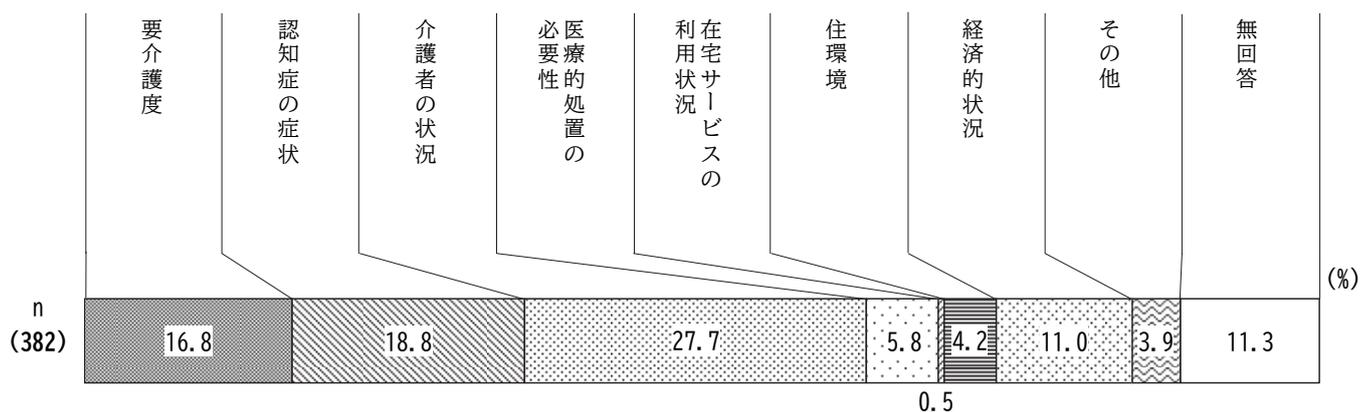
	n	現在の住まいに近いところ	杉並区内	東京都内	南伊豆町 (エクレンシア 南伊豆)	どこでも早く 入所できる ところ	上段：人数、下段：%	
							その他	無回答
全体	382 100.0	214 56.0	284 74.3	52 13.6	1 0.3	16 4.2	21 5.5	10 2.6
3か月未満	118 100.0	65 55.1	95 80.5	17 14.4	-	9 7.6	5 4.2	2 1.7
3か月～6か月未満	92 100.0	50 54.3	68 73.9	12 13.0	-	3 3.3	6 6.5	1 1.1
6か月以上1年未満	80 100.0	45 56.3	56 70.0	12 15.0	-	3 3.8	5 6.3	5 6.3
1年以上2年未満	46 100.0	28 60.9	28 60.9	7 15.2	1 2.2	1 2.2	3 6.5	1 2.2
2年以上	35 100.0	20 57.1	28 80.0	4 11.4	-	-	2 5.7	-
不明・分からない	3 100.0	1 33.3	3 100.0	-	-	-	-	-

(12) 入所判断を行う上で重視してほしい点

問15 あなたが、特別養護老人ホームへの入所の必要性を判断する上で、最も重視してほしい点はどのようなことですか。(〇は1つ)

入所判断を行う上で重視してほしい点としては「介護者の状況」が27.7%と最も多く、次いで、「認知症の症状」が18.8%、「要介護度」が16.8%の順となっています。(図表2-19)

図表2-19 入所判断を行う上で重視してほしい点



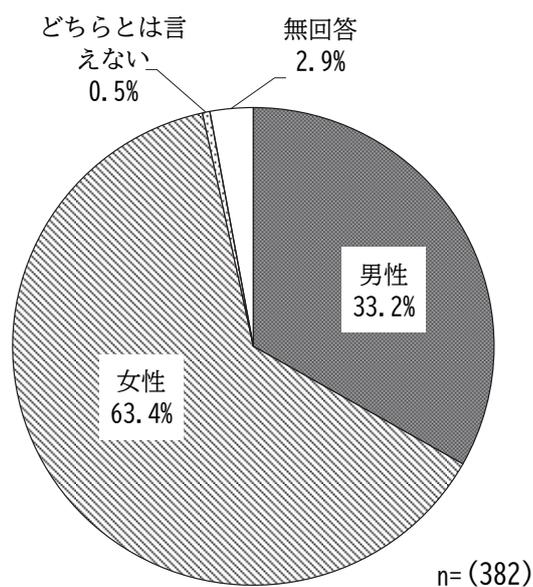
3. 主な介護者について

(1) 主な介護者の性別

問16 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

主な介護者の性別は「女性」が63.4%、「男性」が33.2%となっています。(図表3-1)

図表3-1 主な介護者の性別

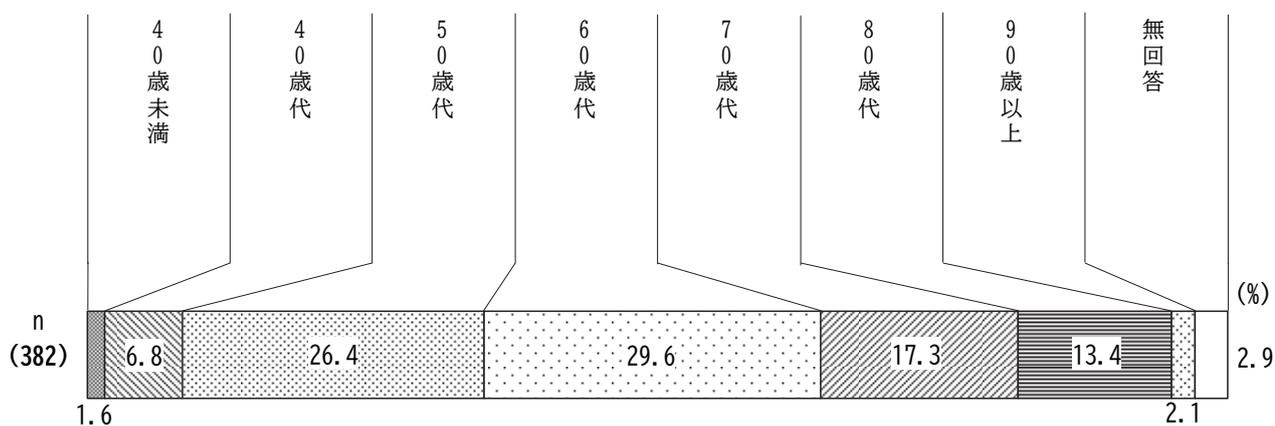


(2) 主な介護者の年齢

問17 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

主な介護者の年齢は「60歳代」が29.6%、「50歳代」が26.4%となっています。(図表3-2)

図表3-2 主な介護者の年齢

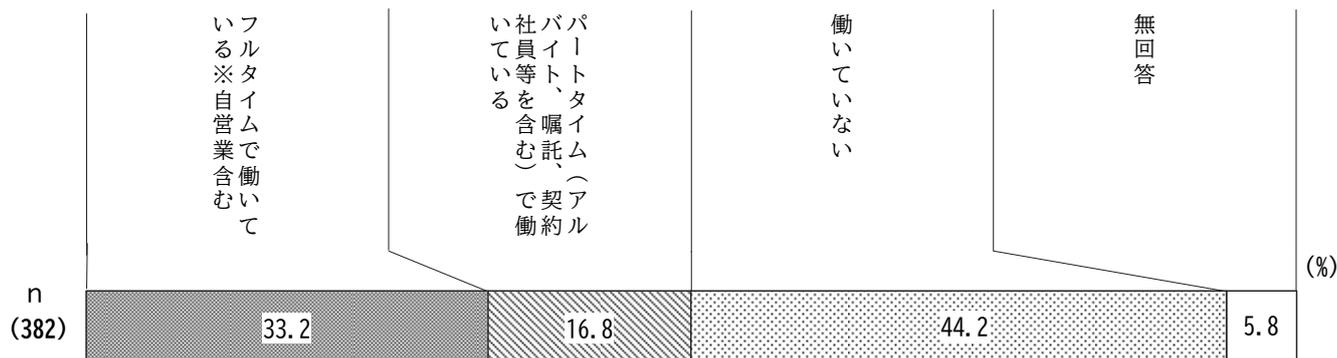


(3) 主な介護者の就労状況

問18 あなたは、現在、働いていますか。(○は1つ)

主な介護者の就労状況は「フルタイムで働いている ※自営業含む」が33.2%、「パートタイム(アルバイト、嘱託、契約社員等を含む)で働いている」が16.8%となっています。一方、「働いていない」が44.2%となっています。(図表3-3)

図表3-3 主な介護者の就労状況



同居形態別にみると、“子ども、または子どもの配偶者”で「フルタイムで働いている ※自営業含む」が44.1%と多くなっています。また、“配偶者(夫または妻)”では「働いていない」が69.9%と多くなっています。(図表3-4)

図表3-4 主な介護者の就労状況/同居形態別

上段：人数、下段：%

同居形態別	n	フルタイムで働いている ※自営業含む	パートタイム(アルバイト、嘱託、契約社員等を含む)で働いている	働いていない	無回答
全体	382	127	64	169	22
	100.0	33.2	16.8	44.2	5.8
一人暮らし	128	52	26	34	16
	100.0	40.6	20.3	26.6	12.5
配偶者(夫または妻)	103	21	9	72	1
	100.0	20.4	8.7	69.9	1.0
子ども、または子どもの配偶者	118	52	17	47	2
	100.0	44.1	14.4	39.8	1.7
孫	21	8	1	12	-
	100.0	38.1	4.8	57.1	-
兄弟姉妹	8	1	1	5	1
	100.0	12.5	12.5	62.5	12.5
その他	52	12	12	26	2
	100.0	23.1	23.1	50.0	3.8

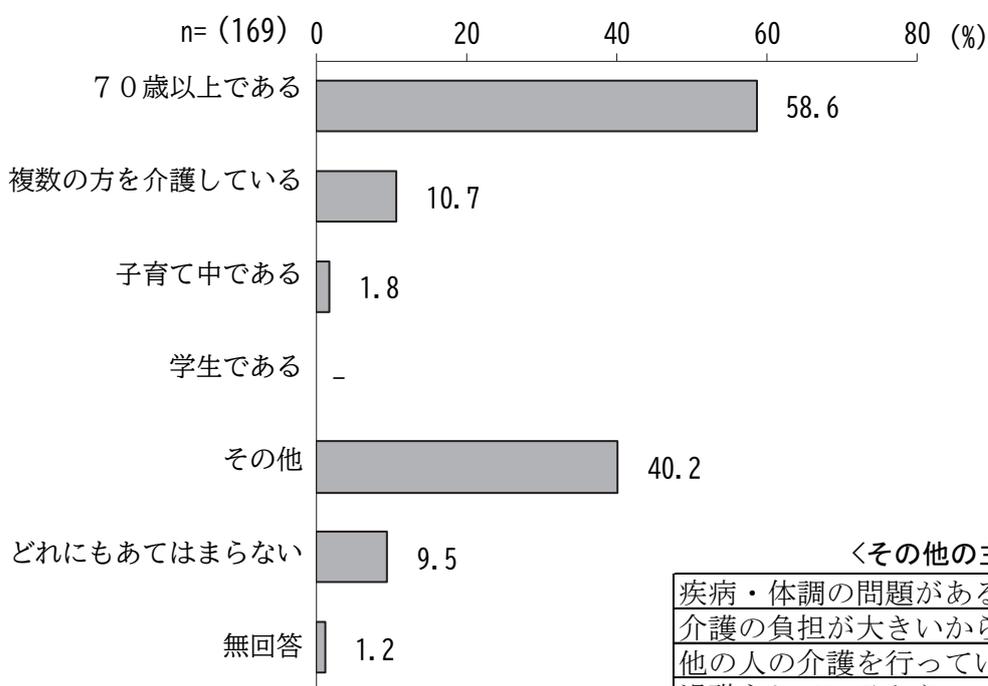
(4) 働いていない理由

【問18で「3. 働いていない」を選んだ方にお伺いします。】

問18-1 次の中から、あなたにあてはまるものをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

働いていない理由としては「70歳以上である」が58.6%と最も多くなっています。なお、「複数の方を介護している」という、いわゆる、ダブルケア等と考える人が10.7%となっています。また、「その他」(40.2%)の内容としては、「疾病・体調等の問題があるから」が多く挙げられています。(図表3-5)

図表3-5 働いていない理由



〈その他の主な内訳〉

疾病・体調の問題があるから	36件
介護の負担が大きいから	13件
他の人の介護を行っているから	5件
退職をしているから	3件
専業主婦を行っているから	2件
ボランティアを行っているから	2件
年金生活を送っているから	2件
認知症を患っているから	2件

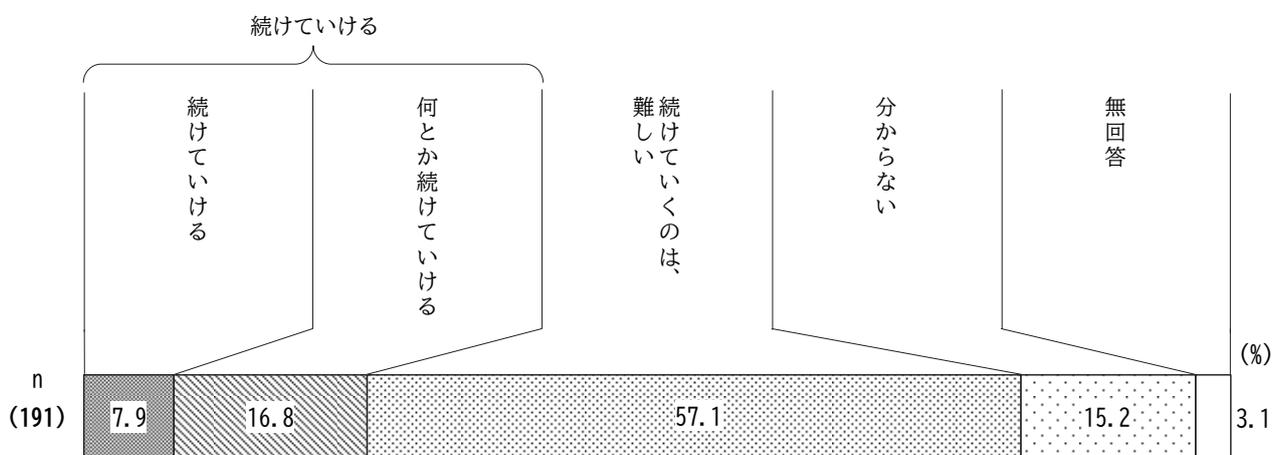
(5) 就労と介護の両立

【問18で「1. フルタイムで働いている ※自営業含む」と「2. パートタイム（アルバイト、嘱託、契約社員等を含む）で働いている」を選んだ方にお伺いします。】

問18-2 今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○は1つ)

就労と介護の両立としては、「続けていくのは、難しい」の57.1%に対して、「続けていける」(7.9%)と「何とか続けていける」(16.8%)を合わせた『続けていける』が24.7%となっています。(図表3-6)

図表3-6 就労と介護の両立



第6章 居宅介護支援事業所実態調査結果

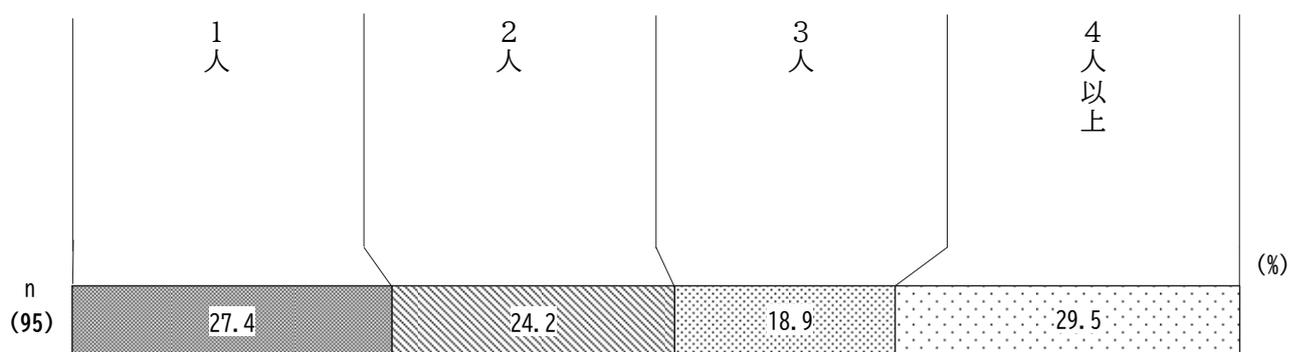
1. 事業所に関するデータ

(1) 介護支援専門員の人数

問1 所属している介護支援専門員の人数を教えてください。(〇は1つ)
 ※非常勤の方も含め、令和4年9月1日現在で記入してください。

所属している介護支援員は「1人」27.4%、「2人」24.2%、「3人」18.9%、「4人以上」29.5%となっており、「1人」「4人以上」がやや多い結果となっています。(図表1-1)

図表1-1 介護支援専門員の人数

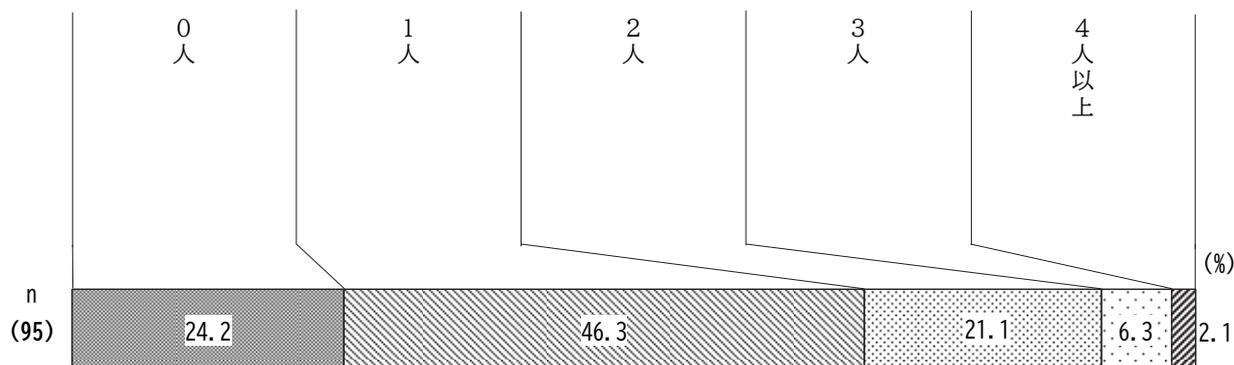


(2) 主任介護支援専門員の人数

問1-1 問1でご回答いただいた人数のうち、主任介護支援専門員の人数を教えてください。

所属している介護支援専門員のうち、8割近くの事業所が主任介護支援専門員を1人以上配置している状況となっています。(図表1-2)

図表1-2 主任介護支援専門員の人数



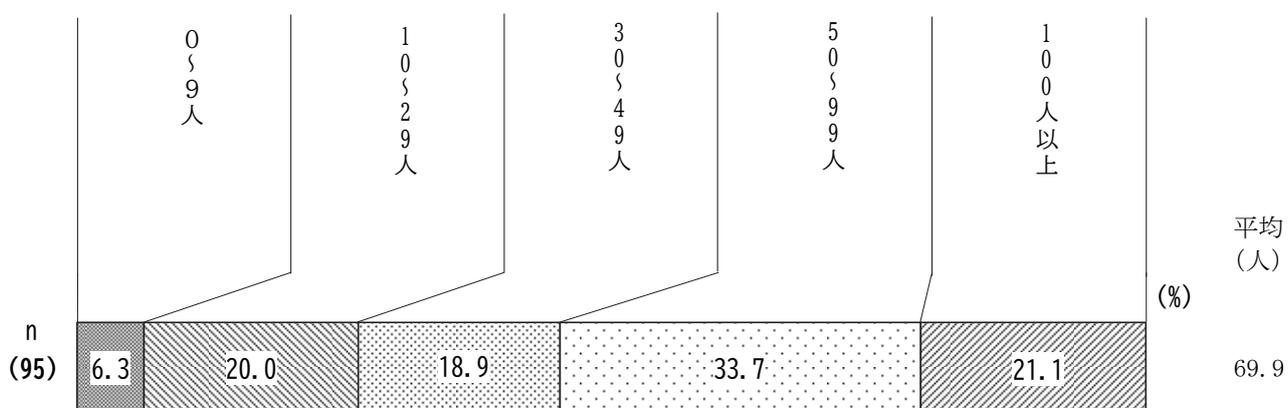
2. 利用者に関するデータ

(1) 利用人数

問2 貴事業者全体のご利用者様の人数（保険者が杉並区の方のみ）を教えてください。
（要支援の方の人数は含みません）

事業所全体での利用者数は、令和4年8月分給付実績者として「50～99人」が33.7%、「100人以上」が21.1%などとなっており、平均で69.9人となっています。（図表2-1）

図表2-1 令和4年8月分給付実績者の人数

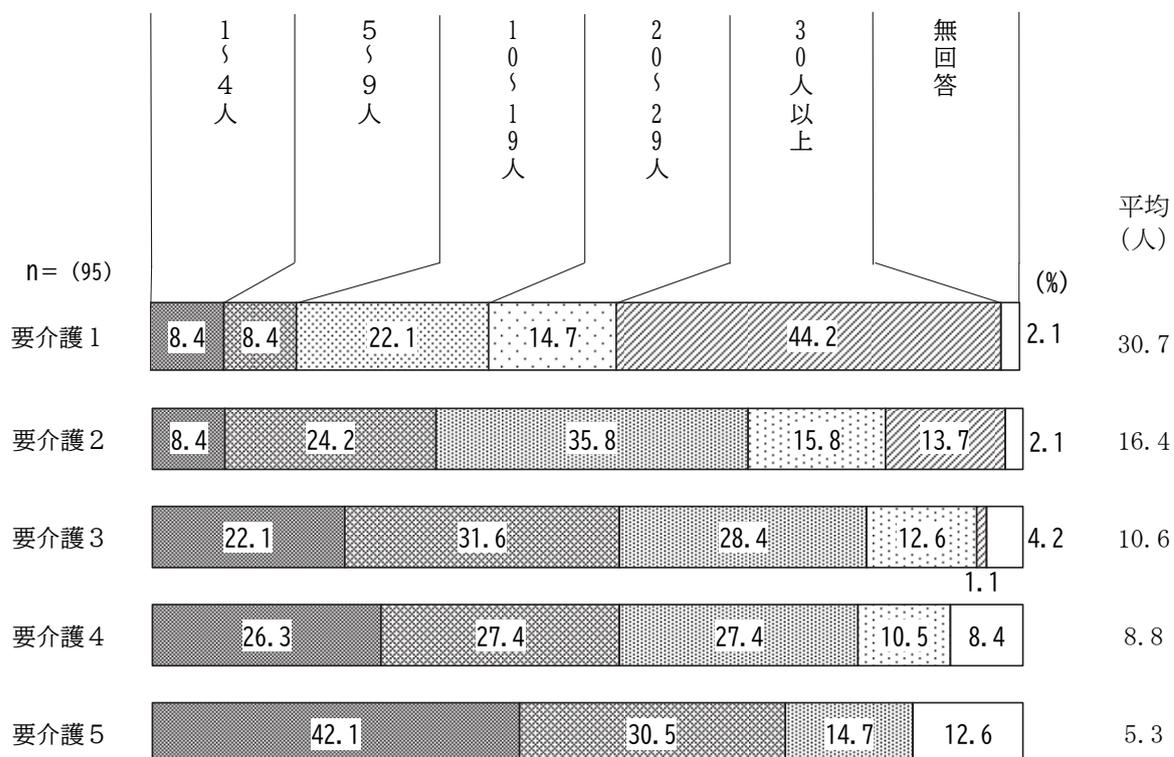


(2) 介護度別の利用者人数

問2-1 問2で「1. 令和4年8月分給付実績者の人数」で回答いただいた人数のうち、介護度別の人数を教えてください。(令和4年8月分給付実績者)

令和4年8月分給付実績者数で1事業者あたりの介護度別の内訳は、“要介護1”では「30人以上」が44.2%となっていますが、要介護度が上がるにつれ、利用者人数が減り“要介護5”では「1～4人」が42.1%となっています。(図表2-2)

図表2-2 介護度別の利用者人数

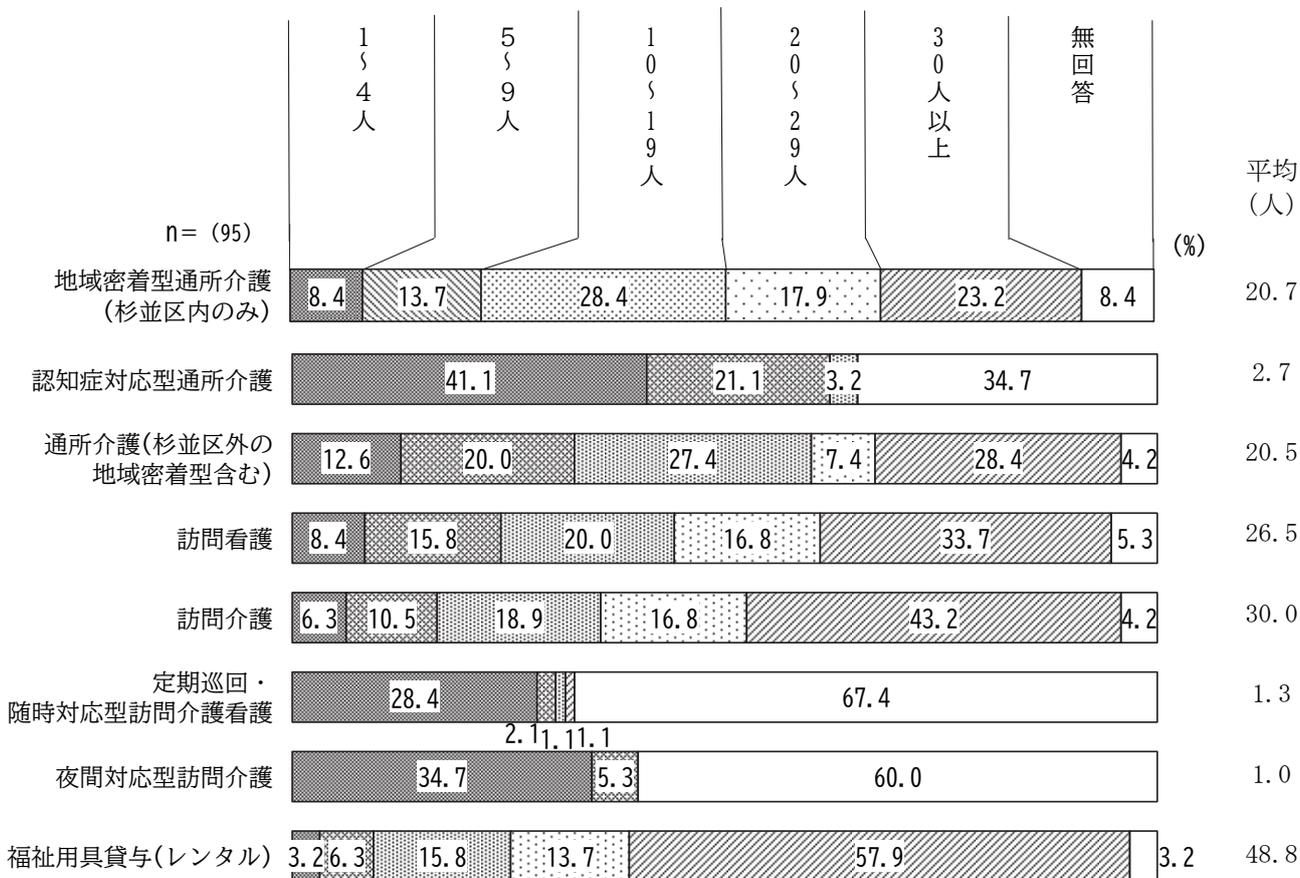


(3) 利用している介護保険サービスの種類

問2-2 現在、ご利用者が利用されている介護保険サービスの種類を教えてください。
 (複数のサービスを利用されている方については利用しているサービスすべてが対象となります) (令和4年8月分給付実績分)

利用されているサービス種別で最も多いのが「福祉用具貸与(レンタル)」57.9%、次いで「訪問介護」(43.2%)、「訪問看護」(33.7%)の順となっています。(図表2-3)

図表2-3 利用している介護保険サービスの種類



3. 地域密着型サービスに関するデータ

(1) 地域密着型サービスを勧めた経験

介護保険サービスの中で、地域密着型サービスに係ることについて教えてください。

問3 令和3年度以降（過去1年程度）に下記の枠内（ア～カ）の地域密着型サービスを勧めたことがありますか。

※事業所において、どちらにも該当する場合は、両方に○をつけてください。

1. ある

2. ない

ア 定期巡回・随時対応型
訪問介護看護サービス

イ 夜間対応型
訪問介護サービス

ウ 認知症対応型通所
介護サービス

エ 小規模多機能型
居宅介護サービス

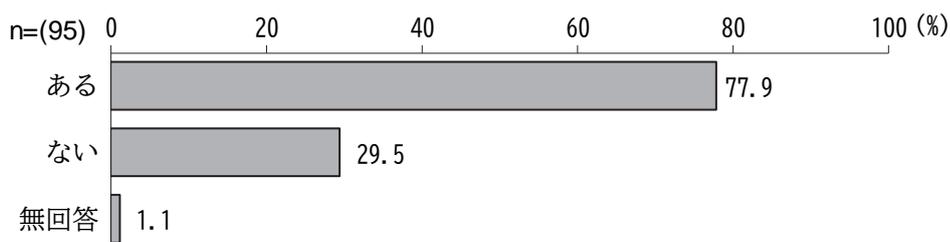
オ 看護小規模多機能型
居宅介護サービス

カ 認知症対応型
共同生活介護サービス

令和3年度以降（過去1年程度）で地域密着型サービスを勧めた経験の有無をきいたところ、「ある」が77.9%、「ない」が29.5%となっています。（図表3-1）

また「ない」と回答した理由としては、どのサービスも「必要なプランでないため」が多くなっています。

図表3-1 地域密着型サービスを勧めた経験



(2) サービスに繋がった人数と繋がらなかった理由

問3-1 「1. ある」と回答した方はサービスに繋がった人数と、繋がらなかった人数およびその理由を教えてください。

サービスに繋がった地域密着型サービスで最も多いのが「認知症対応型通所介護サービス」で40事業所、続いて「定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス」36事業所、「夜間対応型訪問介護サービス」31事業所となっています。(図表3-2)

図表3-2 サービスに繋がった人数 (事業所)

	n	1人	2人	3人	4人	5~9人	10人以上
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護サービス	36	18	5	6	1	4	2
夜間対応型 訪問介護サービス	31	22	4	3	1	-	1
認知症対応型 通所介護サービス	40	12	14	5	3	4	2
小規模多機能型 居宅介護サービス	16	10	3	1	1	1	-
看護小規模多機能型 居宅介護サービス	13	12	-	-	-	1	-
認知症対応型 共同生活介護サービス	20	11	4	3	2	-	-

サービスに繋がらなかった理由としては、「定員に空きがなく断られた」が多くなっていますが、「夜間対応型訪問介護サービス」「認知症対応型通所介護サービス」「小規模多機能型居宅介護サービス」では、「本人・家族が断った」も多くなっています。(図表3-3)

図表3-3 サービスに繋がらなかった理由 (nは事業所数) (人)

	n	定員に空きがなく断られた	サービス内容と本人のニーズが合っていないかった	本人・家族が断った	必要がなくなった(死亡・入院等)
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護サービス	24	23	10	9	9
夜間対応型 訪問介護サービス	24	32	8	15	3
認知症対応型 通所介護サービス	15	1	5	17	-
小規模多機能型 居宅介護サービス	19	4	12	15	2
看護小規模多機能型 居宅介護サービス	8	5	6	2	1
認知症対応型 共同生活介護サービス	8	2	5	8	4

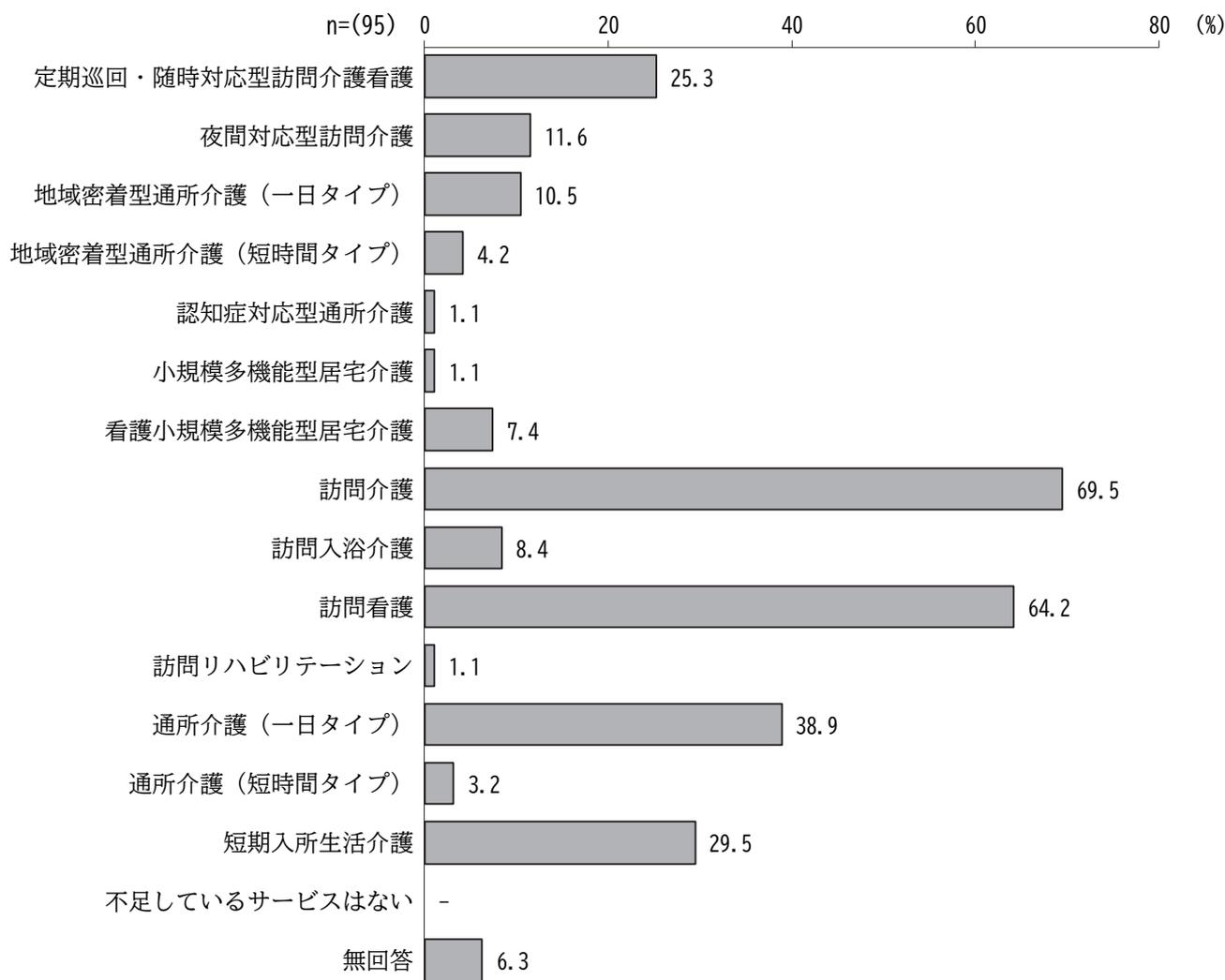
4. 在宅生活に関するデータ

(1) 在宅生活を続けていくうえで必要だと思うサービス

問4 在宅生活（病院・施設等に入院・入所しない）を続けていくうえで、必要と思われるサービス（事業所）を教えてください。（複数回答可 ○は3つまで）

在宅生活を続けていくうえで必要だと思うサービスとしては、「訪問介護」が69.5%で最も多く、以下「訪問看護」(64.2%)、「通所介護（一日タイプ）」(38.9%)、「短期入所生活介護」(29.5%)、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(25.3%)の順となっています。（図表4-1）

図表4-1 在宅生活を続けていくうえで必要だと思うサービス



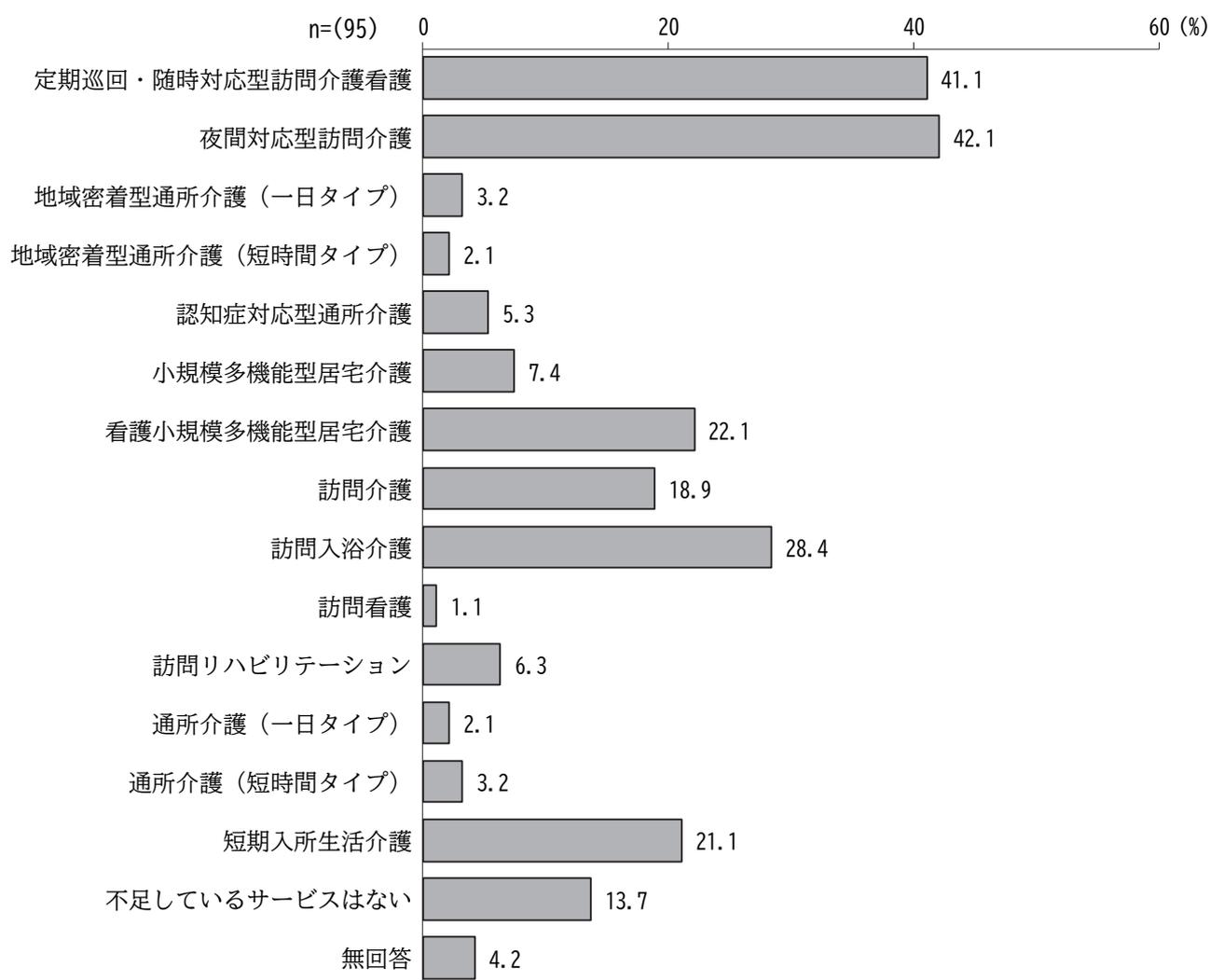
(2) 在宅生活を続けていくうえで、区内全域で不足していると思うサービス

問5 在宅生活（病院・施設等に入院・入所しない）を続けていくうえで、区内全域で不足していると思われるサービス（事業所）を教えてください。（複数回答可 ○は3つまで）

在宅生活を続けていくうえで不足していると思うサービスを、区内全域と利用者のサービス利用範囲内との両面からききました。

区内全域では、「夜間対応型訪問介護」が42.1%で最も多く、以下「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(41.1%)、「訪問入浴介護」(28.4%)、「看護小規模多機能型居宅介護」(22.1%)の順となっています。(図表4-2)

図表4-2 在宅生活を続けていくうえで不足していると思うサービス（区内全域）

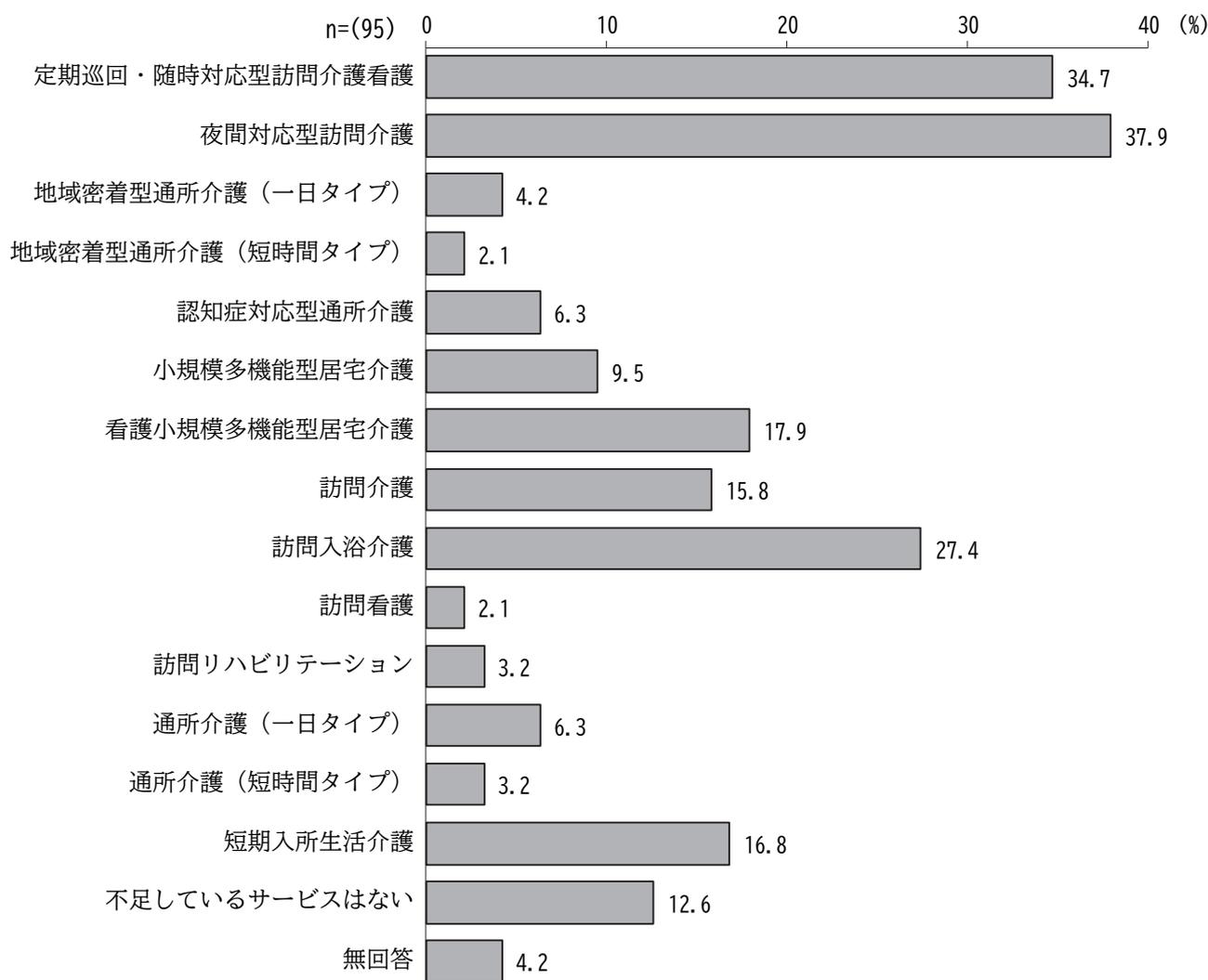


(3) 在宅生活を続けていくうえで、サービス利用範囲内で不足していると思うサービス

問6 在宅生活（病院・施設等に入院・入所しない）を続けていくうえで、特に、ご利用者様のサービス利用範囲内で不足していると思われるサービス（事業所）を教えてください。
 （複数回答可 ○は3つまで）

サービス利用範囲内では、「夜間対応型訪問介護」が37.9%で最も多く、以下「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(34.7%)、「訪問入浴介護」(27.4%)の順となっています。(図表4-3)

図表4-3 在宅生活を続けていくうえで不足していると思うサービス



第6章 居宅介護支援事業所実態調査結果

区内全域では、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」、「夜間対応型訪問介護」が不足しているとの回答が多くなっています。

日常生活圏域別にみると、井草地域で「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」、西荻地域で「夜間対応型訪問介護」、方南・和泉地域で「小規模多機能型居宅介護」が不足しているとの回答が特に多くなっています。(図表4-4)

図表4-4 在宅生活を続けていくうえで不足していると思うサービス/日常生活圏域別

上段：区内全域、中段：利用者のサービス利用範囲内（％）、下段：エリア別施設数（所）（令和4年9月1日現在）

	n	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	地域密着型通所介護（一日タイプ）	地域密着型通所介護（短時間タイプ）	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護
全体	95	41.1	42.1	3.2	2.1	5.3	7.4	22.1
	100.0	34.7	37.9	4.2	2.1	6.3	9.5	17.9
井草地域	9	55.6	44.4	-	-	-	-	11.1
	100.0	66.7	22.2	-	-	11.1	-	22.2
西荻地域	10	60.0	60.0	-	-	10.0	-	30.0
	100.0	40.0	70.0	-	-	10.0	-	20.0
荻窪地域	17	35.3	47.1	-	5.9	-	-	11.8
	100.0	29.4	47.1	5.9	5.9	11.8	-	11.8
阿佐谷地域	20	50.0	30.0	5.0	-	-	5.0	20.0
	100.0	45.0	25.0	5.0	-	-	5.0	15.0
高円寺地域	12	25.0	41.7	-	-	-	25.0	50.0
	100.0	25.0	33.3	-	-	-	16.7	33.3
高井戸地域	14	42.9	57.1	7.1	7.1	21.4	7.1	7.1
	100.0	28.6	42.9	14.3	-	7.1	7.1	7.1
方南・和泉地域	12	25.0	25.0	8.3	-	8.3	16.7	33.3
	100.0	16.7	33.3	-	8.3	8.3	41.7	25.0

※地域密着型通所介護と通所介護の施設数は、一日タイプと短時間タイプの合計です。

	n	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護（一日タイプ）	通所介護（短時間タイプ）	短期入所生活介護	不足しているサービスはない	無回答
全体	95	18.9	28.4	1.1	6.3	2.1	3.2	21.1	13.7	4.2
	100.0	15.8	27.4	2.1	3.2	6.3	3.2	16.8	12.6	4.2
井草地域	9	44.4	22.2	11.1	-	-	-	11.1	11.1	11.1
	100.0	44.4	33.3	11.1	-	11.1	-	11.1	-	-
西荻地域	10	20.0	10.0	-	10.0	-	-	10.0	-	-
	100.0	20.0	10.0	-	10.0	-	-	-	-	-
荻窪地域	17	17.6	35.3	-	5.9	5.9	11.8	17.6	17.6	5.9
	100.0	5.9	23.5	-	-	-	5.9	17.6	11.8	11.8
阿佐谷地域	20	15.0	45.0	-	5.0	-	-	25.0	20.0	-
	100.0	15.0	40.0	-	-	5.0	-	30.0	20.0	-
高円寺地域	12	-	16.7	-	16.7	-	-	33.3	8.3	8.3
	100.0	8.3	25.0	-	-	8.3	-	25.0	16.7	8.3
高井戸地域	14	28.6	28.6	-	-	7.1	-	21.4	14.3	-
	100.0	21.4	21.4	-	7.1	14.3	-	21.4	21.4	-
方南・和泉地域	12	16.7	25.0	-	8.3	-	8.3	25.0	16.7	-
	100.0	8.3	33.3	8.3	8.3	8.3	16.7	-	8.3	-

5. 介護保険サービスに関するデータ

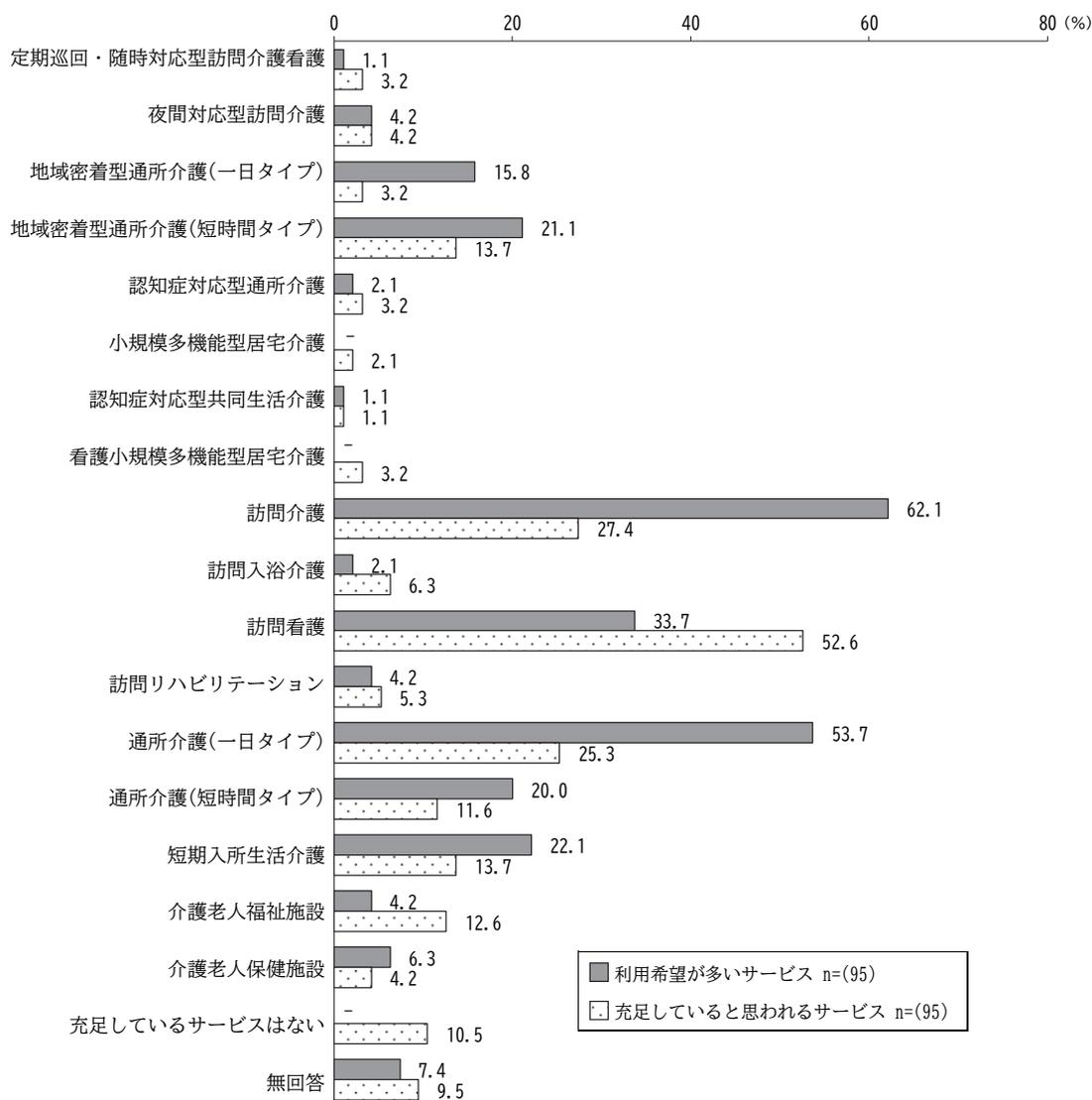
(1) 相談や利用希望が多いサービスと充足しているサービス

問7 区民から相談されたり、利用希望が多いサービス（事業所数）を教えてください。
（複数回答可 ○は3つまで）

問8 区内全域の介護サービスにおいて充足していると思われるサービス（事業所）を教えてください。（複数回答可 ○は3つまで）

相談や利用希望が多いサービスでは、「訪問介護」が62.1%で最も多く、以下「通所介護（一日タイプ）」（53.7%）、「訪問看護」（33.7%）の順となっています。また、充足していると思うサービスでは、「訪問看護」が52.6%で最も多く、「訪問介護」（27.4%）が次いでいます。（図表5-1）

図表5-1 利用希望が多いサービスと充足していると思われるサービス



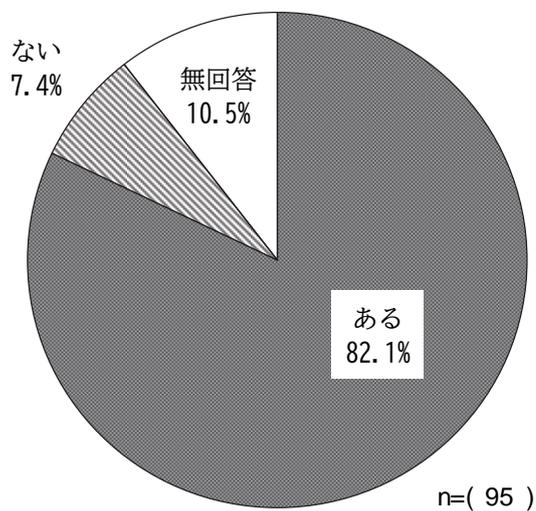
6. 特別養護老人ホームに関するデータ

(1) 特別養護老人ホームの入所を勧めたことの有無

問9 令和3年度以降（過去1年程度）に特別養護老人ホーム（以下、「特養」と略）の入所を勧めたことがありますか。（○は1つ）

特別養護老人ホームの入所を勧めたことの有無については、「ある」が82.1%、「ない」が7.4%となっています。（図表6-1）

図表6-1 特別養護老人ホームの入所を勧めたことの有無

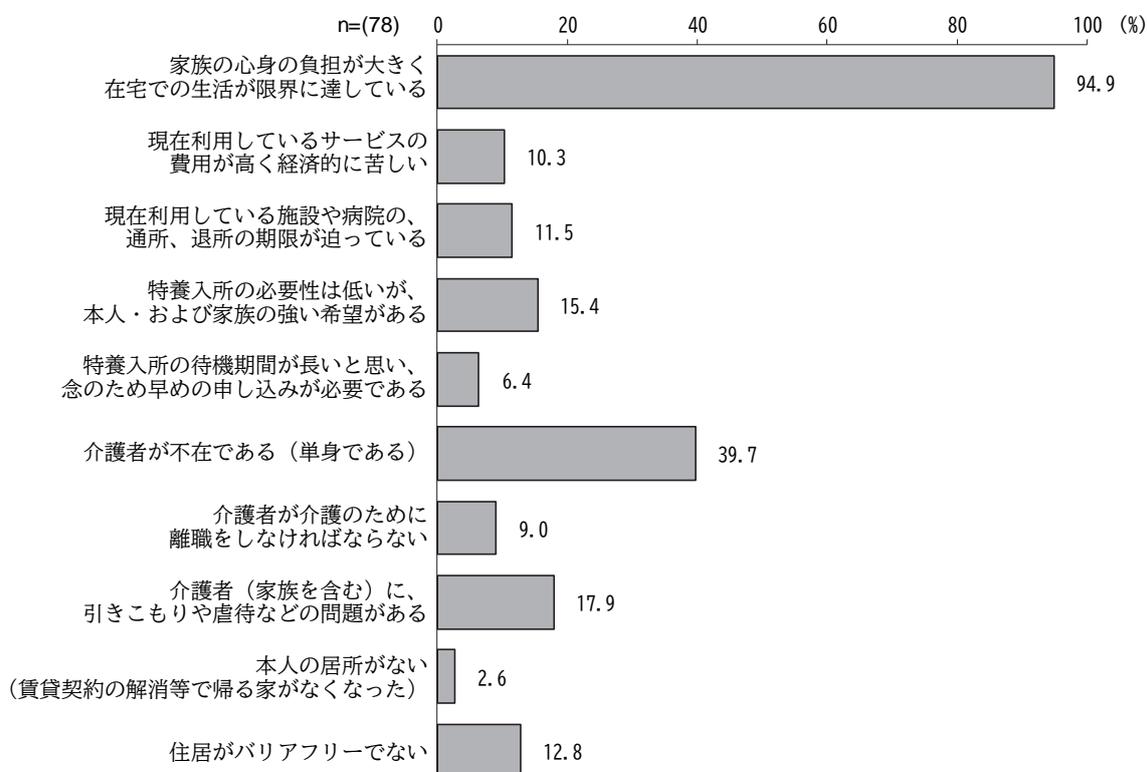


(2) 特養を勧めた理由

問9-1 問9で「1. ある」と回答した方に、特養を勧めた理由を教えてください。
(複数回答可 ○は3つまで)

特養を勧めた理由としては「家族の心身の負担が大きく在宅での生活が限界に達している」が94.9%と最も多く、以下「介護者が不在である(単身である)」(39.7%)、「介護者(家族を含む)に、引きこもりや虐待などの問題がある」(17.9%)の順となっています。一方で、「特養入所の必要性は低い、本人・および家族の強い希望がある」(15.4%)、「特養入所の待機期間が長いと思い、念のため早めの申し込みが必要である」(6.4%)となっています。(図表6-2)

図表6-2 特養を勧めた理由



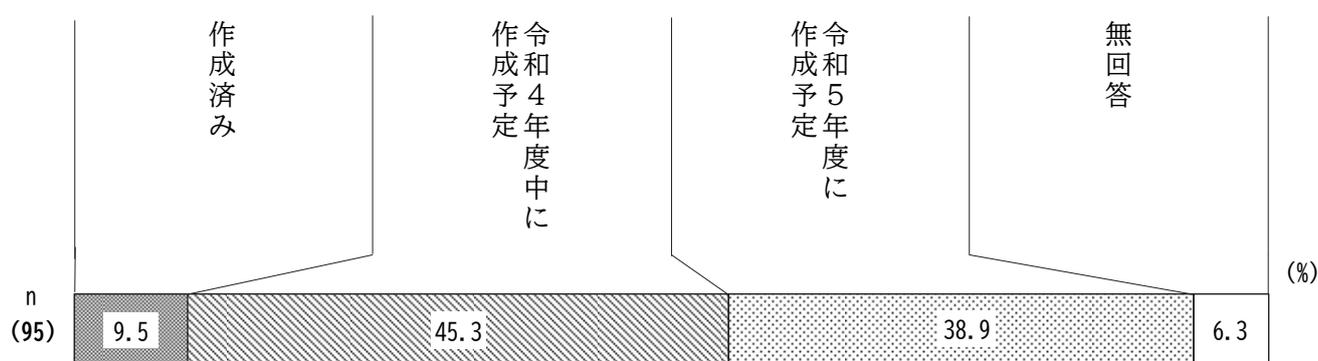
7. その他

(1) BCP（業務継続計画）の作成状況

問10 BCP（業務継続計画）について、教えてください。

BCP（業務継続計画）については、「令和4年度中に作成予定」が45.3%で最も多くなっています。（図表7-1）

図表7-1 BCP（業務継続計画）の作成状況

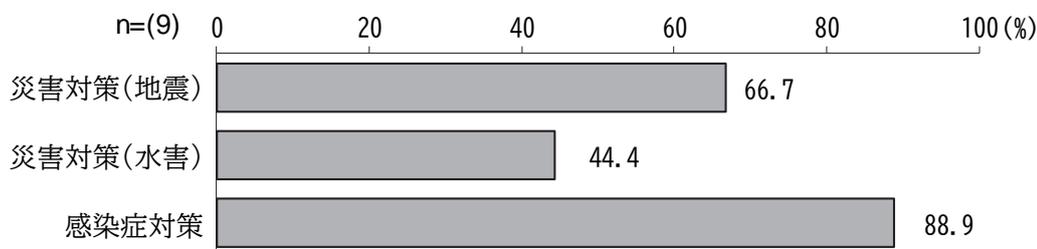


(2) 作成済みのBCP（業務継続計画）

問10-1 問10で「1. 作成済み」と回答した方は、作成したすべてのBCP（業務継続計画）を教えてください。

作成したすべてのBCP（業務継続計画）では、「感染症対策」が88.9%で最も多く、以下「災害対策（地震）」（66.7%）、「災害対策（水害）」（44.4%）の順となっています。（図表7-2）

図表7-2 作成済みのBCP（業務継続計画）



第7章 介護人材実態調査結果

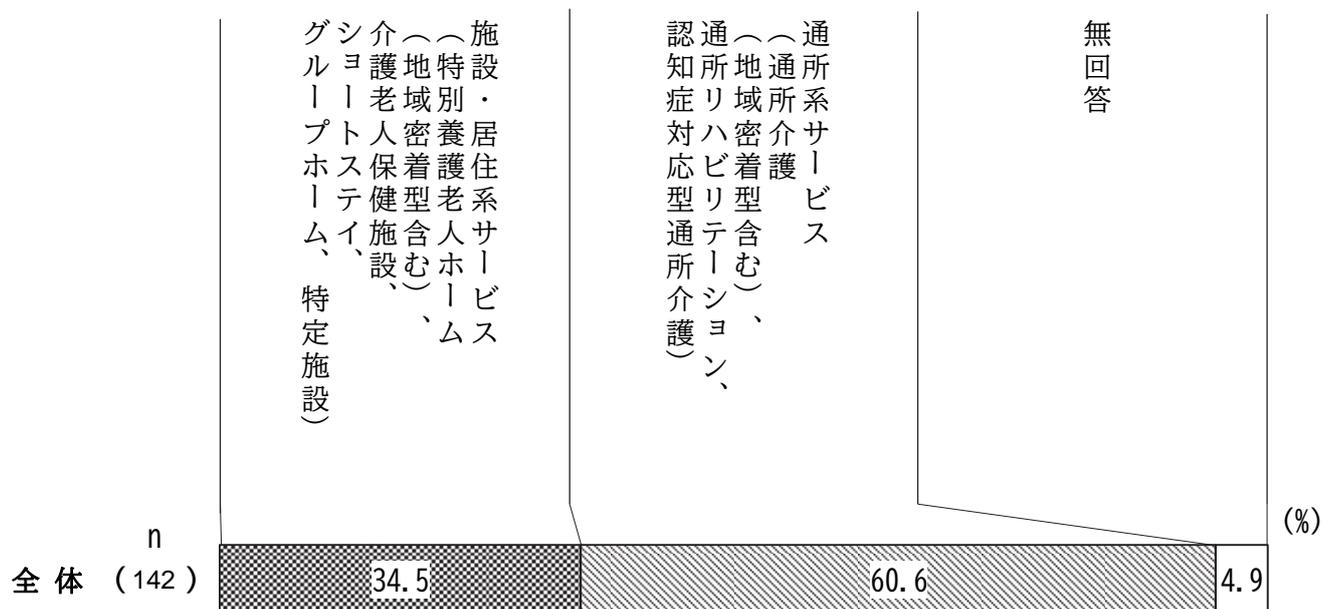
(1) 施設系・通所系

（1）該当するサービス種別

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。（○は1つ）

サービス種別としては、「施設・居住系サービス（特別養護老人ホーム（地域密着型含む）、介護老人保健施設、ショートステイ、グループホーム、特定施設）」が 34.5%、「通所系サービス（通所介護（地域密着型含む）、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護）」が 60.6%となっています。（図表1-1）

図表1-1 該当するサービス種別



（2）介護職員の人数

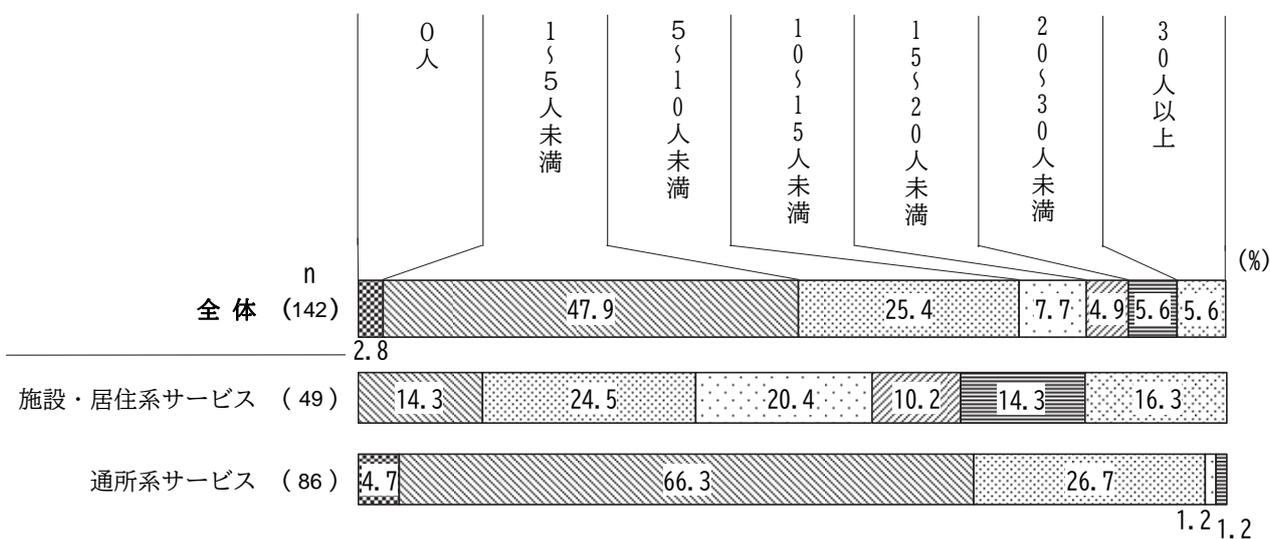
問2-1 貴施設等に所属する介護職員の総数を、ご記入ください。（正規職員）

施設等に所属する介護職員（正規職員）の人数としては、「1～5人未満」が47.9%とで最も多く、次いで「5～10人未満」が25.4%となっています。

施設・居住系サービスでは「5～10人未満」が24.5%で最も多く、「10～15人未満」（20.4%）、「30人以上」（16.3%）の順となっています。

通所系サービスでは「1～5人未満」が66.3%で最も多く、次いで「5～10人未満」が26.7%となっています。（図表1-2）

図表1-2 介護職員の人数（正規職員）



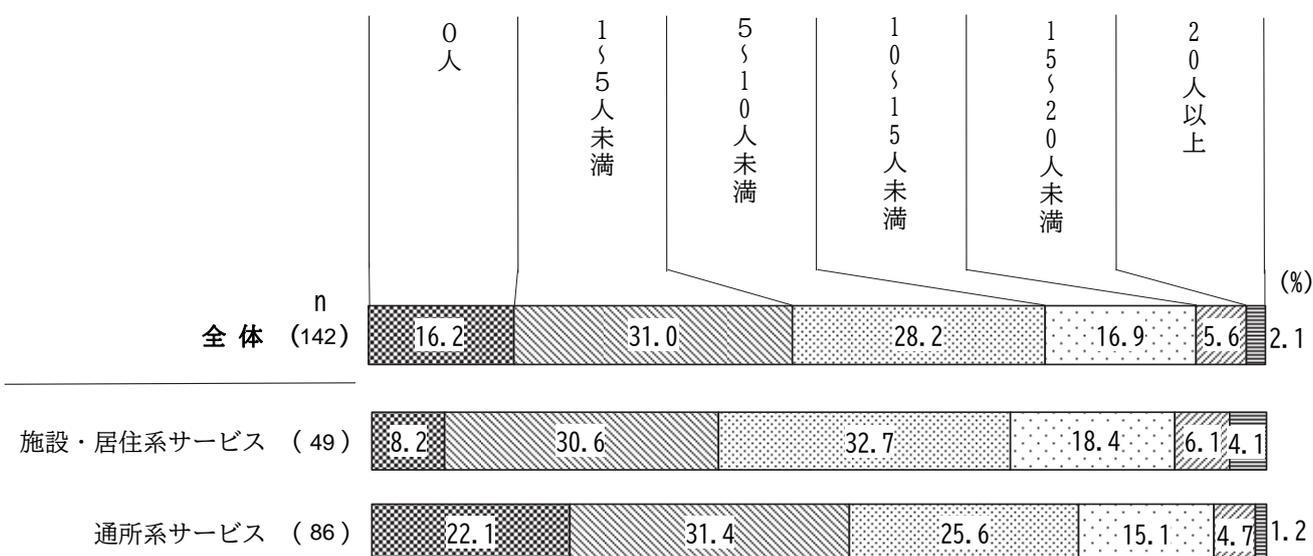
問2-1 貴施設等に所属する介護職員の総数を、ご記入ください。（非正規職員）

施設等に所属する介護職員（非正規職員）の総数としては、「1～5人未満」が31.0%と最も多く、次いで「5～10人未満」が28.2%となっています。

施設・居住系サービスでは「5～10人未満」が32.7%で最も多く、「1～5人未満」(30.6%)、「10～15人未満」(18.4%)の順となっています。

通所系サービスでは「1～5人未満」が31.4%で最も多く、「5～10人未満」(25.6%)、「0人」(22.1%)の順となっています。（図表1-3）

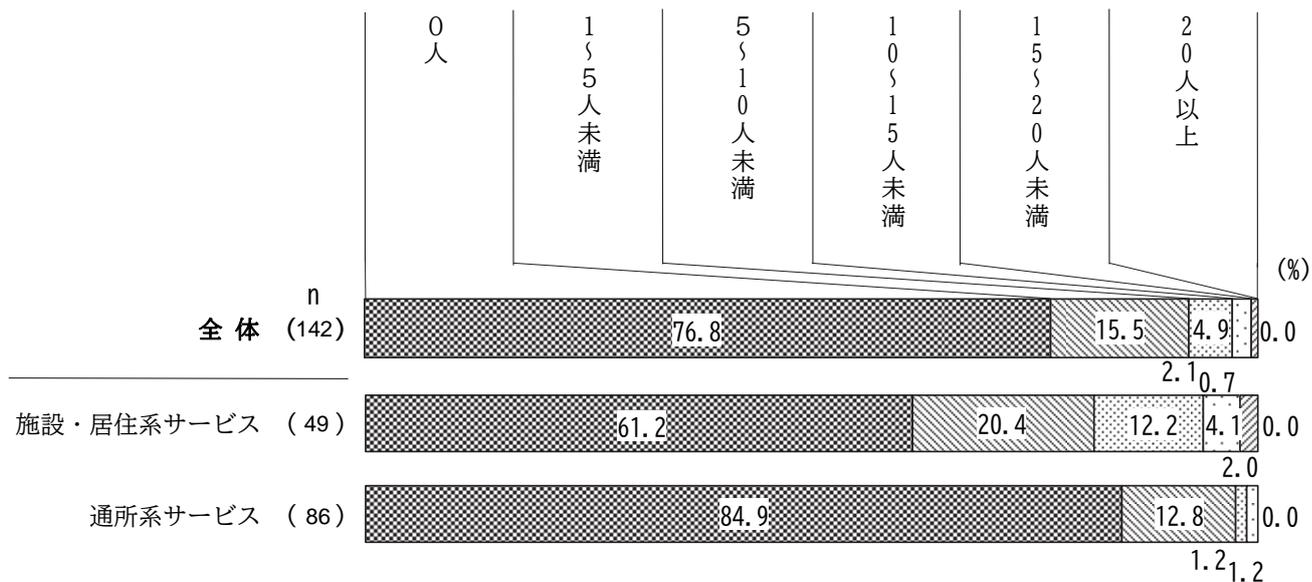
図表1-3 介護職員の人数（非正規職員）



問2-1 貴施設等に所属する介護職員の総数を、ご記入ください。（派遣職員）

施設等に所属する介護職員（派遣職員）の総数としては、「0人」が最も多く、全体では76.8%、施設・居住系サービスでは61.2%、通所系サービスでは84.9%となっています。次いで「1～5人未満」がそれぞれ1～2割となっています。（図表1-4）

図表1-4 介護職員の人数（派遣職員）

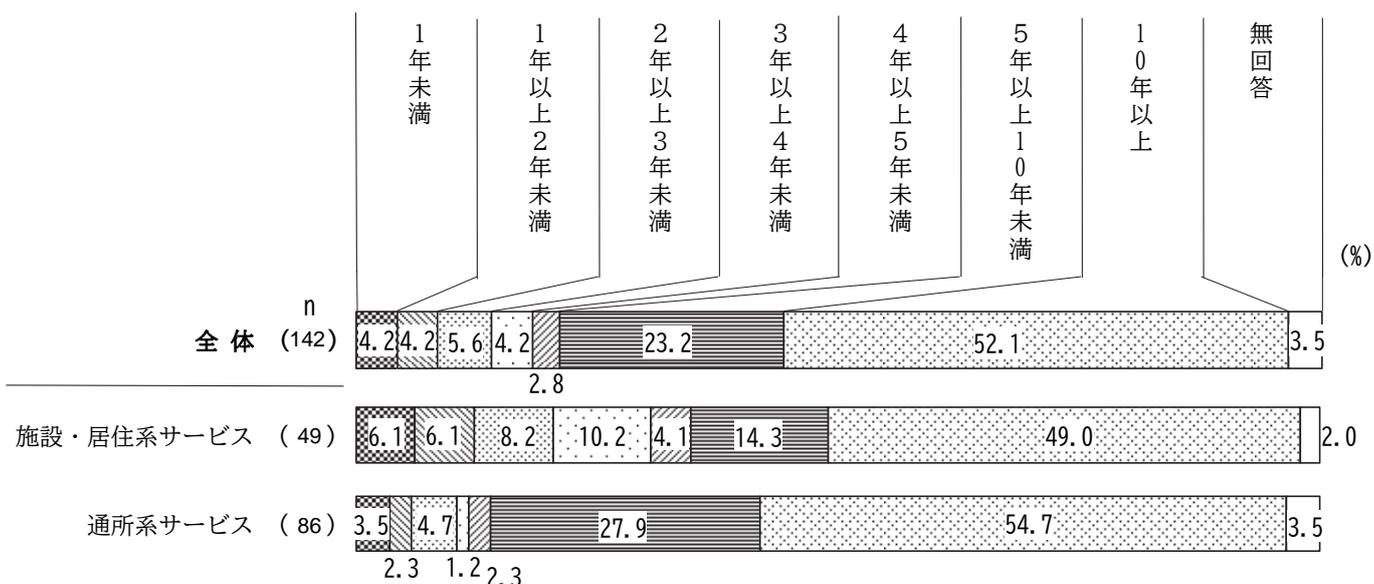


（3）開設時期

問2-2 貴施設等の開設時期について、ご記入ください。

施設等の開設時期としては、全体的に「10年以上」が5割程度となっています。次いで、「5年以上10年未満」が多く、全体では23.2%、施設・居住系サービスでは14.3%、通所系サービスでも27.9%となっています。（図表1-5）

図表1-5 開設時期



（4）過去1年間の採用者数と離職者数

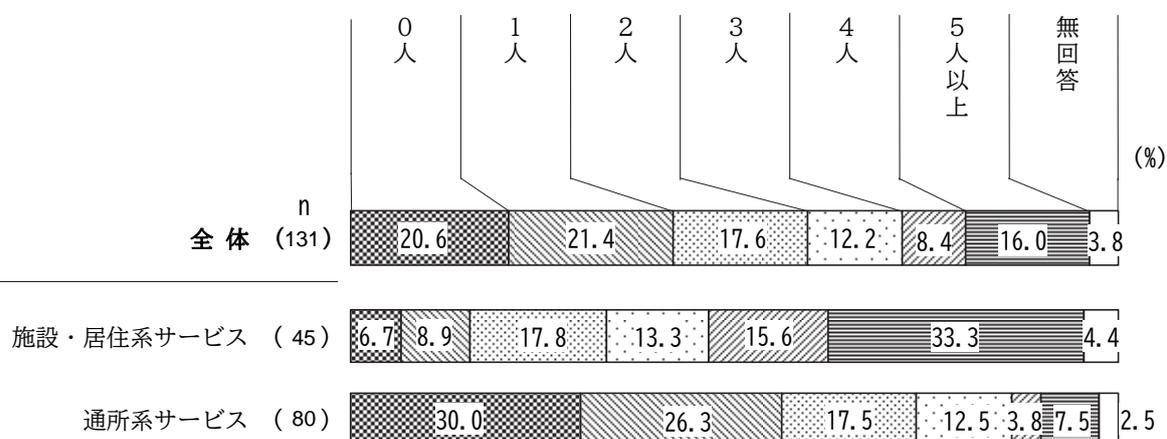
問2-3 令和4年9月1日時点で、開設から1年以上を経過している施設等にお伺いします。
過去1年間（令和3年9月1日～令和4年8月31日）の介護職員の採用者数と離職者数を、ご記入ください。（派遣職員及びボランティアは除く。）

過去1年間の介護職員の採用者数としては、「1人」が21.4%と最も多く、「0人」（20.6%）、「2人」（17.6%）の順となっています。

施設・居住系サービスでは「5人以上」が33.3%で最も多く、「2人」（17.8%）、「4人」（15.6%）の順となっています。

通所系サービスでは「0人」が30.0%で最も多く、「1人」（26.3%）、「2人」（17.5%）の順となっています。（図表1-6）

図表1-6 過去1年間の採用者数

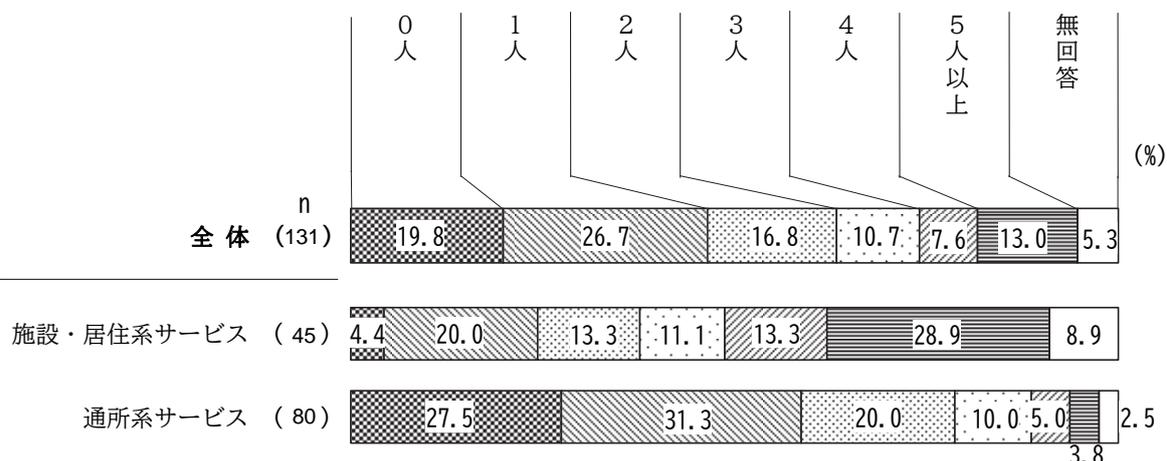


過去1年間の介護職員の離職者数としては、「1人」が26.7%と最も多く、「0人」（19.8%）、「2人」（16.8%）の順となっています。

施設・居住系サービスでは「5人以上」が28.9%で最も多く、「1人」（20.0%）、「2人」、「4人」（13.3%）の順となっています。

通所系サービスでは「1人」が31.3%で最も多く、「0人」（27.5%）、「2人」（20.0%）の順となっています。（図表1-7）

図表1-7 過去1年間の離職者



（5）採用者・離職者の年代別について

問2-4 問2-3の採用者・離職者について、正規・非正規、年代別をご記入ください。
（派遣職員及びボランティアは除く。）

採用者の年齢別内訳としては、正規職員では「20～29歳」が78人と最も多く、「30～39歳」（68人）、「40～49歳」（50人）と年齢が上がるにつれて少なくなっています。

非正規職員では「40～49歳」が52人と最も多く、「50～59歳」（45人）、「60～69歳」（43人）で、40代～60代の採用が多くなっています。（図表1-8）

図表1-8 採用当時の年代別

年齢 (採用当時)	採用者			
	正規職員		非正規職員	
	事業所数	合計人数	事業所数	合計人数
20歳未満	4	5	-	-
20～29歳	32	78	20	25
30～39歳	31	68	22	29
40～49歳	31	50	33	52
50～59歳	33	44	30	45
60～69歳	11	14	32	43
70～79歳	3	3	9	11
年齢不明	-	-	-	-

離職者の年齢別内訳としては、正規職員では「30～39歳」が43人と最も多く、「40～49歳」（42人）、「20～29歳」（33人）の順となっています。

非正規職員では「50～59歳」が48人と最も多く、「40～49歳」（38人）、「60～69歳」（35人）で、40代～60代の離職が多くなっています。（図表1-9）

図表1-9 離職当時の年代別

年齢 (離職当時)	離職者			
	正規職員		非正規職員	
	事業所数	合計人数	事業所数	合計人数
20歳未満	3	3	1	1
20～29歳	22	33	17	26
30～39歳	18	43	15	25
40～49歳	27	42	28	38
50～59歳	22	32	24	48
60～69歳	8	11	27	35
70～79歳	1	1	10	10
年齢不明	-	-	-	-

（6）BCP（業務継続計画）の作成状況

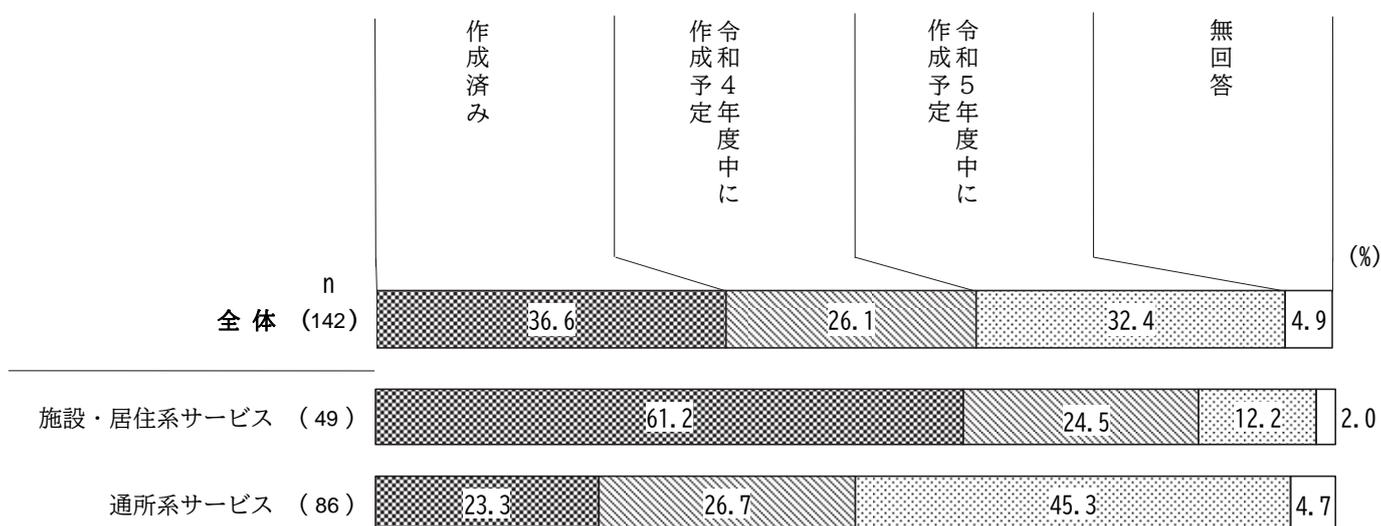
問3-1 BCP（業務継続計画）の作成状況について、お伺いします。（○は1つ）

BCP（業務継続計画）の作成状況としては、「作成済み」が36.6%と最も多く、「令和5年度中に作成予定」(32.4%)、「令和4年度中に作成予定」(26.1%)の順となっています。

施設・居住系サービスでは「作成済み」が61.2%で最も多く、「令和4年度中に作成予定」(24.5%)、「令和5年度中に作成予定」(12.2%)の順となっています。

通所系サービスでは「令和5年度中に作成予定」が45.3%で最も多く、「令和4年度中に作成予定」(26.7%)、「作成済み」(23.3%)の順となっています。（図表1-10）

図表1-10 BCP（業務継続計画）の作成状況



（7）作成済みのBCP（業務継続計画）

問3-2 問3-1で「1.作成済み」を選んだ方にお伺いします。

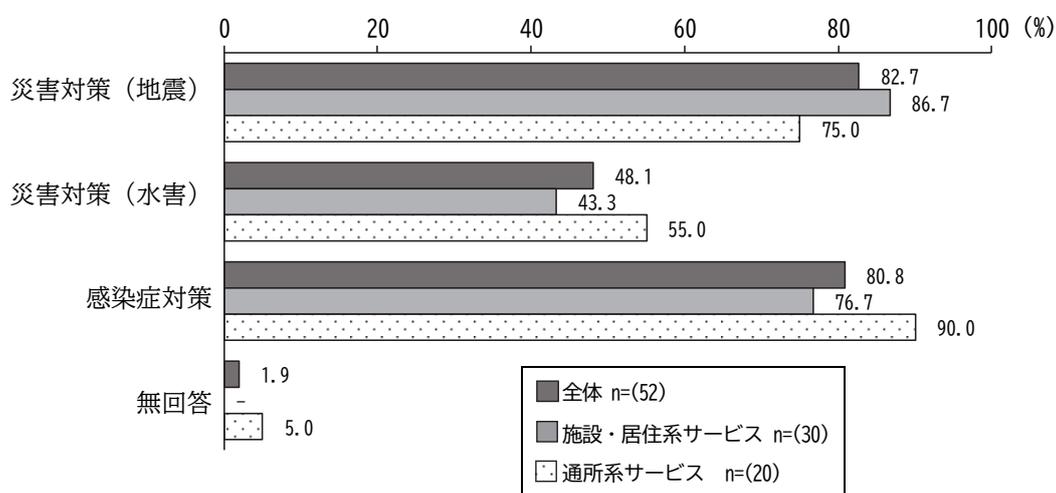
作成したBCP（業務継続計画）すべてに○をつけてください。

作成したBCP（業務継続計画）としては、「災害対策（地震）」が82.7%と最も多く、「感染症対策」（80.8%）、「災害対策（水害）」（48.1%）の順となっています。

施設・居住系サービスでは「災害対策（地震）」が86.7%で最も多く、「感染症対策」（76.7%）、「災害対策（水害）」（43.3%）の順となっています。

通所系サービスでは「感染症対策」が90.0%で最も多く、「災害対策（地震）」（75.0%）、「災害対策（水害）」（55.0%）の順となっています。（図表1-11）

図表1-11 作成済みのBCP（業務継続計画）



（8）所属介護職員について

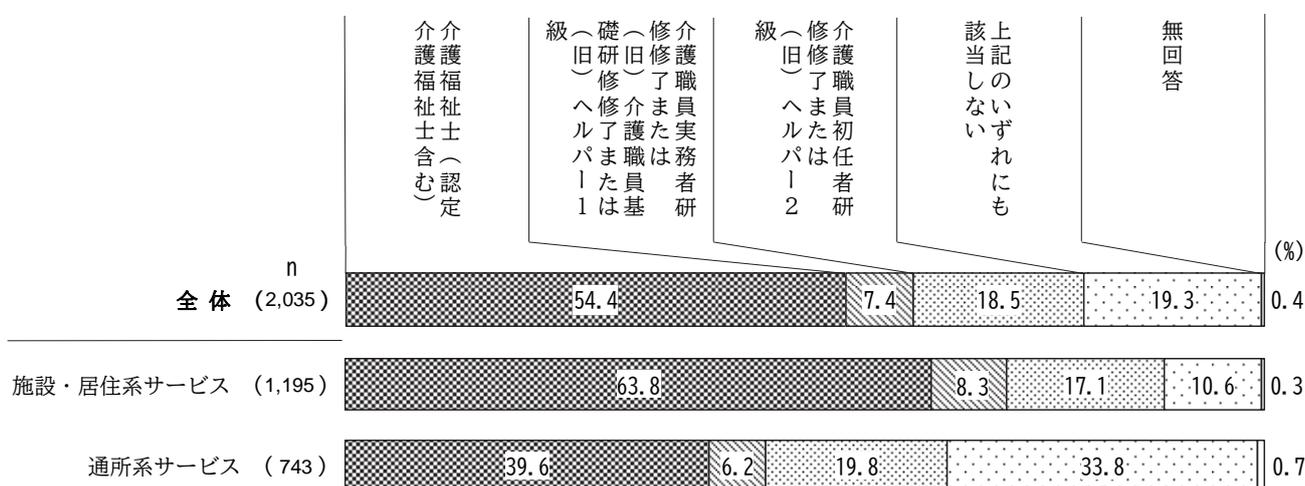
問4（1）所属介護職員の資格の取得、研修の修了の状況

介護職員の資格の取得、研修の修了状況としては、「介護福祉士（認定介護福祉士含む）」が54.4%と最も多くなっています。

施設・居住系サービスでは「介護福祉士（認定介護福祉士含む）」が63.8%で最も多く、次いで「介護職員初任者研修修了または（旧）ヘルパー2級」が17.1%となっています。

通所系サービスでは「介護福祉士（認定介護福祉士含む）」が39.6%で最も多く、「上記のいずれにも該当しない」（33.8%）、「介護職員初任者研修修了または（旧）ヘルパー2級」（19.8%）の順となっています。（図表1-12）

図表1-12 所属している介護職員の資格の取得、研修の修了の状況



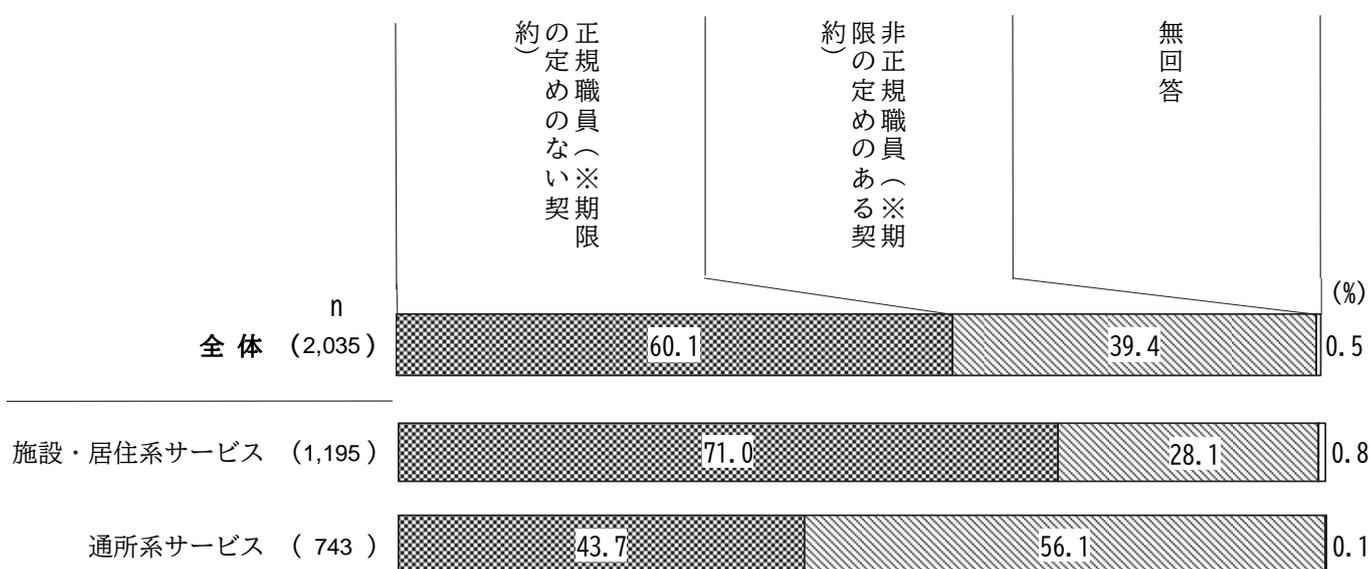
問4（2）所属介護職員の雇用形態

所属介護職員の雇用形態としては、「正規職員（※期限の定めのない契約）」が60.1%、「非正規職員（※期限の定めのある契約）」が39.4%となっています。

施設・居住系サービスでは「正規職員（※期限の定めのない契約）」が71.0%、「非正規職員（※期限の定めのある契約）」が28.1%となっています。

通所系サービスでは「非正規職員（※期限の定めのある契約）」が56.1%、「正規職員（※期限の定めのない契約）」が43.7%となっています。（図表1-13）

図表1-13 所属している介護職員の雇用形態

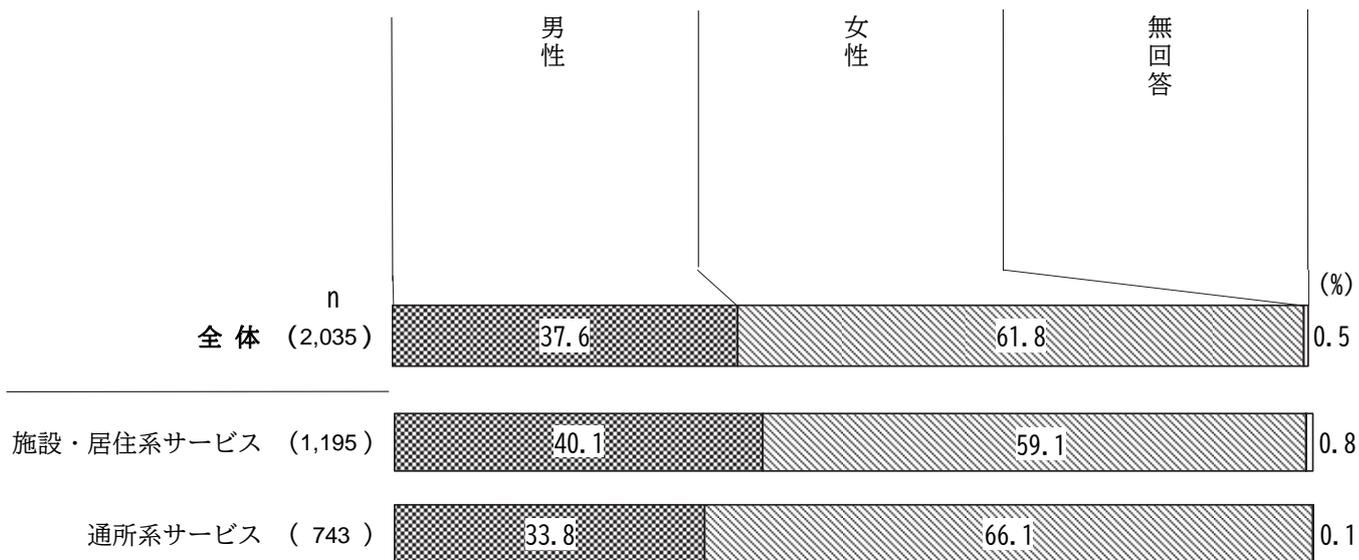


問4（3）所属介護職員の性別

所属介護職員の性別としては、「女性」が61.8%、「男性」が37.6%となっています。

施設・居住系サービス、通所系サービスともに「男性」より「女性」の割合が高く、6割前後となっています。（図表1-14）

図表1-14 所属している介護職員の性別



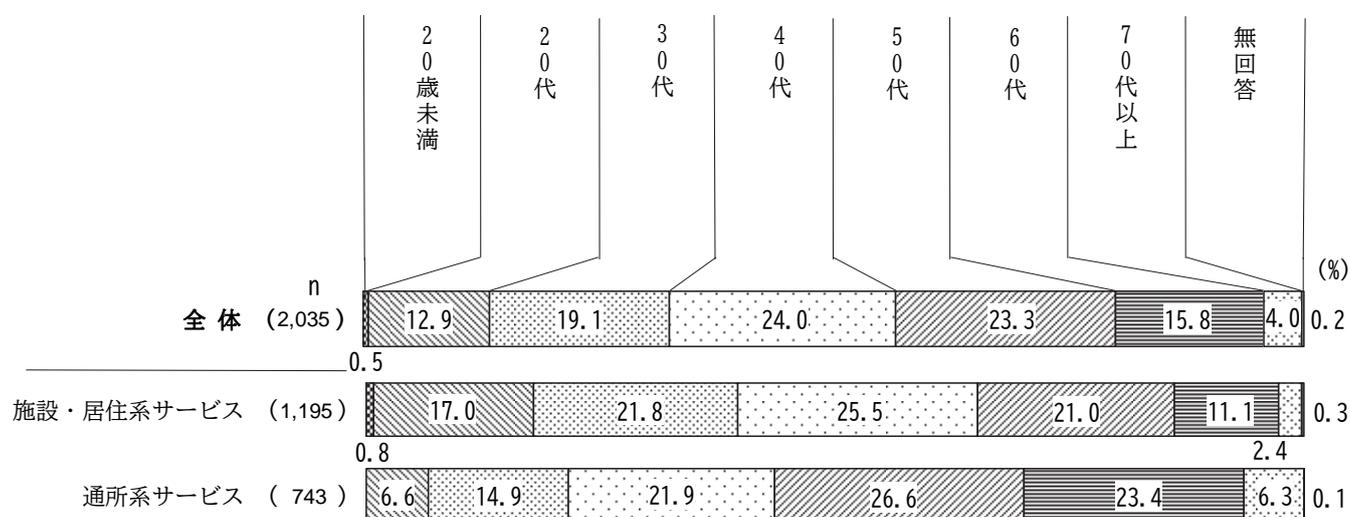
問4（4）所属介護職員の年齢

所属介護職員の年齢としては、「40代」が24.0%と最も多く、「50代」(23.3%)、「30代」(19.1%)の順となっています。

施設・居住系サービスでは「40代」が25.5%で最も多く、「30代」(21.8%)、「50代」(21.0%)の順となっています。

通所系サービスでは「50代」が26.6%で最も多く、「60代」(23.4%)、「40代」(21.9%)の順となっています。(図表1-15)

図表1-15 所属している介護職員の年齢



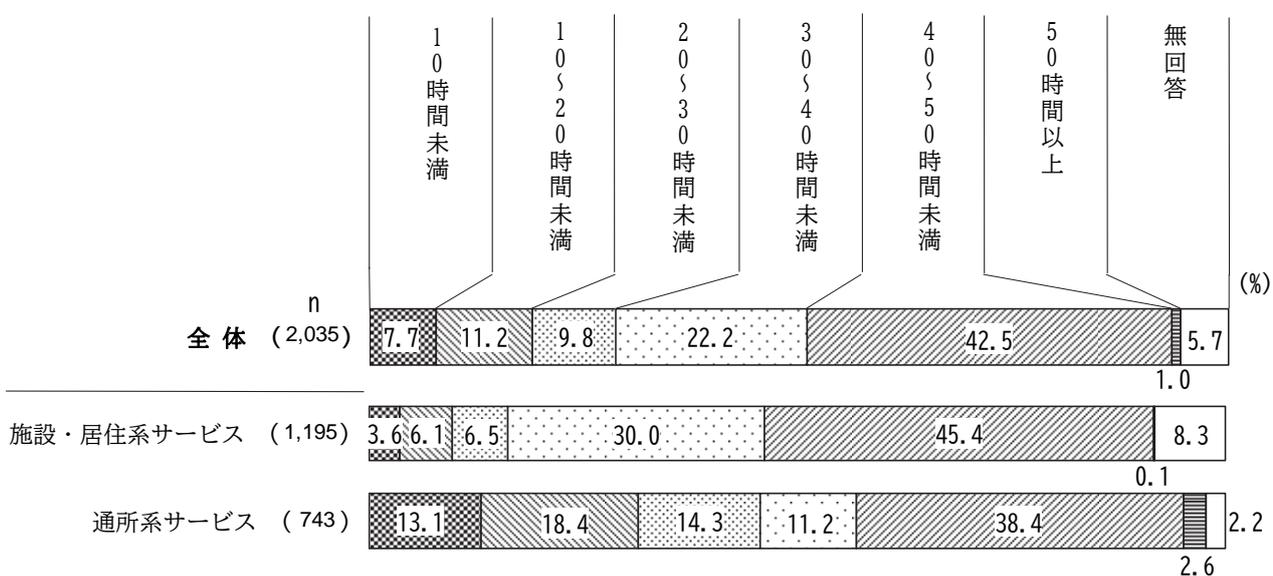
問4（5）所属介護職員の過去1週間の勤務時間

所属介護職員の過去1週間の勤務時間としては、「40～50時間未満」が42.5%と最も多く、「30～40時間未満」（22.2%）、「10～20時間未満」（11.2%）の順となっています。

施設・居住系サービスでは「40～50時間未満」が45.4%で最も多く、「30～40時間未満」（30.0%）、「20～30時間未満」（6.5%）の順となっています。

通所系サービスでは「40～50時間未満」が38.4%で最も多く、「10～20時間未満」（18.4%）、「20～30時間未満」（14.3%）の順となっています。（図表1-16）

図表1-16 所属している介護職員の過去1週間の勤務時間

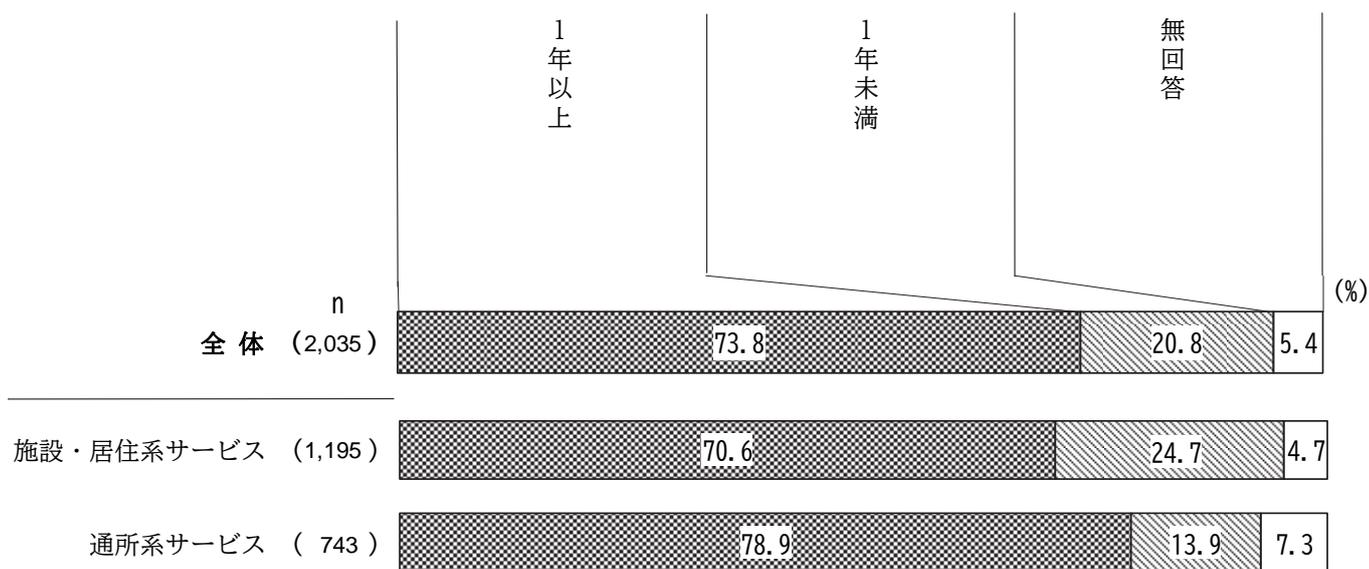


問4（6）所属介護職員の現在の施設での勤務年数

所属介護職員の現在の施設での勤務年数としては、「1年以上」が73.8%、「1年未満」が20.8%となっています。

施設・居住系サービス、通所系サービスともに「1年未満」より「1年以上」の割合が高く、7割以上となっています。（図表1-17）

図表1-17 所属している介護職員の勤務年数



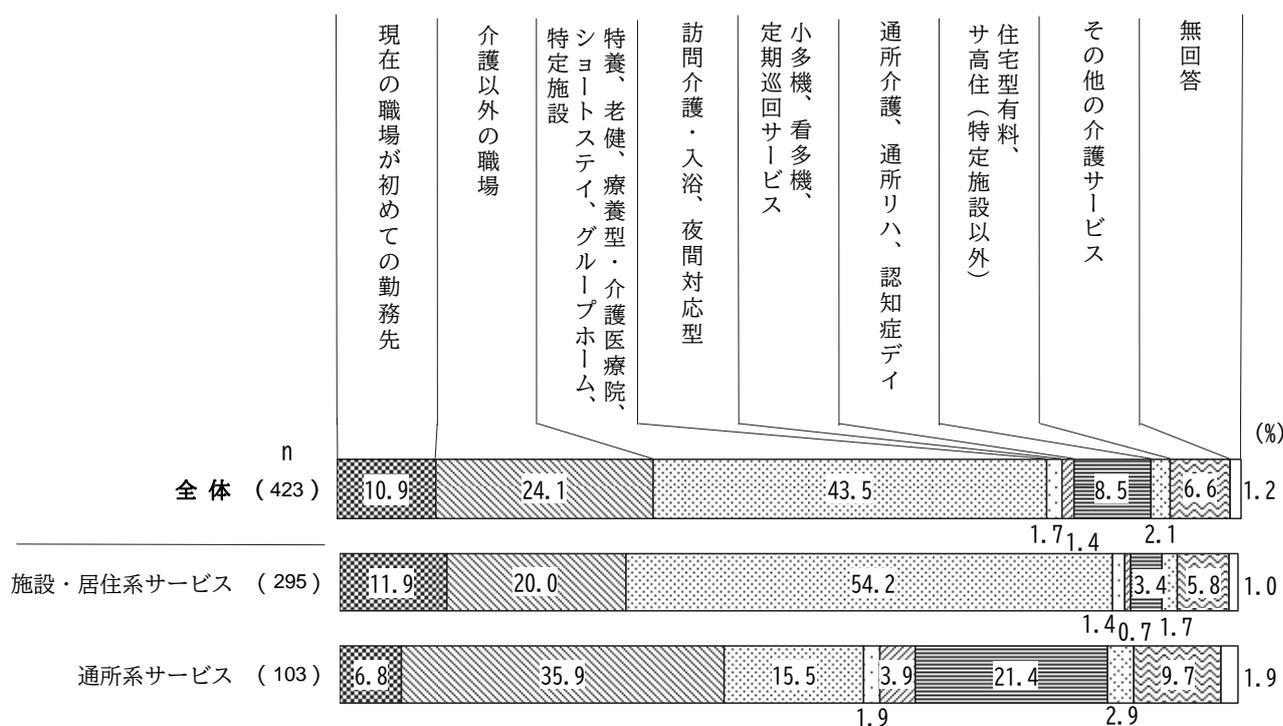
問4（7）所属介護職員の現在の施設等に勤務する直前の職場 ※地域密着型を含む

所属介護職員の現在の施設等に勤務する直前の職場としては、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」が43.5%と最も多く、「介護以外の職場」(24.1%)、「現在の職場が初めての勤務先」(10.9%)の順となっています。

施設・居住系サービスでは「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」が54.2%で最も多く、「介護以外の職場」(20.0%)、「現在の職場が初めての勤務先」(11.9%)の順となっています。

通所系サービスでは「介護以外の職場」が35.9%で最も多く、「通所介護、通所リハ、認知症デイ」(21.4%)、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」(15.5%)の順となっています。(図表1-18)

図表1-18 所属している介護職員の直前の職場

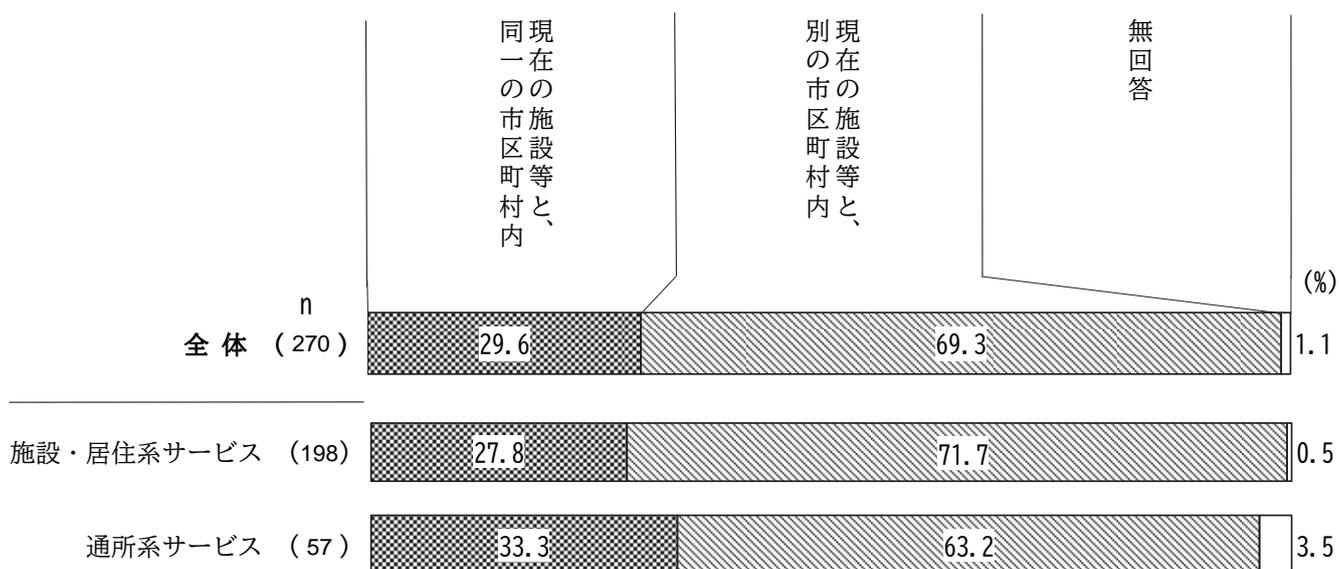


問4（8）所属介護職員の直前の職場の所在地について

所属介護職員の直前の職場の所在地としては「現在の施設等と、別の市区町村内」が69.3%、「現在の施設等と、同一の市区町村内」が29.6%となっています。

施設・居住系サービス、通所系サービスともに「現在の施設等と、同一の市区町村内」より「現在の施設等と、別の市区町村内」の割合が高く、6割以上となっています。（図表1-19）

図表1-19 所属している介護職員の直前の職場の所在地

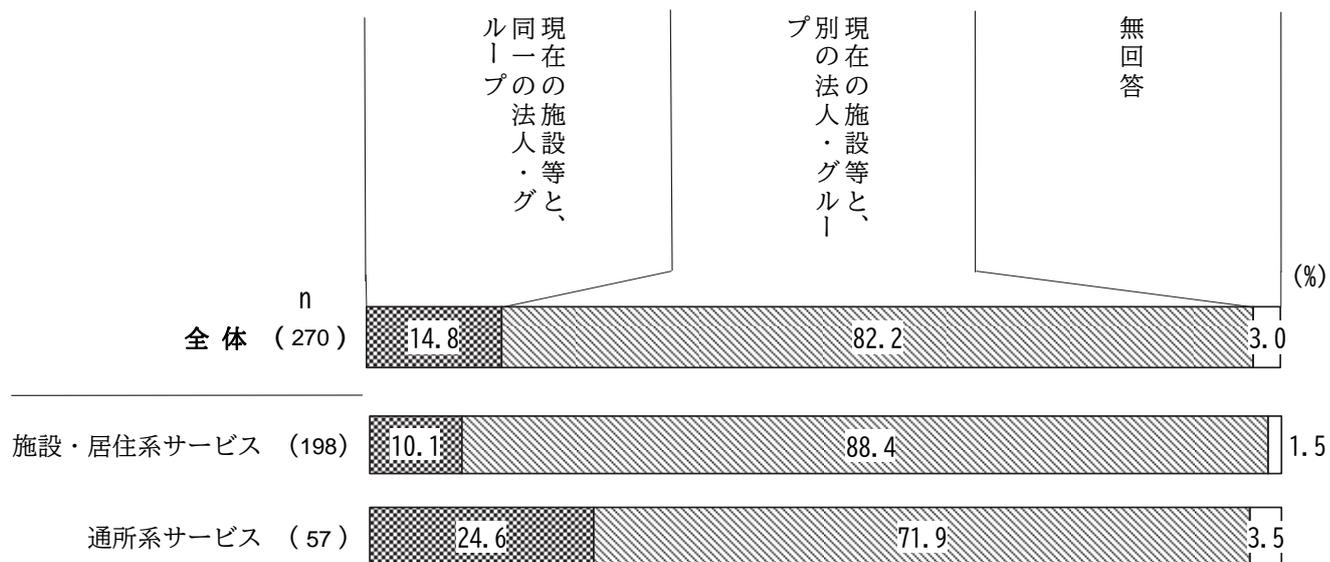


問4（8）所属介護職員の直前の職場と、現在の施設等との関係について

所属介護職員の直前の職場と現在の施設等との関係としては、「現在の施設等と、別の法人・グループ」が82.2%、「現在の施設等と、同一の法人・グループ」が14.8%となっています。

施設・居住系サービス、通所系サービスともに「現在の施設等と、同一の法人・グループ」より「現在の施設等と、別の法人・グループ」の割合が高く、7割以上となっています。（図表1-20）

図表1-20 所属している介護職員の直前の職場と、現在の施設等との関係



介護人材実態調査結果

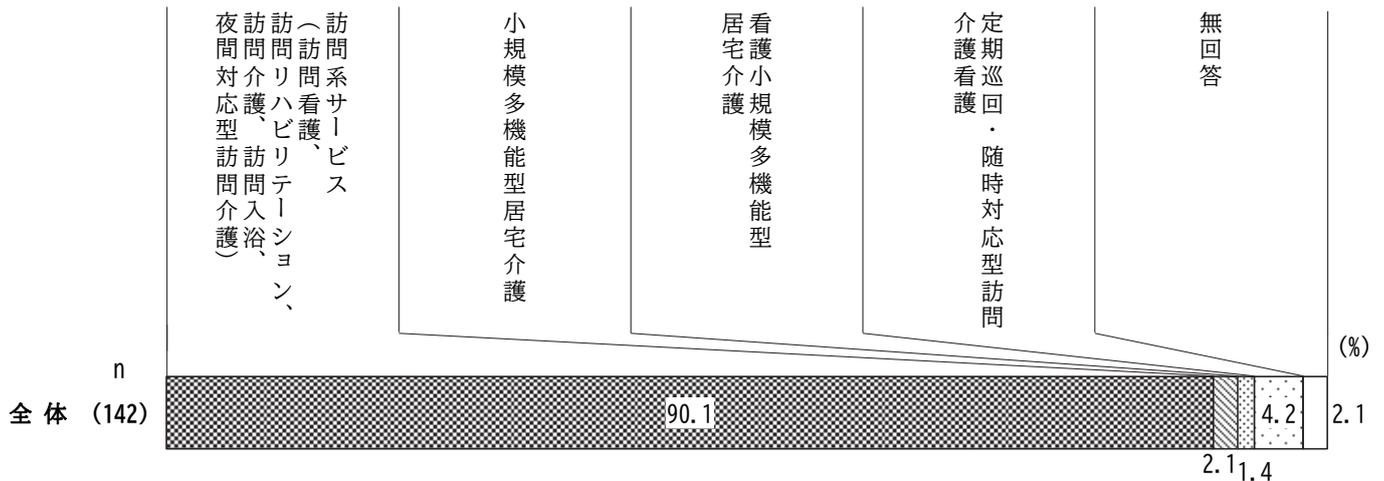
(2) 訪問系

（1）該当するサービス種別

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。（○は1つ）

サービス種別としては、「訪問系サービス（訪問看護、訪問リハビリテーション、訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護）」が90.1%で、9割を占めています。（図表1-1）

図表1-1 該当するサービス種別

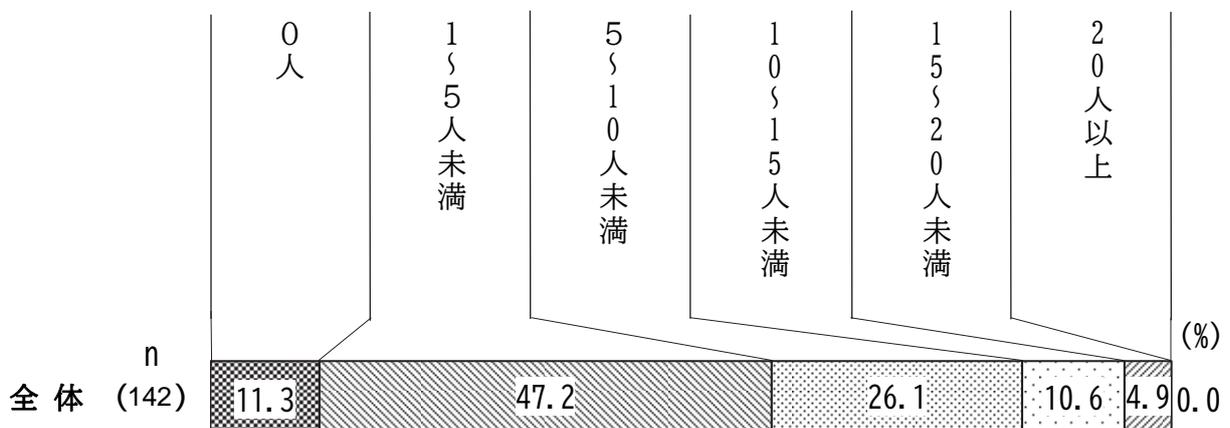


（2）介護職員の人数

問2-1 貴事業所に所属する介護職員の総数を、ご記入ください。（正規職員）

事業所に所属する介護職員（正規職員）の総数としては、「1～5人未満」が47.2%で最も多く、「5～10人未満」（26.1%）、「0人」（11.3%）の順となっています。（図表1-2）

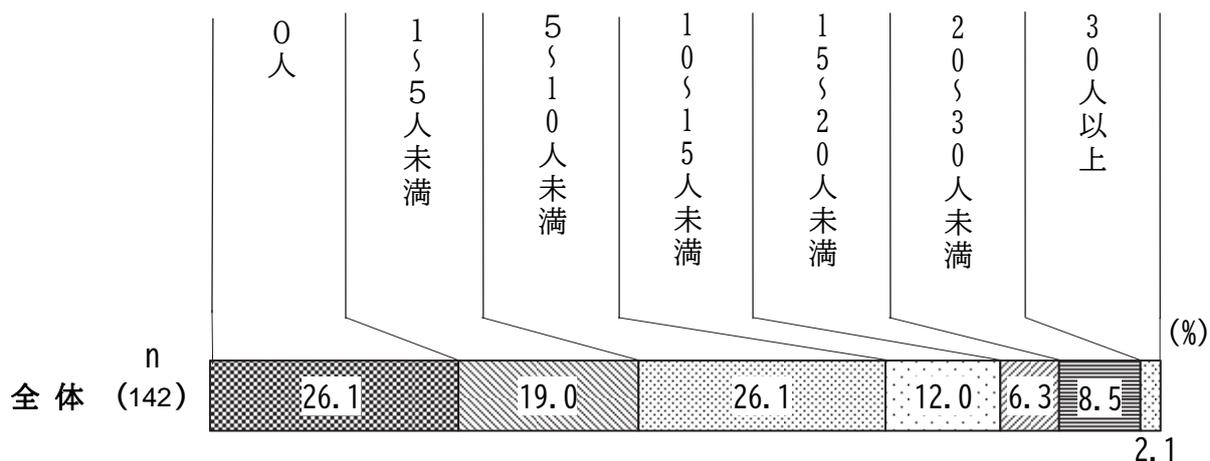
図表1-2 介護職員の人数（正規職員）



問2-1 貴事業所に所属する介護職員の総数を、ご記入ください。（非正規職員）

事業所に所属する介護職員（非正規職員）の総数としては、「0人」「5～10人未満」が26.1%で最も多く、「1～5人未満」（19.0%）、「10～15人未満」（12.0%）の順となっています。（図表1-3）

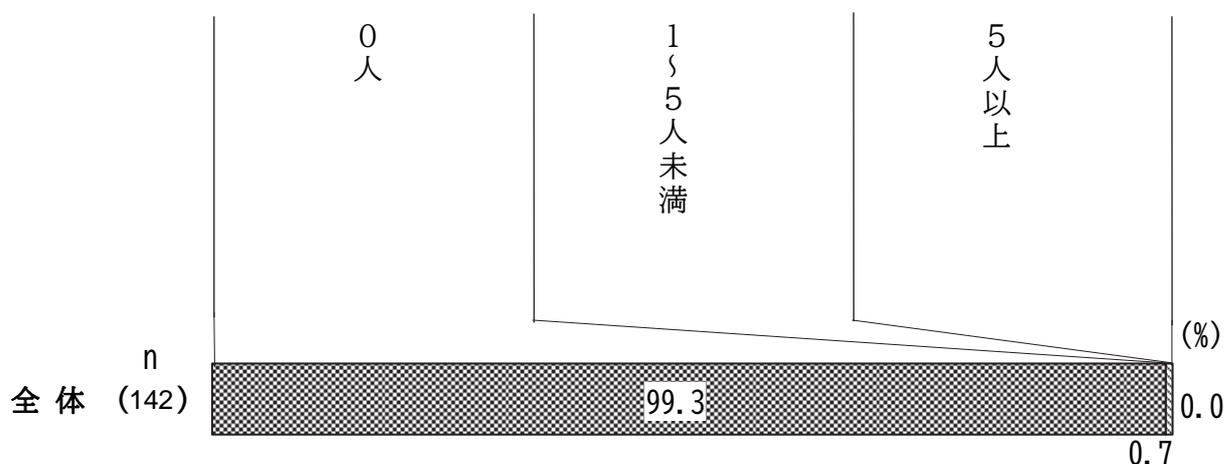
図表1-3 介護職員の人数（非正規職員）



問2-1 貴事業所に所属する介護職員の総数を、ご記入ください。（派遣職員）

事業所に所属する介護職員（派遣職員）の総数としては、ほとんどの事業所で「0人」となっています。（図表1-4）

図表1-4 介護職員の人数（派遣職員）

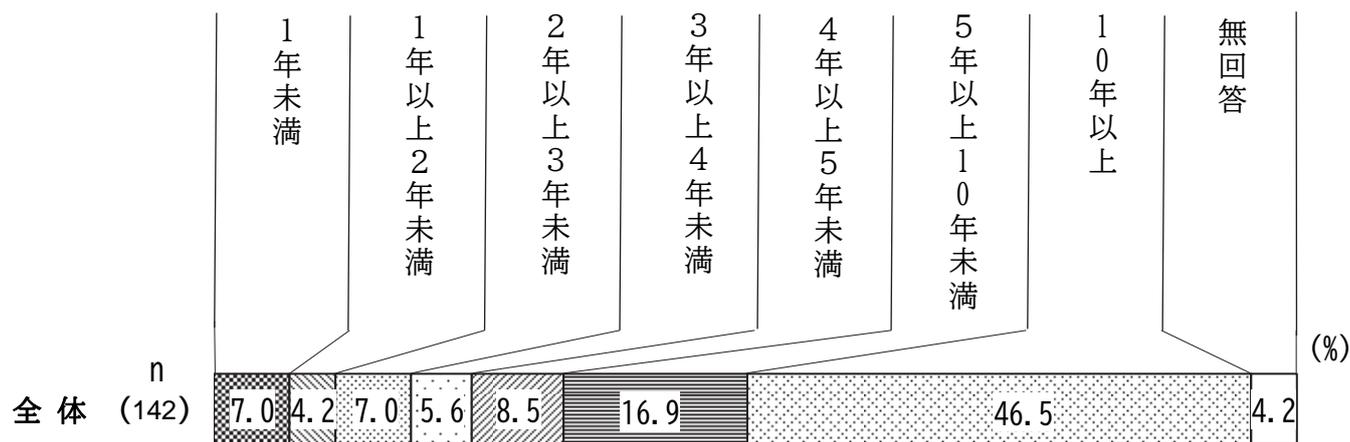


（3）開設時期

問2-2 貴事業所の開設時期について、ご記入ください。

事業所の開設時期としては、「10年以上」が46.5%で最も多く、「5年以上10年未満」（16.9%）、「4年以上5年未満」（8.5%）の順となっています。（図表1-5）

図表1-5 開設時期

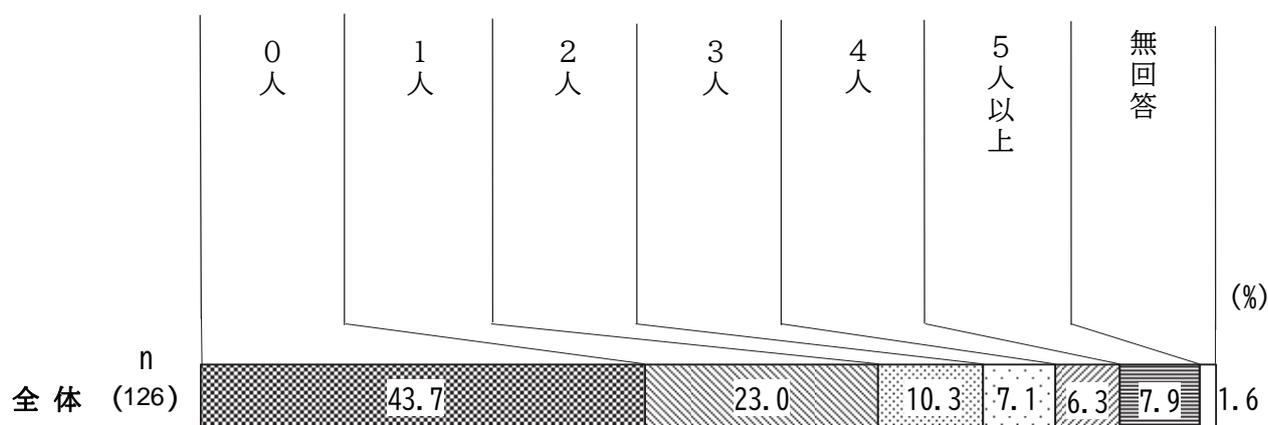


（4）過去1年間の採用者数と離職者数

問2-3 令和4年9月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。
過去1年間（令和3年9月1日～令和4年8月31日）の介護職員の採用者数と離職者数を、ご記入ください。（派遣職員及びボランティアは除く。）

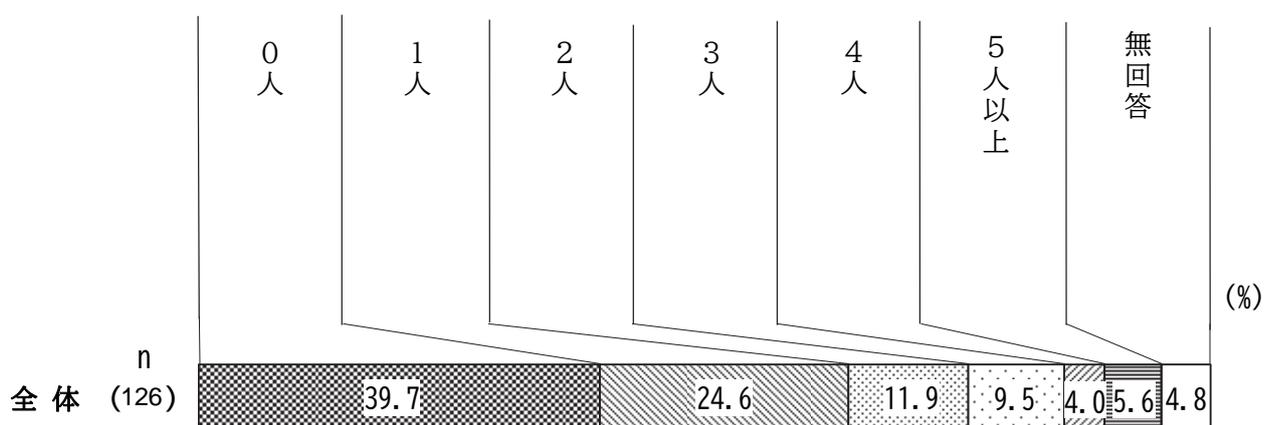
過去1年間の介護職員の採用者数としては、「0人」が43.7%と最も多く、「1人」(23.0%)、「2人」(10.3%)の順となっています。（図表1-6）

図表1-6 過去1年間の採用者数



過去1年間の介護職員の離職者数としては、「0人」が39.7%と最も多く、「1人」(24.6%)、「2人」(11.9%)の順となっています。（図表1-7）

図表1-7 過去1年間の離職者



（５）採用者・離職者の年代別について

問 2-4 問 2-3 の採用者・離職者について、正規・非正規、年代別をご記入ください。
（派遣職員及びボランティアは除く。）

採用者の年齢別内訳としては、正規職員では「20～29 歳」「40～49 歳」が 29 人と最も多く、「50～59 歳」（23 人）、「30～39 歳」「60～69 歳」（22 人）の順となっています。

非正規職員では「60～69 歳」が 64 人と最も多く、「50～59 歳」（55 人）、「70～79 歳」（38 人）で、50 代～70 代の採用が多くなっています。（図表 1-8）

図表 1-8 採用当時の年代別

年齢 (採用当時)	採用者			
	正規職員		非正規職員	
	事業所数	合計人数	事業所数	合計人数
20歳未満	-	-	-	-
20～29歳	19	29	7	8
30～39歳	15	22	17	28
40～49歳	21	29	23	29
50～59歳	17	23	30	55
60～69歳	13	22	23	64
70～79歳	3	6	15	38
年齢不明	-	-	1	1

離職者の年齢別内訳としては、正規職員では「30～39 歳」が 21 人と最も多く、「40～49 歳」（19 人）、「20～29 歳」（10 人）で、20 代～40 代の離職が多くなっています。

非正規職員では「50～59 歳」が 29 人と最も多く、「70～79 歳」（23 人）、「60～69 歳」（19 人）で、50 代～70 代の離職が多くなっています。（図表 1-9）

図表 1-9 離職当時の年代別

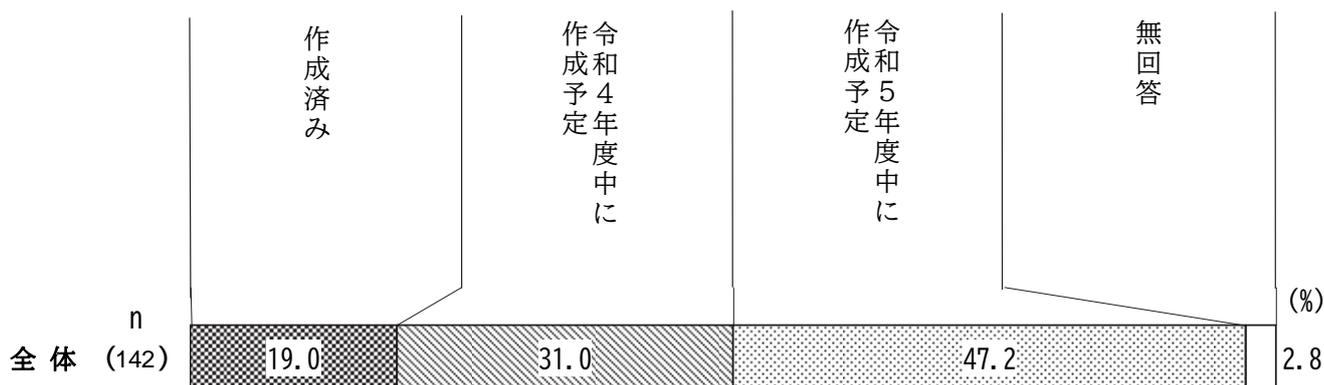
年齢 (離職当時)	離職者			
	正規職員		非正規職員	
	事業所数	合計人数	事業所数	合計人数
20歳未満	-	-	-	-
20～29歳	9	10	7	7
30～39歳	12	21	6	6
40～49歳	16	19	10	12
50～59歳	8	9	22	29
60～69歳	6	6	17	19
70～79歳	2	2	15	23
年齢不明	-	-	1	3

（6）BCP（業務継続計画）の作成状況

問3-1 BCP（業務継続計画）の作成状況について、お伺いします。（○は1つ）

BCP（業務継続計画）の作成状況としては、「令和5年度中に作成予定」が47.2%と最も多く、「令和4年度中に作成予定」(31.0%)、「作成済み」(19.0%)の順となっています。（図表1-10）

図表1-10 BCP（業務継続計画）の作成状況



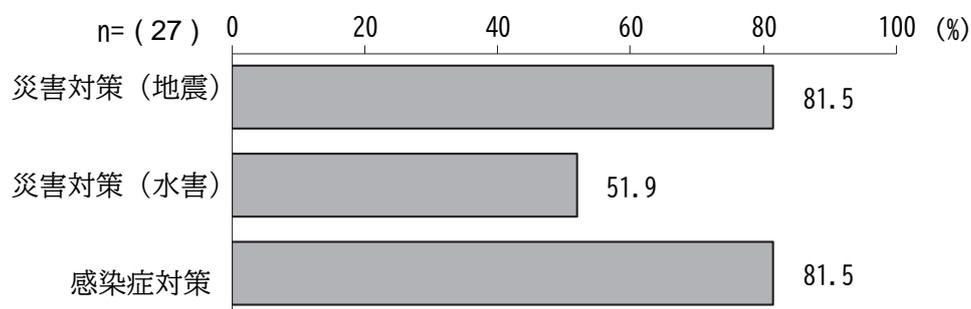
（7）作成済みのBCP（業務継続計画）

問3-2 問3-1で「1. 作成済み」を選んだ方にお伺いします。

作成したBCP（業務継続計画）すべてに○をつけてください。

作成したBCP（業務継続計画）としては、「災害対策（地震）」「感染症対策」が81.5%、「災害対策（水害）」(51.9%)となっています。（図表1-11）

図表1-11 作成済みのBCP（業務継続計画）



資料 調査票

杉並区高齢者に関する実態調査

□介護予防・日常生活圏域ニーズ調査□

令和4年10月

【調査ご協力のお願い】

日頃から杉並区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、杉並区では「杉並区高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画（令和5年度策定予定）」の基礎資料とすることを目的として、高齢者の方の生活実態と意向を把握する調査を実施することといたしました。

この調査は、令和4年10月1日現在、杉並区にお住まいの65歳以上の方（約5,000人）を対象に、お願いするものです。

調査票にはお名前をご記入いただく必要はありません。

ご回答いただいた内容は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のみに使用いたします。また、個人情報保護については万全を期すとともに、本調査で得られた情報につきましては、個人が特定される形での公表や、介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。

ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

ご回答いただいた調査票は、**11月4日（金）まで**に同封の返信用封筒（切手は不要です）にてご返送ください。

【調査実施主体】 杉並区 保健福祉部高齢者施策課 管理係

調査委託先 株式会社コクドリサーチ

高齢者に関する実態調査事務局

電話：0120-128-198

受付時間：月曜日～金曜日（平日）9:00～17:00

【調査票の記入にあたってのお願い】

- 1 ポールペンまたは鉛筆でご記入ください。
- 2 封筒のあて名ご本人についてお答えください。ご家族等がご本人と一緒に、またはご本人の代わりにご記入いただいてもかまいません。
- 3 質問文に記載のある「○は1つ」「あてはまるものすべてに○」などの説明にしたがって、番号に○をつけてご回答ください。また、「その他」にあてはまる場合は、() 内になるべく具体的に内容をご記入ください。
- 4 問22の設問は、ご本人ではなく、主に介護をしている方（ヘルパーやケアマネジャーを除く）にご記入ください。

調査票の記入者とご本人についておたずねします。

問1 調査票を記入される方は、どなたですか。封筒のあて名のご本人からみた関係でご回答ください。2人以上で記入される場合は主に記入される方をご記入ください。(〇は1つ)

- | | | |
|------------|----------|------------|
| 1. あて名のご本人 | 3. 子 | 5. 兄弟姉妹 |
| 2. 配偶者 | 4. 子の配偶者 | 6. その他 () |

※ 以下、質問の中の「あなた」は封筒のあて名の方になります。

問2 あなた(封筒のあて名ご本人)の性別を教えてください。(〇は1つ)

- | | | |
|-------|-------|--------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. どちらとは言えない |
|-------|-------|--------------|

問3 あなたの年齢を教えてください。(〇は1つ)

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 65～69歳 | 3. 75～79歳 | 5. 85～89歳 | 7. 95～99歳 |
| 2. 70～74歳 | 4. 80～84歳 | 6. 90～94歳 | 8. 100歳以上 |

問4 あなたのご家族や生活状況についてお伺いします。

- (1) 家族構成を教えてください。(〇は1つ)
- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. 1人暮らし | 4. 息子・娘との2世帯 |
| 2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) | 5. その他 |
| 3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) | (具体的に:) |

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(〇は1つ)

- | |
|--|
| 1. 介護・介助は必要ない |
| 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない |
| 3. 現在、何らかの介護・介助を受けている
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) |

「2」を選んだ方は「(2)-1」へ
「3」を選んだ方は「(2)-1」、「(2)-2」へ

【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方にお伺いします。】

(2)-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。
(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) | 9. 腎疾患(透析) |
| 2. 心臓病 | 10. 視覚・聴覚障害 |
| 3. がん(悪性新生物) | 11. 骨折・転倒 |
| 4. 呼吸器の病気(肺炎腫・肺炎等) | 12. 脊椎損傷 |
| 5. 関節の病気(リウマチ等) | 13. 高齢による衰弱 |
| 6. 認知症(アルツハイマー病等) | 14. その他(具体的に:) |
| 7. パーキンソン病 | 15. 不明 |
| 8. 糖尿病 | |

【3. 現在、何らかの介護・介助を受けている」を選んだ方にお伺いします。】

(2)-2 主にどなたの介護、介助を受けていますか。
(あてはまるものすべてに〇)

- | | | |
|-------------|----------|----------------|
| 1. 配偶者(夫・妻) | 4. 子の配偶者 | 7. 介護サービスのヘルパー |
| 2. 息子 | 5. 孫 | 8. その他 |
| 3. 娘 | 6. 兄弟・姉妹 | (具体的に:) |

ここからは全員にお聞きします>

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。
(〇は1つ)

- | | | |
|----------|-------------|-------------|
| 1. 大変苦しい | 3. 心つつ | 5. 大変ゆとりがある |
| 2. やや苦しい | 4. ややゆとりがある | |

(4) 昨年1年間の世帯(同居するご家族すべてを含む)の収入はどのくらいでしたか。(〇は1つ)

- | | | |
|----------------|------------------|--------------|
| 1. 100万円未満 | 4. 400～600万円未満 | 7. 1,000万円以上 |
| 2. 100～200万円未満 | 5. 600～800万円未満 | 8. 収入なし |
| 3. 200～400万円未満 | 6. 800～1,000万円未満 | 9. わからない |

(5) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

- 1. 持家 (一戸建て)
- 2. 持家 (集合住宅)
- 3. 公営賃貸住宅
- 4. 民間賃貸住宅 (一戸建て)
- 5. 民間賃貸住宅 (集合住宅)
- 6. 借家
- 7. その他 (具体的に:)

(6) 介護が必要になった場合に希望する(今、介護を受けている方は理想だ)と思う 居住形態について一番近いものはどれですか。(○は1つ)

- 1. 現在の住まいで介護サービスを受けて、できるだけ住み続けたい
- 2. 子や兄弟姉妹のところに移りたい
- 3. 様々な事業者が独自に運営する「介護付き有料老人ホーム」に入りたい
- 4. 介護度が高くなっても所得に応じた費用で入所できる「特別養護老人ホーム」に入りたい
- 5. 身近な地域で他の入居者と共同生活する「認知症高齢者グループホーム」に入りたい
- 6. 見守りや食事などが提供される「サービス付き高齢者向け住宅」に入りたい
- 7. その他 (具体的に:)
- 8. わからない

【(6)で「3」、「4」、「5」、「6」を選んだ方にお伺いします。】
 (6)-1 家賃・介護費用など、一月いくらまで負担可能ですか。
 (○は1つ)

- 1. 10万円未満
- 2. 10～15万円未満
- 3. 15～20万円未満
- 4. 20～25万円未満
- 5. 25～30万円未満
- 6. 30万円以上
- 7. わからない

<ここからは全員にお聞きします>

問5 からだを動かすことについてお伺いします。
 次の(1)～(7)の全ての項目について、あてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

	いずれかに必ず○をつける
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(3) 15分位続けて歩いていきますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
(5) 転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない
(6) 週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない

(8) 外出を控えていますか。(〇は1つ)

1. はい 2. いいえ

【(8)で「1. はい」(外出を控えている)を選んだ方にお伺いします。】

(8)-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。

(あてはまるものすべてに〇)

- 1. 病気
- 2. 障害 (脳卒中^{のまっせうちゅう}の後遺症^{こういししょう}など)
- 3. 足腰などの痛み
- 4. トイレの心配 (失禁など)
- 5. 耳の障害 (聞こえの問題など)
- 6. 目の障害
- 7. 外での楽しみがない
- 8. 経済的に出られない
- 9. 交通手段がない
- 10. その他 (具体的に:)

(9) 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

- 1. 徒歩
- 2. 自転車
- 3. バイク
- 4. 自動車 (自分で運転)
- 5. 自動車 (人に乗せてもらう)
- 6. 電車
- 7. 路線バス
- 8. 病院や施設のバス
- 9. 車いす
- 10. 電動車いす (カート)
- 11. 歩行器・シルバーカー
- 12. タクシー
- 13. その他 (具体的に:)

<ここからは全員にお聞きします>

問6 食べることについてお伺いします。

(1) 身長・体重をご記入ください。(整数でお答えください)

身長 cm 体重 kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(〇は1つ)

1. はい 2. いいえ

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。(〇は1つ)

1. はい 2. いいえ

(4) 口の渇きが気になりますか。(〇は1つ)

1. はい 2. いいえ

(5) 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか。(〇は1つ)

1. はい 2. いいえ

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です) (〇は1つ)

- 1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
- 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
- 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
- 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

(6)-1 噛み合わせはよいですか。(〇は1つ)

1. はい 2. いいえ

【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」、「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方にお伺いします。】

(6)-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(〇は1つ)

1. はい 2. いいえ

<ここからは全員にお聞きします>

(7) 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか。(〇は1つ)

1. はい 2. いいえ

(8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(〇は1つ)

- 1. 毎日ある
- 2. 週に何度かある
- 3. 月に何度かある
- 4. 年に何度かある
- 5. ほとんどない

問7 毎日の生活についてお伺いします。

次の(1)～(16)の全ての項目について、あてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

	いずれかに必ず○をつける
(1) 物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	1. はい 2. いいえ
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい 2. いいえ
(4) バスや電車をを使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	1. できるし、している 2. できるけどしていません 3. できない
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていません 3. できない
(6) 自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていません 3. できない
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていません 3. できない
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていません 3. できない
(9) 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか	1. はい 2. いいえ
(10) 新聞を読んでいますか	1. はい 2. いいえ
(11) 本や雑誌を読んでいますか	1. はい 2. いいえ
(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい 2. いいえ
(13) 友人の家を訪ねていますか	1. はい 2. いいえ

次ページに続きます。

	いずれかに必ず○をつける
(14) 家族や友人の相談に乗っていますか	1. はい 2. いいえ
(15) 病人を見舞うことができますか	1. はい 2. いいえ
(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい 2. いいえ

(17) 趣味はありますか。(○は1つ)

1. 趣味あり → (具体的に:)
2. 思いつかない

(18) 生きがいがありますか。(○は1つ)

1. 生きがいあり → (具体的に:)
2. 思いつかない

問8 地域での活動についてお伺いします。

(1) 以下のような会・グループ等どのくらいの頻度で参加していますか。
 ※①～⑧それぞれに1つずつ回答してください。

	週				年に 数回	参加 しない として
	週 4回 以上	週 2 ～ 3回	週 1 回	月 1 ～ 3回		
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ (公園から歩く会、わがまち一番体操、足障げんき教室など) 介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ いきいきクラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

1. 是非参加したい	3. 参加したくない
2. 参加してもよい	4. 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

1. 是非参加したい	3. 参加したくない
2. 参加してもよい	4. 既に参加している

問9 たすけあいについてお伺いします。
 (あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします。)

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人を教えてください。
 (あてはまるものすべてに〇)

1. 配偶者	5. 近隣
2. 同居の子ども	6. 友人
3. 別居の子ども	7. その他(具体的に:)
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人を教えてください。
 (あてはまるものすべてに〇)

1. 配偶者	5. 近隣
2. 同居の子ども	6. 友人
3. 別居の子ども	7. その他(具体的に:)
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8. そのような人はいない

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人を教えてください。(あてはまるものすべてに〇)

1. 配偶者	5. 近隣
2. 同居の子ども	6. 友人
3. 別居の子ども	7. その他(具体的に:)
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8. そのような人はいない

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人を教えてください。
 (あてはまるものすべてに〇)

1. 配偶者	5. 近隣
2. 同居の子ども	6. 友人
3. 別居の子ども	7. その他(具体的に:)
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8. そのような人はいない

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
 (あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-----------------------------|
| 1. 自治会・町内会・いきいきクラブ | 5. 地域包括支援センター(ケア24)
・区役所 |
| 2. 社会福祉協議会・民生委員 | 6. その他(具体的に:) |
| 3. ケアマネジャー | 7. そのような人はいない |
| 4. 医師・歯科医師・看護師 | |

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいか教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| 1. 毎日ある | 3. 月に何度かある | 5. ほとんどない |
| 2. 週に何度かある | 4. 年に何度かある | |

(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。
 同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(○は1つ)

- | | | |
|------------|---------|----------|
| 1. 0人(いない) | 3. 3~5人 | 5. 10人以上 |
| 2. 1~2人 | 4. 6~9人 | |

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人が教えてください。
 (あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 近所・同じ地域の人 | 5. 趣味や関心が同じ友人 |
| 2. 幼なじみ | 6. ボランティア等の活動での友人 |
| 3. 学生時代の友人 | 7. その他(具体的に:) |
| 4. 仕事での同僚・元同僚 | 8. いない |

問10 日中、ひとりになることがありますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|----------|-------|
| 1. よくある | 2. たまにある | 3. ない |
|---------|----------|-------|

問11 健康についてお伺いします。

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

- | | | | |
|----------|---------|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい | 3. あまりよくない | 4. よくない |
|----------|---------|------------|---------|

(2) あなたは、現在のどの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点とし、該当する点数に○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| とても不幸 | とても幸せ |
| 0点 | 10点 |
| 1点 | 2点 |
| 3点 | 4点 |
| 5点 | 6点 |
| 7点 | 8点 |
| 9点 | 10点 |

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(5) お酒は飲みますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. ほぼ毎日飲む | 3. ほとんど飲まない |
| 2. 時々飲む | 4. もともと飲まない |

(6) タバコは吸っていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 3. 吸っていたがやめた |
| 2. 時々吸っている | 4. もともと吸っていない |

問11 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1. ない | 11. 外傷 (転倒・骨折等) |
| 2. 高血圧 | 12. がん (悪性新生物) |
| 3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) | 13. 血液・免疫の病気 |
| 4. 心臓病 | 14. うつ病 |
| 5. 糖尿病 | 15. 認知症(アルツハイマー病等) |
| 6. 高脂血症 (脂質異常) | 16. パーキンソン病 |
| 7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) | 17. 目の病気 |
| 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 | 18. 耳の病気 |
| 9. 腎臓・前立腺の病気 | 19. その他 |
| 10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) | (具体的に：) |

問12 主治医はいますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問13 現在、通院 (病院・診療所) や訪問診療 (往診含む) で診療を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------|
| 1. 通院している |
| 2. 訪問診療 (往診含む) を受けている |
| 3. 診療を受けていない |

問14 スマートフォンまたは「3」を選んだ方にお伺いします。

(1) 通院が困難な患者さんのお宅に、医師が定期的に診療に伺い、計画的に健康管理を行う「訪問診療」を知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問15 ここからは全員にお聞きします。

問16 スマートフォンの利用状況についてお伺いします。

(1) 携帯電話・スマートフォンを使っていますか。(○は1つ)

- | |
|-----------------------|
| 1. 携帯電話 (ガラケー) を使っている |
| 2. スマートフォンを使っている |
| 3. 持っているけど使っていない |
| 4. 持っていない |

問17 【(1) で「1」、「2」を選んだ方にお伺いします。】

(1) -1 あなたは普段、携帯電話・スマートフォンのどのような機能を使っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 電話のみ使用 |
| 2. メールを使用 |
| 3. SNS (Twitter, Facebook, LINEなど) で使用 |
| 4. 電子決済 (Suica, PayPayなど) で使用 |
| 5. YouTubeなどの動画サイトの閲覧で使用 |
| 6. インターネットの閲覧で使用 |
| 7. ネットショッピングで使用 |
| 8. その他 (具体的に：) |

<ここからは全員にお聞きします>

問15 新型コロナウイルス感染症に関して伺います。

コロナ禍以前と比べて、生活の変化はありますか。あてはまるものに
それぞれ1つずつ○をつけてください。

	いずれかに必ず○をつける		
	1. 増えた	2. 減った	3. 変わらない
(1) 外出の頻度	1. 増えた	2. 減った	3. 変わらない
(2) 通院の機会	1. 増えた	2. 減った	3. 変わらない
(3) 人と会う機会	1. 増えた	2. 減った	3. 変わらない
(4) スマートフォンや インターネットの利用	1. 増えた	2. 減った	3. 変わらない
(5) 介護保険サービスや 高齢者住宅サービスの 利用	1. 増えた	2. 減った	3. 変わらない



問16 仕事について伺います。

(1) あなたは、現在、収入のある仕事をしていますか。(○は1つ)

1. 仕事をしている
2. 仕事をしていない ⇒ (1)-3へ

【(1)で「1. 仕事をしている」を選んだ方にお伺いします。】

(1)-1 それはどのような仕事ですか。(○は1つ)

1. 正規の職員・従業員 4. 自営業
2. 契約・パート・臨時・派遣 5. 会社役員
3. シルバー人材センターの会員 6. その他(具体的に:)

【(1)で「1. 仕事をしている」を選んだ方にお伺いします。】

(1)-2 あなたが仕事をしている理由はなんですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 収入を得たいから 5. 持っている能力をいかしたいから
2. 健康に良いから 6. 何もしないでいると退屈だから
3. 生きがいを得たいから 7. 社会の役に立ちたいから
4. 社会とつながっていたいから 8. その他(具体的に:)

【(1)で「2. 仕事をしていない」を選んだ方にお伺いします。】

(1)-3 週に何日程度であれば働きたいですか。(○は1つ)

1. 週5日以上 5. 不定期
2. 週3・4日 6. 働きたくない
3. 週1・2日 7. 働けない
4. 1か月に1日

<ここからは全員にお聞きします>

問17 長寿応援ポイント事業についてお伺いします。

(1) 区が実施している長寿応援ポイント事業を知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている 2. 知らない

【(1)で「1. 知っている」を選んだ方にお伺いします。】

(1)-1 長寿応援ポイント事業登録団体による活動への参加状況を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 地域貢献活動(防犯、環境、清掃などのボランティア活動)に参加している
 2. 生きがい活動(趣味、教養、スポーツ、健康増進などのグループ活動)に参加している
 3. 区が実施する健康増進、介護予防事業、地域貢献学習に参加している
 4. 以前は参加していたが今はどの活動にも参加していない
 5. 参加したことがない ⇒ (1)-1-2へ

【(1)-1で「1~3に参加している」を選んだ方にお伺いします。】

(1)-1-1 参加の主な目的はなんですか。(○は1つ)

1. 外出の機会、仲間を増やすため 4. ポイントシールをためるため
 2. 健康の維持、増進のため 5. その他
 3. 地域とのつながりをつくるため (具体的に：)

【(1)-1で「5. 参加したことがない」を選んだ方にお伺いします。】

(1)-1-2 参加したことがない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 登録団体手続きが面倒なため
 2. 既存団体への個人参加に抵抗があるため
 3. ポイントシールをためることに興味がないため
 4. その他(具体的に：)

<ここからは全員にお聞きします>

問18 ここ半年間に、高齢者在宅サービス(区の独自サービス)を利用したことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. いつでもお助けサービス(一時的に家事援助が必要な場合にホームヘルパーを派遣)
 2. 寝具洗濯乾燥サービス
 3. 住宅改修給付事業(手すりの取付けや便器の洋式化等の給付)
 4. 家具転倒防止器具取付け(無料)
 5. ほっと一息、介護者ヘルプ(家事代行ホームヘルパー派遣利用券の給付)
 6. 徘徊高齢者探索システム(GPS通信を使って高齢者の居場所を探索)
 7. 認知症高齢者家族安らぎ支援(ボランティアによる傾聴サービス)
 8. 高齢者緊急通報システム(急病時に救急ボタンを押し救急車を要請)
 9. 高齢者安心コール(電話訪問による安否確認、健康相談)
 10. 高齢者火災安全システム(電磁調理器等の給付)
 11. ここ半年間に、これらのサービスを利用したことがない

問19 介護予防や認知症予防のために、あなたにとって最も必要と思われる福祉用具等の給付や助成のサービスはどれですか。(○は1つ)

1. シルバーカー
 2. 杖(特殊杖を除く)
 3. 歩行用補助杖(特殊杖)
 4. 歩行器
 5. 補聴器(医師の診断によるもの)
 6. 手すりの取付けや便器の洋式化工事
 7. 手すりやスロープ(工事不要のもの)
 8. 腰掛便座(据置式便座・補高便座・ポータブルトイレ)
 9. 入浴補助用具(入浴用いす・浴槽用手すり・浴槽用いす・入浴台・浴室内すのこ・浴槽内すのこ)
 10. 特になし

問20 介護保険サービスの利用や制度についてお伺いします。

(1) 現在の認定状況を教えてください。(〇は1つ)

- 1. 要支援1
- 2. 要支援2

3. 介護保険認定は受けていない(非該当である)

【(1)で「1. 要支援1」と「2. 要支援2」を選んだ方にお伺いします。】

(1)-1 介護保険サービスを利用していますか。(〇は1つ)

- 1. 利用している
- 2. 利用していない

【(1)-1で「2. 利用していない」を選んだ方にお伺いします。】

(1)-1-1 サービスを利用していない理由を教えてください。
(あてはまるものすべてに〇)

- 1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
- 2. 本人にサービス利用の希望がない
- 3. 家族が介護をするため必要ない
- 4. 以前、利用していたサービスに不満があった
- 5. 利用料を支払うのが難しい
- 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
- 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
- 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない
- 9. 新型コロナウイルス感染症への不安がある

<ここからは全員にお聞きします>

(2) 介護サービスと介護保険料のあり方について、ご本人のお考えにもっとも近いものはどれですか。(〇は1つ)

- 1. 介護保険料が多少高くなっても、介護サービスを充実してほしい
- 2. 介護保険料が高くなるなら、サービスは現状のままでよい
- 3. サービスを抑えても、介護保険料は安くしてほしい
- 4. その他(具体的に：)

問21 今後、高齢者のためにどのような施策を充実したらよいと思いますか。具体的な内容があれば「その他」にご記入ください。(あてはまるものすべてに〇)

- 1. 高齢者の生きがい活動の支援
- 2. 健康づくり・介護予防の支援
- 3. 緊急時にすぐに医療サービスが受けられる体制づくり
- 4. 困ったときに相談できる体制づくり
- 5. 在宅での生活を支える医療・介護サービスの充実
- 6. 高齢者を地域で見守る体制の充実
- 7. 認知症高齢者や家族の支援
- 8. 家族介護者への支援
- 9. 高齢者虐待防止の対策
- 10. 高齢者の権利擁護の充実
- 11. 特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホームなどの介護施設の整備
- 12. 高齢者の生活に配慮した住宅の整備
- 13. NPOや近所の人による生活支援のサービス
- 14. その他(具体的に：)



その他

介護保険制度、保健福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などがございましたら、自由にお書きください。

Blank lined area for writing additional comments.

ご協力いただき、ありがとうございました。
ご回答いただきました調査票は三つ折りにして、同封の返信用封筒(切手は不要です)にて11月4日(金)までにご返送ください。
なお、この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。

以下の問22は、封筒のあて名ご本人を介助・介護している方におたずねします。
介助・介護を受けられていない方は、その他のご意見・ご要望の記入欄へお進みください。

問22 介護のことで困ったとき、どなたに相談していますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1. ご本人の家族や親族
- 2. 隣近所の人
- 3. 友人・知人
- 4. 医師・看護師等
- 5. 社会福祉協議会・民生委員
- 6. 地域包括支援センター(ケア24)
- 7. ケアマネジャー
- 8. ヘルパーなど介護保険サービス事業者
- 9. その他(具体的に:)
- 10. 相談する相手がない



杉並区高齢者に関する実態調査

要介護認定者に関する実態調査

令和4年9月

【調査ご協力をお願い】

日頃から杉並区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
このたび、杉並区では「杉並区高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画
(令和5年度策定予定)」の基礎資料とすることを目的として、高齢者の方の生活
実態と意向を把握する調査を実施することといたしました。

この調査は、令和4年9月1日現在、杉並区にお住まいの要介護認定を受けて
いる方(約2,500人)を対象に、お願いするものです。

調査票にはお名前をご記入いただく必要はありません。また、個人情報保護に
は万全を期すとともに、ご回答いただいた内容は統計情報の作成のみに使用いた
します。個人が特定される形の公表や、他の目的での使用はいたしません。

ご回答いただいた調査票は、**10月7日(金)まで**に同封の返信用封筒
(切手は不要です)にてご返送ください。

【調査実施主体】 杉並区 保健福祉部介護保険課 管理係

株式会社コクドリサ一子

高齢者に関する実態調査事務局

電話：0120-128-198

受付時間：月曜日～金曜日(平日)9:00～17:00

調査委託先

問合せ先

【調査票の記入にあたってのお願い】

1. ボールペンまたは鉛筆で記入してください。
2. 封筒のあて名ご本人についてお答えください。ご家族等がご本人と
一緒に、またはご本人の代わりにご記入いただいてもかまいません。
3. 質問文に記載のある「○は1つ」「あてはまるものすべてに○」な
どの説明にしたがって、番号に○をつけてご回答ください。
また、「その他」にあてはまる場合は、()内になるべく具体的に内
容をご記入ください。
4. 問21から問34の設問は、ご本人ではなく、主に介護をしている方
(ヘルパーやケアマネジャーを除く)がご記入ください。

調査票の記入者とご本人についておたずねします。

問1 調査票を記入される方は、どなたですか。封筒のあて名のご本人から
みた関係でご回答ください。2人以上で記入される場合は主に記入され
る方をご記入ください。(○は1つ)

1. あて名のご本人
2. 配偶者
3. 子
4. 子の配偶者
5. 兄弟姉妹
6. その他()

※ 以下、質問の中の「あなた」は封筒のあて名の方になります。

問2 あなたは今どちらにいらっしゃいますか。(○は1つ)

1. 自宅
(シヨーステイも含む)
2. 区内の親族等の家
3. 入院中
4. 区外へ転出
5. 介護施設に入所
6. その他(具体的に：)

3～6にお答えの方は、これで調査は終了です。
ありがとうございました。調査票をご返送ください。
なお、ご意見・ご要望などございましたら、
11頁「その他」にご記入ください。

あなた（あて名の方）についておたずねします。

問3 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

1. 男性 2. 女性 3. どちらとは言えない

問4 あなたの年齢はおいくつですか。(○は1つ)

1. 65～69歳 4. 80～84歳 7. 95～99歳
 2. 70～74歳 5. 85～89歳 8. 100歳以上
 3. 75～79歳 6. 90～94歳

問5 一緒に暮らしている家族の構成を教えてください。(○は1つ)

1. 一人暮らし
 2. 夫婦のみの世帯（配偶者は65歳以上）
 3. 夫婦のみの世帯（配偶者は64歳以下）
 4. 世帯全員が65歳以上の世帯（夫婦のみの世帯は除く）
 5. 子と同居の世帯
 6. 子ども世帯と同居の世帯
 7. その他の世帯

問6 現在の要介護度を教えてください。(有効期間が切れている場合、切れる前の要介護度を記入してください。)(○は1つ)

1. 要介護1 3. 要介護3 5. 要介護5
 2. 要介護2 4. 要介護4

問7 認知症の症状に不安を感じたり、認知症と言われたりしたことがありますか。(○は1つ)

1. ある 2. ない

問8 生活の中で不安に思ったとき、どなた（どこ）に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族や親族 6. 地域包括支援センター（ケア24）
 2. 友人・知人 7. ヘルパーなど介護保険サービス事業者
 3. ケアマネジャー 8. その他
 4. 社会福祉協議会・民生委員（具体的に：)
 5. 医師・看護師等 9. 相談する相手がいない

問9 現在、通院（病院・診療所）や訪問診療（往診含む）で診療を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 通院している
 2. 訪問診療（往診含む）を受けている
 3. 診療を受けていない

【問9で「1」と「3」を選んだ方にお伺いします。】

問9-1 通院が困難な患者さんのお宅に、医師が定期的に診療に伺い、計画的に健康管理を行う「訪問診療」を知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている 2. 知らない

サービスの利用状況についておたずねします。

<ここからは全員にお聞きします>

問10 令和4年8月中に、介護保険サービスを利用しましたか。(○は1つ)

1. 利用した 2. 利用していない

【問10で「2. 利用していない」を選んだ方にお伺いします。】

問10-1 8月の時点で、介護保険サービスを利用していない理由で、ご本人のお考えに近いものはどれですか。(○は2つまで)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
 2. 本人にサービス利用の希望がない
 3. 家族が介護をするための必要ない
 4. 以前、利用していたサービスに不満があった
 5. 利用料を支払うのが難しい
 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない
 9. 新型コロナウイルス感染症への不安がある

＜ここからは全員にお聞きします＞

問11 ここ半年間に、高齢者在宅サービス（区の独自サービス）を利用したことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. おむつ等の支給・おむつ代金の助成
2. 訪問美容サービス（理美容師の出張利用券の給付）
3. 高齢者緊急通報システム（急病時に救急ボタンを押し救急車を要請）
4. ほっと一息、介護者ヘルプ（家事代行ホームヘルパー派遣利用券の給付）
5. 寝具洗濯乾燥サービス
6. 家具転倒防止器具取付け（無料）
7. 認知症高齢者家族安らぎ支援（ボランティアによる傾聴サービス）
8. 高齢者安心コール（電話訪問による安否確認、健康相談）
9. 高齢者火災安全システム（電磁調理器等の給付）
10. 徘徊高齢者探索システム（GPS通信を使って高齢者の居場所を探索）
11. ここ半年間に、これらのサービスを利用したことがない

お住まいについておたずねします。

問12 現在のお住まいは次のうちどれですか。（○は1つ）

1. 持ち家（戸建て）
2. 持ち家（マンション等）
3. 賃貸（戸建て）
4. 民間の賃貸マンション
5. 民間の賃貸アパート
6. みどりの里・シルバピア
7. 6以外の区営・都営アパート
8. 公団・公社の賃貸住宅
9. 高齢者対応の住宅やマンション
10. その他（具体的に： _____）

問13 現在のお住まいは、介護を受けながら在宅生活を送るのに適していると思いますか。（○は1つ）

1. 思う
2. 思わない ⇒ 問13-1ハ

【問13で「2. 思わない」を選んだ方にお伺いします。】

問13-1 在宅生活に適していると思わない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. ご本人専用の部屋がない
2. 階段の昇り降りが困難である
3. 部屋がせまく、介護用品（ベッド、車いす等）を置くスペースがない
4. 玄関、廊下、階段、トイレ、浴室などに手すりがない
5. 玄関、廊下、トイレ、浴室などに段差がある
6. 玄関、部屋などの扉の開閉が困難である
7. トイレが洋式でない
8. 流し台が使いにくい
9. 浴槽が使いにくい
10. その他（具体的に： _____）

施設の入所についておたずねします。

＜ここからは全員にお聞きします＞

問14 特別養護老人ホームや認知症グループホーム、有料老人ホーム等に入所（居）希望がありますか。（○は1つ）

1. 現在、施設入所を申し込んでいる
2. 将来的には施設入所を考えたい
3. 施設への入所希望はない
4. わからない

【問14で「1」と「2」を選んだ方にお伺いします。】

問14-1 入所したいとお考えの理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 介護をする家族の心身の負担が大きい
2. 介護をする家族や親族がいない
3. 専門的なリハビリ等が必要
4. 整った設備と専門職員がいる中で長期療養が必要
5. 在宅のサービス利用による経済的な負担が大きい
6. 在宅生活では、夜間や緊急時の対応が不安である
7. 現在の住まいがアパート等で、今後住み続けられないかもしれない
8. その他（具体的に： _____）

介護保険制度についておたずねします。

<ここからは全員にお聞きします>

問15 介護保険サービス全般の内容に満足していますか。(○は1つ)

- 1. 満足している
- 2. おおむね満足している
- 3. ふつうである
- 4. 少し不満がある
- 5. 不満である
- 6. わからない

問16 現在の介護保険料をどのように感じていますか。(○は1つ)

- 1. 非常に負担である
- 2. 多少負担である
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり負担ではない
- 5. まったく負担ではない
- 6. いくら払っているかわからない

問17 介護サービスと介護保険料のあり方について、ご本人のお考えにもっとも近いものはどれですか。(○は1つ)

- 1. 介護保険料が多少高くなっても、介護サービスを充実してほしい
- 2. 介護保険料が高くなるなら、サービスは現状のままでよい
- 3. サービスを抑えても、介護保険料は安くしてほしい
- 4. その他 (具体的に：)

問18 介護保険サービス利用の費用について、区から2回お知らせを送付していますが、内容を確認していますか。(○は1つ)

- 1. 確認している
- 2. 多少は確認している
- 3. 通知が来ていることは知っているが内容は見ていない
- 4. 知らない

問19 今後、区が力を入れていくべきと思うものは何ですか。(○は3つまで)

- 1. 介護サービス利用者や家族を支援する情報提供の充実
- 2. 介護サービス利用にかかる相談や苦情解決への対応
- 3. 介護サービスを評価する仕組みづくり
- 4. 在宅での生活が続けられるよう医療、福祉、介護サービスの充実
- 5. 特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実
- 6. 介護支援専門員(ケアマネジャー)やホームヘルパーなど人材の確保・定着・育成
- 7. 低所得者への対応策
- 8. 介護保険制度の普及啓発
- 9. 医療や介護の連携、介護サービスの質の向上に向けた事業者等への支援
- 10. できるだけ介護が必要にならないような健康づくりと介護予防の推進
- 11. その他 (具体的に：)
- 12. 特になし

新型コロナウイルス感染症に関しておたずねします。

問20 コロナ禍以前と比べて、生活の変化はありますか。(あてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください)

	いずれか1つに○をつける		
	1. 増えた	2. 減った	3. 変わらない
(1) 外出の頻度	1. 増えた	2. 減った	3. 変わらない
(2) 通院の機会	1. 増えた	2. 減った	3. 変わらない
(3) 人と会う機会	1. 増えた	2. 減った	3. 変わらない
(4) スマートフォンやインターネットの利用	1. 増えた	2. 減った	3. 変わらない
(5) 介護保険サービスや高齢者在宅サービスの利用	1. 増えた	2. 減った	3. 変わらない

以下の問21～問34までは、主に介護をしている方についておたずねします。(ヘルパーやケアマネジャーを除く)

- 問21 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)
1. 男性 2. 女性 3. どちらとも言えない
- 問22 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)
1. 20歳未満 ⇒ (歳) 7. 60～64歳
 2. 20～29歳 8. 65～69歳
 3. 30～39歳 9. 70～74歳
 4. 40～49歳 10. 75～79歳
 5. 50～54歳 11. 80～84歳
 6. 55～59歳 12. 85歳以上
- 問23 ご本人からみた続柄をお答えください。(○は1つ)
1. 配偶者 3. 子の配偶者 5. その他
 2. 子 4. 孫 (具体的に:)
- 問24 ご本人との同居の状況をお答えください。(○は1つ)
1. 同居 2. 別居
- 問25 介護の時間帯をお答えください。(○は1つ)
1. 日中・夜間とも 3. 主に夜間
 2. 主に日中 4. その他 (具体的に:)
- 問26 介護の年数をお答えください。(○は1つ)
1. 1年未満 3. 3年～5年未満 5. 10年以上
 2. 1年～3年未満 4. 5年～10年未満

問27 介護や家事以外に行っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子育て 4. 学業
 2. 就労 (フルタイム) 5. その他
 3. 就労 (パートタイム) (具体的に:)
 6. 特になし

【問27で「1. 子育て」を選んだ方にお伺いします。】

- 問27-1 対象児童、生徒の年齢をお答えください。(あてはまるものすべてに○)
1. 0歳～3歳 2. 4歳～6歳 3. 小学生 4. 中学生以上

【問27で「2」と「3」を選んだ方にお伺いします。】

- 問27-2 職場で介護休暇制度など※を利用していますか。(○は1つ)
- ※ 介護のための短時間勤務制度、介護休暇、介護休業等
1. 利用中 3. 制度を知らない
 2. 利用したことがある 4. 介護休暇制度がない

【同様に、問27で「2」と「3」を選んだ方にお伺いします。】

問27-3 今後も就労しながら介護を続けていけそうですか。(○は1つ)

1. 問題なく、続けていける
 2. 問題はあるが、何とか続けていける
 3. 続けていくのは、やや難しい
 4. 続けていくのは、かなり難しい
 5. その他 (具体的に:)
 6. わからない

<ここからは全員にお聞きします>

問28 主に介護をしている方以外に、介護やお世話をする方 (ヘルパーを除く) はいいますか。(○は1つ)

1. 同程度に介護やお世話をしてくれる人がいる
 2. 多少は介護やお世話をしてくれる人がいる
 3. 他に介護やお世話をしてくれる人はいない

問29 介護保険サービスを利用して、介護にかかる負担が軽減されたと感じることはありますか。(○は1つ)

1. 非常に感じる
2. 多少は感じる
3. あまり感じない
4. 感じない
5. どちらともいえない
6. サービスは利用していない

問30 介護保険サービス全般の内容は満足できますか。(○は1つ)

1. 満足している
2. おおむね満足している
3. ふつうである
4. 少し不満がある
5. 不満である
6. わからない

問31 介護のことで困ったとき、どなたに相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ご本人の家族や親族
2. 隣近所の人
3. 友人・知人
4. 医師・看護師等
5. 社会福祉協議会・民生委員
6. 地域包括支援センター(ケア24)
7. ケアマネジャー
8. ヘルパーなど介護保険サービス事業者
9. 学校の先生
10. その他(具体的に:)
11. 相談する相手がいない

問32 介護者が必要とするサービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護者が休息できるように、高齢者を数日間施設で介護する宿泊サービス
2. 介護者が外出するときなどに、高齢者を施設で介護する日帰りサービス
3. 介護者が息抜きできるように、代わりに見守りを行うサービス
4. 介護者が疲れたときに、家事などを援助するサービス
5. 介護相談やサービスの紹介・手続きの代行
6. 介護者のための健康相談・健診の機会
7. 介護者同士が情報交換できる場
8. その他(具体的に:)

問33 最近6か月の間に、介護が原因でご本人と衝突したことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 相手を侮辱するような言葉を言ったり、威圧的な態度をとったりしたことがある
2. 介護やお世話を放棄してしまったことがある
3. 相手を殴ったり蹴ったりしてしまったりしたことがある
4. その他の行為(具体的に:)
5. ない

問34 これからも在宅で介護を続けていけると思いますが。(○は1つ)

1. 負担なくやっていけると思う
2. 何とかやっていけると思う
3. これ以上負担が重くならなければやっていけると思う
4. 既に、やっていけない状況にあると思う
5. わからない

その他

介護保険制度、保健福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などございましたら、自由にお書きください。

ご協力いただき、ありがとうございました。
ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手は不要です)にて**10月7日(金)まで**にご返送ください。なお、この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。

在宅介護実態調査 調査票

【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】(複数選択可)

1. 調査対象者本人
2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族
4. 調査対象者のケアマネジャー
5. その他

A 票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

問1 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ世帯
3. その他

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

1. ない
2. 家族・親族の介護はあるが、週1日より少ない
3. 週に1～2日ある
4. 週に3～4日ある
5. ほぼ毎日ある

問3 主な介護者の方は、どなたですか(1つを選択)

1. 配偶者
2. 子
3. 子の配偶者
4. 孫
5. 兄弟・姉妹
6. その他

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(1つを選択)

1. 男性
2. 女性

問5 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数回答可)

1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)
3. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

1. 入所・入居は検討していない
2. 入所・入居を検討している
- 3.すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

B 票 主な介護者、もしくはご本人様に関き取ってご回答頂く項目

※主な介護者様、もしくはご本人様に関き取ってご回答(調査票の該当する番号に○)をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

1. フルタイムで働いている
2. パートタイムで働いている
3. 働いていない
4. 主な介護者に確認しないと、わからない

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に対して短い方が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1」「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけるかどうか(1つを選択)

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

杉並区高齢者に関する実態調査

特別養護老人ホーム入所希望者実態調査

令和4年7月

【調査ご協力をお願い】

日頃から杉並区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。このたび、杉並区では「杉並区高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画（令和5年度策定予定）」及び「杉並区特別養護老人ホーム整備方針」の基礎資料とすることを目的として、高齢者の方の生活実態と意向を把握する調査を実施することといたしました。

この調査は、令和4年6月末時点で特別養護老人ホーム入所申込書を提出されている方（約650人）を対象に、お願いするものです。

この調査は入所申込書及び入所申込者状況票ではありません。また、この調査により第一次評価の結果が変わるものではありません。

調査票にはお名前をご記入いただく必要はありません。また、個人情報保護には万全を期すとともに、ご回答いただいた内容は統計情報の作成のみに使用いたします。個人が特定される形の公表や、他の目的での使用はいたしません。

ご回答いただいた調査票は、**8月17日（水）まで**に同封の返信用封筒（切手は不要です）にてご返送ください。

※ご記入方法が分からない時は、ケアマネジャーにご相談ください。

【調査実施主体】 杉並区 保健福祉部高齢者在宅支援課 施設入所係

株式会社コクドリサニー子

高齢者に関する実態調査事務局

電話：0120-128-198

受付時間：月曜日～金曜日（平日）9:00～17:00

【調査票の記入にあたってのお願い】

- 1 ボールペンまたは鉛筆でご記入ください。
- 2 入所希望者ご本人についてお答えください。ご家族やケアマネジャー等がご本人と一緒に、またはご本人の代わりにご記入いただいてもかまいません。
- 3 質問文に記載のある「○は1つ」「あてはまるものすべてに○」などの説明にしたがって、番号に○をつけてご回答ください。また、「その他」にあてはまる場合は、（ ）内になるべく具体的な内容をご記入ください。
- 4 問16からの設問は、ご本人ではなく家族等主な介護者の方についてご記入ください。

本調査では、入所希望者ご本人について記入してください。

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1. 男性 2. 女性 3. どちらとも言えない

問2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

1. 40歳代 2. 50歳代 3. 60歳代
4. 70歳代 5. 80歳代 6. 90歳以上

問3 あなたの要介護度をお答えください。(○は1つ)

1. 要介護1 2. 要介護2 3. 要介護3
4. 要介護4 5. 要介護5

問4 あなたが、特別養護老人ホームへ申し込んだ際の、区の第一次評価は次のどれでしたか。(○は1つ)

1. 優先度A 2. 優先度B 3. 優先度C

問5 あなたが、特別養護老人ホームへ入所申込をしてから、現在までの期間はどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1. 3か月未満
2. 3か月～6か月未満
3. 6か月以上1年未満
4. 1年以上2年未満
5. 2年以上
6. 不明・分からない

問6 あなたは、現在、どちらにお住まいですか。(○は1つ)

1. ご自宅 (ショートステイ利用無し)
2. ご自宅 (ショートステイ利用有り) → ひと月あたり約 日
3. 病院・診療所 (入院中)
4. 養護老人ホーム
5. サービス付き高齢者向け住宅
6. 有料老人ホーム
7. 認知症高齢者グループホーム
8. 介護老人保健施設
9. 介護療養型医療施設・介護医療院
10. 軽費老人ホーム (ケアハウスを含む)
11. その他 (具体的に:)

問7 あなたは、どなたと一緒ににお住まいですか。あなたから見た関係でお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 一人暮らし 4. 孫
2. 配偶者 (夫または妻) 5. 兄弟姉妹
3. 子ども、または子どもの配偶者 6. その他 ()

問8 あなたが、特別養護老人ホームに入所したい時期はいつ頃ですか。(○は1つ)

1. 今すぐ入所したい
2. 3か月～半年くらい先に入所したい
3. 半年～1年くらい先に入所したい
4. 当面は入所しなくてもよいが、必要ときに入所したい
5. その他 (具体的に:)

問9 あなたが、特別養護老人ホームに入所した場合、費用はどなたが負担しますか。また、内訳を教えてください。(ア～カはあてはまるものすべてに○)

1. 本人	ア. 年金	イ. 株式配当
2. 本人以外	イ. 預貯金	オ. 給与
3. 両方	ウ. 不動産	カ. その他 ()



問10 あなたが、特別養護老人ホームに入所の申込をした理由は何ですか。
(あてはまるものをすべてに○)

1. 家族の心身の負担が大きく在宅（自宅）での生活に限界を感じている
2. 介護者が病気になる（要介護になった、入院したなど）
3. 介護をする家族や親族がいない
4. 現在利用している施設や病院の、退所・退院の期限が迫っている
5. 現在利用している施設・在宅サービスの費用が高く、経済的に厳しい
6. 現在の住まいが賃貸等で、今後住み続けられないかもしれない
7. すぐには入所が難しいと思い、早めに申込をした
8. その他（具体的に： _____)

問11 あなたは、特別養護老人ホームから入所できるといふ連絡を受けたことがありましたか。(○は1つ)

1. あった → _____ 回
2. なかった

【問11で「1 あった」を選んだ方にお伺いします。】

問11-1 あった場合、一番最近で入所ができなかった理由は何ですか。
(○は1つ)

1. 当面、在宅（自宅）で生活を続けることができた
2. 病院に入院中だった
→ 入院期間に○をつけてください。(ア. 6か月未満 1. 6か月以上)
3. 費用が高かった
4. 希望順位が高い施設ではなかった
5. 介護老人保健施設に入所中だった
6. 有料老人ホームに入居していた
7. 認知症高齢者グループホームに入居していた
8. 軽費老人ホーム（ケアハウス）に入居していた
9. 入所希望がなくなった
10. 入所前の面接等の結果、施設に断られた
(理由： _____)
11. その他（具体的に： _____)

<ここからは全員にお聞きます>

問12 区内の特別養護老人ホームには、主に4人部屋中心の多床室の施設と、ユニット型個室の施設があります。

あなたは、入所申込の際にどちらを希望されましたか。(○は1つ)

【参考】1 割負担・要介護5の場合の料金目安（月額）
多床室…約83,000円～110,000円
ユニット型個室…約126,000円～183,000円

1. 多床室の特別養護老人ホーム
2. ユニット型個室の特別養護老人ホーム
3. どちらでも早く入所できる特別養護老人ホーム
4. その他（具体的に： _____)

【問12で「1 多床室の特別養護老人ホーム」を選んだ方にお伺いします。】

問12-1 多床室を選んだ最も近い理由は何か。(○は1つ)

1. ユニット型個室より費用が安い
2. 部屋に他の人がいた方がよい
3. 自宅の近くにユニット型の特別養護老人ホームがない
4. その他（具体的に： _____)

【問12で「2 ユニット型個室の特別養護老人ホーム」を選んだ方にお伺いします。】

問12-2 ユニット型個室を選んだ最も近い理由は何か。(○は1つ)

1. 個室でプライバシーが保たれる
2. 家族が周囲に気兼ねなく訪問できる
3. 部屋にトイレがある
4. 自宅の近くに多床室の特別養護老人ホームがない
5. その他（具体的に： _____)

居宅介護支援事業所実態調査

事業所番号 _____
 事業所名称 _____

【 I 事業所に関するデータ 】

問1 所属している介護支援専門員の人数を教えてください。(〇は1つ)
 ※非常勤の方も含め、令和4年9月1日現在で記入してください。

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上

問1-1 問1でご回答いただいた人数のうち、主任介護支援専門員の人数を教えてください。

1. 0人 2. 1人 3. 2人 4. 3人 5. 4人以上

【 II ご利用者様に関するデータ 】

問2 貴事業所全体のご利用者様の人数（保険者が杉並区の方のみ）を教えてください。
 （要支援の方の人数は含みません）

1. 令和4年8月給付実績者の人数 ⇒

人

 2. 1以外（区分変更中・相談段階・入院中等） ⇒

人

問2-1 問2で「1. 令和4年8月給付実績者の人数」で回答いただいた人数のうち、介護度別の人数を教えてください。(令和4年8月給付実績者)

1. 要介護1 ⇒

人

 2. 要介護2 ⇒

人

 3. 要介護3 ⇒

人

 4. 要介護4 ⇒

人

 5. 要介護5 ⇒

人

問2-2 現在、ご利用者様が利用されている介護保険サービスの種類を教えてください。
 (複数のサービスを利用されている方については利用しているサービスすべてが対象となります。)
 (令和4年8月給付実績分)

1. 地域密着型通所介護（杉並区内のみ） ⇒

人

 2. 認知症対応型通所介護 ⇒

人

 3. 通所介護（杉並区以外の地域密着型含む） ⇒

人

 4. 訪問看護 ⇒

人

 5. 訪問介護 ⇒

人

 6. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ⇒

人

 7. 夜間対応型訪問介護 ⇒

人

 8. 福祉用具貸与（レンタル） ⇒

人

【 III 地域密着型サービスに関するデータ 】

介護保険サービスの中で、地域密着型サービスに係ることについて教えてください。

問3 令和3年度以降（過去1年程度）に下記の枠内（ア～カ）の地域密着型サービスを始めたことがありますか。 ※事業所において、どちらにも該当する場合は、両方に○をつけてください。

1. ある 2. ない

《地域密着型サービスとは》
 ア 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス
 イ 夜間対応型訪問介護サービス
 ウ 認知症対応型通所介護サービス
 エ 小規模多機能型居宅介護サービス
 オ 看護小規模多機能型居宅介護サービス
 カ 認知症対応型共同生活介護サービス

問3-1 「1. ある」と回答した方はサービスに繋がった人数と、繋がらなかった人数およびその理由を教えてください。

	繋がった人数	繋がらなかった人数	繋がらなかった理由（内訳）		必要がなくなった。(死亡・入院等)	
			サービス内容と本人のニーズが合っていないか	本人・家族が断った		
ア 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス	人	人 ⇒	定義に空きがなく断られた	サービス内容と本人のニーズが合っていないか	本人・家族が断った	必要がなくなった。(死亡・入院等)
イ 夜間対応型訪問介護サービス	人	人 ⇒				
ウ 認知症対応型通所介護サービス	人	人 ⇒				
エ 小規模多機能型居宅介護サービス	人	人 ⇒				
オ 看護小規模多機能型居宅介護サービス	人	人 ⇒				
カ 認知症対応型共同生活介護サービス	人	人 ⇒				

問3-2 「2. ない」と回答した方は、勧めなかった理由を教えてください。
 (あてはまるものすべてに○)

	ご利用者様の地域に、サービス事業所（提供範囲）がない	サービス内容とご利用者様のニーズが合っていない	サービス事業所の場所や担当者などの情報が不足している	費用が高く利用できない	必要なプランでないため
ア 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス	1	2	3	4	5
イ 夜間対応型訪問介護サービス	1	2	3	4	5
ウ 認知症対応型通所介護サービス	1	2	3	4	5
エ 小規模多機能型居宅介護サービス	1	2	3	4	5
オ 看護小規模多機能型居宅介護サービス	1	2	3	4	5
カ 認知症対応型共同生活介護サービス	1	2	3	4	5

【裏面もご記入ください】

【 IV 在宅生活に関するデータ 】

問4 在宅生活（病院・施設等）に入院・入所しない）を続けていくうえで、必要と思われるサービス（事業所）を教えてください。（複数回答可 ○は3つまで）

9. 訪問入浴介護
10. 訪問看護
11. 訪問リハビリテーション
12. 通所介護（一日タイプ）
13. 通所介護（短時間タイプ）
14. 短期入所生活介護
15. 不足しているサービスはない
1. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
2. 夜間対応型訪問介護
3. 地域密着型通所介護（一日タイプ）
4. 地域密着型通所介護（短時間タイプ）
5. 認知症対応型通所介護
6. 小規模多機能型居宅介護
7. 看護小規模多機能型居宅介護
8. 訪問介護

問5 在宅生活（病院・施設等）に入院・入所しない）を続けていくうえで、区内全域で不足していると思われるサービス（事業所）を教えてください。（複数回答可 ○は3つまで）

9. 訪問入浴介護
10. 訪問看護
11. 訪問リハビリテーション
12. 通所介護（一日タイプ）
13. 通所介護（短時間タイプ）
14. 短期入所生活介護
15. 不足しているサービスはない
1. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
2. 夜間対応型訪問介護
3. 地域密着型通所介護（一日タイプ）
4. 地域密着型通所介護（短時間タイプ）
5. 認知症対応型通所介護
6. 小規模多機能型居宅介護
7. 看護小規模多機能型居宅介護
8. 訪問介護

問6 在宅生活（病院・施設等）に入院・入所しない）を続けていくうえで、特に、ご利用者様のサービス利用範囲内で不足していると思われるサービス（事業所）を教えてください。（複数回答可 ○は3つまで）

9. 訪問入浴介護
10. 訪問看護
11. 訪問リハビリテーション
12. 通所介護（一日タイプ）
13. 通所介護（短時間タイプ）
14. 短期入所生活介護
15. 不足しているサービスはない
1. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
2. 夜間対応型訪問介護
3. 地域密着型通所介護（一日タイプ）
4. 地域密着型通所介護（短時間タイプ）
5. 認知症対応型通所介護
6. 小規模多機能型居宅介護
7. 看護小規模多機能型居宅介護
8. 訪問介護

【 V 介護保険サービスに関するデータ 】

問7 区民から相談されたり、利用希望が多いサービス（事業所数）を教えてください。（複数回答可 ○は3つまで）

10. 訪問入浴介護
11. 訪問看護
12. 訪問リハビリテーション
13. 通所介護（一日タイプ）
14. 通所介護（短時間タイプ）
15. 短期入所生活介護
16. 介護老人福祉施設
17. 介護老人保健施設
1. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
2. 夜間対応型訪問介護
3. 地域密着型通所介護（一日タイプ）
4. 地域密着型通所介護（短時間タイプ）
5. 認知症対応型通所介護
6. 小規模多機能型居宅介護
7. 認知症対応型共同生活介護
8. 看護小規模多機能型居宅介護
9. 訪問介護

問8 区内全域の介護サービスにおいて充足していると思われるサービス（事業所）を教えてください。（複数回答可 ○は3つまで）

10. 訪問入浴介護
11. 訪問看護
12. 訪問リハビリテーション
13. 通所介護（一日タイプ）
14. 通所介護（短時間タイプ）
15. 短期入所生活介護
16. 介護老人福祉施設
17. 介護老人保健施設
18. 充足しているサービスはない
1. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
2. 夜間対応型訪問介護
3. 地域密着型通所介護（一日タイプ）
4. 地域密着型通所介護（短時間タイプ）
5. 認知症対応型通所介護
6. 小規模多機能型居宅介護
7. 認知症対応型共同生活介護
8. 看護小規模多機能型居宅介護
9. 訪問介護

【 VI 特別養護老人ホームに関するデータ 】

問9 令和3年度以降（過去1年程度）に特別養護老人ホーム（以下、「特養」と略）の入所を勧めたことがありますか。（○は1つ）

1. ある 2. ない
- 問9-1 問9で「1. ある」と回答した方に、特養を勧めた理由を教えてください。（複数回答可 ○は3つまで）

※設問を現在形にしてありますが、過去形で解釈頂いても結構です。

1. 家族の心身の負担が大きく在宅での生活が限界に達している
2. 現在利用しているサービスの費用が高く経済的に苦しい
3. 現在利用している施設や病院の、通所、退所の期限が迫っている
4. 特養入所の必要性は低いですが、本人・および家族の強い希望がある
5. 特養入所の待機期間が長いと思いい、念のため早めの申し込みが必要である
6. 介護者が不在である（単身である）
7. 介護者が介護のために離職をしなければならぬ
8. 介護者（家族を含む）に、引きこもりや虐待などの問題がある
9. 本人の居所がない（賃貸契約の解消等で帰る家が無くなった）
10. 住居がバリアフリーでない

【 VII その他 】

問10 BCP（業務継続計画）について、教えてください。

1. 作成済み 2. 令和4年度中に作成予定 3. 令和5年度に作成予定
- 問10-1 問10で「1. 作成済み」と回答した方は、作成したすべてのBCP（業務継続計画）を教えてください。

1. 災害対策（地震） 2. 災害対策（水害） 3. 感染症対策

(介護人材実態調査/施設系・通所系/事業所票)

【介護人材実態調査 事業所票】

※ 令和4年9月1日現在の状況について、ご回答ください。

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。
 ※ 本調査票の送付先（郵便の宛名など）となっている施設等で行うサービスについて、ご回答ください。（〇は1つ）

- 1. 施設・居住系サービス
 (特別介護老人ホーム(地域密着型含む)、介護老人保健施設、シヨートステイ、グループホーム、特定施設)
- 2. 通所系サービス
 (通所介護(地域密着型含む)、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護)

問2 貴施設等(問1で〇をつけたサービス種別の施設等)に所属する介護職員について、お伺いします。
 ※ ここで、「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。(ボランティアの方は含みません)
 ※ 「正規職員」とは、期間の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは期間の定めのある有期雇用契約による職員を指します。

問2-1 介護職員の総数を、ご記入ください。(数値を記入)
 正規職員 () 人 非正規職員 () 人 派遣職員 () 人

問2-2 貴施設等の開設時期について、ご記入ください。(数値を記入)
 開設時期 西暦 () 年 () 月

問2-3 令和4年9月1日時点で、開設から1年以上を経過している施設等にお伺いします。
 過去1年間(令和3年9月1日～令和4年8月31日)の介護職員の採用者数と離職者数を、ご記入ください。(派遣職員及びボランティアは除く。)

採用者数 () 人 離職者数 () 人

問2-4 問2-3の採用者・離職者について、正規・非正規、年代別をご記入ください。(数値を記入)
 (派遣職員及びボランティアは除く。)

年齢 (採用・離職当時)	採用者		離職者	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
20歳未満	() 人	() 人	() 人	() 人
20～29歳	() 人	() 人	() 人	() 人
30～39歳	() 人	() 人	() 人	() 人
40～49歳	() 人	() 人	() 人	() 人
50～59歳	() 人	() 人	() 人	() 人
60～69歳	() 人	() 人	() 人	() 人
70～79歳	() 人	() 人	() 人	() 人
年齢不明	() 人	() 人	() 人	() 人

問3 貴施設等(問1で〇をつけたサービス種別の施設等)のBCP(業務継続計画)について、お伺いします。

- 問3-1 BCP(業務継続計画)の作成状況について、お伺いします。(〇は1つ)
 1. 作成済み 2. 令和4年度中に作成予定 3. 令和5年度に作成予定
- 問3-2 問3-1で「1. 作成済み」を選んだ方にお伺いします。作成したBCP(業務継続計画)すべてに〇をつけてください。
 1. 災害対策(地震) 2. 災害対策(水害) 3. 感染症対策

(介護人材実態調査/施設系・通所系/事業所票)

問4 貴施設等に所属している介護職員全員(非常勤含む。派遣職員及びボランティアの方を除く)について、お答えください。

施設名	部署別ご記入						業務種別ご記入		業務種別ご記入		業務種別ご記入	
	(1) 専任の職員 総数(名)	(2) 正職員 総数(名)	(3) 性別 男 女	(4) 年齢 1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代 6. 70代 7. 以上 8. 不明	(5) 派遣 職員 総数(名)	(6) 現在の 勤務形態	(7) 現在の業務内容 (例: 介護士、介護士 補助、介護士 ヘルパー、介護士 ヘルパー補助、 介護士ヘルパー 補助、介護士 ヘルパー補助 等)	(8) 現在の業務内容 (例: 介護士、 介護士補助、 介護士ヘルパー、 介護士ヘルパー 補助等)	(9) 現在の業務内容 (例: 介護士、 介護士補助、 介護士ヘルパー、 介護士ヘルパー 補助等)	(10) 現在の業務内容 (例: 介護士、 介護士補助、 介護士ヘルパー、 介護士ヘルパー 補助等)	(11) 現在の業務内容 (例: 介護士、 介護士補助、 介護士ヘルパー、 介護士ヘルパー 補助等)	(12) 現在の業務内容 (例: 介護士、 介護士補助、 介護士ヘルパー、 介護士ヘルパー 補助等)
記入欄	1	1	1	1	3	40	2	2	1	2	1	2
01												
02												
03												
04												
05												
06												
07												
08												
09												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												
31												
32												
33												
34												
35												
36												
37												
38												
39												
40												
41												
42												
43												
44												
45												
46												
47												
48												
49												
50												

(介護人材実態調査/訪問系/事業所票)

【介護人材実態調査 事業所票】

- ※ 令和4年9月1日現在の状況について、ご回答ください。
- 問1・該当するサービス種別(介護予防を含む)を、ご回答ください。
 ※ 本部署の送付先(郵便の宛名となっている事業所)で行うサービスについて、ご回答ください。(〇は1つ)
1. 訪問系サービス (訪問看護、訪問リハビリテーション、訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護)
 2. 小規模多機能型居宅介護
 3. 看護小規模多機能型居宅介護
 4. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- 問2・貴事業所(問1で〇をつけたサービス種別の事業所)に所属する介護職員について、お伺いします。..
 ※ ここでの「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。(ボランティアの方は含みません)
 ※ また、「正規職員」とは、期限の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは期限の定めのある有期雇用契約による職員を指します。

問2-1. 介護職員の総数を、ご記入ください。(数値を記入)

正規職員	()	人	非正規職員	()	人	派遣職員	()	人
------	-----	---	-------	-----	---	------	-----	---

問2-2. 貴事業所の開設時期について、ご記入ください。(数値を記入)

開設時期	西暦	()	年	()	月
------	----	-----	---	-----	---

問2-3. 令和4年9月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。
 過去1年間(令和3年9月1日～令和4年8月31日)の介護職員の採用者数と離職者数を、ご記入ください。(派遣職員及びボランティアは除く。)

採用者数	()	人	離職者数	()	人
------	-----	---	------	-----	---

問2-4. 問2-3の採用者・離職者について、正規・非正規、年代別をご記入ください。(数値を記入)
 (派遣職員及びボランティアは除く。)

年齢 (採用、離職当時)	採用者		離職者			
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員		
20歳未満	()	人	()	人	()	人
20～29歳	()	人	()	人	()	人
30～39歳	()	人	()	人	()	人
40～49歳	()	人	()	人	()	人
50～59歳	()	人	()	人	()	人
60～69歳	()	人	()	人	()	人
70～79歳	()	人	()	人	()	人
年齢不明	()	人	()	人	()	人

問3. 貴事業所(問1で〇をつけたサービス種別の事業所)のBCP(業務継続計画)について、お伺いします。
 問3-1. BCP(業務継続計画)の作成状況について、お伺いします。(〇は1つ)

1. 作成済み
2. 令和4年度中に作成予定
3. 令和5年度に作成予定

問3-2. 問3-1で「1. 作成済み」を選んだ方にお伺いします。作成したBCP(業務継続計画)すべてに〇をつけてください。

1. 災害対策(地震)
2. 災害対策(水害)
3. 感染症対策

杉並区高齢者実態調査報告書

令和5年3月発行

登録印刷物番号

04-0122

編集・発行 杉並区保健福祉部高齢者施策課
杉並区阿佐谷南一丁目15番1号
TEL (03) 3312-2111 (代)

実施 株式会社コクドリサーチ
多摩市馬引沢1-9-6
TEL (042) 373-3011 (代)

☆杉並区のホームページでご覧になれます。 <https://www.city.suginami.tokyo.jp>

